

## 教育目標

福岡歯科大学の建学の精神に基づき、本大学院は、歯学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与することを目的とする。

## アドミッションポリシー

1. 豊かな人間性と社会性を持ち、生命と医療に対する倫理観を有している。
2. 生命科学に関する基本的な知識と語学力を持ち、自ら課題を解決する資質を有している。
3. リサーチ・マインドを持ち、科学的根拠に基づく口腔医療やそれを支える生命科学研究の遂行に強い意欲を有している。
4. 口腔医学の実践を通じて、地域社会および国際社会への貢献を目指している。

## カリキュラムポリシー

コースワークならびにリサーチワークを通して、口腔医学を実践する先進的生命科学研究者や高度専門医療人を育成するためのカリキュラムを編成する。

1. 生命科学に関する講義や演習を通じて、研究および医療に対する深い倫理観を育成する。
2. 生命科学、総合医学ならびにその他の基盤的な講義・実習および大学院特別講義の履修を通じて、高い教養と研究・臨床を遂行するための科学的思考能力を育成する。
3. 主および副指導教員の直接的指導に加えて、多岐の研究領域の教員が助言する中間発表会や実験報告会等の多面的研究指導体制により、口腔医学に関する広範で高度な生命科学知識や先端的な専門医療技術を駆使する能力を育成する。
4. 国内外での研究成果の公表や研究研修を通じて、地域社会および国際社会に貢献する能力を育成する。

## ディプロマポリシー

1. 研究者あるいは医療人に必要な倫理観と人類の健康と福祉に対する使命感を身につけている。
2. 課題を解決するために、最新の生命科学・医歯学情報を分析し自立的に研究計画を立て実行することができる。
3. 口腔医学を実践するための先進的生命科学研究や高度専門医療を遂行する能力を身につけており、学位を取得する要件を満たす。
4. 生命科学研究者として口腔医学領域の発展に寄与し、高度口腔専門医として先駆的な立場で地域社会や国際社会に貢献できる。

# 目 次

1. 福岡歯科大学大学院組織	1
2. 福岡歯科大学大学院授業科目	2
3. 大学院授業科目と単位の概要	4
4. 令和3年度大学院講義・主科目（必修講義・演習）生命科学概論	7
5. 令和3年度大学院講義・主科目（必修講義・演習）生命科学演習	11
6. 令和3年度大学院講義・主科目（必修講義・演習）総合医学概論	15
7. 令和3年度大学院講義・主科目（必修講義・演習）総合医学演習	19
8. 令和3年度大学院講義・副科目（選択必修講義・実習）生命科学実験入門	23
9. 令和3年度授業科目細目	39

## 福岡歯科大学大学院組織

専攻	部門	講 座	分 野	指 導 教 員				
				教 授	准 教 授			
歯 学	口腔・歯学	研 究 科 長		高 橋 裕				
		総合歯科学		米 田 雅 裕 内 藤 徹 森 田 浩 光	梅 崎 陽二朗 牧 野 路 子			
		口腔治療学		歯 科 保 存 学 歯 周 病 学	阿 南 壽 資 坂 上 竜 資	松 崎 英 津 子 吉 永 泰 周		
		咬合修復学		冠 橋 義 歯 学 有 床 義 歯 学 口腔インプラント学	松 浦 尚 志 都 築 尊 城 戸 寛 史	川 口 智 弘 加 倉 加 恵		
		成長発達歯学		成 育 小 児 歯 科 学 障 害 者 歯 科 学 矯 正 歯 科 学	尾 崎 正 雄 小 島 寛 玉 置 幸 雄	岡 暁 子		
		全身管理・医歯学		口腔・顎顔面外科学		池 邊 哲 郎 平 木 昭 光	橋 本 憲 一 郎	
				診断・全身管理学		口 腔 画 像 診 断 学 全 身 画 像 診 断 学 麻 酔 管 理 学	香 川 豊 宏 川 波 哲 吾 谷 口 省 吾	
				総合医学		内 科 学 心 療 内 科 学 外 科 学 (池 田 哲 夫) 山 野 貴 史 川 野 庸 一 鳥 巢 浩 幸 井 上 敏 生 皮 膚 科 学 古 村 南 夫 内 視 鏡 セ ン タ ー 池 田 哲 夫	大 島 裕 司 萩 家 康 弘	
		社会医歯学		口腔保健学		口 腔 健 康 科 学 社 会 歯 科 学 医 療 統 計 学	埴 岡 隆 谷 口 奈 央 島 津 篤	
				医療人間学		医 療 倫 理 学 言 語 情 報 学	永 嶋 哲 也 壬 生 正 博	
		基礎医歯学		機能生物化学		生 化 学 感 染 生 物 学	梅 津 桂 子 藤 田 亜 美 田 中 芳 彦	
				歯科医療工学		生 体 工 学	都 留 寛 治 丸 田 道 人	
	生体構造学			機能構造学		稲 井 哲 一 朗 畠 山 雄 次	児 玉 淳	
				病態構造学		橋 本 修 一	岡 村 和 彦	
	細胞分子生物学			細 胞 生 理 学 分 子 機 能 制 御 学	岡 部 幸 司 日 高 真 純 八 田 光 世			
	口腔医学研究センター				大 野 純			
	口腔医療センター				泉 利 雄 古 賀 千 尋 金 子 高 士	山 本 勝 己		

## 福岡歯科大学大学院授業科目

専攻	部門	講 座	授 業 科 目	単 位	
歯学	口腔・歯学	総合歯科学	総合歯科学 講義	4	
			高齢者歯科学 講義	4	
			訪問歯科・全身管理歯科学 講義	4	
			総合歯科学 実習	6	
			高齢者歯科学 実習	6	
			訪問歯科・全身管理歯科学 実習	6	
		口腔治療学	歯科保存学 講義	4	
			歯周病学 講義	4	
			歯科保存学 実習	6	
			歯周病学 実習	6	
			咬合修復学	冠橋義歯学 講義	4
				有床義歯学 講義	4
	口腔インプラント学 講義	4			
	冠橋義歯学 実習	6			
	有床義歯学 実習	6			
	口腔インプラント学 実習	6			
	成長発達歯学	成育小児歯科学 講義	4		
		障害者歯科学 講義	4		
		矯正歯科学 講義	4		
		成育小児歯科学 実習	6		
		障害者歯科学 実習	6		
		矯正歯科学 実習	6		
	全身管理・医歯学	口腔・顎顔面外科学	口腔外科学 講義	4	
			口腔腫瘍学 講義	4	
口腔外科学 実習			6		
口腔腫瘍学 実習			6		
診断・全身管理学		口腔画像診断学 講義	4		
		全身画像診断学 講義	4		
		麻酔管理学 講義	4		
		口腔画像診断学 実習	6		
		全身画像診断学 実習	6		
		麻酔管理学 実習	6		
総合医学		内科学 講義	4		
		心療内科学 講義	4		
	外科学 講義	4			
	耳鼻咽喉科学 講義	4			
	眼科学 講義	4			
	小児科学 講義	4			
	整形外科学 講義	4			
	皮膚科学 講義	4			
	内視鏡学 講義	4			
	内科学 実習	6			
	心療内科学 実習	6			
	外科学 実習	6			
耳鼻咽喉科学 実習	6				
眼科学 実習	6				

## 福岡歯科大学大学院授業科目

専攻	部門	講座	授業科目	単位
歯学	総合医学		小児科学実習	6
			整形外科学実習	6
			皮膚科学実習	6
			内視鏡学実習	6
	社会医歯学	口腔保健学	口腔健康科学講義	4
			社会歯科学講義	4
			医療統計学講義	4
			口腔健康科学実習	6
			社会歯科学実習	6
			医療統計学実習	6
	社会医歯学	医療人間学	医療倫理学講義	4
			言語情報学講義	4
			医療倫理学演習	6
			言語情報学演習	6
			医療倫理学講義	4
			言語情報学演習	6
	基礎医歯学	機能生物化学	生化学講義	4
			感染生物学講義	4
			生化学実習	6
			感染生物学実習	6
		歯科医療工学	生体工学講義	4
			生体工学実習	6
		生体構造学	細胞機能構造学講義	4
			人体機能構造学講義	4
			病態構造学講義	4
			細胞機能構造学実習	6
			人体機能構造学実習	6
			病態構造学実習	6
	細胞分子生物学	細胞生理学講義	4	
		分子機能制御学講義	4	
細胞生理学実習		6		
細胞分子生物学	分子機能制御学実習	6		
	細胞生理学実習	6		
口腔医学研究センター		生体再生材料学講義	4	
		生体再生材料学実習	6	
口腔医療センター		口腔医療学講義	4	
		口腔医療学実習	6	
必修講義・実習		生命科学概論	2	
		生命科学演習	2	
		総合医学概論	2	
		総合医学演習	2	
選択必修講義・実習		生命科学実験入門 ※A,Bの各グループから 2テーマ以上を選択。	4以上	

# 大学院授業科目と単位の概要

## 1. 主科目（下記全テーマを4年間で履修する）

### 【必修講義・実習】

1) 生命科学概論	2 単位
1. 研究・実験計画法	〔日高 真純〕
2. 研究倫理（1）	〔大野 純〕
3. 研究倫理（2）	〔大野 純〕
4. 動物実験の科学性と倫理（1）	〔田中 芳彦〕
5. 動物実験の科学性と倫理（2）	〔田中 芳彦〕
6. 臨床研究の倫理（1）	〔埴岡 隆〕
7. 臨床研究の倫理（2）	〔永嶋 哲也〕
8. バイオハザード	〔小野 悦郎〕
9. 生物医学統計処理法（1）	〔谷口 奈央〕
10. 生物医学統計処理法（2）	〔島津 篤〕
2) 生命科学演習	2 単位
1. 研究倫理とミスコンダクト（1）	〔大野 純〕
2. 研究倫理とミスコンダクト（2）	〔大野 純〕
3. 文献検索法（講義）	〔坂上 竜資〕
4. 論文作成・成果発表法	〔池邊 哲郎〕
5. 実験動物の取り扱い（1）	〔田中 芳彦〕
6. 実験動物の取り扱い（2）	〔田中 芳彦〕
7. 実験動物の取り扱い（3）	〔田中 芳彦〕
8. 文献検索法（演習）	〔内藤 徹〕
9. EBM入門（1）	〔内藤 徹〕
10. EBM入門（2）	〔内藤 徹〕
3) 総合医学概論	2 単位
1. 歯科に関連する臨床医学の基本テーマ（1）	〔井上 敏生〕
2. 歯科に関連する臨床医学の基本テーマ（2）	〔金光 芳郎〕
3. 歯科に関連する臨床医学の基本テーマ（3）	〔大星 博明〕
4. 歯科に関連する臨床医学の基本テーマ（4）	〔池田 哲夫〕
5. 歯科に関連する臨床医学の基本テーマ（5）	〔山野 貴史〕
6. 歯科に関連する画像情報入門	〔香川 豊宏〕
7. 歯科に関連する臨床医学の基本テーマ（6）	〔鳥巢 浩幸〕
4) 総合医学演習	2 単位
1. 内科演習	〔大星 博明〕
2. 外科演習	〔池田 哲夫〕
3. 耳鼻科演習	〔山野 貴史〕
4. 皮膚科演習	〔古村 南夫〕
5. 心療内科演習	〔金光 芳郎〕
6. 眼科演習	〔川野 庸一〕
7. 小児科演習	〔鳥巢 浩幸〕
8. 整形外科演習	〔井上 敏生〕
9. 内視鏡学演習	〔池田 哲夫〕

5) 所属講座の講義・実習 \_\_\_\_\_ **12単位**

注) 歯科医療工学講座、口腔医学研究センターおよび口腔医療センターについては、研究科委員会が関連すると認めた講座の講義・実習2単位を主科目の単位として認定する。

**主科目単位** **計20単位**

## 2. 副科目

### 【選択必修講義・実習】

#### 1) 生命科学実験入門（選択必修）

Aグループ、Bグループの各グループから2テーマ以上（計4テーマ以上）を選択し、履修する。〔各テーマは6～10コマ（12～20時間）で構成〕 \_\_\_\_\_ **4単位以上**

#### 生命科学実験入門

##### Aグループ＜形態系・臨床研究系＞

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| 1. 電子顕微鏡操作法（透過型・走査型） | 〔評価責任者：畠山 雄次〕 |
| 2. 免疫染色法             | 〔評価責任者：橋本 修一〕 |
| 3. X線マイクロCTの原理と操作法   | 〔評価責任者：大野 純〕  |
| 4. 臨床統計学             | 〔評価責任者：内藤 徹〕  |

##### Bグループ＜機能系＞

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| 1. 遺伝子操作法         | 〔評価責任者：梅津 桂子〕 |
| 2. 神経伝導・シナプス伝達解析法 | 〔評価責任者：藤田 亜美〕 |
| 3. タンパク質機能解析法     | 〔評価責任者：岡部 幸司〕 |
| 4. 遺伝子発現解析法       | 〔評価責任者：八田 光世〕 |
| 5. 組織細胞培養法        | 〔評価責任者：日高 真純〕 |

2) 所属講座以外の講義・実習 \_\_\_\_\_ **6単位以上**

大学院特別講義およびこれに準ずるもの6テーマを受講すれば、副科目の1単位として算入できる。

**副科目単位** **計10単位以上**





**令和3年度大学院講義**  
**主科目（必修講義・演習）**  
**生命科学概論**



## 生命科学概論

前期 10 コマ (ユニット 1 ~ 6 : 2 単位)

評価責任者 : 研究科運営委員長

〔一般目標〕

研究計画を立案・遂行し、得られた結果をまとめ、発表する課程で必要となる基本的な手技、方法などを総合的に習得する。

〔教育方法〕

スライド、プリント、学内 LAN による講義、演習

〔評価〕

口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日 時 限	授 業 担 当 者	ユニット番 号・ 項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	4/6 (火) 1 限	日高 (研究科 運 営 委 員 長)	ユニット1 研究・実験 計画法	研究構想に基づいて研究・実験計画を作成する作業手順を理解する。	1) 研究の動機・関心を踏まえて研究目的を定める。 2) 研究の背景を探り、作業仮説を立てる。 3) 仮説を立証するための実験デザインを考える。 4) 研究倫理・安全上の手続きと結果の分析方法を考える。 5) 実験計画書(架空)の作成の練習をする。	大学院で研究をする動機と自らが関心を持つ項目について考えておく。	博士号の取り方 学生と指導教官のための実践ハンドブック EM Philips, DS Pugh 著	503 教室
2	4/6 (火) 2 限	大野 (研究倫 理教育 責任者)	ユニット2 研究倫理	研究倫理に関する意識を高め、研究者に求められる行動規範を理解する。	1) 社会に対する科学者の基本的責任と姿勢を説明できる。 2) 特定研究不正行為(ねつ造、改ざん、盗用)を説明できる。 3) 研究不正に気づかずに問題が発生することを防ぐため、具体的事例を分析する。	「研究不正行為」をインターネットで検索しておく。	声明科学者の行動規範—改訂版—(日本学術会議、平成 25 年) 研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン(文部科学大臣、平成 26 年) 科学の健全な発展のために 誠実な科学者の心得(日本学術振興会 丸善)	503 教室
3	4/6 (火) 3 限				1) 研究成果を知的財産として扱うことの重要性を説明できる。 2) 研究の公正性を証明することの重要性を説明できる。 3) 適切なラボノート(実験ノート)の作成ができる。	各自実験ノートを準備し、記載を始めておく。	ラボノートの書き方 隅蔵康一 他著 羊土社	503 教室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・ 項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
4 ・ 5	4/27 (火) 4 限 ・ 5 限	田中 (アニマ ルセン ター長)	ユニット3 実験動物の 科学性と倫 理	動物実験を行うた めの基礎知識と実 際の手続きを理解 する。	1) 倫理に基づいた動物 実験の重要性を説明で きる。 2) 動物愛護関連法令に 基づいた動物実験計画 を立案することができる。	「動物の愛 護」について インターネット 等で調べて おく。	実験動物指針 アニマルセンタ ーホームページ	803 教室
6	5/25 (火) 3 限	永嶋	ユニット4 臨床研究の 倫理	臨床研究などの倫 理指針「人を対象と する生命科学・医 学系研究に関する 倫理指針」およびそ の関連指針等を理 解する。	1) 臨床研究倫理の基本 原則を説明できる。 2) 倫理指針に沿って倫 理審査申請書を作成で きる。	福岡学園 事 務情報共有シ ステムの「各 種委員会申請 書等」より倫 理審査関連書 類を入手、熟 読しておく。	1) 人を対象と する生命科学・ 医学系研究に関 する倫理指針 (文部科学省・ 厚生労働省) 2) 臨床研究法 3) ヘルシンキ 宣言 (世界医師 会) 4) 個人情報保 護法	803 教室
7	5/25 (火) 4 限	埴岡 (コンプ ライア ンス責 任者)			1) 臨床研究倫理の基本 原則を説明できる。 2) 倫理指針に沿って倫 理審査申請書を作成で きる。			
8	6/1 (火) 5 限	小野	ユニット5 バイオハザ ード	ヒトや動物に由来 する研究・実験材料 には未知の病原体 が潜んでいること を理解する。	微生物汚染の防止と回 避を説明する。	「Zoonosis」 についてイン ターネット等 で調べてお く。	特に指定しな い。	803 教室
9	7/13 (火) 3 限	谷口	ユニット6 生物医学統 計処理法	疫学・臨床疫学研究 の基礎となる生物 統計処理の基本を 理解する。	計測データの整理、分 析法を説明できる。	予習用に作成 したプリント に目を通して おく。	特に指定しない	803 教室
10	7/13 (火) 4 限	島津			質問紙調査データの整 理、分析法を説明でき る。			

**令和3年度大学院講義**  
**主科目（必修講義・演習）**  
**生命科学演習**



# 生命科学演習

前期10コマ（ユニット1～6：2単位）  
評価責任者：研究科運営委員長

## 〔一般目標〕

研究計画を立案・遂行し、得られた結果をまとめ、発表する課程で必要となる基本的な手技、方法などを総合的に習得する。

## 〔教育方法〕

スライド、プリント、学内LANによる講義、演習

## 〔評価〕

口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	6/1 (火) 3限 ・ 4限	大野	ユニット1 研究倫理と ミスコンダ クト	研究倫理に関する意識を高めて、研究者に求められる行動規範を説明できる。	1. 研究倫理のミスコンダクトを列挙し、説明できる。 2. 研究倫理研究カリキュラムをe-learningにより受講し、修了できる。	研究倫理に関する記事や文献に目を通しておく。	配布プリント、学内LAN	803教室
2								
3	6/8 (火) 3限	坂上 (情報図書館長)	ユニット2 文献検索法 (講義)	学術情報の収集に不可欠な文献検索の基礎的な知識と検索方法を理解する。	1) 科学的文献の種類を列挙し説明する。 2) 主要な文献データベースを説明する。 3) 英語論文の検索方法を説明する。 4) 日本語論文の検索方法を説明する。	図書館ホームページ <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/col/info/lib/index.html">http://www.fdcnet.ac.jp/col/info/lib/index.html</a> を検索しておく	プリント	ラーニング コモンズ
4	6/15 (火) 3限	田中 (アニマルセンター長) 岡	ユニット3 実験動物の 取り扱い	信頼性の高い研究結果を得るため、実験動物の取り扱いを理解する。	1) 実験動物の倫理を十分に理解し、動物愛護の精神で実験動物に接することができる。	「動物の愛護」についてインターネット等で調べておく。	実験動物指針 アニマルセンターホームページ	アニマルセンター
5	6/15 (火) 4限				2) 実験動物の衛星管理や病気・人畜共通感染症の予防法を理解し、適切な処置を実施できる。			
6	6/15 (火) 5限				3) 小動物・大動物の特性を理解し、正しい取り扱いを説明できる。 4) 麻酔、採血、各種投与などの実験手技の基本を理解し、適切に応用できる。			

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
7	6/22 (火) 3限・ 4限・ 5限	内藤	ユニット4 文献検索法 (演習)	医学文献検索の基本である Pubmed の基本的な操作法とそのデータベースである Medline の基本構造を理解する。	1) Medline のデータベース構造を説明する。 2) Medline の MeSH について説明する。 3) PubMed の検索式のルールを列挙する。	学内 LAN に接続可能なパソコンを持参すること。	配付プリント	総合歯科カンファレンス室
8	ユニット5 EBM 入門		EBM の基本的なコンセプトと研究デザインとエビデンスレベルの関係について理解する。	1) Clinical Question を作成することができる。 2) PICO を組み立てることができる。 3) EBM の実践方法を説明する。	自分の研究計画を考えてくる、あるいは自分の研究計画に関連する先行研究の論文を持参すること。	配付プリント		
9				4) 各種の研究デザインを列挙する。 5) ランダム化比較試験の構造を説明できる。 6) サンプルサイズ推定の基本概念を説明する。				
10	7/6 (火) 2限	池邊	ユニット6 論文作成・成果発表法	科学論文の書き方とわかりやすい発表方法を理解する。	1) 科学論文の構造を理解する。 2) わかりやすい文章を書く事ができる。 3) 研究成果の発表法を理解する。 4) わかりやすい口頭発表ができる。	教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	プリント、スライド	803 教室



**令和3年度大学院講義**  
**主科目（必修講義・演習）**  
**総合医学概論**



# 総合医学概論

前期8コマ(ユニット1～7:2単位)

評価責任者:大星博明

## 〔担当教員〕

井上敏生、金光芳郎、大星博明、山野貴史、香川豊宏、鳥巢浩幸

## 〔一般目標〕

医科と連携した歯科医療ができる。

## 〔授業到達目標〕

医科疾患の病態および臨床での診断・治療の過程をできる。

## 〔教科書・参考書〕

「わかりやすい内科学」第4版、井村裕夫 編、文光堂、2014年  
 「新臨床外科学」第4版、武藤徹一郎ほか 監修、医学書院、2006年  
 「やさしい皮膚科学」、澤村大輔、診断と治療社、2009年  
 「心身医学標準テキスト」第3版、久保千春 編、医学書院、2009年  
 「標準眼科学」第10版、大野重昭ほか 編、医学書院、2007年  
 「標準小児科学」第8版、内山聖 監修、医学書院、2013年  
 「標準整形外科学」第13版、中村利孝ほか 監修、医学書院、2017年

## 〔成績評価の方法・基準〕

出席時口頭試問30%、ユニット毎に提出するレポート70%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	4/6 (火) 4限	井上	ユニット1 歯科に関連する臨床医学のテーマ(1)	骨粗鬆症の基礎・診断・治療を理解する。	骨粗鬆症の・診断・治療および骨粗鬆症にて起こる骨折について概説する。	骨代謝の基礎と骨粗鬆症について教科書で予習しておく。	スライド、プリント	803教室
2	4/6 (火) 5限	金光	ユニット2 歯科に関連する臨床医学のテーマ(2)	心身症の治療を理解する。	心身医学について学び、歯科心身症を概説する。	歯科心身症を教科書で予習しておく。	スライド、プリント	803教室
3	5/11 (火) 3限	池田	ユニット3 歯科に関連する臨床医学のテーマ(3)	外科疾患の治療を理解する。	口腔医学を基礎としての外科学の最近の進歩を概説する。	外科学の最近の進歩をインターネットで検索しておく。	スライド、プリント	803教室
4	5/11 (火) 4限	山野	ユニット4 歯科に関連する臨床医学のテーマ(4)	耳鼻科疾患の治療を理解する。	嚥下障害の診断と治療を概説する。	嚥下障害を教科書で予習しておく。	スライド、プリント	803教室
5	6/8 (火) 4限	大星	ユニット5 歯科に関連する臨床医学のテーマ(5)	内科疾患の治療を理解する。	脳卒中学の最近の進歩を概説する。	脳卒中学の最近の進歩をインターネットで検索しておく。	スライド、プリント	803教室

6	7/6 (火) 3限	香川	ユニット6 歯科に関連する 画像情報入門	医用画像の原理、 デジタル画像の基 本を説明する。	1) デジタル画像 の形成原理を説明 する。 2) デジタル画像 の利点・欠点につ いて説明する。 3) DICOMについて 説明する。	デジタル撮影 法・DICOM に ついて教科書 で予習してお く。	スライド、 実機	放射 線診 断科 学生 実習 室
7	7/6 (火) 4限			歯科領域の画像診 断において医科と の協力が必要な画 像所見を理解 する。	1) 歯科領域の画 像診断で医科との 協力が必要な疾患 の画像所見を理解 する。 2) 適切な紹介科 を選択する。	系統疾患など 医科領域と協 力が必要な疾 患を予習して おく。	スライド、 実機	放射 線診 断科 学生 実習 室
8	7/6 (火) 5限	鳥巢	ユニット7 歯科に関連する 臨床医学のテー マ (6)	小児疾患の治療を 理解する。	小児の救急対応に ついて概説する。	アナフィラキ シーについて 教科書で予習 しておく	スライド プリント	803 教室

**令和3年度大学院講義**

**主科目（必修講義・演習）**

**総合医学演習**



## 総合医学演習

前期40コマ（ユニット1～8：2単位）

評価責任者：大星博明

### 〔担当教員〕

大星博明、池田哲夫、山野貴史、古村南夫、金光芳郎、川野庸一、鳥巢浩幸、井上敏生、萩家康弘、各分野担当教員

### 〔一般目標〕

医科と連携した歯科医療ができる。

### 〔授業到達目標〕

臨床現場に置いて、医科疾患の病態および臨床での診断・治療の過程を説明できる。

### 〔教科書・参考書〕

「わかりやすい内科学」第4版、井村裕夫 編、文光堂、2014年  
 「新臨床外科学」第4版、武藤徹一郎ほか 監修、医学書院、2006年  
 「やさしい皮膚科学」、澤村大輔、診断と治療社、2009年  
 「心身医学標準テキスト」第3版、久保千春 編、医学書院、2009年  
 「標準眼科学」第10版、大野重昭ほか 編、医学書院、2007年  
 「標準小児科学」第8版、内山聖 監修、医学書院、2013年  
 「標準整形外科学」第13版、中村利孝ほか 監修、医学書院、2017年

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席時口頭試問 30%、ユニット毎に提出するレポート 70%

回	授業日時 限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 8	5月～2月 月曜午前 水曜午前 木曜午前 金曜午前	大星 博明 内科 担当教員	ユニット1	内科疾患についての問診表を確認できる	内科疾患の診察過程を指導医に説明できる。	「わかりやすい内科学」の症候・検査編の項目を予習しておく	スライド、プリント	内科外来
9 ～ 16	5月～2月 月曜午後 水曜午後 木曜午後 金曜午後	池田 哲夫 外科・内視鏡 センター 担当教員	ユニット2	外科患者の診察過程、検査概要を指導医に説明できる。 内視鏡センター患者の問診表を確認できる。	外科疾患についての手術の基本手技および内視鏡センター患者の診察過程を指導医に説明できる。	「新臨床外科学」の基礎手技の項目 p327-363 および「消化器内視鏡ハンドブック」の総論を予習しておく	スライド、プリント	外科外来
17 ～ 20	5月～2月 水曜午前 金曜午前	山野 貴史 耳鼻科 担当教員	ユニット3	耳鼻科疾患についての問診表を確認できる。	耳鼻科患者の診察過程を指導医に説明できる。	歯科教科書の耳鼻咽喉科疾患に関わる項目を予習しておく	スライド、プリント	耳鼻科 外来
21 ～ 24	5月～2月 月曜午前 木曜午前	古村 南夫 萩家 康弘 皮膚科 担当教員	ユニット4	皮膚科・形成外科疾患についての問診表を確認できる。	皮膚科・形成外科患者の診察過程を指導医に説明できる。	「やさしい皮膚科学」の総論 (p.1～27) を予習しておく	スライド、プリント	形成外科 外来
25 ～ 28	5月～2月 月曜午後 木曜午後	金光 芳郎 心療内科 担当教員	ユニット5	心療内科的疾患の問診表を確認できる。	心療内科外科外来診療・面接治療の流れを指導医に説明できる。	「心身医学標準テキスト」の心身医学的治療法の項目を予習しておく	スライド、プリント	心療内科 外来

29 ～ 32	5月～2月 木曜午後 金曜午後	川野 庸一 眼科 担当教員	ユニット6	眼科疾患の問診表 を確認でき、検査 の概要を指導医に 説明できる。	眼科顕微鏡手術 の手順の概要を 指導医に説明で きる。	「標準眼科学」 の眼科検査の項 目を予習してお く	スライド、 プリント	眼科外来 手術室
33 ～ 36	5月～2月 月曜午前 水曜午前	鳥巢 浩幸 小児科 担当教員	ユニット7	小児科患者の問診 表を確認できる。	小児科患者の診 察過程を指導医 に説明できる。	「小児科学」の 成長および診察 法の項目を予習 しておく	スライド、 プリント	小児科 外来
37 ～ 40	5月～2月 木曜午後 金曜午前	井上 敏生 整形外科 担当教員	ユニット8	整形外科患者の問 診表を確認でき る。	整形外科患者の 診察過程を指導 医に説明でき る。	「標準整形外科 学」の整形外科 的現症の取り方 の項目を予習し ておく	スライド、 プリント	整形外科 外来



**令和3年度大学院講義**

**副科目（選択必修講義・実習）**

**生命科学実験入門**



## A-1. 電子顕微鏡操作法（透過型・走査型）

後期8コマ（ユニット1～3：1単位）

評価責任者：畠山雄次

### 〔担当教員〕

畠山雄次、稲井哲一朗、都留寛治、丸田道人、児玉淳、北河憲雄、梶本昇、大谷崇仁、緒方佳代子、佐藤平、林慶和

### 〔一般目標〕

細胞や細胞小器官、生体高分子物質などの微細構造を観察するための透過型電子顕微鏡の原理、操作、試料作製および観察に関する基礎知識と基本手技を習得する。細胞や組織、歯科材料などの表面微細構造を観察するための走査型電子顕微鏡の原理、操作、試料作製および観察に関する基礎知識と基本手技を習得する。

### 〔授業到達目標〕

1. 透過型電子顕微鏡および走査型電子顕微鏡の理論を説明できる。
2. 透過型電子顕微鏡および走査型電子顕微鏡の試料作製法を説明できる。
3. 透過型電子顕微鏡および走査型電子顕微鏡の観察法を説明できる。
4. 透過型電子顕微鏡および走査型電子顕微鏡の画像を説明できる。

### 〔教科書・参考書〕

医学・生物学 電子顕微鏡観察法 日本電子顕微鏡学会関東支部編 丸善

### 〔成績評価の方法・基準〕

レポートまたは口頭試問。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	9/1 (水) III	北河	ユニット1 透過型電子顕微鏡  理論と試料作製法 (講義)	透過型電子顕微鏡の基礎理論を理解する。	1) 光学顕微鏡との違いを説明する。 2) 透過型電子顕微鏡の解像力を説明する。 3) 固定(固定液、固定法)を説明する。 4) 包埋を説明する。 5) 超薄切片の作製法を説明する。 6) 染色(電子染色、免疫染色)を説明する。	配布プリントを読んで、原理、手法についての概要を理解する。	スライド プリント	病院棟4階 生体構造学 研究室2
2	9/1 (水) IV	稲井 大谷 緒方	ユニット1 透過型電子顕微鏡  試料作製法 (デモ、 実習)	透過型電子顕微鏡の試料作製法を理解する。	1) 固定液を作製する。 2) グリッドに膜を張る。 3) 超薄切片を作製する。 4) 電子染色をする。	配布プリントを読んで、原理、手法についての概要を理解する。	スライド プリント	病院棟4階 生体構造学 研究室2

回	授業日時	授業者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
3	9/1 (水) V	稲井 大谷 緒方	ユニット1 透過型電子顕微鏡  操作法 (デ モ、実習)	透過型電子顕微鏡の操作法、写真撮影ならびに像の読み方を理解する。	1) 透過型電子顕微鏡の操作を説明する。 2) 写真撮影を説明する。 3) 像の読み方を説明する。	配布プリントを読んで、操作、像の読み方を理解する。	スライド プリント	病院棟 4 階 生体構造学 研究室 2
4	9/8 (水) III	北河	ユニット2 走査型電子顕微鏡  理論 (講義)	走査型電子顕微鏡の基礎理論を理解する。	1) 走査型電子顕微鏡の原理を説明する。 2) 固定(固定液、固定法)を説明する。 3) 導電染色を説明する。 4) 臨界点乾燥を説明する。 5) コーティングを説明する。	配布プリントを読んで、原理、手法についての概要を理解する。	スライド プリント	病院棟 4 階 生体構造学 研究室 2
5	9/8 (水) IV	畠山 児玉 林	ユニット2 走査型電子顕微鏡  試料作製法 (デモ、 実習)	走査型電子顕微鏡の試料作製を理解する。	1) 固定を行う。 2) 臨界点乾燥を行う。 3) コーティングを行う	配布プリントを読んで、手法についての概要を理解する。	スライド プリント	病院棟 4 階 生体構造学 研究室 2
6	9/8 (水) V	畠山 児玉 林	ユニット2 走査型電子顕微鏡  操作法 (デモ、実 習)	走査型電子顕微鏡の操作法、写真撮影ならびに像の読み方を理解する。	1) 走査型電子顕微鏡の操作を説明する。 2) 写真撮影を説明する。 3) 像の読み方を説明する。	配布プリントを読んで、操作、像の読み方を理解する。	スライド プリント	病院棟 4 階 生体構造学 研究室 2
7	9/15 (水) III	都留 丸田 梶本 佐藤	ユニット3 走査型電子顕微鏡  歯科材料の 試料作製法 1 (講義・実 習)	歯科材料・生体材料(金属、無機材料等)の試料作製手順を理解する。	1) 試料の作製手順を説明する。 2) コーティング法を説明する。	配布プリントを読んで、手法についての概要を理解する。	スライド プリント	本館 8 階 生体工学分 野研究室

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
8	9/15 (水) IV	都留 丸田 梶本 佐藤	ユニット3 走査型電子顕微鏡  歯科材料の試料作製法2 (講義・実習)	試料観察と像の読み方を理解する。	1) 試料の観察法を説明する。 2) SEM像による各材料の表面構造を説明する。	配布プリントを読んで、試料の観察法、SEM像と表面構造の関連を理解する。	スライド プリント	本館 8 階 生体工学分野研究室

## A-2. 免疫染色法

後期6コマ（ユニット1～4：2単位）

評価責任者：橋本 修一

### 〔担当教員〕

橋本修一、岡村和彦、吉本尚平

### 〔一般目標〕

タンパク質レベルでの生体物質の発現の局在を知るために有用な免疫組織学的染色について、基礎的な理論とペルオキシダーゼ、アルカリフォスファターゼ発色を用いた染色手技を修得する。

### 〔授業到達目標〕

免疫染色の理論と意義を理解し、実際の免疫染色の手技を習得し、病理診断などへの臨床応用、基礎・臨床研究への応用の重要性について理解できるようになる。

### 〔教科書・参考書〕

1. 渡辺・中根 酵素抗体法 編集 名倉 宏 他、改定第四版、学際企画、2005年
2. バイオ実験で失敗しない！免疫染色・イメージングのコツ 太田正人 他 編、羊土社、2012年

### 〔成績評価の方法・基準〕

試問 50%とレポート 50%の評価により行う。免疫染色の結果と考察を判定基準とする。

回	授業日時	授業者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	9/15 (水) III	橋本 岡村 吉本	ユニット1 免疫染色法の基礎理論	免疫染色の概要、理論と手順	免疫染色法の概要および医・生物学的研究領域における同法の意義について理解する。また、免疫染色法の化学的理論および染色手順について理解する。	免疫染色法の概要と理論について、教科書あるいはネット上の情報を用いて予習しておく。	教科書・参考書 1, 2	病態構造学分野・研究室3
2	9/15 (水) IV	橋本 岡村 吉本	ユニット2 免疫染色法の基礎理論(2)	免疫染色の設定(試薬類・器具)	免疫染色に必要な準備、標本処理、試薬、器具の種類、調整の仕方について理解する。	免疫染色法の種類について調べ、各染色法を用いた研究成果(研究論文)を検索し、免疫染色という研究手技を用いて何を明らかにしたいかという目的について各受講者の意見を事前に準備しておく。	各種染色用具・試薬・溶媒	病態構造学分野・実験室2
3	9/15 (水) V	橋本 岡村 吉本	ユニット3 免疫染色法の実際(1)	免疫染色の基本的な手技	免疫染色の手技について理解する。	免疫染色という研究手技を用いて何を明らかにしたいかという目的について各受講者の意見を事前に準備しておく。	染色キット	病態構造学分野・研究室3
4	9/16 (木) III	橋本 岡村 吉本	ユニット3 免疫染色法の実際(2)	免疫染色の諸条件	検索目的に合った免疫染色のための試料、試薬、反応の諸条件設定と染色結果に与える影響を理解する。	染色キット	各種抗体	
5	9/16 (木) IV	橋本 岡村 吉本	ユニット3 免疫染色法の実際(3)	免疫染色後の処理、染色判定と考察	免疫染色の結果について解析・評価し、意義について理解し考察できる。	染色キット 発色試薬 顕微鏡		
6	9/16 (木) V	橋本 岡村 吉本	ユニット4 免疫染色の臨床応用	免疫染色の病理診断、臨床研究への応用	実際の免疫染色の結果から臨床研究への応用を計画できる。		教科書・参考書 1, 2	病態構造学分野・研究室3

### A-3. X線マイクロCTの原理と操作法

後期6コマ（ユニット1～3：1単位）  
評価責任者：大野 純

〔担当教員〕

大野 純

〔一般目標〕

X線マイクロCT法の原理を理解し、その操作法、測定法およびCT像の解釈法について理解する。

〔教育方法〕

X線マイクロCT法の原理ならびに応用例を講義する。実際の装置を用いて操作法を教授し、試料測定ならびにCT像の解析を実習形式で行う。

〔評価〕

レポート提出(100%)

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	予習の 項目	媒体・参考資料
1	10/7 (木) IV	大野	ユニット1 X線マイクロCTの原理と応用	X線マイクロCTの原理と応用例について理解する。	X線マイクロCTの原理と応用例を説明する。	X線の原理	スライド、プリント配布
2	10/7 (木) V	大野				CTの原理	
3	10/14 (木) IV	大野	ユニット2 X線マイクロCT装置の操作法	X線マイクロCT装置の操作法を理解する。	X線マイクロCT装置の基本的な操作法および保守方法を説明する。	CTの特徴	操作法マニュアルに関する資料配付
4	10/14 (木) V	大野				CTの特徴	
5	10/21 (木) IV	大野	ユニット3 X線マイクロCT装置による試料測定	X線マイクロCT装置により試料のCT像を観察し、画像処理法ならびに解析法を理解する。	X線マイクロCT装置により試料のCT像を観察し、画像処理法ならびに解析法を説明する。	CT画像の特徴	
6	10/21 (木) V	大野				PCによる画像の取り扱い	

## A-4. 臨床統計学【講義】

後期6コマ（ユニット1～6：1単位）

評価責任者：内藤 徹

**〔担当教員〕**

佐藤俊哉（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療統計学・教授）、内藤 徹

**〔一般目標〕**

臨床研究を実施するために必要な統計学の基礎知識および統計を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① データマネジメントが理解できる。
- ② 測定や標本に生じるバイアスについて理解する。
- ③ 研究計画書の構成を理解する。
- ④ 統計学でできることとできないことを理解する。
- ⑤ 質問紙の構成要素を知る。
- ⑥ データセットの構成要素とデータクリーニングの手法を知る。

**〔教科書・参考書〕**

佐藤俊哉「宇宙怪人しまりす 医療統計を学ぶ」、岩波科学ライブラリー、2005

佐藤俊哉「宇宙怪人しまりす 医療統計を学ぶ 検定の巻」、岩波科学ライブラリー、2012

**〔成績評価の方法・基準〕**

レポート 100%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	後期 9月～ 10月	佐藤	ユニット1 統計よりも大事なこと1	データマネジメントの重要性を理解する。	1. これまで実施された臨床試験を例にとり、データマネジメントの重要性を理解する。	教科書		リモート講義（総合歯科カンファレンス室）
2	後期 9月～ 10月	佐藤	ユニット2 統計よりも大事なこと2	バイアスを理解する。	1. サンプリングや測定時に生じるバイアスについて理解する。 2. 妥当性の検証の必要性について理解する。	教科書		リモート講義（総合歯科カンファレンス室）
3	後期 9月～ 10月	佐藤	ユニット3 統計よりも大事なこと3	研究計画書の成り立ちを知る。	1. 臨床研究ガイドラインを理解する。 2. 研究計画書を作成してみる。	教科書		リモート講義（総合歯科カンファレンス室）
4	後期 9月～ 10月	佐藤	ユニット4 医療統計学とはなにか？	統計学ができることとできないことを知る。	1. 統計学と医療統計学の違いを知る。 2. 相関と回帰の違いを知る。 3. アメリカ統計学会の声明を知る。	教科書		対面講義（総合歯科カンファレンス室）
5	後期 9月～ 10月	内藤	ユニット5 質問票を作ってみる	質問票の構成要素を理解する。	1. 既存の質問票の例を知る。 2. 調査に必要な質問票の構成要素を知る。 3. 質問票のワーディングを理解する。 4. 多肢選択肢の長所と短所を知る。	教科書		対面講義（総合歯科カンファレンス室）



回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
6	後期 9月～ 10月	内藤	ユニット6 データセット の管理	データセットの管理 とデータクリーニング について知る。	1. データセットの構成 要素を知る。 2. データクリーニング の手法を知る。	教科書		対面講義（総 合歯科カン ファレンス 室）

## B-1. 遺伝子操作法

前期6コマ（ユニット1～6：1単位）

評価責任者：梅津桂子

### 〔担当教員〕

梅津 桂子、林 道夫、橋口 一成、藤兼 亮輔、日高 真純（担当順）

### 〔一般目標〕

遺伝子の機能について理解し、疾患や表現型との関係を知る  
ゲノム編集を中心とした代表的な遺伝子機能解析法について、それぞれの特徴や方法を理解し、応用の試行実験ができる

### 〔授業到達目標〕

- 遺伝子機能と疾患や表現型の関連について説明することができる
- 代表的な遺伝子操作法について、特徴と方法を概説できる
- 遺伝子機能の解析について目的に即した遺伝子操作法を選択できる
- 実験データを理解し、論理的な結論を導き出す過程をフォローすることができる

### 〔教科書・参考書〕

B. Alberts 他著／中村 桂子 他監訳「Essential 細胞生物学」原著第3版 南江堂 2011  
仲嶋 一範 他編 実験医学別冊「遺伝子導入プロトコール」羊土社 2012  
山本 卓 編 実験医学別冊「ゲノム編集成功の秘訣 Q&A」羊土社 2015  
関口睦夫編 シリーズ分子生物学2「遺伝子工学」朝倉書店 1997

ユニット1ならびに各ユニットの総論では上記を参考書として基本的な知識を整理する  
各論の講義は実際の実験データ等についての資料・スライドを用いたゼミナール形式で実践的な面を中心に行なうので、上記は適宜参考書として自習に活用すること

### 〔成績評価の方法・基準〕

討論や質疑応答への参加の状況から総合的に評価する

回	授業日 時 限	授 業 担 当 者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	7/21 (水) (IV)	梅津	ユニット1 遺伝子操作 の基礎	遺伝子操作の基本的な知識を整理する	1) 遺伝子の機能と、解析法としての遺伝子操作の意義とを関連付ける 2) 主なモデル生物について基本的な遺伝子操作法を列挙できる	行動目標に示した学術用語について予め参考資料等で下調べをしておく	B. Alberts 他著／中村 桂子 他監訳「Essential 細胞生物学」原著第3版 南江堂 2011	504 講義室
2	7/21 (水) (V)	林	ユニット2 ゲノム編集 の原理	ゲノム編集が容易な出芽酵母をモデルに原理と進歩を理解する	1) ゲノム編集の原理を説明できる 2) 出芽酵母を用いたゲノム編集を通して、技術的な進歩と原理の理解とを関連付ける 3) 実験例について目的と結果を考察できる	行動目標に示した学術用語について予め参考資料等で下調べをしておく	仲嶋 一範 他編 実験医学別冊「遺伝子導入プロトコール」羊土社 2012  山本 卓 編	504 講義室

回	授業日 時 限	授 業 担 当 者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
3	7/29 (木) (IV)	橋口	ユニット3 培養細胞の ゲノム編集	哺乳類細胞を中心 に培養細胞のゲノ ム編集を知る	1) 哺乳類培養細 胞におけるゲノム 編集の問題点につ いて説明できる 2) 哺乳類培養細 胞のゲノム編集の 改変について説明 できる 3) 実験例につい て目的と結果を考 察できる	行動目標に 示した学術 用語につい て予め参考 資料等で下 調べをして おく	実験医学別 冊 「ゲノム編 集成功の秘 訣 Q&A」羊 土社 2015  関口睦夫編 シリーズ分 子生物学2 「遺伝子工	504 講義 室
4	7/29 (木) (V)	橋口	ユニット4 RNA 干渉	哺乳類の培養細胞 を用いた遺伝子ノ ックダウン法を理 解する	1) ゲノム編集に 代わる技術とし て、遺伝子ノック ダウン法を比較検 討する 2) RNA 干渉の方 法を説明できる 3) 実験例につい て目的と結果を考 察できる	行動目標に 示した学術 用語につい て予め参考 資料等で下 調べをして おく	学」 朝倉書店 1997	504 講義 室
5	8/5 (木) (IV)	藤兼	ユニット5 培養細胞の ゲノム編集	哺乳類の培養細胞 を対象としたゲノ ム編集の方法を理 解する	1) 細胞レベルの ゲノム編集につ いて説明できる 2) CRISPR/Cas9 法や TALEN 法な ど現在用いられて いる技術の実際を 説明できる 3) 実験例につ いて目的と結果を考 察できる	行動目標に 示した学術 用語につい て予め参考 資料等で下 調べをして おく		504 講義 室
6	8/5 (木) (V)	日高	ユニット6 遺伝子改変 動物	遺伝子改変動物に ついて理解する	1) 遺伝子改変マ ウスについて説明 できる 2) 遺伝子改変マ ウスを作製する個 体レベルの遺伝子 操作技術について 説明できる 3) 実験例につ いて目的と結果を考 察できる	行動目標に 示した学術 用語につい て予め参考 資料等で下 調べをして おく		504 講義 室

## B-2. 神経伝導・シナプス伝達解析法

前期6コマ（ユニット1～3：1単位）

評価責任者：藤田亜美

〔担当教員〕  
藤田亜美

〔一般目標〕

細胞外電位記録法やパッチクランプ法を用いてニューロンの電気的な活動を記録することで、神経線維における活動電位の伝導やシナプス伝達が生体内外の生理活性物質によりどのように変化するかを解析する一連の研究方法を、痛み情報の伝達を例として理解する。

〔授業到達目標〕

1. 神経線維における活動電位の伝導やシナプス伝達について説明できる。
2. 疼痛や鎮痛に関する基礎医学的な内容について説明できる。
3. 細胞外電位記録法やパッチクランプ法を用いたニューロンの電気的な活動の測定について説明できる。

〔教科書・参考書〕

B. Alberts 他著／中村桂子 他監訳「Essential 細胞生物学」原書第4版 南江堂 2016（参考書）

〔成績評価の方法・基準〕

出席とレポートにより、総合的に評価する。

回	授業日時	授業者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 2	8/4 (水) 4,5限	藤田	ユニット1 神経伝導と シナプス伝 達	神経線維にお ける活動電位 の伝導やシナ プス伝達を理 解する。	末梢から中枢へ の感覚情報の伝 達方法について 説明できる。	参考書の該 当部分を読 んでおく。	プリント 資料	501 講義 室
3 ～ 4	8/11 (水) 4,5限	藤田	ユニット2 痛み情報の 伝達	疼痛や鎮痛に 関する基礎医 学的な内容を 理解する。	痛み情報の伝達 経路や鎮痛作用 を説明できる。	参考書の該 当部分を読 んでおく。	プリント 資料	501 講義 室
5 ～ 6	8/18 (水) 4,5限	藤田	ユニット3 細胞外電位 記録法とパ ッチクラン プ法	細胞外電位記 録法とパッチ クランプ法の 基礎知識を理 解する。	細胞外電位記録 法やパッチクラ ンプ法の実験方 法について説明 できる。	参考書の該 当部分を読 んでおく。	プリント 資料	501 講義 室

## B-3. タンパク質機能解析法

後期6コマ（ユニット1～5：1単位）  
評価責任者：岡部幸司

### 〔担当教員〕

岡部幸司、鍛冶屋 浩、進 正史

### 〔一般目標〕

遺伝子発現に重要な役割を担う転写因子とプロモーターの関係について、その活性化機構と機能について理解する。

### 〔教育方法〕

細胞生理学分野研究室、及び口腔医学研究センターと再生医学研究センターでの実習

### 〔評価〕

実習での習熟度評価とレポート提出による評価

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料
1	11/10 (水) IV	岡部 鍛冶屋 進	ユニット1 転写因子とプロモーターの基本 概念	転写因子の活性化 および制御機構に ついて理解する。	転写因子とプロモ ーターの関係につ いて説明できる。	配付資料の 事前学習	スライド プリント資料
2	11/10 (水) V	鍛冶屋 進 岡部	ユニット2 転写因子のため の細胞内導入と その効率の測定	転写因子の活性化 および制御機構に ついて理解する。	・転写因子の活性化 および制御機構につ いて説明できる。 ・実際に、サイトカ インで細胞を刺激し 解析できる。	配付資料の 事前学習	スライド プリント資料
3	11/11 (木) IV	鍛冶屋 進 岡部	ユニット3 転写因子による プロモーター活 性の測定	転写因子によるプ ロモーター活性の 測定について理解 する。	サイトカインで刺激 した細胞のタンパク 質を精製し、Western Blot 法で転写因子の 活性化を測定でき る。	前回の実験結 果のまとめ	スライド プリント資料
4	11/11 (木) V	鍛冶屋 進 岡部				配付資料の 事前学習	
5	11/12 (金) IV	鍛冶屋 進 岡部	ユニット4 転写活性測定法	転写活性測定法の 原理と測定の仕組 みを理解できる。	ルシフェラーゼアッ セイの原理や測定法 を説明し、応用でき る。	前回までの実 験結果のまと め	スライド プリント資料
6	11/12 (金) V	岡部 鍛冶屋 進	ユニット5 転写因子の機能 解析と結果のま とめ	転写因子の活性化 と機能との関連性 を理解できる。	転写因子の機能解析 をアポトーシスで検 討し、応用できる。	配付資料の 事前学習	スライド プリント資料

## B-4. 遺伝子発現解析法

前期7コマ (ユニット1~3 : 1単位)

評価責任者: 八田 光世

### 〔担当教員〕

八田光世、長岡良礼、武石幸容

### 〔一般目標〕

細胞核におけるクロマチンと遺伝子発現制御の分子機構とその解析方法を理解する。

### 〔授業到達目標〕

- ・クロマチン構造と化学修飾について説明できる。
- ・遺伝子発現とクロマチン修飾との関係について説明できる。
- ・クロマチン免疫沈降法の原理・実験手技について説明できる。
- ・実験データに基づいた論理的な考察をすることができる。

### 〔教科書・参考書〕

田村隆明、浦聖恵 編著

「遺伝子発現制御機構 クロマチン、転写制御、エピジェネティクス」 東京化学同人 2017

B. Alberts 他著/中村桂子 他監訳

「Essential 細胞生物学」原書第4版 南江堂 2016

### 〔成績評価の方法・基準〕

講義・実習態度と口頭試問により、総合的に評価する。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料
1	7/26 (月) IV	八田 長岡 武石	ユニット1 クロマチンと 遺伝子発現制 御	クロマチン環境にお ける遺伝子発現制御 の分子機構について 理解する。	1) クロマチン構造、そ の化学修飾について 説明できる。 2) 遺伝子発現とクロマ チン修飾との関係を 説明できる。	配布資料	スライド プリント資料
			ユニット2 クロマチン免 疫沈降法の原 理	クロマチン免疫沈降 法について理解す る。	1) クロマチン免疫沈降 法の原理・実験手技 を説明できる。		
2	7/26 (月) V	八田 長岡 武石	ユニット3 ヒストン修飾 認識抗体を用 いたクロマチ ン免疫沈降法	クロマチン免疫沈降 法による特定ゲノム 領域のヒストン修飾 の検出について理解 する。	1) 細胞から断片化クロ マチンを調製でき る。	配布資料	スライド プリント資料
3	7/27 (火) IV				2) 断片化クロマチンと ヒストン修飾認識抗 体とを用いた免疫沈 降ができる。		
4	7/27 (火) V				3) 免疫沈降複合体から DNAを精製できる。		
5	7/28 (水) III				4) リアルタイムPCRに より特定ゲノム領域 のヒストン修飾状態 を評価する。		

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の 項目	媒体・参考資 料
6	7/28 (水) IV				5) 得られたデータを解 析し、結果を考察で きる。		
7	7/28 (水) V						

## B-5. 組織細胞培養法

後期9コマ（ユニット1～3：1単位）

評価責任者：日高真純

### 〔担当教員〕

日高真純、田中芳彦、大野純

### 〔一般目標〕

組織や細胞を試験管内で培養する基礎的な知識と技術、そしてその解析法を習得する。

### 〔教育方法〕

講義および実習

### 〔成績評価の方法・基準〕

講義・実習態度と提出レポートにより評価する。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の 項目	媒体・ 参考資料	場所
1	9/7 (火) III	日高	ユニット1 細胞培養の 概要	細胞培養の一般 的な知識を理解 する。	1) 細胞培養の原理を説明 できる。 2) 細胞の継代培養ができ る。 3) 細胞の数を計測できる。 4) 増殖細胞の倍加時間を 測定できる。	細胞株とは どのような 特徴を持つ 細胞のこと か調べてお く。	スライド プリント 資料	504 教室
2	9/7 (火) IV							
3	9/7 (火) V							
4	9/14 (火) III	田中	ユニット2 組織由来の 細胞培養	組織由来の細胞 の解析方法を理 解する。	1) 免疫系組織の細胞を説 明できる。 2) 免疫系組織からリンパ 球を分離する方法につ いて説明できる。 3) リンパ球の細胞培養が できる。 4) フローサイトメトリー の原理を説明できる。	免疫系の細胞 にはどのよ うな種類の 細胞がある のか調べて おく。	スライド プリント 資料	504 教室
5	9/14 (火) IV							
6	9/14 (火) V							
7	9/21 (火) III	大野	ユニット3 がん細胞の 培養	がん細胞の薬物 感受性の測定法 を理解する。	1) がん細胞の特性を説明 できる。 2) 抗癌剤あるいは ROS 刺 激に対するがん細胞の 抵抗性を説明できる。	ユニット 2,3の方法 を復習す る。口腔扁 平上皮癌に ついて調べ ておく。	スライド プリント 資料	口腔医 学研究 センタ ー
8	9/21 (火) IV							
9	9/21 (火) V							



## 令和3年度授業科目細目



## 総合歯科学講義①

前期15コマ (ユニット1: 2単位)  
評価責任者: 米田雅裕

**〔担当教員〕**

米田雅裕、畠山純子

**〔一般目標〕**

効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合診療計画の立案に必要な能力を身につける。

**〔授業到達目標〕**

1. 適切で十分な医療情報を収集し、基本的な診療・検査を実施、判断する

**〔教科書・参考書〕**

廣藤卓雄 他監修「新臨床研修歯科医ハンドブック」医歯薬出版株式会社 2018年  
総合歯科症例集

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点 60%。レポート点 40%。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	【前期】 4～6月 月、木 10:35- 11:55	米田雅裕 畠山純子	ユニット1 診察・検査	適切で十分な医療情報を収集し、基本的な診療・検査を実施、判断する	必要な医療情報を列挙する	各自、関連図書・配布資料をあらかじめ読んでおく	上記の教科書・参考書 欄参照	総合歯科カンファレンス室 総合歯科診療室
2	【前期】 4～6月 月、木 10:35- 11:55				医療情報を十分に収集する			
3	【前期】 4～6月 月、木 10:35- 11:55				患者の症状を把握するための視診、触診、打診、聴診をする			
4	【前期】 4～6月 月、木 10:35- 11:55				エックス線写真を正しく撮影する			
5	【前期】 4～6月 月、木 10:35- 11:55				口腔内写真を正しく撮影する			

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
6	【前期】 4～6月 月、木 10:35- 11:55				スタディモデルを作 製する			
7	【前期】 4～6月 月、木 10:35- 11:55	米田雅裕 畠山純子	ユニット1 診察・検査	適切で十分な医療 情報を収集し、基本 的な診療・検査を実 施、判断する	歯牙硬組織疾患の状 態を判断する	各自、関連図 書・配布資料を あらかじめ読ん でおく	上記の教科 書・参考書 欄参照	総合歯科カ ンファレン ス室
8	【前期】 4～6月 月、木 10:35- 11:55				歯周組織疾患の状態 を診断する			
9	【前期】 4～6月 月、木 10:35- 11:55				不正咬合状態を判断 する			
10	【前期】 4～6月 月、木 10:35- 11:55				口腔内、口腔外の視 診、触診、打診、聴診 から疾患の状態を判 断する			
11	【前期】 4～6月 月、木 10:35- 11:55				エックス線写真から 正常像、異常像を判 断する			
12	【前期】 4～6月 月、木 10:35- 11:55				スタディモデルを分 析する			
13	【前期】 4～6月 月、木 10:35- 11:55				歯牙硬組織疾患の状 態を判断する			

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
14	【前期】 4～6月 月、木 10:35- 11:55				歯周組織疾患の状態 を診断する			
15	【前期】 4～6月 月、木 10:35- 11:55				不正咬合状態を判断 する			

## 総合歯科学講義②

後期15コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：米田雅裕

### 〔担当教員〕

米田雅裕、畠山純子

### 〔一般目標〕

効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合診療計画の立案に必要な能力を身につける。

### 〔授業到達目標〕

1. 得られた情報から診断する
2. 適切と思われる治療法および別の選択肢を提示し患者の自己決定を確認し、治療計画を作成する

### 〔教科書・参考書〕

廣藤卓雄 他監修「新臨床研修歯科医ハンドブック」医歯薬出版株式会社 2018年  
総合歯科症例集

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点 60%。レポート点 40%。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	【前期】 7月 月、木 10:35- 11:55	米田雅裕 畠山純子	ユニット 2 診断	得られた情報から 診断する	口腔粘膜、軟組織疾患を診断する	各自、関連図書・配布資料をあらかじめ読んでおく	上記の教科書・参考書欄参照	総合歯科カ ンファレン ス室
2	【前期】 7月 月、木 10:35- 11:55				顎の炎症性疾患を診断する			
3	【前期】 7月 月、木 10:35- 11:55				歯牙硬組織疾患を診断する			
4	【前期】 7月 月、木 10:35- 11:55				歯周組織疾患を診断する			
5	【前期】 7月 月、木 10:35- 11:55				不正咬合を診断する			
6	【後期】 10～2月 月、木 10:35- 11:55	米田雅裕 畠山純子	ユニット 3 治療計画の 立案	適切と思われる治療法および別の選択肢を提示し患者の自己決定を確認し、治療計画を作成する。	口腔粘膜、軟組織疾患に対して治療法を立案する	各自、関連図書・配布資料をあらかじめ読んでおく。	上記の教科書・参考書欄参照	総合歯科カ ンファレン ス室  総合歯科診 療室
7	【後期】 10～2月 月、木 10:35- 11:55				顎の炎症性疾患に対して治療法を立案する			
8	【後期】 10～2月 月、木 10:35- 11:55				歯牙硬組織疾患に対して治療法を立案する			

回	授業日時	授業者 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
9	【後期】 10～2月 月、木 10:35- 11:55	米田雅裕 島山純子			歯周組織疾患に対して治療法を立案する			
10	【後期】 10～2月 月、木 10:35- 11:55				不正咬合に対して治療法を立案する			
11	【後期】 10～2月 月、木 10:35- 11:55				適切な治療法をすべて患者に提示する			
12	【後期】 10～2月 月、木 10:35- 11:55				患者の自己決定を尊重する			
13	【後期】 10～2月 月、木 10:35- 11:55				患者の自己決定を確認する			
14	【後期】 10～2月 月、木 10:35- 11:55				患者の QOL に配慮する			
15	【後期】 10～2月 月、木 10:35- 11:55				一口腔単位の治療計画を作成する			

# 総合歯科学実習①

前期30コマ (実習1:2単位)  
評価責任者: 米田雅裕

〔担当教員〕

米田雅裕、畠山純子

〔一般目標〕

1. 口腔健診について、基本的な理論を理解し習得する。
2. 口腔健診の実際を、症例を検討しながら習得する。
3. 効果的で効率の良い口腔健診を行うために必要な能力を身につける。

〔授業到達目標〕

1. 口腔健診に関する基本的な知識を理解する。
2. 口腔健診における全身所見の確認、口腔外検査、口腔内検査について理解を深める。

〔教科書・参考書〕

参考書

小川智久監著 日本歯科人間ドック学会編著「新・歯科人間ドック 基本マニュアル」クインテッセンス出版株式会社 2013年

〔成績評価の方法・基準〕

出席点 40%。実習点 60%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 3	【前期】 4,5月 火、水 13:00- 17:30	米田雅裕 畠山純子	実習1・ 口腔健診の 診察	口腔健診に関する 基本的な知識を理 解する	口腔健診に関する基 本的な知識を習得す る	各自、関連図 書・研究論文を あらかじめ読ん でおく	上記の教科 書・参考書 欄参照	総合歯科学 講座研究室  口腔健診セ ンター
4 ～ 6					口腔健診を見学し、診 療の流れを習得する			
7 ～ 9					各種測定機器の原理、 測定法を習得する			
10 ～ 12					口腔健診の診査を理 解し、習得する			
13 ～ 15					検査結果をもとに診 断する			
16 ～ 18					口腔健診での全身所 見についての基本的 な知識を理解する			
19 ～ 21					口腔健診での口腔外 所見について基本的 知識を理解する			
22 ～ 24					口腔健診での口腔内 所見について基本的 知識を理解する			
25 ～ 27					口腔健診の検査結果 の解析方法について 理解する			
28 ～ 30					口腔健診に関連する 英語論文のプレゼン テーションを行う			



## 総合歯科学実習②

前期30コマ (実習2: 2単位)  
評価責任者: 米田雅裕

**〔担当教員〕**

米田雅裕、畠山純子

**〔一般目標〕**

1. 口臭の原因や検査・診断法について、基本的な理論を理解し習得する。
2. 診療計画の立案と提示の実際を、症例を検討しながら習得する。
3. 効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合診療計画の立案に必要な能力を身につける。

**〔授業到達目標〕**

1. 口臭と口腔内細菌との関係を理解する。
2. 歯科心身症としての口臭症、全身疾患由来の口臭について理解を深める。

**〔教科書・参考書〕**

参考書

八重垣 健編「臨床家のための口臭治療のガイドライン」クインテッセンス出版株式会社 2000年

梅本俊夫 他編「図説口腔微生物学」学建書院 2004年

総合歯科細菌実験集

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点 40%。実習点 60%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所				
1 ～ 3	【前期】 6,7月 火、水 13:00- 17:30	米田雅裕 畠山純子	実習2・ 口臭と口腔 内細菌	口臭と口腔内細菌 との関係を理解す る	口臭と口腔内細菌の関 係について基本的な知 識を習得する	各自、関連図 書・研究論文を あらかじめ読ん でおく	上記の教科 書・参考書 欄参照	総合歯科学 講座研究室  口臭クリニ ック				
4 ～ 6									嫌気性菌培養のための 培地を作製し、 <i>Porphyromonas gingivalis</i> を凍結保存株から培養 する			
7 ～ 9									<i>Porphyromonas gingivalis</i> 培養液を希釈してガス クロマトグラフィーで 測定する			
10 ～ 12									口臭を測定直後、唾液を 培地に塗布して嫌気培 養する			
13 ～ 15									培地に生えたコロニー を数種類選び、液体培地 に移して嫌気培養する			
16 ～ 18									コロニーの種類による VSC 産生量の違いを調 べる			
19 ～ 21									口臭を測定直後、唾液を 採取し、唾液から細菌 DNAを抽出する	各自、関連図 書・研究論文を あらかじめ読ん でおく	上記の教科 書・参考書	総合歯科学 講座研究室  口臭クリニ ック
22 ～ 24									唾液より抽出した DNA を鋳型に用いて、歯周病 細菌を PCR 検出する			
25 ～ 27									口臭・口腔細菌に関連す る英語論文の発表を行 う			
28 ～ 30									口臭に関連する英語論 文の発表を行う			

## 総合歯科学実習③

後期30コマ (実習3 : 2単位)  
評価責任者 : 米田雅裕

**〔担当教員〕**

米田雅裕、畠山純子

**〔一般目標〕**

1. 口臭の原因や検査・診断法について、基本的な理論を理解し習得する。
2. 診療計画の立案と提示の実際を、症例を検討しながら習得する。
3. 効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合診療計画の立案に必要な能力を身につける。

**〔授業到達目標〕**

1. 歯科心身症としての口臭症、全身疾患由来の口臭について理解を深める。
2. 診療計画の立案と提示の実際を、症例を検討しながら習得する。

**〔教科書・参考書〕**

参考書

八重垣 健編「臨床家のための口臭治療のガイドライン」クインテッセンス出版株式会社 2000年  
梅本俊夫 他編「図説口腔微生物学」学建書院 2004年  
総合歯科症例集

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点 40%。実習点 60%

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
1 ~ 3	【後期】 10~2月 月 13:00~ 17:30	米田雅裕 畠山純子	実習3・ 口臭治療	診療計画の立案と 提示の実際を、症 例を検討しながら 習得する	総合初診コーナーを担当し、医療面接、情報の収集、治療計画の立案を行う	各自、関連図 書・研究論文を あらかじめ読んでおく	上記の教科 書・参考書 欄参照	総合歯科学 講座研究室  口臭クリニ ック
4 ~ 6			前回の症例について総合歯科の症例カンファレンスで発表し、検討する					
7 ~ 9			総合初診コーナーを担当し、医療面接、情報の収集、治療計画の立案を行う					
10 ~ 12			前回の症例について総合歯科の症例カンファレンスで発表し、検討する					
13 ~ 15			総合初診コーナーを担当し、医療面接、情報の収集、治療計画の立案を行う					
16 ~ 18			前回の症例について総合歯科の症例カンファレンスで発表し、検討する					
19 ~ 21			総合初診コーナーを担当し、医療面接、情報の収集、治療計画の立案を行う					
22 ~ 24			前回の症例について総合歯科の症例カンファレンスで発表し、検討する					

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
25 ～ 27	【後期】 10～2月 月 13:00～	米田雅裕 島山純子	実習3・ 口臭治療	診療計画の立案と 提示の実際を、症 例を検討しながら 習得する	総合初診コーナーを担 当し、医療面接、情報の 収集、治療計画の立案を 行う	各自、関連図 書・研究論文を あらかじめ読ん でおく	上記の教科 書・参考書 欄参照	総合歯科学 講座研究室  口臭クリニ ック
28 ～ 30	17:30				前回の症例について総 合歯科の症例カンファ レンスで発表し、検討す る			

## 高齢者歯科学講義①

前期 15コマ (ユニット1～3 : 2単位)  
評価責任者 : 内藤 徹

**〔担当教員〕**

内藤 徹、梅崎陽二郎、山口真広

**〔一般目標〕**

高齢者の社会的状況および全身の状態を把握し、高齢者に頻発する合併疾患の基本的な理解と対処法を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 高齢社会の問題点を理解する。
- ② 高齢者に多い疾患の病態、病因、治療法、歯科治療上の留意点を理解する。

**〔教科書・参考書〕**

1. 日本老年医学会 編、「老年医学 系統講義テキスト」、西村書店、2013

**〔成績評価の方法・基準〕**

口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日時 限	授 業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 5	前期 4月～ 5月 木曜日 いずれ も5限	内藤 梅崎	ユニット1 超高齢社会の 問題点	日本の高齢社会の社会的現状とその問題点を理解する。	1 高齢者の社会的現状を説明する。 2 高齢者の社会的現状とその問題点を説明する。 3 精神的・心理的要因とその対応を説明する。 4 高齢社会の対応と今後の対策について説明する。	老年医学 系統講義テキストの該当部分に目を通す。	老年医学 系統講義テキスト	高齢者歯科 セミナー室
6 ～ 10	前期 5月～ 6月 木曜日 いずれ も5限	内藤 梅崎 山口	ユニット2 高齢者に頻発する疾患	高齢者に頻発する疾患を理解する。	1 歯科受診時の患者・家族への初期対応を説明する。 2 高齢者に多い全身疾患について文献調査を行う。 3 高齢者に多い全身疾患と口腔との関連を説明する。 4 高齢者に多い全身疾患と口腔との関連を説明する。 5 全身疾患と歯科受診時のリスクについて説明する。	老年医学 系統講義テキストの該当部分に目を通す。	老年医学 系統講義テキスト	高齢者歯科 セミナー室
11 ～ 15	前期 6月～ 7月 木曜日 いずれ も5限	内藤 梅崎 山口	ユニット3 高齢者医療の リスク	高齢者の治療上のリスクとその回避法について理解する。	1 ハイリスク患者の観血的処置時の状況を説明する。 2 全身疾患と歯科処置時の問題点について文献調査を行う。 3 高齢者の口腔ケアと全身的な合併症の関連について文献調査を行う。 4 高齢者の口腔の健康の維持に関する介入	老年医学 系統講義テキストの該当部分に目を通す。	老年医学 系統講義テキスト	高齢者歯科 セミナー室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					研究の文献調査を行う。 5 高齢者の包括的 QOL と 口腔関連 QOL に関する 文献調査を行う。 6 文献調査のまとめを 行い、高齢者に望まれる 歯科医療体制に関する 考察を行う。			

## 高齢者歯科学講義②

後期15コマ（ユニット1～3：2単位）

評価責任者：内藤 徹

### 〔担当教員〕

内藤 徹、梅崎陽二郎、山口真広

### 〔一般目標〕

要介護高齢者の介護上の問題点および全身の状態を把握し、地域の医療機関および多職種と連携して治療にあたるための基礎的な知識と方法を習得する。

### 〔授業到達目標〕

- ①介護保険の概要を理解する。
- ②地域包括ケアシステムを理解する。

### 〔教科書・参考書〕

1. 日本老年医学会 編、「老年医学 系統講義テキスト」、西村書店、2013

### 〔成績評価の方法・基準〕

口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日時	授業者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 5	後期 9月～ 10月 木曜日 いずれ も5限	内藤 梅崎	ユニット1 要介護高齢者の社会的現状とその問題点	要介護高齢者の社会的現状とその問題点を理解する。	1 要介護高齢者の社会的現状を説明する。 2 要介護高齢者に対する社会保障の現状を説明する。 3 訪問看護の現状を説明する。 4 要介護高齢者への対応と今後の対策について説明する。	老年医学 系統講義テキストの該当部分に目を通す。	老年医学 系統講義テキスト	高齢者歯科 セミナー室
6 ～ 10	後期 10月～ 11月 木曜日 いずれ も5限	内藤 梅崎 山口	ユニット2 要介護高齢者への介護と福祉サービス	要介護高齢者に対する医療と福祉を理解する。	1 介護保険制度を説明する。 2 高齢者の長期療養サービスを説明する。 3 福祉サービスを説明する。 4 地域包括ケアシステムを説明する。 5 施設ケアについて説明する。	老年医学 系統講義テキストの該当部分に目を通す。	老年医学 系統講義テキスト	高齢者歯科 セミナー室
11 ～ 15	後期 11月～ 12月 木曜日 いずれ も5限	内藤 梅崎 山口	ユニット3 高齢者の緩和医療と終末期医療	高齢者の緩和医療と終末期医療について理解する。	1 高齢者の緩和医療を説明する。 2 高齢者の終末期医療の重要性について調査を行う。 3 文献調査のまとめを行い、高齢者に望まれる医療体制に関する考察を行う。	老年医学 系統講義テキストの該当部分に目を通す。	老年医学 系統講義テキスト	高齢者歯科 セミナー室

## 高齢者歯科学実習①

前期30コマ（ユニット1～3：2単位）

評価責任者：内藤 徹

〔担当教員〕

内藤 徹、梅崎陽二郎、山口真広

〔一般目標〕

要介護高齢者の歯科診療に必要な介護の基礎的な理論を理解し、介護基本技法を習得する。

〔授業到達目標〕

①訪問歯科診療時に必要な、介護のための基本的な技法を習得する。

〔教科書・参考書〕

1. 内藤徹、秋竹純、牧野路子、水谷慎介：高齢者の歯科診療はじめの一步 介護介助の基本スキル、医歯薬出版、2017
2. 日本老年医学会 編、「老年医学 系統講義テキスト」、西村書店、2013

〔成績評価の方法・基準〕

実習時の行動観察 60%、レポート 40%

回	授業日時	授業者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 5	前期 4月～ 5月 水曜日 10 いずれ も1、2 限	内藤 梅崎 山口	ユニット1 認知症高齢者 とのコミュニ ケーション	認知症高齢者とのコミュニケーション法を理解する。	1 認知症高齢者との言語的コミュニケーションを行う。 2 認知症高齢者との非言語的コミュニケーションを行う。 3 認知症高齢者に脱感作法を実施する。	高齢者の歯科診療はじめの一步 介護介助の基本スキル テキストの該当部分に目を通す。	高齢者の歯科診療はじめの一步 介護介助の基本スキル	高齢者 歯科 外来診療室 保健福祉短 大介護実習 室 関連老健施 設
6 ～ 10	前期 5月～ 6月 水曜日 10 いずれ も1、2 限	内藤 梅崎 山口	ユニット2 要介護高齢者 の身体介助	要介護高齢者のベッドからの移乗や歩行介助、食事介助を実施する。	1 要介護高齢者のベッドからの移乗ができる。 2 要介護高齢者の歩行介助ができる。 3 要介護高齢者の食事介助ができる。	高齢者の歯科診療はじめの一步 介護介助の基本スキル テキストの該当部分に目を通す。	高齢者の歯科診療はじめの一步 介護介助の基本スキル	高齢者 歯科 外来診療室 保健福祉短 大介護実習 室 関連老健施 設
11 ～ 15	前期 6月～ 7月 水曜日 10 いずれ も1、2 限	内藤 梅崎 山口	ユニット3 要介護高齢者 の口腔ケア	要介護高齢者の口腔ケアができる。	1 要介護高齢者の口腔ケアができる。	高齢者の歯科診療はじめの一步 介護介助の基本スキル テキストの該当部分に目を通す。	高齢者の歯科診療はじめの一步 介護介助の基本スキル	高齢者 歯科 外来診療室 保健福祉短 大介護実習 室 関連老健施 設

11～20

21～30

## 高齢者歯科学実習②

後期30コマ（ユニット1：2単位）  
評価責任者：内藤 徹

### 〔担当教員〕

内藤 徹、梅崎陽二郎、山口真広

### 〔一般目標〕

要介護高齢者に対応した、施設における歯科治療の技法を修得する。

### 〔授業到達目標〕

①訪問歯科診療時に必要な、要介護高齢者に対応した歯科治療の基本的な技法を習得する。

### 〔教科書・参考書〕

1. 内藤徹、秋竹純、牧野路子、水谷慎介：高齢者の歯科診療ははじめの一步 介護介助の基本スキル、医歯薬出版、2017
2. 日本老年医学会 編、「老年医学 系統講義テキスト」、西村書店、2013

### 〔成績評価の方法・基準〕

実習時の行動観察 60%、レポート 40%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ~ 30	後期 9月~ 10月 いずれ も1~ 5限	内藤 梅崎 山口	ユニット1 有病高齢者の 歯科診療	有病高齢者に対して 実際の施設等での歯 科的対応を理解し修 得する。	1. 実際の施設等での歯 科的対応を理解する。 2. 施設における患者の 生活状況を説明する。 3. 施設での口腔ケア等 の取り組みを説明す る。 4. 施設での歯科診療の 実際を理解し、習得す る。 5. 重度認知症を有する 要介護高齢者の歯科 診療の実際を理解 し、習得する。 6. 神経筋疾患を有する 要介護高齢者の歯科 診療の実際を理解 し、習得する。	高齢者の歯科診療 はじめの一步 介護 介助の基本スキル 老年医学 系統講 義 テキストの該当部 分に目を通す。	高齢者の歯 科診療はじ めの一步 介護介助の 基本スキル 老年医学 系統講義テ キスト	高齢者 歯科 外来診療室 保健福祉短 大介護実習 室 関連老健施 設



## 高齢者歯科学実習③

後期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：内藤 徹

**〔担当教員〕**

内藤 徹、梅崎陽二郎、山口真広

**〔一般目標〕**

要介護高齢者に対応した摂食嚥下障害の評価とリハビリテーションの技法を修得する。

**〔授業到達目標〕**

- ①嚥下内視鏡の操作と読影ができる。
- ②ビデオ嚥下造影の読影ができる。
- ③嚥下リハビリテーションの手技を実施できる。

**〔教科書・参考書〕**

1. 植松 宏監修、「訪問歯科診療ではじめる 摂食・嚥下障害へのアプローチ」、医歯薬出版、2007

**〔成績評価の方法・基準〕**

実習時の行動観察 60%、レポート 40%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 15	後期 10月 ～11 月 いずれ も3, 4, 5限	内藤 梅崎 山口	ユニット1 摂食嚥下障害 の評価	摂食嚥下障害の評価 を実施する。	1. 摂食嚥下障害患者の スクリーニングを行 うことができる。 2. 摂食嚥下障害患者の 内視鏡検査を実施す ることができる。 3. 摂食嚥下障害患者の ビデオ嚥下造影を読 影することができる。	訪問歯科診療では じめる 摂食・嚥 下障害へのアプロ ーチ テキストの該当部 分に目を通す。	訪問歯科診 療ではじめ る 摂食・嚥 下障害への アプローチ	高齢者 歯科 外来診療室 保健福祉短 大介護実習 室 関連老健施 設
16 ～ 30	後期 11月 ～1月 いずれ も3,4,5 限	内藤 梅崎 山口	ユニット2 摂食嚥下障害 のリハビリテ ーション	摂食嚥下障害患者の リハビリテーショ ンを実施する。	1. 摂食嚥下障害患者の 間接訓練を行うこと ができる。 2. 摂食嚥下障害患者の 直接訓練を行うこと ができる。 3. 摂食嚥下障害患者の リハビリテーショ ン後の評価を行うこと ができる。	訪問歯科診療では じめる 摂食・嚥 下障害へのアプロ ーチ テキストの該当部 分に目を通す。	訪問歯科診 療ではじめ る 摂食・嚥 下障害への アプローチ	高齢者 歯科 外来診療室 保健福祉短 大介護実習 室 関連老健施 設

## 訪問歯科・全身管理歯科学講義①

前期15コマ（ユニット1～3：2単位）

評価責任者：森田浩光

**〔担当教員〕**

森田浩光、牧野路子

**〔一般目標〕**

全身疾患を有する患者を安全に診療するために、歯科治療を行う際に留意すべき主な全身疾患の基本的な理解と対処法を修得する。

**〔授業到達目標〕**

歯科治療を行う際に留意すべき主な全身疾患の病態、病因、治療方法、歯科治療上の留意点を理解する。

**〔教科書・参考書〕**

1. 今井 裕、岩渕博史 監修「有病者歯科学」永末書店 2018
2. 西田百代 監修 「有病高齢者歯科治療のガイドライン（上・下）」 クインテッセンス出版 2013

**〔成績評価の方法・基準〕**

口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 4	前期 4月～ 5月 木曜	森田 牧野	ユニット1 全身状態の評価法	全身状態を把握するために評価法を理解する。	1 全身状態を把握する評価法を説明する。 2 検体検査について説明する。 3 生体機能検査について説明する。	有病者歯科学の該当部分に目を通す。	有病者歯科学	総合歯科カンファレンス室
5 ～ 9	前期 5月～ 6月 木曜	森田 牧野	ユニット2 循環器疾患1	歯科治療を行う際に留意すべき疾患を理解する。	1 高血圧症の病態、病因、治療方法を説明する。 2 高血圧症の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。 3 不整脈の病態、病因、治療方法を説明する。 4 不整脈の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。 5 虚血性心疾患の病態、病因、治療方法を説明する。 6 虚血性心疾患の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。	該当部分に目を通す。	有病者歯科学 有病高齢者歯科治療のガイドライン	総合歯科カンファレンス室
10 ～ 13	前期 7月 木曜	森田 牧野	ユニット3 循環器疾患2	歯科治療を行う際に留意すべき疾患を理解する。	1 心臓弁膜症・感染性心内膜炎の病態、病因、治療方法を説明する。 2 心臓弁膜症・感染性心内膜炎の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。 3 心不全の病態、病因、治療方法を説明する。 4 心不全の歯科治療時のリスク・偶発症への	該当部分に目を通す。	有病者歯科学 有病高齢者歯科治療のガイドライン	総合歯科カンファレンス室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
					対処法を説明する。			
14 ～ 15	前期 8月 第2、 4木曜	森田 牧野	ユニット4 代謝性疾患	歯科治療を行う際に 留意すべき疾患を理 解する。	1 糖尿病の病態、病因、 治療方法を説明する。 2 糖尿病の歯科治療時 のリスク・偶発症への 対処法を説明する。	該当部分に目を通 す。	有病者歯科 学 有病高齢者 歯科治療の ガイドライ ン	総合歯科カ ンファレン ス室

## 訪問歯科・全身管理歯科学講義②

後期15コマ（ユニット1～6：2単位）

評価責任者：森田浩光

**〔担当教員〕**

森田浩光、牧野路子

**〔一般目標〕**

全身疾患を有する患者を安全に診療するために、歯科治療を行う際に留意すべき主な全身疾患の基本的な理解と対処法を修得する。

**〔授業到達目標〕**

歯科治療を行う際に留意すべき主な全身疾患の病態、病因、治療方法、歯科治療上の留意点を理解する。

**〔教科書・参考書〕**

1. 今井 裕、岩渕博史 監修「有病者歯科学」永末書店 2018
2. 西田百代 監修 「有病高齢者歯科治療のガイドライン（上・下）」 クインテッセンス出版 2013

**〔成績評価の方法・基準〕**

口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 5	後期 9月～ 10月 第2、 4木曜	森田 牧野	ユニット1 脳血管疾患	歯科治療を行う際に留意すべき疾患を理解する。	1 脳卒中の病態、病因、治療方法を説明する。 2 脳卒中の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。	該当部分に目を通す。	有病者歯科学 有病高齢者歯科治療のガイドライン	総合歯科カンファレンス室
6 ～ 7	後期 11月 第2,4 木曜	森田 牧野	ユニット2 内分泌疾患	歯科治療を行う際に留意すべき疾患を理解する。	1 甲状腺疾患の病態、病因、治療方法を説明する。 2 甲状腺疾患の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。	該当部分に目を通す。	有病者歯科学 有病高齢者歯科治療のガイドライン	総合歯科カンファレンス室
8 ～ 9	後期 12月 第2、 4木曜	森田 牧野	ユニット3 腎疾患	歯科治療を行う際に留意すべき疾患を理解する。	1 慢性腎臓病の病態、病因、治療方法を説明する。 2 慢性腎臓病の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。	該当部分に目を通す。	有病者歯科学 有病高齢者歯科治療のガイドライン	総合歯科カンファレンス室
10 ～ 11	後期 1月 第2、 4木曜	森田 牧野	ユニット4 肝疾患	歯科治療を行う際に留意すべき疾患を理解する。	1 肝疾患の病態、病因、治療方法を説明する。 2 肝疾患の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。	該当部分に目を通す。	有病者歯科学 有病高齢者歯科治療のガイドライン	総合歯科カンファレンス室
12 ～ 13	後期 2月 第2、 4木曜	森田 牧野	ユニット5 精神・心身医学疾患	歯科治療を行う際に留意すべき疾患を理解する。	1 認知症の病態、病因、治療方法を説明する。 2 認知症の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。 3 歯科心身症の病態、病因、治療方法を説明する。	該当部分に目を通す。	有病者歯科学 有病高齢者歯科治療のガイドライン	総合歯科カンファレンス室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
					る。 4 歯科心身症の歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。			
14 ～ 15	後期 3月 第2、 4木曜	森田 牧野	ユニット6 がん	歯科治療を行う際に留意すべき疾患を理解する。	1 がんの病態、病因、治療方法を説明する。 2 がんの歯科治療時のリスク・偶発症への対処法を説明する。	該当部分に目を通す。	有病者歯科学 有病高齢者 歯科治療の ガイドライ ン	総合 歯科 カ ンファレン ス室

## 訪問歯科・全身管理歯科学実習①

前期30コマ (実習1:2単位)

評価責任者: 森田浩光

**〔担当教員〕**

森田浩光、牧野路子、堤 貴司

**〔一般目標〕**

全身疾患を有する患者を安全に診療するために、全身疾患および病期に配慮した歯科診療の能力を身につける。

**〔授業到達目標〕**

1. 歯科訪問診療を行う際に留意すべき主な全身疾患の病態、病因、治療方法、歯科治療上の留意点を理解する。
2. 多職種連携を理解する。

**〔教科書・参考書〕**

1. 今井 裕、岩淵博史 監修「有病者歯科学」永末書店 2018
2. 西田百代 監修 「有病高齢者歯科治療のガイドライン (上・下)」 クインテッセンス出版 2013

**〔成績評価の方法・基準〕**

口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
1 ～ 30	前期 水・金曜 13:00-17:30	森田 牧野 堤	実習1 歯科訪問診療 (高齢者介護 施設)	歯科訪問診療を行う ために必要な知識・技 能・態度を修得する。	1 全身状態の評価法を 列挙する。 2 症例に応じた医療情 報を選択する。 3 必要に応じた医療情 報を収集する。 4 歯科訪問診療を実践 する。	関連図書・研究論 文をあらかじめ読 んでおく	上記の教科 書・参考書を 参照	訪 問 歯 科 セ ン タ ー 医 局 ・ 高 齢 者 介 護 施 設

## 訪問歯科・全身管理歯科学実習②

前期30コマ (実習2: 2単位)

評価責任者: 森田浩光

**〔担当教員〕**

森田浩光、牧野路子、堤 貴司

**〔一般目標〕**

全身疾患を有する患者を安全に診療するために、全身疾患および病期に配慮した歯科診療の能力を身につける。

**〔授業到達目標〕**

1. 訪問歯科治療を行う際に留意すべき主な全身疾患の病態、病因、治療方法、歯科治療上の留意点を理解する。
2. 多職種連携を理解する。

**〔教科書・参考書〕**

1. 今井 裕、岩渕博史 監修「有病者歯科学」永末書店 2018
2. 西田百代 監修 「有病高齢者歯科治療のガイドライン(上・下)」 クインテッセンス出版 2013

**〔成績評価の方法・基準〕**

口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
1 ～ 30	前期 火・金曜 9:00-12:00	森田 牧野 堤	実習2 訪問歯科(地 域密着型急性 期・慢性期)	地域包括ケアシステムの中で歯科訪問診療を行うために必要な知識・技能・態度を修得する。	1 全身状態の評価法を 列挙する。 2 症例に応じた医療情 報を選択する。 3 必要に応じた医療情 報を収集する。 4 歯科訪問診療・口腔ケ アを実践する	関連図書・研究論 文をあらかじめ読 んでおく	上記の教科 書・参考書を 参照	訪 問 歯 科 セ ン タ ー 医 局 ・ 福 西 会 病 院 ・ サ ン シ ャ イ ン プ ラ ザ

## 訪問歯科・全身管理歯科学実習③

後期30コマ（実習3：2単位）

評価責任者：森田浩光

**〔担当教員〕**

森田浩光、牧野路子、堤 貴司

**〔一般目標〕**

全身疾患を有する患者を安全に診療するために、全身疾患および病期に配慮した歯科診療の能力を身につける。

**〔授業到達目標〕**

1. 歯科治療を行う際に留意すべき主な全身疾患の病態、病因、治療方法、歯科治療上の留意点を理解する。
2. 多職種連携を理解する。

**〔教科書・参考書〕**

1. 今井 裕、岩淵博史 監修「有病者歯科学」永末書店 2018
2. 西田百代 監修 「有病高齢者歯科治療のガイドライン（上・下）」 クインテッセンス出版 2013

**〔成績評価の方法・基準〕**

口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
1 ～ 30	後期 火・木曜 9:00-12:00	森田 牧野 堤	実習3 全身管理歯科 (外来・在宅)	実際の症例で診療計画を立案し、検討する。	1 実際の症例で、医療面接・情報収集・治療計画の立案をする。 2 訪問歯科センターの症例カンファレンスで治療計画を発表する。 3 計画した治療計画を実施する。	関連図書・研究論文をあらかじめ読んでおく	上記の教科書・参考書を参照	訪問歯科センター医局・病院 3F 外来診療室・居宅



## 歯科保存学講義①

前期15コマ（ユニット1～10：2単位）

評価責任者：阿南 壽

### 〔担当教員〕

阿南 壽

### 〔一般目標〕

歯髄および根尖部歯周組織における炎症の増悪化および創傷治癒におけるサイトカイン、増殖因子の関連性について理解するとともに、これらに関する英語文献を抄読し討論することにより、最新の生物学的歯内治療学に関する基礎的知識を習得する。

### 〔授業到達目標〕

- ①歯髄および根尖性歯周組織疾患の発症機序を免疫学的に説明できる。
- ②歯髄および根尖性歯周組織疾患の創傷治癒とサイトカインネットワークについて説明できる。

### 〔教科書・参考書〕

1. Journal of Endodontics
2. International Endodontic Journal
3. Journal of Periodontal Research
4. 日本炎症・再生医学会雑誌 炎症・再生
5. エンドのための重要20キーワードベスト240論文 2015 クインテッセンス出版

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点40%、レポート60%、レポートの評価の基準は、各テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	前期 4月、 5月 木曜日 16:00	阿南 壽	ユニット1 歯髄および 根尖部歯周 組織の形態 学的特徴	歯髄および根尖性 歯周組織疾患の免 疫学的発症機序に ついて理解する。	歯髄および根尖部歯 周組織の形態学的特 徴を説明できる。	「エンドのため の重要20キー ワードベスト240 論文」を用いて 関連事項をノー トに整理する。	「エンドの ための重要 20キーワー ドベスト240 論文」  Journal of Endodontics	歯科保存学 分野セミナ ー室
2	～ 17:20	阿南 壽	ユニット2 歯髄の免疫 担当細胞		歯髄における免疫担 当細胞を説明でき る。			
3		阿南 壽	ユニット3 根尖部歯周 組織の免疫 担当細胞		根尖部歯周組織にお ける免疫担当細胞を 説明できる。			
4		阿南 壽	ユニット4 歯髄疾患と 炎症性サイ トカイン		歯髄疾患に関与する 炎症性サイトカイン を説明できる。			
5		阿南 壽	ユニット5 根尖性歯周 疾患と炎症 性サイトカ イン		根尖性歯周疾患に関 与する炎症性サイ トカインについて説明 できる			

回	授業日時	授業者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
6	前期 4月、 5月 木曜日 16:00	阿南 壽	ユニット6 論文内容の まとめと説明	歯髄および根尖性 歯周組織疾患の免疫学的発症機序について理解する。	論文内容を簡潔にまとめる	関連するキーワードをインターネット検索し、まとめておく。	「エンドのための重要20キーワード」 ドベス 240 論文」  Journal of Endodontics	歯科保存学分野セミナー室
7	~ 17:20	阿南 壽			論文内容を簡潔にまとめ、根尖性歯周疾患の免疫学的発症機序に関する最新の情報について説明できる。			
8	前期 6月、 7月 木曜日 16:00	阿南 壽	ユニット7 創傷治癒過程における免疫担当細胞	歯髄および根尖性 歯周組織疾患の創傷治癒におけるサイトカインネットワークについて理解する。	創傷治癒過程における免疫担当細胞を説明できる(1)。	「エンドのための重要20キーワード」を用いて関連事項をノートに整理する。		
9	~ 17:20	阿南 壽			創傷治癒過程における免疫担当細胞を説明できる(2)。			
10		阿南 壽	ユニット8 抗炎症性サイトカイン		抗炎症性サイトカインについて説明できる(1)。			
11		阿南 壽			抗炎症性サイトカインについて説明できる(2)。			
12		阿南 壽	ユニット9 創傷治癒過程における増殖因子		創傷治癒過程における増殖因子について説明できる(1)。			
13		阿南 壽			創傷治癒過程における増殖因子について説明できる(2)。			
14		阿南 壽	ユニット10 論文内容の まとめと説明		論文内容を簡潔にまとめる。	関連するキーワードをインターネット検索し、まとめておく。		
15		阿南 壽			論文内容を簡潔にまとめ、歯髄および根尖性歯周組織疾患の創傷治癒過程に関する最新の情報を説明できる。			

## 歯科保存学講義②

後期15コマ（ユニット1～10：2単位）

評価責任者：松崎 英津子

### 〔担当教員〕

松崎 英津子

### 〔一般目標〕

歯髄および根尖部歯周組織の再生におけるサイトカイン、増殖因子の関連性と、生体材料および人工材料の応用と開発について理解するとともに、これらに関する英語文献を抄読し討論することにより、最新の生物学的歯内治療学に関する基礎的知識を習得する。

### 〔授業到達目標〕

- ①歯髄および根尖部歯周組織の再生について説明できる。
- ②英語論文を用いて組織再生剤や生体活性ガラス等の人工材料に関する情報について説明できる。

### 〔教科書・参考書〕

1. Journal of Endodontics
2. International Endodontic Journal
3. Journal of Periodontal Research
4. 日本炎症・再生医学会雑誌 炎症・再生
5. エンドのための重要20キーワードベスト240論文 2015 クインテッセンス出版

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点40%、レポート60%、レポートの評価の基準は、各テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	後期 10月 ～ 12月 木曜日	松崎 英津子	ユニット1 組織再生の 基本的メカ ニズム	歯髄および根尖部 歯周組織の再生に ついて理解する。	組織再生の基本的メ カニズムについて説 明できる(1)。	「エンドのため の重要20キー ワードベスト 240論文」を用 いて関連事項を ノートに整理す る。  関連するキーワ ードをインター ネット検索し、 まとめておく。	「エンドの ための重要 20キーワー ドベスト 240論文」  Journal of Endodontics	歯科保存学 分野セミナ ー室
2	13:00 ～ 14:20	松崎 英津子		組織再生の基本的メ カニズムについて説 明できる(2)。				
3		松崎 英津子	ユニット2 象牙質再生	象牙質再生について 説明できる(1)。				
4		松崎 英津子		象牙質再生について 説明できる(2)。				
5		松崎 英津子	ユニット3 根尖部歯周 組織再生	根尖部歯周組織再生 について説明できる (1)。				

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所		
6	後期 1月、 2月 木曜日 13:00 ～ 14:20	松崎 英津子	ユニット3 根尖部歯周 組織再生	歯髄および根尖部 歯周組織の再生に ついて理解する。	根尖部歯周組織再生 について説明できる (2)。	「エンドのため の重要 20 キー ワードベスト 240 論文」を用 いて関連事項を ノートに整理す る。  関連するキーワ ードをインター ネット検索し、 まとめておく。	「エンドのた めの重要 20キーワー ドベスト 240 論文」  Journal of Endodontics	歯科保存学 分野セミナー 室		
7		松崎 英津子	ユニット4 歯周組織再 生剤と歯根 膜細胞		歯周組織再生剤の歯 根膜細胞への効果を 説明できる。					
8		松崎 英津子	ユニット5 歯周組織再 生剤と骨芽 細胞		歯周組織再生剤の骨 芽細胞への効果を説 明できる。					
9		松崎 英津子	ユニット6 論文内容の まとめと説 明		論文内容を簡潔にま とめる。					
10		松崎 英津子			論文内容を簡潔にま とめ、根尖部歯周組 織再生機序に関する 最新の情報について 説明できる。					
11			松崎 英津子		ユニット7 再生促進因 子				再生促進因子に関 する最新の英語論 文を抄読し討論す ることにより、新し い組織再生に関す る情報や考え方に ついて理解する。	再生促進因子につい て説明できる。
12			松崎 英津子		ユニット8 MTA					MTAについて説明 できる。
13			松崎 英津子		ユニット9 再生促進因 子と骨組織 修復					再生促進因子の骨組 織修復に及ぼす効果 について説明でき る。
14			松崎 英津子		ユニット10 論文内容の まとめと説 明					論文内容を簡潔にま とめる。
15			松崎 英津子							論文内容を簡潔にま とめ、骨組織再生に 関する最新の情報に ついて説明できる。

## 歯科保存学実習① (臨床基礎演習)

前期30コマ (ユニット1: 2単位)  
評価責任者: 阿南 壽

〔担当教員〕  
阿南 壽

〔一般目標〕

齶蝕および歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患の病態について理解し、診査法、診断、治療方針、治療方法について習得する。

〔授業到達目標〕

- ①齶蝕・歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患の検査法を習得する。
- ②齶蝕・歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患の鑑別診断法について説明する。
- ③齶蝕・歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患のスタンダードな治療法を習得する。
- ④外科的歯内療法 of 適応症について説明し、その技術を習得する。

〔教科書・参考書〕

1. Hargreaves KM, Berman LH編「Pathways of the Pulp 11th ed.」Mosby 2016
2. Bergenholtz G編「Textbook of Endodontology」Blackwell 2003
3. Bellizzi R, Loushine R編「A Clinical Atlas of Endodontic Surgery」Quintessence 1991
4. 興地隆史, 須田英明, 中村 洋編「エンドドンティクス 第5版」永末書店 2018.
5. 千田 彰, 寺下正道, 寺中敏夫, 宮崎真至編「保存修復学第6版」医歯薬出版 2013

〔成績評価の方法・基準〕

出席点 40%、実習点 60%。実習点の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 30	前期 4月～ 7月 火曜日 9:00～ 11:55	阿南 壽	ユニット1 齶蝕・歯髄疾 患の検査、診 断、治療方 針の立案、簡 単な齶蝕およ び歯内療法	齶蝕・歯髄疾患の診 査、診断、治療方 針、治療方法につ いて理解し、その技 術を習得する。	[1～30 コマ] ①齶蝕・歯髄疾患の診 査法を習得する。 ②齶蝕・歯髄疾患の診 断法を習得する。 ③齶蝕・歯髄疾患の治 療方針を習得する。 ④齶蝕・歯髄疾患の治 療方法を習得する。 ⑤コンポジットレジン 修復法を習得する。 ⑥コンポジットレジン インレー修復法を習 得する。 ⑦メタルインレー修 復法を習得する。	「エンドドンテ ィクス 第 5 版」および「保 存修復学第 6 版」を用いて関 連事項をノート に整理する。  関連するキーワ ードをインター ネット検索し、 ノートにまとめ ておく。	「エンドド ンティクス 第 5 版」お よび「保存 修復学第 6 版」	保存科診療 室、医員技 工室

## 歯科保存学実習② (臨床基礎演習)

後期30コマ (ユニット2～3 : 2単位)  
評価責任者: 松崎 英津子

〔担当教員〕  
松崎 英津子

〔一般目標〕  
齶蝕および歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患の病態について理解し、診査法、診断、治療方針、治療方法について習得する。

〔授業到達目標〕  
①齶蝕・歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患の検査法を習得する。  
②齶蝕・歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患の鑑別診断法について説明する。  
③齶蝕・歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患のスタンダードな治療法を習得する。  
④外科的歯内療法 of 適応症について説明し、その技術を習得する。

〔教科書・参考書〕  
1. Hargreaves KM, Berman LH 編 「Pathways of the Pulp 11th ed.」 Mosby 2016  
2. Bergenholtz G 編 「Textbook of Endodontology」 Blackwell 2003  
3. Bellizzi R, Loushine R 編 「A Clinical Atlas of Endodontic Surgery」 Quintessence 1991  
4. 興地隆史, 須田英明, 中村 洋編 「エンドドンティクス 第5版」 永末書店 2018.

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点 40%、実習点 60%。実習点の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 18	後期 10月～ 12月 火曜日 9:00～ 11:55	松崎 英津子	ユニット2 根尖性歯周 組織疾患の 検査、診断、 治療方針の 立案および 感染根管治 療	根尖性歯周組織疾 患の検査、診断、治 療方針、治療方法に ついて理解し、その 技術を習得する。	[1～18 コマ] ①根尖性歯周組織疾 患の診査法を習得す る。 ②根尖性歯周組織疾 患の診断法を習得す る。 ③根尖性歯周組織疾 患の治療方針を習得 する。 ④根尖性歯周組織疾 患の治療方法を習得 する。	「エンドドンテ ィクス第5版」 および 「Pathways of the Pulp 11th ed.」を用いて関 連事項をノート に整理する。	「エンドド ンティクス 第5版」 「Pathways of the Pulp 11th ed.」	保存科診療 室、医員技 工室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
19 ～ 30	後期 1月 ～ 2月 水曜日 9:00～ 11:55	松崎 英津子	ユニット3 外科的歯内 療法	外科的歯内療法の 適応症を理解し、そ の技術を習得する。	[19～30 コマ] ①外科的歯内療法の 意義および目的につ いて説明できる。  ②マイクロ CT-3DX を用いた診断法を習 得する。  ③外科的歯内療法 の種類を列挙し、適 応症について理解す るとともに、各術式 を習得する。  ④外科的歯内療法 後の歯の修復とメイ ンテナンスについて 習得する。	「エンドドンテ イクス第5版」 および  「Pathways of the Pulp 11th ed.」を用いて関 連事項をノート に整理する。	「エンドド ンテイクス 第5版」  「Pathways of the Pulp 11th ed.」	保存科診療 室、医員技 工室

## 歯科保存学実習③ (臨床歯内療法実習)

後期30コマ (ユニット1～14 : 2単位)  
評価責任者: 阿南 壽

〔担当教員〕  
阿南 壽

〔一般目標〕

スタンダードな根管治療から発展した最新の根管治療の基礎的な理論を理解するとともに、臨床における根管治療難症例への対応法について習得する。

〔授業到達目標〕

- ① 根管内嫌気性菌培養試験法について理解し、その技術を習得する。
- ② 彎曲根管形成法であるステップバック法について理解し、その技術を習得する。
- ③ ニッケルチタンファイルを用いたクラウンダウン法について理解し、その技術を習得する。
- ④ 英語文献を用いて最新の歯内療法に関する情報について説明する。

〔教科書・参考書〕

1. Hargreaves KM, Berman LH 編「Pathways of the Pulp 11th ed.」Mosby 2016
2. Bergenholtz G 編「Textbook of Endodontology」Blackwell 2003
3. 須田英明総監訳「バイオロジーに基づいた実践歯内療法学」クインテッセンス出版 2007
4. 福島久典編「こうして無菌の根管をつくった」永末書店 2004
5. 小林千尋著「楽しくわかるクリニカルエンドドントロジー」医歯薬出版 2003

〔成績評価の方法・基準〕

出席点 40%、実習点 60%。実習点の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
1	後期 10月、 11月 金曜日 13:00 ～ 15:55	阿南 壽	ユニット1 根管内嫌気 性菌培養試 験法の理論	根管内嫌気性菌培 養試験法について 理解し、その技術を 習得する。	1. 根管内嫌気性菌 培養試験法の理論 を説明する。 2. 根管内から試料 を採取することによ り、血液寒天培 地を用いたチェア ーサイド嫌気性菌 培養試験法に習熟 する。 3. 嫌気性菌のコロ ニーの状態につい て評価する。 4. 抗菌剤による感 受性試験に習熟す る。 5. 嫌気性菌のコロ ニーの変化につい て説明する。	・文献検索 ・福島久典編「こ うして無菌の根 管をつくった」 を用いて関連事 項をノートに整 理する。	福島久典編 「こうして 無菌の根管 をつくっ た」	歯科保存学 分野研究室
2			ユニット2 試料採取と 血液寒天培 地					
3								
4								
5			ユニット3 血液寒天培 地上のコロ ニーの観察					
6								



回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
7	後期 10月、 11月 金曜日 13:00 ～ 15:55	阿南 壽	ユニット4 抗菌剤による感受性試験	根管内嫌気性菌培養試験法について理解し、その技術を習得する。	1. 根管内嫌気性菌培養試験法の理論を説明する。 2. 根管内から試料を採取することにより、血液寒天培地を用いたチェアーサイド嫌気性菌培養試験法に習熟する。 3. 嫌気性菌のコロニーの状態について評価する。 4. 抗菌剤による感受性試験に習熟する。 5. 嫌気性菌のコロニーの変化について説明する。	・文献検索 ・福島久典編「こうして無菌の根管をつくった」を用いて関連事項をノートに整理する。	福島久典編「こうして無菌の根管をつくった」	歯科保存学 分野研究室
8								
9			ユニット5 嫌気性菌培養試験課のまとめ					
10								
11	後期 11月、 12月 金曜日 13:00 ～ 15:55	阿南 壽	ユニット6 彎曲根管形成法理論	彎曲根管形成法であるステップバック法について理解し、その技術を習得する。	1. 彎曲根管形成法であるステップバック法について説明する。 2. アクセス窩洞形成に習熟する。 3. 彎曲根管模型（彎曲30°）を用いたステップバック法に習熟する。 4. 大臼歯根管模型を用いたステップバック法に習熟する。	・文献検索 ・小林千尋著「楽しくわかるクリニカルエンドドントロジー」を用いて関連事項をノートに整理する。	小林千尋著「楽しくわかるクリニカルエンドドントロジー」	歯科保存学 分野研究室
12								
13			ユニット7 アクセス窩洞形成法					
14								
15			ユニット8 彎曲根管模型を用いたステップバック法					
16								
17			ユニット9 大臼歯根管模型を用いたステップバック法					
18								

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所		
19	後期 1月、2 月 水曜日 13:00 ～ 15:55	阿南 壽	ユニット10 ニッケルチ タンロータ リーファイ ル	ニッケルチタンロー ターリーファイ ルを用いた彎曲根管 形成法について理 解し、その技術を習 得する。	ニッケルチタンロー ターリーファイ ルを用いた彎曲根管 形成法について説明 する。	「エンドのため の重要 20 キー ワードベス 240 論文」を用いて 関連事項をノー トに整理する。	「エンドの ための重要 20 キーワ ードベス 240 論文」	歯科保存学 分野研究室		
20										
21			ユニット11 アクセス窩 洞形成						アクセス窩洞形成 に習熟する。	関連するキーワ ードをインター ネット検索し、 まとめておく。
22										
23			ユニット12 彎曲根管模 型の形成						ニッケルチタンロー ターリーファイ ルを用いて彎曲根管模型 (彎曲 30°) に対す るクラウンダウン法 に習熟する。	
24										
25	ユニット13 大白歯根管 模型の形成	大白歯根管模型を用 いたニッケルチタン ローターリーファイ ルによる根管形成法に 習熟する。								
26										
27	後期 2月 金曜日 13:00 ～ 15:55	阿南 壽	ユニット14 文献抄読	英語文献を用いて 最新の歯内療法に 関する情報につい て説明する。	1. 「Pathways of the Pulp 11th ed.」を 用いて最新の根管 形成法について説 明する。 2. 「Textbook of Endodontology」を 用いて最新の根管 形成法について説 明する。	「Pathways of the Pulp 11th ed.」  「Textbook of Endodontology」のキ ーワードをインター ネット検索し、まと めておく。	「Pathways of the Pulp 11th ed.」  「Textbook of Endodontology 」	歯科保存学 分野セミナ ー室		
28										
29										
30										

## 歯周病学講義①

前期15コマ（ユニット1～3：2単位）

評価責任者：坂上竜資

**〔担当教員〕**

坂上竜資、吉永泰周

**〔一般目標〕**

辺縁性歯周組織疾患の病理および病態ならびにそれらの治療方法の詳細について、卒前教育で身に付けた理解をさらに深める。すなわち、歯周疾患の病態に見られる著しい個体差を、文献的考察に根ざしクリティカルに診断し、さらに科学的な根拠にもとづいた治療計画を立案して、「個の医療」としての歯周治療を実現するための体系的な基盤を培う。

**〔授業到達目標〕**

1. 歯周疾患は多型であることを踏まえた歯周病の病因論の研究の歴史を概観できる。
2. 歯周疾患の多型の源をどう診断し、治療するかについての考え方を説明できる
3. 細菌学的な病因論の研究法とその成果の診断への応用について説明できる
4. 免疫学的な病因論の研究法とその成果の診断への応用について説明できる
5. 宿主－細菌相互作用の観点からの病因論の研究法とその成果の診断への応用について説明できる
6. 外傷性咬合・結合組織代謝の視点からの病因論の研究法とその成果の診断への応用について説明できる。
7. 他科分野において実現されているテーラーメイド医療について概観できる
8. 個の医療を実現するための歯周診断法について説明できる

**〔教科書・参考書〕**

参考書

Jan Lindhe 『臨床歯周病とインプラント（基礎編）』、クインテッセンス出版、2005

（最も研究論文に裏づけされた臨床歯周病学のバイブル、29,700円）

テキスト

毎回のテーマに沿ったレビュー・文献などを指定する

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	4/6 3限	坂上 竜資	ユニット1 病因論	歯周疾患の病因論を理解する。	歯周疾患は多型であることを踏まえた歯周病の病因論の研究の歴史を概観できる。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周治療の指針2015」の病因論部分を読む。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周治療の指針2015」	歯周病学講座セミナー室 301教室
2	4/13 3限	吉永 泰周						
3	4/20 3限	坂上 竜資	ユニット2 病因論の研究法と診断への応用	歯周疾患の病因論の研究法とその成果の診断への応用について理解する。	歯周疾患の多型の源をどう診断し、治療するかについての考え方を説明できる。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周治療の指針2015」の病因論部分を読む。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周治療の指針2015」	歯周病学講座セミナー室 301教室
4	4/27 3限	吉永 泰周						

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所				
5	5/11 3限	坂上 竜資	ユニット2 病因論の研究法と診断への応用	歯周疾患の病因論の研究法とその成果の診断への応用について理解する。	細菌学的な病因論の研究法とその成果の診断への応用について説明できる。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周治療の指針 2015」の病因論部分を読む。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周治療の指針 2015」	歯周病学講座セミナー室 301教室				
6	5/18 3限	吉永 泰周										
7	5/25 3限	坂上 竜資			免疫学的な病因論の研究法とその成果の診断への応用について説明できる。							
8	6/1 3限	吉永 泰周										
9	6/8 3限	坂上 竜資			宿主－細菌相互作用の観点からの病因論の研究法とその成果の診断への応用について説明できる。							
10	6/15 3限	吉永 泰周										
11	6/22 3限	坂上 竜資			外傷性咬合・結合組織代謝の観点からの病因論の研究法とその成果の診断への応用について説明できる。							
12	6/29 3限	吉永 泰周										
13	7/6 3限	坂上 竜資			ユニット3 歯周治療における「個の医療」の実現のための診断ができる。				他科分野において実現されているテーラード医療について概観できる。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周治療の指針 2015」と「歯周病患者における再生治療のガイドライン」を読む。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周治療の指針 2015」と「歯周病患者における再生治療のガイドライン」	歯周病学講座セミナー室 301教室
14	7/13 3限	吉永 泰周										
15	7/20 3限	坂上 竜資							個の医療を実現するための歯周診断法について説明できる。			

## 歯周病学講義②

後期15コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：坂上竜資

### 〔担当教員〕

坂上竜資、吉永泰周

### 〔一般目標〕

辺縁性歯周組織疾患の治療方法について、卒前教育で身に付けた理解をさらに深める。すなわち、科学的な根拠にもとづいて治療法を選択し「個の医療」を実現するための体系的な基盤を培う。

### 〔授業到達目標〕

1. 治療方針立案のための decision making について説明できる。
2. 歯周基本治療における感染源除去にともなう宿主-細菌相互作用の変化についての科学的根拠を説明できる。
3. 歯周基本治療における外傷力除去にともなう組織代謝の変化についての科学的根拠を説明できる。
4. 歯周外科治療における切除療法による歯周ポケット除去についての科学的根拠を説明できる。
5. 歯周組織再生療法の科学的根拠を説明できる。
6. 組織工学を応用した歯周組織再建療法の展望を説明できる。
7. メンテナンス・supportive periodontal therapy 期における疾患活動性の予測の科学的根拠を説明できる。
8. 歯周治療におけるテーラーメイド医療の可能性を説明できる。

### 〔教科書・参考書〕

参考書

Jan Lindhe 『臨床歯周病とインプラント（基礎編）』、クインテッセンス出版、2005  
（最も研究論文に裏づけされた臨床歯周病学のバイブル、29,700円）

テキスト

毎回のテーマに沿ったレビュー・文献などを指定する。

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	10/5 3限	坂上 竜資	ユニット1 科学的な治療	歯周疾患の科学的な治療を理解する。	治療方針立案のための decision making について説明できる。	日本歯周病学会のガイドライン「糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン改訂第2版」を読む。	日本歯周病学会のガイドライン「糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン改訂第2版」	歯周病学講座セミナー 301教室
2	10/12 3限	吉永 泰周						

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
3	10/19 3限	坂上 竜資	ユニット2 歯周治療法の科学的根拠	歯周治療法の科学的根拠を理解する。	歯周基本治療における感染源除去にともなう宿主-細菌相互作用の変化についての科学的根拠を説明できる。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周病患者における抗菌療法の指針」「歯周病患者における再生治療のガイドライン」の2冊を読む。	日本歯周病学会のガイドライン「歯周病患者における抗菌療法の指針」「歯周病患者における再生治療のガイドライン」	歯周病学講座セミナー 301教室
4	10/26 3限	吉永 泰周			歯周基本治療における外傷力除去にともなう組織代謝の変化についての科学的根拠を説明できる。			
5	11/9 3限	坂上 竜資			歯周外科治療における硬組織切除・軟組織形態修正の術式による歯周ポケット除去についての科学的根拠を説明できる。			
6	11/16 3限	吉永 泰周			歯周組織再生療法の科学的根拠を説明できる。			
7	11/23 3限	坂上 竜資			組織工学を応用した歯周組織再建療法の展望を説明できる。			
8	11/30 3限	吉永 泰周			メンテナンス・supportive periodontal therapy 期における疾患活動性の予測の科学的根拠を説明できる。			
9	12/7 3限	坂上 竜資			歯周治療におけるテーラーメイド医療の可能性を説明できる。			
10	12/14 3限	吉永 泰周						
11	12/21 3限	坂上 竜資						
12	1/4 3限	吉永 泰周						
13	1/11 3限	坂上 竜資						
14	1/18 3限	吉永 泰周						
15	1/25 3限	坂上 竜資						

## 歯周病学実習①

前期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：坂上竜資

### 〔担当教員〕

坂上竜資、吉永泰周

### 〔一般目標〕

辺縁性歯周組織疾患の病理および病態ならびにそれらの治療方法の詳細について、卒前教育で身に付けた理解をさらに深める。すなわち、歯周疾患の病態に見られる著しい個体差を把握し記録するための診査技術ならびに検査記録の個人情報に配慮した保管・活用法を身につけ、文献的考察に根ざしたクリティカルな診断、科学的な根拠にもとづいた治療計画をベースとした「個の医療」としての歯周治療（歯周初期治療・歯周外科治療・最終治療・メンテナンスまたはSPT）を体系的に実践する。

### 〔授業到達目標〕

- ①歯周組織検査を行い、その結果を適切に保存する。
- ②検査結果にもとづいて適切な診断を行い、治療計画を立案する。
- ③適切な術式を用いて歯周治療（特に歯周初期治療）を行う。
- ④歯周初期治療の再評価を行い、宿主－細菌相互作用、結合組織代謝の変化を把握する。
- ⑤適切な術式で歯周外科処置を行い、歯周組織の治癒ならびに歯周組織の再生を観察する。
- ⑥メンテナンスまたはSPT期の症例において、予後の判定を行い疾患活動性の把握を行う。

### 〔教科書・参考書〕

参考書

Jan Lindhe 『臨床歯周病とインプラント（基礎編）』、クインテッセンス出版、2005  
（最も研究論文に裏づけされた臨床歯周病学のバイブル、29,700円）

テキスト

術式に沿ったレビュー・文献を指定し、各自収集する。

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点40%、実習点60%。実習の評価基準は適切な説明および実習ができるか（各20%）、および文献を適切に抄読できるか（20%）とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 4	4/8 1～4 限	坂上竜 資	ユニット1 歯周組織の 診査	歯周組織の診査ができる。	模型を用いた歯周ポケットプロービングができる。	日本歯周病学会HPに掲載されている歯周病学基礎実習動画の該当部分を事前に視聴する。	日本歯周病学会HPに掲載されている歯周病学基礎実習動画	歯周病科診療室 技工室 歯周病学講座セミナー室
5 ～ 8	4/15 1～4 限	吉永泰 周			歯周組織検査（歯周ポケットプロービング・口腔内写真撮影・スナップ印象採得）の相互実習を行う。			
9 ～ 12	4/22 1～4 限	坂上竜 資			画像情報（口腔内写真、エックス線写真）の管理・加工実習の相互実習を行う。			

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
13 ～ 16	4/29 1～4 限	吉永泰 周			歯周組織検査・咬合 検査を初診患者で行 う。			歯周病科診 療室 技工室 歯周病学講 座セミナー 室
17 ～ 20	5/6 1～4 限	坂上竜 資			研究用模型の作成を 初診患者で行う。			
21 ～ 24	5/13 1～4 限	吉永泰 周			診断情報のデジタル 化を初診患者で行 う。			
25 ～ 28	5/20 1～4 限	坂上竜 資	ユニット2 歯周疾患の 診断	歯周疾患の診断が できる。	歯周疾患の診断実習 を初診患者で行う。	日本歯周病学会 HPに掲載されて いる歯周病学基 礎実習動画の該 当部分を事前に 視聴する。	日本歯周病 学会 HP に 掲載されて いる歯周病 学基礎実習 動画	歯周病学講 座セミナー 室
29 ～ 30	5/27 1～2 限	吉永泰 周		診断ならびに治療計 画の根拠となるエビ デンスの収集を行 う。				



## 歯周病学実習②

後期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：坂上竜資

### 【担当教員】

坂上 竜資、吉永泰周

### 【一般目標】

辺縁性歯周組織疾患の病理および病態ならびにそれらの治療方法の詳細について、卒前教育で身に付けた理解をさらに深める。すなわち、歯周疾患の病態に見られる著しい個体差を把握し記録するための診査技術ならびに検査記録の個人情報に配慮した保管・活用法を身につけ、文献的考察に根ざしたクリティカルな診断、科学的な根拠にもとづいた治療計画をベースとした「個の医療」としての歯周治療（歯周初期治療・歯周外科治療・最終治療・メンテナンスまたはSPT）を体系的に実践する。

### 【授業到達目標】

- ①歯周組織検査を行い、その結果を適切に保存する。
- ②検査結果にもとづいて適切な診断を行い、治療計画を立案する。
- ③適切な術式を用いて歯周治療（特に歯周初期治療）を行う。

### 【教科書・参考書】

参考書

Jan Lindhe 『臨床歯周病とインプラント（基礎編）』、クインテッセンス出版、2005  
（最も研究論文に裏づけされた臨床歯周病学のバイブル、29,700円）

テキスト

術式に沿ったレビュー・文献を指定し、各自収集する。

### 【成績評価の方法・基準】

出席点40%、実習点60%。実習の評価基準は適切な説明および実習ができるか（各20%）、および文献を適切に抄読できるか（20%）とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 2	10/7 3, 4 限	坂上竜資	ユニット1 歯周組織の診査	歯周組織の診査ができる。	模型を用いた歯周ポケットプロービング実習と文献抄読を行う。	日本歯周病学会HPに掲載されている歯周病学基礎実習動画の該当部分を事前に視聴する。	日本歯周病学会HPに掲載されている歯周病学基礎実習動画	歯周病科診療室 技工室 歯周病学講座セミナー室
3 ～ 4	10/14 3, 4 限	吉永泰周			歯周組織検査（歯周ポケットプロービング・口腔内写真撮影・スナップ印象採得）の相互実習と文献抄読を行う。			
5 ～ 6	10/21 3, 4 限	坂上竜資			画像情報（口腔内写真、エックス線写真）の管理・加工実習の相互実習と文献抄読を行う。			

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
7 ～ 10	10/28 1～4 限	吉永泰周 坂上竜資	ユニット1 歯周組織の 診査	歯周組織の診査ができる。	初診患者の歯周組織 検査・咬合検査が できる。	日本歯周病学会 HPに掲載されて いる歯周病学基 礎実習動画の該 当部分を事前に 視聴する。	日本歯周病 学会 HP に 掲載されて いる歯周病 学基礎実習 動画	歯周病科診 療室 技工室 歯周病学講 座セミナー 室
11 ～ 14	11/4 1～4 限	吉永泰周 坂上竜資			初診患者の研究用模 型の作成ができる。			
15 ～ 18	11/11 1～4 限	吉永泰周 坂上竜資			初診患者の診断情報 のデジタル化ができ る。			
19 ～ 20	11/18 3, 4 限	吉永泰周	ユニット2 歯周疾患の 診断	歯周疾患の診断が できる。	初診患者の歯周疾患 の診断ができる。	日本歯周病学会 HPに掲載されて いる歯周病学基 礎実習動画の該 当部分を事前に 視聴する	日本歯周病 学会 HP に 掲載されて いる歯周病 学基礎実習 動画	歯周病科診 療室 技工室 歯周病学講 座セミナー 室
21 ～ 22	11/25 3, 4 限	坂上竜資			診断ならびに治療計 画の根拠となるエビ デンスの収集ができ る。			
23 ～ 26	12/2 1～4 限	吉永泰周 坂上竜資			初診患者の歯周治療 計画立案ができる。			
27 ～ 30	12/9 1～4 限	吉永泰周 坂上竜資			初診患者の診断・治 療計画の提示とイン フォームドコンセン トをうけることがで きる。			

## 歯周病学実習③

後期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：坂上竜資

**〔担当教員〕**

坂上 竜資、吉永泰周

**〔一般目標〕**

辺縁性歯周組織疾患の病理および病態ならびにそれらの治療方法の詳細について、卒前教育で身に付けた理解をさらに深める。すなわち、歯周疾患の病態に見られる著しい個体差を把握し記録するための診査技術ならびに検査記録の個人情報に配慮した保管・活用法を身につけ、文献的考察に根ざしたクリティカルな診断、科学的な根拠にもとづいた治療計画をベースとした「個の医療」としての歯周治療（歯周初期治療・歯周外科治療・最終治療・メンテナンスまたはSPT）を体系的に実践する。

**〔授業到達目標〕**

- ①歯周初期治療の再評価を行い、宿主－細菌相互作用、結合組織代謝の変化を把握する。
- ②適切な術式で歯周外科処置を行い、歯周組織の治癒ならびに歯周組織の再生を観察する。
- ③メンテナンスまたはSPT期の症例において、予後の判定を行い疾患活動性の把握を行う。

**〔教科書・参考書〕**

参考書

Jan Lindhe 『臨床歯周病とインプラント（基礎編）』、クインテッセンス出版、2005  
（最も研究論文に裏づけされた臨床歯周病学のバイブル、29,700円）

テキスト

術式に沿ったレビュー・文献を指定し、各自収集する。

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点40%、実習点60%。実習の評価基準は適切な説明および実習ができるか（各20%）、および文献を適切に抄読できるか（20%）とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 4	12/16 1～4 限	坂上 竜資	ユニット1 歯周治療	歯周治療ができる。	スケーラーの研磨と 模型を用いた再評価 検査ができる。	日本歯周病学会 HPに掲載されて いる歯周病学基 礎実習動画の該 当部分を事前に 視聴する。	日本歯周病 学会 HP に 掲載されて いる歯周病 学基礎実習 動画	歯周病科診 療室 技工室 歯周病学講 座セミナー 室
		吉永 泰周			模型を用いてスケー リング・ルートプレ ーニングができる。			
5 ～ 8	12/23 1～4 限	坂上 竜資			超音波器具・レーザ ー機器が操作でき る。			
		吉永 泰周			患者症例の検討会で 発表をする。			
9 ～ 12	1/6 1～4 限	坂上 竜資			模型を用いて歯肉切 除術ができる。			
		吉永 泰周			模型を用いてフラッ プ手術ができる。			

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
13 ～ 16	1/13 1～4 限	坂上 竜資	ユニット1 歯周治療	歯周治療ができる。	模型を用いて歯肉弁 根尖側移動術ができ る。	日本歯周病学会 HPに掲載されて いる歯周病学基 礎実習動画の該 当部分を事前に 視聴する。	日本歯周病 学会 HP に 掲載されて いる歯周病 学基礎実習 動画	歯周病科診 療室 技工室 歯周病学講 座セミナー 室
		吉永 泰周			模型を用いて遊離歯 肉移植術ができる。			
17 ～ 20	1/20 1～4 限	坂上 竜資			模型を用いて根面被 覆術ができる。			
		吉永 泰周			模型を用いて骨外科 ができる。			
21 ～ 24	1/27 1～4 限	坂上 竜資			模型を用いて歯周組 織再生療法ができ る。			
		吉永 泰周			歯周外科実習ならび に歯周外科後の再評 価検査実習（初診患 者症例）。			
25 ～ 28	2/3 1～4 限	坂上 竜資	ユニット2 最終治療・メイン テナンス/SPT	最終治療・メイン テナンス/SPT がで きる。	患者で最終治療がで きる。	日本歯周病学会 HPに掲載されて いる歯周病学基 礎実習動画の該 当部分を事前に 視聴する。	日本歯周病 学会 HP に 掲載されて いる歯周病 学基礎実習 動画	歯周病科診 療室 技工室 歯周病学講 座セミナー 室
		吉永 泰周			患者でメインテナ ンスまたは supportive periodontal therapy をできる。			
29 ～ 30	2/10 3, 4 限	坂上 竜資						

## 冠橋義歯学講義① (冠橋義歯と生体の親和性)

前期 15コマ (ユニット1～3 : 2単位)  
評価責任者 : 松浦 尚志

〔担当教員〕  
松浦 尚志

〔一般目標〕  
冠橋義歯を中心とした補綴治療の、診察、検査、診断、治療方針、治療方法、補綴物の設計を理解する。

〔授業到達目標〕  
①冠橋義歯を中心とした補綴治療の診察、検査、診断を説明する。  
②冠橋義歯を中心とした補綴治療の方法、設計を説明する。  
③冠橋義歯に関連する生物学的背景を説明する。

〔教科書・参考書〕  
参考書  
會田雅啓ほか 『冠橋義歯補綴学 テキスト』、永末書店  
Rosenstiel et al ed 「Contemporary of Fixed Prosthodontics 4th ed」 Mosby

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点 40%、レポート 60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 5	前期 4月, 5月 火曜日 13:00～ 14:20	松浦	ユニット1	冠橋義歯を中心とした補綴治療の診察、診断を説明する。	1. 診断用模型を使用した咬合検査法を説明する。 2. 診断用ワックスアップ法を説明する。 3. 冠橋義歯に関連する病歴、臨床検査を説明する(1)。 4. 冠橋義歯に関連する病歴、臨床検査を説明する(2) 5. 冠橋義歯に関連するエックス線検査を説明する(1)。 6. 冠橋義歯に関連するエックス線検査を説明する(2)。	冠橋義歯学テキスト Contemporary of Fixed Prosthodontics	参考書	咬合修復学 講座 セミナー室
6 ～ 10	前期 5月, 6月 火曜日 13:00～ 14:20	松浦	ユニット2	冠橋義歯を中心とした補綴治療の方法、設計を説明する。	7. 冠橋義歯に関連する前処置を説明する。 8. 支台築造法を説明する。 9. セラミッククラウンによる治療方法を説明する。	冠橋義歯学テキスト Contemporary of Fixed Prosthodontics	参考書	咬合修復学 講座 セミナー室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					10. セラミックブリッジによる治療方法を説明する。 11. セラミックブリッジの設計を説明する。 12. セラミックブリッジの予後を説明する。			
11 ～ 15	前期 7月 火曜日 13:00～ 14:20	松浦	ユニット3	冠橋義歯を中心とした生物学的背景を説明する。	13. 歯槽骨と骨質について説明する。 14. 歯槽骨と骨の形態計測について説明する。 15. 補綴物と付着歯肉との関連を説明する。	冠橋義歯学テキスト Contemporary of Fixed Prosthodontics	参考書	咬合修復学 講座 セミナー室

## 冠橋義歯学講義② (咬合と顎関節)

前期15コマ (ユニット1～3 : 2単位)  
評価責任者 : 松浦 尚志

〔担当教員〕  
松浦 尚志

〔一般目標〕  
冠橋義歯、咬合と顎関節との関連を理解する。

〔授業到達目標〕  
①冠橋義歯と関連する咬合の諸検査を説明する。  
②顎関節症に関連する検査、治療法を説明する。  
③咬合と顎関節と関連する生物学的背景を説明する。

〔教科書・参考書〕  
参考書  
Okesson ed 「Management of TMD and Occlusion」 5<sup>th</sup> ed, Mosby  
Rosenstiel et al ed 「Comtemporary of Fixed Prosthodontics 4th ed」 Mosby

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点40%、レポート60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 5	前期 4月,5月 木曜日 13:00～ 14:20	松浦	ユニット1	冠橋義歯を中心とした補綴治療の診査、診断を説明する。	1. 顔弓計測を説明する。 2. チェックバイト法を説明する。 3. 半調節性咬合器の使用法を説明する。 4. 下顎運動の計測法を説明する。 5. 咬合接触の検査法を説明する。 6. 咬合調整法を説明する。	Comtemporary of Fixed Prosthodontics	参考書	咬合修復学講座 セミナー室
6 ～ 10	前期 5月,6月 木曜日 13:00～ 14:20	松浦	ユニット2	顎関節症に関連する検査、治療法を説明する。	7. 顎関節症と咬合の関連を説明する。 8. 顎関節症の臨床検査法を説明する。 9. 顎関節症のエックス線検査法を説明する。 10. 顎関節症の診断法を説明する。 11. 顎関節症の保存的治療法を説明する。 12. スプリント治療法を説明する。	Management of TMD and Occlusion	参考書	咬合修復学講座 セミナー室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
11 ～ 15	前期 7月 木曜日 13:00～ 14:20	松浦	ユニット3	咬合と顎関節と関連する生物学的背景を説明する。	13. 変形性関節症と骨粗鬆症について説明する。 14. ブラキシズムと顎関節症との関連について説明する。 15. 顎関節のバイオメカニクスについて説明する。	Management of TMD and Occlusion	参考書	咬合修復学講座 セミナー室



## 冠橋義歯学実習① (冠橋義歯と生体の親和性)

前期30コマ (ユニット1～2 : 2単位)  
評価責任者 : 松浦 尚志

〔担当教員〕  
松浦 尚志

〔一般目標〕

冠橋義歯を中心とした補綴治療の、診察、検査、診断、治療方針、治療方法、補綴物の設計を修得する。

〔授業到達目標〕

- ①冠橋義歯を中心とした補綴治療の診査、診断を修得する。
- ②冠橋義歯を中心とした補綴治療の方法、設計を修得する。
- ③冠橋義歯を関連する生物学形態計測法を修得する。

〔教科書・参考書〕

参考書

石橋寛二編 「クラウンブリッジ補綴学 第4版」、医歯薬出版

Rosenstiel et al ed 「Comtemporary of Fixed Prosthodontics 4th ed」 Mosby

〔成績評価の方法・基準〕

出席点 40%、実習点 60%。実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
1 ～ 15	前期 4月, 5月 月曜日 9:00～ 11:55	松浦	ユニット1	冠橋義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、冠橋義歯の設計を修得する。	①診断用模型を使用した咬合検査法を修得する。 ②診断用ワックスアップ法を修得する。 ③冠橋義歯に関連する病歴、臨床検査を修得する。 ④冠橋義歯に関連するエックス線検査を修得する。	Comtemporary of Fixed Prosthodontics	参考書	補綴科診療室、医員技工室
16 ～ 30	前期 6月 月曜日 9:00～ 11:55	松浦	ユニット2	冠橋義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、冠橋義歯の設計を修得する。	①冠橋義歯に関連する前処置を修得する。 ②支台築造法を修得する。	Comtemporary of Fixed Prosthodontics	参考書	咬合修復学講座 セミナー室

## 冠橋義歯学実習② (冠橋義歯と生体の親和性)

後期30コマ (ユニット1～2: 2単位)  
評価責任者: 松浦 尚志

〔担当教員〕  
松浦 尚志

〔一般目標〕  
冠橋義歯を中心とした補綴治療の、診察、検査、診断、治療方針、治療方法、補綴物の設計を修得する。

〔授業到達目標〕  
①冠橋義歯を中心とした補綴治療の診査、診断を修得する。  
②冠橋義歯を中心とした補綴治療の方法、設計を修得する。  
③冠橋義歯に関連する生物学形態計測法を修得する。

〔教科書・参考書〕  
参考書  
石橋寛二編 「クラウンブリッジ補綴学 第4版」、医歯薬出版  
Rosenstiel et al ed 「Contemporary of Fixed Prosthodontics 4th ed」 Mosby

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点 40%、実習点 60%。実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
1 ～ 15	後期 10月, 11 月、 月曜日 9:00～ 11:55	松浦	ユニット1	パーシャルデンチャー補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、パーシャルデンチャーの設計を修得する。	①セラミックブリッジによる治療方法を修得する。 ②セラミックブリッジの設計法を修得する。 ③セラミックブリッジによる治療方法を修得する。	Contemporary of Fixed Prosthodontics	参考書	補綴科診療 室、医員技 工室
16 ～ 30	後期 1月, 2月 月曜日 9:00～ 11:55	松浦	ユニット2	顎義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、顎義歯の設計を修得する。	①歯槽骨と骨の形態計測法を修得する。 ②歯槽骨と骨の形態計測に関連する画像処理法を修得する。 ③歯肉に関連する形態計測法を修得する	Contemporary of Fixed Prosthodontics	参考書	補綴科診療 室、医員技 工室

## 冠橋義歯学実習③ (咬合と顎関節)

後期30コマ (ユニット1～3 : 2単位)  
評価責任者: 松浦 尚志

〔担当教員〕  
松浦 尚志

〔一般目標〕  
冠橋義歯、咬合と顎関節との関連を理解し、これらに関連する臨床的、基礎的技術を修得する。

〔授業到達目標〕  
①冠橋義歯と関連する咬合の諸検査を理解し修得する。  
②顎関節症に関連する検査、治療法を理解し修得する。  
③咬合と顎関節と関連する生物学的背景理解し、関連する基礎的技術を修得する。

〔教科書・参考書〕  
参考書  
Okesson ed 「Management of TMD and Occlusion」 5<sup>th</sup> ed, Mosby  
Rosenstiel et al ed 「Comtemporary of Fixed Prosthodontics 4th ed」 Mosby

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点40%、実習点60%。実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 10	後期 10月、11 月 月曜日 13:00～ 15:55	松浦	ユニット1	義歯金属構成要素 に対する床用レジ ンの接着技法を理 解し修得する。	1. 顔弓計測を修得す る。 2. チェックバイト法 を修得する。 3. 半調節性咬合器の 使用法を修得す る。 4. 咬合接触の検査法 を修得する。 5. 咬合調整法を修得 する。	Comtemporary of Fixed Prosthodontics	参考書	補綴科診療 室
11 ～ 20	後期 11月、12 月 月曜日 13:00～ 15:55	松浦	ユニット2	人工歯に対する床 用レジンの接着技 法を理解し修得す る。	6. 顎関節症と咬合の 関連についての文 献を検索する。 7. 顎関節症の臨床検 査法を修得する。 8. 顎関節症のエック ス線検査法を読影 する。 9. 顎関節症の診断を 習熟する。 10. 関節症の保存的治 療法を習熟する。	Management of TMD and Occlusion	参考書	補綴科診療 室、冠橋義 歯学研究室
21 ～ 30	後期 1月、2月 月曜日 13:00～ 15:55	松浦	ユニット3	床用レジンに対す るリラインマテリ アルの接着技法を 理解し修得する。	11, 12. 変形性関節症 と骨粗鬆症につい ての文献を検索す る。 13, 14. ブラキシズム と顎関節症との関 連についての文献 を検索する。 15. 顎関節のバイオ メカニクスについ ての文献を検索す る。	Management of TMD and Occlusion	参考書	冠橋義歯学 分野研究室

## 有床義歯学講義①

前期15コマ（ユニット1～3：2単位）

評価責任者：都築 尊

**〔担当教員〕**

都築 尊、川口智弘、吉田兼義、濱中一平

**〔一般目標〕**

口腔医学治療の一分野である、全部床義歯、パーシャルデンチャー、顎義歯などによる有床義歯補綴治療の、診査、診断、治療方針、治療方法、有床義歯の設計を理解する。

**〔授業到達目標〕**

- ①全部床義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、全部床義歯の設計を説明する。
- ②パーシャルデンチャー補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、パーシャルデンチャーの設計を説明する。
- ③顎義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、顎義歯の設計を説明する。

**〔教科書・参考書〕**

参考書

市川哲雄他編 「無歯顎補綴治療学 第3版」、医歯薬出版

細井紀雄他編 「コンプリートデンチャーテクニック 第6版」 医歯薬出版

三谷春保他編 「歯学生のパーシャルデンチャー 第6版」医歯薬出版

五十嵐順正他編 「パーシャルデンチャーテクニック 第5版」医歯薬出版

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点40%、レポート60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	4月,5月 木曜日 13:00～ 14:20	都築 川口	ユニット1 ・全部床義歯補綴治療	全部床義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、全部床義歯の設計を説明する。	全部床義歯補綴治療の診査を説明する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	有床義歯学分野研究室
2					全部床義歯補綴治療の診断を説明する。			
3					全部床義歯補綴治療の治療方針を説明する。			
4					全部床義歯補綴治療の治療方法を説明する。			
5					全部床義歯の設計を説明する。			
6								
7	5月,6月 木曜日 13:00～ 14:20	都築 川口 濱中	ユニット2 ・パーシャルデンチャー補綴治療	パーシャルデンチャー補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、パーシャルデンチャーの設計を説明する。	パーシャルデンチャー補綴治療の診査を説明する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	有床義歯学分野研究室
8					パーシャルデンチャー補綴治療の診断を説明する。			
9					パーシャルデンチャー補綴治療の治療方針を説明する。			

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
10					パーシャルデンチャー 補綴治療の治療方法を 説明する。			
11 12					パーシャルデンチャー の設計を説明する。			
13	7月 木曜日 13:00～	都築 吉田	ユニット3 ・顎義歯補綴治 療	顎義歯補綴治療 の診査、診断、 治療方針、治療 方法、顎義歯の 設計を説明す る。	顎義歯補綴治療の診 査、診断を説明する。	事前配布資 料、参考書	事前配布資 料、参考書	有床義歯学 分野研究室
14	14:20				顎義歯補綴治療の治療 方針、治療方法を説明 する。			
15					顎義歯の設計を説明す る。			

## 有床義歯学講義②

後期15コマ（ユニット1～4：2単位）

評価責任者：都築 尊

### 〔担当教員〕

都築 尊、川口智弘、吉田兼義、濱中一平

### 〔一般目標〕

有床義歯補綴材料に関する諸性質や利用法、諸性質の解析方法、床用材料の機械的性質、義歯床の適合性に影響を及ぼす因子、接着技法の有床義歯への応用を理解するとともに、これらに関する最新の文献を調査し有床義歯補綴臨床最前線の情報を知る。

### 〔授業到達目標〕

- ①有床義歯補綴材料の諸性質と利用法、諸性質の解析方法、床用材料の機械的性質を説明する。
- ②義歯床の適合性に影響を及ぼす因子を説明する。
- ③接着技法の有床義歯への応用を説明する。
- ④義歯床用材料の最新の情報を説明する。

### 〔教科書・参考書〕

参考書

Anusavice Kenneth J編「Phillips' Science of dental materials. 12th ed.」Elsevier 2012

Ronald L Sakaguchi 他編「Craig's restorative dental materials. 13th ed.」Elsevier 2012

日本接着歯学会編「接着歯学 第2版」医歯薬出版 2015

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点40%、レポート60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	10月、11月 木曜日 13:00	川口 吉田 濱中	ユニット1 有床義歯補綴材料	有床義歯補綴材料の諸性質と利用法、諸性質の解析方法、床用材料の機械的性質を説明する。	有床義歯補綴材料の諸性質と利用法を説明する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	有床義歯学 分野研究室
2	14:20				諸性質の解析方法の理論と実際を説明する。			
3					床用材料の機械的性質を説明する。			
4					床用レジンの強度に関して文献調査を行う。			
5					文献調査のまとめを行い、床用レジンの強度に関して最新の情報を説明する。			

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
6	11月 木曜日 13:00 ～ 14:20	都築 吉田	ユニット2 義歯床の適合 性	義歯床の適合性 に影響を及ぼす 因子を説明す る。	義歯床の適合性に影響 を及ぼす諸因子につい て説明する。	事前配布資 料、参考書	事前配布資 料、参考書	有床義歯学 分野研究室
7					床用レジンの適合性に 関して文献調査を行 う。			
8					文献調査のまとめを行 い、床用レジンの適合 性に関して最新の情報 を説明する。			
9	12月、 1月 木曜日 13:00 ～ 14:20	川口 吉田	ユニット3 接着技法の有 床義歯への応 用	接着技法の有床 義歯への応用を 説明する。	接着技法の有床義歯へ の応用を説明する。	事前配布資 料、参考書	事前配布資 料、参考書	有床義歯学 分野研究室
10					接着の解析方法の理論 と実際を説明する。			
11					床用レジンと局部床義 歯金属構成要素との接 着に関して文献調査を 行う。			
12					文献調査のまとめを行 い、床用レジンと局部 床義歯金属構成要素と の接着に関して最新の 情報を説明する。			
13					床用レジンと人工歯の 接着、床用レジンとリ ライン材との接着に関 して文献調査を行う。			
14					文献調査のまとめを行 い、床用レジンと人工 歯の接着、床用レジ ンとリライン材との接 着に関して最新の情報 を説明する。			
15	1月 木曜日 13:00 ～ 14:20	川口 吉田	ユニット4 義歯床用材料 の最新の情報	義歯床用材料の 最新の情報を説 明する。	義歯床用材料の新展開 を説明する。	事前配布資 料、参考書	事前配布資 料、参考書	有床義歯学 分野研究室

## 有床義歯学実習①

前期30コマ（ユニット1：2単位）  
評価責任者：都築 尊

**〔担当教員〕**

都築 尊、川口智弘、吉田兼義、濱中一平

**〔一般目標〕**

口腔医学治療の一分野である、全部床義歯による有床義歯補綴治療の、診査、診断、治療方針、治療方法、有床義歯の設計を修得する。

**〔授業到達目標〕**

全部床義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、全部床義歯の設計を修得する。

**〔教科書・参考書〕**

参考書

市川哲雄他編 「無歯顎補綴治療学 第3版」、医歯薬出版

細井紀雄他編 「コンプリートデンチャーテクニク 第6版」 医歯薬出版

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点40%、実習点60%。実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 30	4月 5月 6月 7月 月曜日 9:00 ～ 11:55	都築 川口 吉田 濱中	ユニット1 全部床義歯 補綴治療	全部床義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、全部床義歯の設計を修得する。	①全部床義歯補綴治療の診査を修得する。 ②全部床義歯補綴治療の診断を修得する。 ③全部床義歯補綴治療の治療方針を修得する。 ④全部床義歯補綴治療の治療方法を修得する。 ⑤全部床義歯の設計を修得する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	補綴科診療室、医員技工室



## 有床義歯学実習②

後期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：都築 尊

### 〔担当教員〕

都築 尊、川口智弘、吉田兼義、濱中一平

### 〔一般目標〕

口腔医学治療の一分野である、パーシャルデンチャー、顎義歯による有床義歯補綴治療の、診査、診断、治療方針、治療方法、有床義歯の設計を修得する。

### 〔授業到達目標〕

- ①パーシャルデンチャー補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、パーシャルデンチャーの設計を修得する。
- ②顎義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、顎義歯の設計を修得する。

### 〔教科書・参考書〕

参考書

三谷春保他編 「歯学生のパーシャルデンチャー 第6版」医歯薬出版

五十嵐順正他編 「パーシャルデンチャーテクニック 第5版」医歯薬出版

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点40%、実習点60%。実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 24	10月、 11月、 12月 月曜日 9:00～ 11:55	都築 川口 濱中	ユニット1 パーシャル デンチャー 補綴治療	パーシャルデンチャー補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、パーシャルデンチャーの設計を修得する。	①パーシャルデンチャー補綴治療の診査を修得する。 ②パーシャルデンチャー補綴治療の診断を修得する。 ③パーシャルデンチャー補綴治療の治療方針を修得する。 ④パーシャルデンチャー補綴治療の治療方法を修得する。 ⑤パーシャルデンチャーの設計を修得する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	補綴科診療室、医員技工室
25 30	1月 月曜日 9:00～ 11:55	吉田 濱中	ユニット2 顎義歯補綴 治療	顎義歯補綴治療の診査、診断、治療方針、治療方法、顎義歯の設計を修得する。	①顎義歯補綴治療の診査を修得する。 ②顎義歯補綴治療の診断を修得する。 ③顎義歯補綴治療の治療方針を修得する。 ④顎義歯補綴治療の治療方法を修得する。 ⑤顎義歯の設計を修得する。	事前配布資料、参考書	事前配布資料、参考書	補綴科診療室、医員技工室

## 有床義歯学実習③

後期30コマ（ユニット1～3：2単位）  
評価責任者：都築 尊

**〔担当教員〕**

都築 尊、川口智弘、吉田兼義、濱中一平

**〔一般目標〕**

有床義歯補綴治療に必要な接着技法の基礎的な理論を理解し接着技法を修得する。

**〔授業到達目標〕**

- ①義歯金属構成要素に対する床用レジンの接着技法を理解し修得する。
- ②人工歯に対する床用レジンの接着技法を理解し修得する。
- ③床用レジンに対するリラインマテリアルの接着技法を理解し修得する。

**〔教科書・参考書〕**

参考書

Anusavice Kenneth J編「Phillips' Science of dental materials. 12th ed.」Elsevier 2012  
 Ronald L Sakaguchi 他編「Craig's restorative dental materials. 13th ed.」Elsevier 2012  
 日本接着歯学会編「接着歯学 第2版」医歯薬出版 2015

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点40%、実習点60%。実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ・ 2	10月、 11月 月曜日 13:00 ～ 15:55	都築 川口 吉田	ユニット1 義歯金属構 成要素に対 する床用レ ジンの接着 技法	義歯金属構成要素 に対する床用レジ ンの接着技法を理 解し修得する。	義歯金属構成要素に 対する床用レジンの 接着技法の理論を説 明する。  義歯金属構成要素に 対する床用レジンの 接着強度および接着 モードの解析方法を 説明する。  接着技法を応用した 試料作製方法に熟練 する。  接着強度を測定す る。  接着強度、接着モー ドから接着技法を評 価する。	事前配布資料、 参考書	事前配布資 料、参考書	有床義歯学 分野研究室
3 ・ 4								
5 ・ 6								
7 ・ 8								
9 ・ 10								
11 ・ 12	11月、 12月 月曜日 13:00 ～ 15:55	川口 吉田 濱中	ユニット2 人工歯に対 する床用レ ジンの接着 技法	人工歯に対する床 用レジンの接着技 法を理解し修得す る。	人工歯に対する床用 レジンの接着技法の 理論を説明する。	事前配布資料、 参考書	事前配布資 料、参考書	有床義歯学 分野研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
13 ・ 14					人工歯に対する床用 レジンの接着強度お よび接着モードの解 析方法を説明する。			
15 ・ 16					接着技法を応用した 試料作製方法に熟練 する。			
17 ・ 18					接着強度を測定す る。			
19 ・ 20					接着強度、接着モー ドから接着技法を評 価する。			
21 ・ 22	1月、 2月 月曜日 13:00	川口 吉田 濱中	ユニット3 床用レジン に対するリ ラインマテ リアルの接 着技法	床用レジンに対す るリラインマテリ アルの接着技法を 理解し修得する。	床用レジンに対す るリラインマテリ アルの接着技法の理論を 説明する。	事前配布資料、 参考書	事前配布資 料、参考書	有床義歯学 分野研究室
23 ・ 24	～ 15:55				床用レジンに対す るリラインマテリ アルの接着強度および接 着モードの解析方法 を説明する。			
25 ・ 26					接着技法を応用した 試料作製方法に熟練 する。			
27 ・ 28					接着強度を測定す る。			
29 ・ 30					接着強度、接着モー ドから接着技法を評 価する。			

## 口腔インプラント学講義①・②

前期 15コマ (ユニット1～3 : 2単位)

後期 15コマ (ユニット4～6 : 2単位)

評価責任者 : 城戸寛史

**〔担当教員〕**

城戸寛史、加倉加恵

**〔一般目標〕**

歯科インプラント治療を円滑に進め、患者の口腔機能と形態を回復するために、適切な治療計画を立案し、それ実現する能力を身に付ける。

**〔授業到達目標〕**

インプラント治療に関する患者説明, 診断, 治療計画の立案, 基本的なインプラント埋入術の習得, 上部構造製作のための印象採得, 咬合採得, 装着が行える。また, メンテナンスを施行できる。

**〔教科書・参考書〕**

赤川安正、松浦正朗、他 (編) 「よくわかる口腔インプラント学」第3版、医歯薬出版、2017  
 渡邊文彦、松浦正朗 (編) 「インプラント治療における成功への法則とリカバリー」2007、第一歯科出版  
 古谷野潔、松浦正朗 (編) 「エッセンシャル口腔インプラント学」医歯薬出版、2009

**〔成績評価の方法・基準〕**

頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 2 3 4 5	前期 4月、 5月 火曜日 10:35 ～ 11:55	城戸	ユニット1 インプラントの表面性状	チタンインプラントの表面改質による骨組織のチタン界面での反応を説明する。	1. 現在、インプラントに使用されている材料の特性を説明する。 2. インプラントの表面改質法の種類を知り、その特性を説明する。 3. 骨の創傷治癒の組織学的、生化学的反応を理解し、説明する。 4. チタン表面での骨組織の生化学的反応を説明する。 5. インプラントの表面修飾法によるインプラントの成績について文献を挙げて説明する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第3版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学 講座研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
6 7 8 9 10	前期 5月、 6月 火曜日 10:35 ～ 11:55	城戸	ユニット2 治療計画	インプラント治療 計画を立案し、その 立案の科学的根拠 を説明する。	6. 残存歯の評価、 顎骨の骨量と骨形 態の評価、軟組織 の評価法を説明す る。 7. インプラント治 療での上部構造の 設計法を説明す る。 8. 埋入するイン プラントの数と位 置の決定法を説明 する。 9. 治療計画の立案 法とその立案の根 拠を説明する。 10. 臨床例での治療 計画を説明する。	行動目標に関す る内容を教科 書、参考書で確 認する。	よくわかる 口腔イン プラント学、 第3版、医 歯薬出版、 2017 インプラ ント治療にお ける成功へ の法則とリ カバリー、 2007、第一 歯科出版 エッセンシ ヤル口腔イ ンプラント 学、医歯薬 出版、2009	咬合修復学 講座研究室
11 12 13 14 15	前期 6月、 7月 火曜日 10:35 ～ 11:55	加倉	ユニット3 適応症と禁 忌症	インプラント治療 の適応症と禁忌 症、およびイン プラント治療の Risk Factor を説明す る。	11. 患者の術前評価 法を説明する。 12. 全身の評価から のインプラント治 療の適応症と禁忌 症を説明する。 13. 局所的评价から のインプラント治 療の適応症と禁忌 症を説明する。 14. 文献を挙げてイ ンプラント治療の 局所的、全身的 Risk Factor を説 明する。 15. インプラント治 療の適用に好まし い条件を列挙し、 患者教育と術前処 置を考える。	行動目標に関す る内容を教科 書、参考書で確 認する。	よくわかる 口腔イン プラント学、 第3版、医 歯薬出版、 2017 インプラ ント治療にお ける成功へ の法則とリ カバリー、 2007、第一 歯科出版 エッセンシ ヤル口腔イ ンプラント 学、医歯薬 出版、2009	咬合修復学 講座研究室
16 17 18 19 20	後期 9月、 10月 火曜日 10:35 ～ 11:55	加倉	ユニット4 合併症	インプラント治療 の外科的合併症と 補綴的合併症の原 因と頻度を説明す る。	16. 具体例を挙げイ ンプラント手術解 剖を説明する。 17. 具体例を挙げ、 インプラント補綴 法を説明する。 18. 手術中の合併症 を列挙し、合併症 の対応処置を説明 する。 19. 術後の合併症を 列挙し、合併症の 対応処置を説明す る。 20. 補綴的合併症を 列挙し、合併症の 対応処置を説明す る。	行動目標に関す る内容を教科 書、参考書で確 認する。	よくわかる 口腔イン プラント学、 第3版、医 歯薬出版、 2017 インプラ ント治療にお ける成功へ の法則とリ カバリー、 2007、第一 歯科出版 エッセンシ ヤル口腔イ ンプラント 学、医歯薬 出版、2009	咬合修復学 講座研究室

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
21 22 23 24 25	後期 10月、 11月 火曜日 10:35 ～ 11:55	城戸	ユニット5 上部構造	インプラント上部構造の構造、材料、および製作法を説明する。	21. インプラント上部構造の種類と特徴を説明する。 22. インプラント上部構造の材料の種類と特徴を説明する。 23. インプラント上部構造の製作法を説明する。 24. 歯冠修復用のセラミック材料の種類と特徴を説明する。 25. CAD-CAM アバットメント、CAD-CAM クラウン、ブリッジの種類と特徴を説明する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する	よくわかる口腔インプラント学、第3版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学 講座研究室
26 27 28 29 30	後期 10月、 11月 火曜日 10:35 ～ 11:55	城戸	ユニット6 EBM	コンセンサスが得られているインプラント治療の適応症について文献を挙げて説明する。	26. 文献を挙げて部位別のインプラント長期成績を説明する。 27. 文献を挙げて無歯顎のインプラント補綴例の長期成績を説明する。 28. 文献を挙げて単独歯欠損に対するインプラント治療の長期成績を説明する。 29. 文献を挙げてインプラントのための骨増量法の長期成績を説明する。 30. 文献を挙げてインプラントのメンテナンス治療の方法とその重要性を説明する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する	よくわかる口腔インプラント学、第2版、医歯薬出版、2011 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学 講座研究室

## 口腔インプラント学実習①・② (インプラント治療計画作成法実習①・②)

① 前期30コマ (ユニット1～3 : 2単位)

② 後期30コマ (ユニット4～6 : 2単位)

評価責任者 : 城戸寛史

**〔担当教員〕**

城戸寛史、加倉加恵

**〔一般目標〕**

歯科インプラント治療を円滑に進め、患者の口腔機能と形態を回復するために、適切な治療計画を立案し、それ実現する能力を身に付ける。

**〔授業到達目標〕**

インプラント治療に関する患者説明、診断、治療計画の立案、基本的なインプラント埋入術の習得、上部構造製作のための印象採得、咬合採得、装着が行える。また、メンテナンスを施行できる。

**〔教科書・参考書〕**

赤川安正、松浦正朗、他 (編) 「よくわかる口腔インプラント学」第3版、医歯薬出版、2017  
 渡邊文彦、松浦正朗 (編) 「インプラント治療における成功への法則とリカバリー」2007、第一歯科出版  
 古谷野潔、松浦正朗 (編) 「エッセンシャル口腔インプラント学」医歯薬出版、2009

**〔成績評価の方法・基準〕**

頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 2 3 4 5	前期 4月、 5月 月曜日 13:00 ～ 15:55	城戸	ユニット1 画像診断	上下顎および周囲軟組織の立体構造と、そのCT画像所見を説明する。	1. パノラマ、およびCT画像での解剖学的正常像を説明する。 2. 正常像でのvariationを説明する。 3. 歯の喪失と加齢による硬組織および軟組織の変化を説明する。 4. インプラント手術において risk factorとなる解剖学的構造の条件を説明する。 5. 軟組織の評価に必要な項目をリストアップし、その項目の意義と評価方法を説明する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第3版、医歯薬出版、2017 渡邊文彦、インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学 講座研究室

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
6 7 8 9 10	前期 6月、 7月 月曜日 13:00 ～ 15:55	城戸	ユニット2 治療計画	インプラント治療計画を立案し、その立案の科学的根拠を説明する。	6. 診断用ワックスアップの理論を説明する。 7. 診断用ワックスアップの製作方法に熟練する。 8. 診断用ガイドプレート、外科用ガイドプレートの意義と製作法を説明する。 9. 診断用ワックスアップからの診断用ガイドプレートを製作しその方法と理論を説明する。 10. 臨床例での診断用ワックスアップ、診断用ガイドプレート、外科用ガイドプレートを製作する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第3版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学 医歯薬出版、2009	咬合修復学 講座研究室
11 12 13 14 15	前期 8月、 9月 月曜日 13:00 ～ 15:55	加倉	ユニット3 手術シミュレーション 1	インプラント手術シミュレーション法の基礎的な理論を理解し、手術計画作成法を理解し修得する。	11. インプラント手術シミュレーションの原理を説明する。 12. インプラント手術シミュレーションソフトの使用法を学び、その操作を習熟する。 13. 各種画像を読影し、三次元画像との対応を比較し、顎顔面の硬組織の構造を理解する。 14. 臨床例で手術のシミュレーションを行い、手術計画作成法を習得する。 15. 臨床例で手術のシミュレーションを行い、手術計画作成法を習得する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第3版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学 講座研究室



回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
16 17 18 19 20	後期 10月、 11月 月曜日 13:00 ～ 15:55	加倉	ユニット4 手術シミュレーション 2	インプラント治療の外科的合併症と補綴的合併症の原因と頻度を説明する。	16. 臨床例で下顎臼歯部欠損のインプラント手術のシミュレーションを行い、手術計画作成法を習得する。 17. 臨床例で下顎臼歯部欠損のインプラント手術のシミュレーションを行い、手術計画作成法を習得する。 18. 臨床例で下顎臼歯部欠損のインプラント手術のシミュレーションを行い、手術計画作成法を習得する。 19. 臨床例で上顎臼歯部インプラント手術のシミュレーションを行い、手術計画作成を習得する。 20. 臨床例で上顎前歯部インプラント手術のシミュレーションを行い、手術計画作成を習得する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第3版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学 講座研究室
21 22 23 24 25	後期 12月、 1月 月曜日 13:00 ～ 15:55	城戸	ユニット5 埋入手術	臨床症例の手術計画を作り、手術を経験する。	21. 症例の手術シミュレーションを行い、実際に指導医と一緒に下顎臼歯部インプラント手術を体験する。 22. 症例の手術シミュレーションを行い、実際に指導医と一緒に下顎臼歯部インプラント手術を体験する。 23. 症例の手術シミュレーションを行い、実際に指導医と一緒に上顎臼歯部インプラント手術を体験する。 24. 症例の手術シミュレーションを行い、実際に指導医と一緒に上顎前歯部インプラント手術を体験する。 25. 骨移植が必要な症例の手術シミュレーションを行い、インプラント手術を体験する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第3版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学 講座研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
26 27 28 29 30	後期 2月、 3月 月曜日 13:00 ～ 15:55	城戸	ユニット6 EBM	臨床症例を体験し、手術結果をシミュレーションと比較して報告する。	26. 経験した下顎臼歯部インプラント症例の結果を調査し、症例報告を行う。 27. 経験した下顎臼歯部インプラント症例の結果を調査し、症例報告を行う。 28. 経験した上顎臼歯部インプラント症例の結果を調査し、症例報告を行う。 29. 経験した上顎前歯部インプラント症例の結果を調査し、症例報告を行う。 30. 経験した骨移植が必要な症例の結果を調査し、症例報告を行う。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第3版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学 講座研究室

## 口腔インプラント学実習③ (インプラントのための骨形態の評価と診断・治療実習)

後期30コマ (ユニット1～6 : 2単位)

評価責任者: 城戸寛史

**〔担当教員〕**

城戸寛史、加倉加恵、森永健三

**〔一般目標〕**

歯科インプラント治療を円滑に進め、患者の口腔機能と形態を回復するために、適切な治療計画を立案し、それ実現する能力を身に付ける。

**〔授業到達目標〕**

インプラント治療に関する患者説明、診断、治療計画の立案、基本的なインプラント埋入術の習得、上部構造製作のための印象採得、咬合採得、装着が行える。また、メンテナンスを施行できる。

**〔教科書・参考書〕**

赤川安正、松浦正朗、他 (編) 「よくわかる口腔インプラント学」第3版、医歯薬出版、2017  
渡邊文彦、松浦正朗 (編) 「インプラント治療における成功への法則とリカバリー」2007、第一歯科出版  
古谷野潔、松浦正朗 (編) 「エッセンシャル口腔インプラント学」医歯薬出版、2009

**〔成績評価の方法・基準〕**

頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 2 3 4 5	後期 9月、 10月 月曜日 13:00 ～ 15:55	城戸	ユニット1 加齢変化	加齢や抜歯による口腔顎顔面の硬組織および周囲軟組織の立体構造の変化を説明する。	1. パノラマ、およびCT画像での顎骨の解剖学的正常像を説明する。 2. 正常像でのvariationを説明する。 3. 歯の喪失と加齢による硬組織の変化を説明する。 4. 歯の喪失と加齢による軟組織の変化を説明する。 5. 硬組織および軟組織の評価に必要な項目をリストアップし、その項目の意義と評価方法を説明する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第2版、医歯薬出版、2011 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学 医歯薬出版、2009	咬合修復学 講座研究室

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
6 7 8 9 10	後期 11月、 12月 月曜日 13:00 ～ 15:55	城戸	ユニット2 治療計画	顎骨形態を診断し、コンピュータシミュレーションを行い、インプラントによる咬合回復に必要な顎骨形態の条件と骨量などの回復手術を習得する。 症例のプロブレムリストを作り、骨増量の治療計画を立案し、実際の手術に応用する。	6. 顎骨欠損の評価に必要な項目をリストアップし、修復法を理論的に説明する。 7. コンピュータシミュレーションを行い、歯列の修復に必要な骨欠損量を診断し、移植骨採取部位を診断する。 8. 移植骨の採取術式を習得する。 9. 骨移植床を形成し、骨移植、GBRを実習する。 10. 臨床例を診断し、手術計画を作成し臨床を経験する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第3版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学 講座研究室
11 12 13 14 15	後期 1月、 2月 月曜日 13:00 ～ 15:55	加倉	ユニット3 上顎洞底居 城手術	上顎洞を理解し、骨量回復法を立案する。 コンピュータシミュレーションを行い臨床症例を体験し、手術結果を評価する。	11. 上顎洞の形態を理解するために三次元画像を作製する。 12. 多くの上顎の画像を観察し、variationや疾患の有無を診断する。 13. 症例の画像を読み影し、コンピュータシミュレーションを行い治療計画を立案する。 14. 治療計画を立案した臨床例の手術を体験する。 15. 治療計画を立案した臨床例の手術を体験し、手術結果を評価する。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第3版、医歯薬出版、2017 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学 講座研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
16 17 18 19 20	後期 10月、 11月 月曜日 13:00 ～ 15:55	加倉	ユニット4 手術シミュ レーション 2	インプラント治療 の外科的合併症と 補綴的合併症の原 因と頻度を説明す る。	16. 臨床例で下顎白 歯部欠損のインプラ ント手術のシミュレ ーションを行い、手 術計画作成法を習得 する。 17. 臨床例で下顎白 歯部欠損のインプラ ント手術のシミュレ ーションを行い、手 術計画作成法を習得 する。 18. 臨床例で下顎白 歯部欠損のインプラ ント手術のシミュレ ーションを行い、手 術計画作成法を習得 する。 19. 臨床例で上顎白 歯部インプラント手 術のシミュレーショ ンを行い、手術計画 作成を習得する。 20. 臨床例で上顎前 歯部インプラント手 術のシミュレーショ ンを行い、手術計画 作成を習得する。	行動目標に関す る内容を教科 書、参考書で確 認する。	よくわかる 口腔インプ ラント学、 第3版、医 歯薬出版、 2017 インプラン ト治療にお ける成功へ の法則とリ カバリー、 2007、第一 歯科出版 エッセンシ ヤル口腔イ ンプラント 学、医歯薬 出版、2009	咬合修復学 講座研究室
21 22 23 24 25	後期 12月、 1月 月曜日 13:00 ～ 15:55	城戸	ユニット5 埋入手術	臨床症例の手術計 画を作り、手術を経 験する。	21. 症例の手術シミ ュレーションを行 い、実際に指導医と 一緒に下顎白歯部イ ンプラント手術を体 験する。 22. 症例の手術シミ ュレーションを行 い、実際に指導医と 一緒に下顎白歯部イ ンプラント手術を体 験する。 23. 症例の手術シミ ュレーションを行 い、実際に指導医と 一緒に上顎白歯部イ ンプラント手術を体 験する。 24. 症例の手術シミ ュレーションを行 い、実際に指導医と 一緒に上顎前歯部イ ンプラント手術を体 験する。 25. 骨移植が必要な 症例の手術シミュレ ーションを行い、イ ンプラント手術を体 験する。	行動目標に関す る内容を教科 書、参考書で確 認する。	よくわかる 口腔インプ ラント学、 第2版、医 歯薬出版、 2011 インプラン ト治療にお ける成功へ の法則とリ カバリー、 2007、第一 歯科出版 エッセンシ ヤル口腔イ ンプラント 学、医歯薬 出版、2009	咬合修復学 講座研究室

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
26 27 28 29 30	後期 2月、 3月 月曜日 13:00 ～ 15:55	城戸	ユニット6 EBM	臨床症例を体験し、手術結果をシミュレーションと比較して報告する。	26. 経験した下顎臼歯部インプラント症例の結果を調査し、症例報告を行う。 27. 経験した下顎臼歯部インプラント症例の結果を調査し、症例報告を行う。 28. 経験した上顎臼歯部インプラント症例の結果を調査し、症例報告を行う。 29. 経験した上顎前歯部インプラント症例の結果を調査し、症例報告を行う。 30. 経験した骨移植が必要な症例の結果を調査し、症例報告を行う。	行動目標に関する内容を教科書、参考書で確認する。	よくわかる口腔インプラント学、第2版、医歯薬出版、2011 インプラント治療における成功への法則とリカバリー、2007、第一歯科出版 エッセンシャル口腔インプラント学、医歯薬出版、2009	咬合修復学 講座研究室

## 成育小児歯科学講義①

前期 15コマ (ユニット1～3 : 2単位)

評価責任者：尾崎 正雄

**〔担当教員〕**

尾崎 正雄

**〔一般目標〕**

小児の心身の発育、心理および対応法、ならびに診療方針について修得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 小児歯科に必要な心身の発育について理解する。
- ② 小児患者の歯科的対応法について理解する。
- ③ 小児患者の治療方針について理解する。

**〔教科書・参考書〕**

参考書

前田隆秀 他編集「小児の口腔科学」学建書院、2005

黒須一夫、土屋友幸「小児の歯科医療心理」医歯薬出版、1987

日本歯科心身医学会編「歯科心身医学」医歯薬出版、2003

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点、各ユニット毎の提出レポート、口頭試問

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 2 3 4 5	前期 4月～ 5月 月曜日 13:00 ～ 16:00	尾崎	ユニット1 小児の心身の発育について理解する。	研究構想に基づいて小児の成長評価法を理解する。	1) 小児の発育の特徴について説明できる。 2) 身体の発育の特徴について説明できる。 3) 精神的発達の特徴について説明できる。 4) 生理的特徴について説明できる。 5) 小児の栄養について説明できる。	小児の成長に関する事項を生理学的、生化学的観点から自らが関心を持つ項目について考えておく。	プリント配布 「小児の口腔科学」学建書院	小児歯科 研究室内
6 7 8 9 10	前期 6月～ 7月 月曜日 13:00 ～ 16:00	尾崎	ユニット2 小児患者の歯科的対応法について理解する。	研究倫理に関する意識を高め、心理学的観点から小児の対応法の実践法と行動規範を理解する。	1) 対応に必要な心理について説明できる。 2) 一般的対応法について説明できる。 3) 小児の抑制的対応法について説明できる。 4) 鎮静、減痛下の対応法について説明できる。 5) 全身麻酔下の対応法について説明できる。	小児の性格形成と心理的成長についてりかいしておくこと。また、フロイトの心理面接について予習しておくこと。	プリント配布 「小児の口腔科学」学建書院 「小児の歯科医療心理」医歯薬出版、1987 「歯科心身医学」医歯薬出版、2003	小児歯科 研究室内

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11 12 13 14 15	前期 8月～ 9月 月曜日 13:00 ～ 16:00	尾崎	ユニット3 小児歯科の 診療方針に ついて理解 する。	研究構想に基づ いて小児歯科の 診療方針につい て理解する。	1) 診察ができる。 2) 診断ができる。 3) 治療計画を説明 できる。 4) 患者教育につい て説明できる。 5) 定期検診につい て説明できる。	小児および その保護者 への心理的 配慮した診 療計画およ び診断方法 について考 えておく。	プリント配布 「小児の口腔 科学」学建書 院	小児 歯 科 研究室内



## 成育小児歯科学講義②

後期15コマ（ユニット1～3：2単位）

評価責任者：尾崎 正雄

〔担当教員〕

尾崎 正雄

〔一般目標〕

小児の歯列および咬合の発育を理解するとともに、咬合誘導法についても修得する。

〔授業到達目標〕

- ① 小児の歯および歯列の発育について理解する。
- ② 保隙の目的を理解し、保隙装置の作製法を理解し修得する。
- ③ 小児の咬合誘導法について理解し修得する。

〔教科書・参考書〕

参考書

前田隆秀 他編集「小児の口腔科学」学建書院、2005

内村 登ほか編「小児歯科実習」学建書院、2001

McNamara, Jr, JA, 著、宮島邦彰訳「混合歯列期の矯正治療」東京出版、1997

後藤滋巳ほか編「混合歯列期の矯正歯科治療」医歯薬出版、2002

〔成績評価の方法・基準〕

出席点、各ユニット毎の提出レポート、口頭試問

回	授業日時 限	授 業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場 所
1 2 3 4 5	後期 10月～ 11月 月曜日 13:00 ～ 16:00	尾崎	ユニット1 小児の歯列 および咬合 の発育の基 礎を理解す る。	研究構想に基づいて小児の成長評価法を理解する。また口腔機能の発育と顎顔面の発育に配慮した診療計画および診断方法について理解する。	1. 歯の発育について説明できる。 2. 歯の形成異常について説明できる。 3. 歯の萌出異常について説明できる。 4. 歯列および咬合の発育について説明できる。 5. 歯列および咬合の発育異常について説明できる。	小児の成長に関する事項を生理学的、生化学的観点から自らが関心を持つ項目について考えておく。	配布プリント 参考書	小児歯科 研究室内
6 7 8 9 10	後期 12月～ 1月 月曜日 13:00 ～ 16:00	尾崎	ユニット2 保隙に ついて理解 する。	研究倫理に関する意識を高め、研究構想に基づいた歯列形態と顎顔面の発育に配慮した診療計画および診断方法について理解する。	1. 保隙の目的を説明できる。 2. 保隙装置の必要条件について説明できる。 3. 保隙装置の種類を説明できる。 4. 保隙装置の作製法を修得し説明できる。 5. 保隙装置装着後の管理について説明できる。	小児の性格形成と心理的成長についてりかいしておくこと。また、フロイトの心理面接について予習しておくこと。	配布プリント 参考書	小児歯科 研究室内
11 12 13 14 15	後期 2月～ 3月 月曜日 13:00 ～ 16:00	尾崎	ユニット3 咬合誘導の 臨床を理解 し習得する。	研究構想に基づいて歯列形態と顎顔面の発育に配慮した診療計画および診断方法について理解する。	1. 診査と診断ができる。 2. 乳歯列期咬合誘導を説明できる。 3. 永久歯萌出余地不足に対する処置を説明できる。 4. 混合歯列期の咬合誘導について説明できる。 5. 外科的咬合誘導について説明できる。	歯列形態と顎顔面の発育に配慮した診療計画および診断方法について考えておく。	配布プリント 参考書	小児歯科 研究室内

## 成育小児歯科学実習①

前期30コマ（ユニット1～3：2単位）  
評価責任者：尾崎 正雄

〔担当教員〕  
尾崎 正雄

〔一般目標〕  
小児歯科学の臨床において診断並びに処置法を修得する。

〔授業到達目標〕  
① 小児患者の臨床データを基に診断と治療計画を立てることができる。  
② 小児患者の定期健診を行うことができる。

〔教科書・参考書〕  
参考書  
前田隆秀 他編集「小児の口腔科学」学建書院、2005  
内村 登ほか編「小児歯科実習」学建書院、2001  
McNamara, Jr, JA, 著、宮島邦彰訳「混合歯列期の矯正治療」東京出版、1997  
後藤滋巳ほか編「混合歯列期の矯正歯科治療」医歯薬出版、2002

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点、各ユニット毎の提出レポート、口頭試問

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
1 2 3 4 5	前期 4月～ 5月 月曜日 13:00 ～ 16:00	尾崎	ユニット1 低年齢児 のデータ から診 断なら びに治 療計 画を立 てるこ とがで きる。	低年齢児における高頻度歯科疾患の治療と全身疾患に伴う軟組織疾患や硬組織疾患を理解する。	1. 小児患者を診断し齲蝕治に関する療計画を立てる。 2. 小児患者を診断し口腔機能異常に関する治療計画を立てる。 3. 小児患者を診断し軟組織疾患に関する治療計画を立てる。 4. 小児患者を診断し発育異常（遺伝子疾患を含む）治療計画を立てる。 5. 小児患者を診断し小児全身疾患に関する治療計画を立てる。	小児の成長に関する事項を生理学的、生化学的観点から自らが関心を持つ項目について考えておく。	プリント配布 「小児の口腔科学」学建書院	小児歯科 研究室内
6 7 8 9 10	前期 6月～ 7月 月曜日 13:00 ～ 16:00	尾崎	ユニット2 幼児患者 のデータ から診 断なら びに治 療計 画を立 てるこ とがで きる。	幼児における高頻度歯科疾患の治療と全身疾患に伴う軟組織疾患や硬組織疾患を理解する。また、乳歯の早期喪失に対する保隙を理解する	1. 小児患者を診断し齲蝕治に関する療計画を立てる。 2. 小児患者を診断し口腔機能異常に関する治療計画を立てる。 3. 小児患者を診断し軟組織疾患に関する治療計画を立てる。 4. 小児患者を診断し発育異常（遺伝子疾患を含む）治療計画を立てる。 5. 小児患者を診断し小児全身疾患に関する治療計画を立てる。	小児の性格形成と心理的成長について予習しておくこと。	プリント配布 「小児の口腔科学」学建書院 「小児の歯科医療心理」医歯薬出版、1987 「歯科心身医学」医歯薬出版、2003	小児歯科 研究室内

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学 習 目 標 (G I O)	行 動 目 標 (S B O s)	予 習 の 項 目	媒 体 ・ 参 考 資 料	場 所
11 12 13 14 15	前期 8月～ 9月 月曜日 13:00 ～ 16:00	尾崎	ユニット3 学童期の患 者のデータ から診断な らびに治療 計画を立て ることがで きる。	混合歯列期にお ける高頻度歯 科疾患の治 療と全身疾 患に伴う軟 組織疾患 や硬組織疾 患を理解す る。また、乳 歯の早期喪 失や歯列不 正に対する 処置方針を 理解する	1. 小児患者を診断し 齲蝕治に関する療 計画を立てる。 2. 小児患者を診断し 口腔機能異常に関 する治療計画を 立てる。 3. 小児患者を診断し 軟組織疾患に関 する治療計画を 立てる。 4. 小児患者を診断し 発育異常（遺伝 子疾患を含む） 治療計画を 立てる。 5. 小児患者を診断し 小児全身疾患に 関する治療計 画を立てる。	顎顔面の発育 と歯列不正お よび口腔機能 障害との関係 について理解 しておく。	プリント配布 「小児の口 腔科学」学建 書院 「小児歯 科実習」学建 書院、2001 「混合歯列 期の矯正治 療」東京出 版、1997 「混合歯列 期の矯正歯 科治療」医 歯薬出版、2002	小児歯科 研究室内

## 成育小児歯科学実習②

前期30コマ (ユニット1～3 : 2単位)

評価責任者：尾崎 正雄

〔担当教員〕  
尾崎 正雄

〔一般目標〕  
小児歯科学の臨床において診断並びに処置法を修得する。

〔授業到達目標〕  
① 小児患者の臨床データを基に診断と治療計画を立てることができる。  
② 小児患者の定期健診を行うことができる。

〔教科書・参考書〕  
参考書  
前田隆秀 他編集「小児の口腔科学」学建書院、2005  
内村 登ほか編「小児歯科実習」学建書院、2001  
McNamara, Jr, JA, 著、宮島邦彰訳「混合歯列期の矯正治療」東京出版、1997  
後藤滋巳ほか編「混合歯列期の矯正歯科治療」医歯薬出版、2002

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点、各ユニット毎の提出レポート、口頭試問

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
1 ～ 10	7月～ 8月 金曜日 13:00 ～ 14:30	尾崎	ユニット1 低年齢患児 のデータか ら診断なら びに治療計 画を立てる ことができる。	低年齢児における 高頻度歯科疾患の 治療と全身疾患に 伴う軟組織疾患や 硬組織疾患を理解 する。	1. 小児患者を診断し 齲蝕治に関する療計 画を立てる。 2. 小児患者を診断し 口腔機能異常に関す る治療計画を立てる。 3. 小児患者を診断し 軟組織疾患に関する 治療計画を立てる。 4. 小児患者を診断し 発育異常(遺伝子疾患 を含む)治療計画を立 てる。 5. 小児患者を診断し 小児全身疾患に関す る治療計画を立てる。	小児の成長 に関する事 項を生理学 的、生化学 的観点から自 ら関心を持 つ項目につ いて考え ておく。	プリント配布 参考書	小児歯科 研究室内
11 ～ 20	8月～ 9月 金曜日 13:00 ～ 14:30	尾崎	ユニット2 幼児患者の データから 診断ならび に治療計 画を立てる ことができる。	幼児における高頻 度歯科疾患の治 療と全身疾患に 伴う軟組織疾 患や硬組織疾 患を理解する 。また、乳歯 の早期喪失に 対する保隙を 理解する	1. 小児患者を診断し 齲蝕治に関する療計 画を立てる。 2. 小児患者を診断し 口腔機能異常に関す る治療計画を立てる。 3. 小児患者を診断し 軟組織疾患に関する 治療計画を立てる。 4. 小児患者を診断し 発育異常(遺伝子疾患 を含む)治療計画を立 てる。 5. 小児患者を診断し 小児全身疾患に関す る治療計画を立てる。	小児の性格 形成と心理 的成長につ いてりかい しておくこ と。また、フ ロイトの心 理面接につ いて予習し ておくこと。	プリント配布 参考書	小児歯科 研究室内
21 ～ 30	9月～ 11月 金曜日 13:00	尾崎	ユニット3 学童期の患 者のデータ	混合歯列期にお ける高頻度 歯科疾患の 治療と全身 疾患	1. 小児患者を診断し 齲蝕治に関する療計 画を立てる。 2. 小児患者を診断し	顎顔面の発 育と歯列 不正および 口腔機能障 害	プリント配布 参考書	小児歯科 研究室内

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
	～ 14:30		から診断な らびに治療 計画を立て ることがで きる。	に伴う軟組織疾患 や硬組織疾患を理 解する。また、乳歯 の早期喪失や歯列 不正に対する処置 方針を理解する	口腔機能異常に関す る治療計画を立てる。 3. 小児患者を診断し 軟組織疾患に関する 治療計画を立てる。 4. 小児患者を診断し 発育異常(遺伝子疾患 を含む)治療計画を立 てる。 5. 小児患者を診断し 小児全身疾患に関す る治療計画を立てる。	との関係に ついて理解 しておく。		

## 成育小児歯科学実習③ (小児の咬合誘導実習)

後期30コマ (ユニット1～3 : 2単位)  
評価責任者 : 尾崎 正雄

〔担当教員〕  
尾崎 正雄

〔一般目標〕  
小児の歯列および咬合の発育を理解するとともに、咬合誘導法についても修得する。

〔授業到達目標〕  
① 小児の歯および歯列の発育について理解する。  
② 保隙の目的を理解し、保隙装置の作製法を理解し修得する。  
③ 小児の咬合誘導法について理解し修得する。

〔教科書・参考書〕  
参考書  
前田隆秀 他編集「小児の口腔科学」学建書院、2005  
内村 登ほか編「小児歯科実習」学建書院、2001  
McNamara, Jr, JA, 著、宮島邦彰訳「混合歯列期の矯正治療」東京出版、1997  
後藤滋巳ほか編「混合歯列期の矯正歯科治療」医歯薬出版、2002

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点、各ユニット毎の提出レポート並びに製作物、口頭試問、

回	授業日時	授業者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 10	後期 10月 ～ 11月 金曜日 13:00 ～ 14:30	尾崎	ユニット1 小児の歯列 および咬合 の発育の基 礎を理解す る。保隙に ついて理解 する。	研究構想に基づいて小児の成長評価法を理解する。また口腔機能の発育と顎顔面の発育に配慮した診療計画および診断方法について理解する。	1. クラウンループを作製する。 2. ディスタルシューを作製する。	小児の顎顔面成長に関する事項を發育学的観点から自らが関心を持つ項目について考えておく。	プリント配布 参考書	小児歯科 診療室内
11 ～ 20	後期 12月 ～ 1月 金曜日 13:00 ～ 14:30	尾崎	ユニット2 保隙につい て理解す る。動的咬 合誘導装置 を作製でき る。	研究倫理に関する意識を高め、研究構想に基づいた歯列形態と顎顔面の発育に配慮した診療計画および診断方法について理解する。	1. リンガルアーチを作製する。 2. リンガルアーチを使用した動的咬合誘導装置を作製する。	顎顔面の発育と歯列不正および口腔機能障害との関係について理解しておく。	プリント配布 参考書	小児歯科 診療室内
21 ～ 30	後期 2月～ 3月 金曜日 13:00 ～ 14:30	尾崎	ユニット3 咬合誘導の 臨床を理 解し習得す る。	混合歯列期における高頻度歯科疾患の治療と全身疾患に伴う軟組織疾患や硬組織疾患を理解する。また、乳歯の早期喪失や歯列不正に対する処置方針を理解する	1. 床型保隙装置を作製する。 2. 床型咬合誘導装置を作製する。	顎顔面の発育と歯列不正および口腔機能障害との関係について理解しておく。	プリント配布 参考書	小児歯科 診療室内

## 障害者歯科学講義① (障害者歯科診療における行動調整と医療安全管理)

前期15コマ (ユニット1～4 : 2単位)

評価責任者 : 小島 寛

**〔担当教員〕**

小島 寛

**〔一般目標〕**

知的障害、発達障害を有する患者の精神発達状態を理解し、精神的負担に配慮し、かつ安全な歯科医療を提供するために必要な対応法および医療安全管理に関する専門的知識を修得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 知的障害を有する患者の歯科治療における対応法を文献的エビデンスにもとづき説明できる。
- ② 発達障害を有する患者の歯科治療における対応法を文献的エビデンスにもとづき説明できる。
- ③ 障害者歯科診療における感染防止対策を文献的エビデンスにもとづき説明できる。
- ④ 障害者歯科診療における医療安全管理を文献的エビデンスにもとづき説明できる。

**〔参考書〕**

1. 「小児歯科患者の臨床的対応」 (クインテッセンス出版)
2. 「自閉症のすべてがわかる本」 (講談社)
3. 「一から学ぶ歯科医療安全管理」 (医歯薬出版)

**〔成績評価の方法・基準〕**

筆記試験を課し、60%以上の得点率を合格とする。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	4/5 17:30～ 18:50	小島	ユニット1 知的障害者 への歯科的 対応	発達段階と治療 協力度の関係を 理解する。	1) 発達段階の判定 法を説明する。 2) 歯科診療への協 力が得られる発 達段階を説明す る。	参考資料を読 む。	乳幼児発達 検査法 愛院大歯誌 32: 573- 585, 1994	障害者歯科 学研究室
2	4/12 17:30～ 18:50			歯科器具・機器 使用時の患者の 外部および内部 行動の変化を理 解する。	3) 外部および内部 行動の変化の判 定方法を説明す る。 4) 各種器具・機器 使用時の患者の 反応を説明す る。	参考資料を読 む。	「小児歯科 患者の臨床 的対応」 (クインテ ッセンス出 版)	障害者歯科 学研究室
3	4/19 17:30～ 18:50			一般的対応法に ついて理解す る。	5) 診療内容の伝達 のしかたを説明 する。 6) 行動変容法を説 明する。	参考資料を読 む。	「小児歯科 患者の臨床 的対応」 (クインテ ッセンス出 版)	障害者歯科 学研究室
4	4/26 17:30～ 18:50			歯科治療に不協 力となる原因と 協力が変化す る過程を理解す る。	7) 患者が拒否する ものについて説 明する。 8) 患者の協力が 変化する過程に ついて説明す る。	参考資料を読 む。	小児歯科臨 床 13:49- 55, 2008 「子どもの 拒絶に困っ たとき」 (砂書房)	障害者歯科 学研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
5	5/10 17:30～ 18:50			患者の心理変化 を理解する。	9) 体験前後の心理 変化を説明す る。 10) 体験前後の行動 変化を説明す る。	参考資料を読 む。	発汗学 16: 33-36, 2009 トレーニング 動画	障害者歯科 学研究室
6	5/17 17:30～ 18:50	小島	ユニット2 発達障害者 への対応	自閉症の特徴を 理解する。	1) 想像力障害を説 明する。 2) コミュニケーシ ョン障害を説明 する。	参考資料を読 む。	「自閉症の すべてがわ かる本」 (講談社)	障害者歯科 学研究室
7	5/24 17:30～ 18:50			歯科診療におけ る自閉症者の行 動パターンを理 解する。	3) 正確性へのこだ わりを説明す る。 4) 同一性保持を説 明する。	参考資料を読 む。	障歯誌 28: 11-19, 2007	障害者歯科 学研究室
8	5/31 17:30～ 18:50			発達障害者との コミュニケーション のとり方を理 解する。	5) 自閉症者に対す る TSD 法を説明 する。 6) TEACCH 法を説明 する。	自閉症者に対す る TSD 法や TEACCH 法の有用 性について調べ る。	障歯誌 31: 149-158, 2010 トレーニング 動画	障害者歯科 学研究室
9	6/7 17:30～ 18:50			発達障害者に対 する歯科治療の 進め方を理解す る。	7) 身体拘束の3要 件を説明する。 8) 歯科診療におけ るスモールステ ップを説明す る。 9) 自閉症者に対す るモデリング法 を説明する。	参考資料を読 む。	身体拘束ゼ ロへの手引 き(厚生労 働省) 小児歯誌 47: 732- 737, 2009 トレーニング 動画	障害者歯科 学研究室
10	6/14 17:30～ 18:50			小島	ユニット3 感染防止対 策	感染症を有する 患者への対応を 理解する。	1) 感染症を有する 患者の歯科受診 状況を説明す る。	参考資料を読 む。
11	6/21 17:30～ 18:50	CDC ガイドライン を理解する。	2) スタンダードブ レコーションを 説明する。			参考資料を読 む。	CDC ガイド ライン	障害者歯科 学研究室
12	6/28 17:30～ 18:50	わが国の歯科に おける院内感染 防止対策ガイド ラインを理解す る。	3) 再使用器具の処 理方法を説明す る。 4) 印象材、技工物 の処理方法を説 明する。			参考資料を読 む。	歯科におけ る院内感染 防止対策ガ イドライン (国公立大 学附属病院 感染対策協 議会歯科医 療部会)	障害者歯科 学研究室



回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
13	7/5 17:30～ 18:50	小島	ユニット4 医療安全管 理	障害者歯科にお けるインシデン ト・ヒヤリハッ トを理解する。	1) 障害者歯科にお ける医療事故につ いて説明する。	参考資料を読 む。	障歯誌 33: 640-648, 2012	障害者歯科 学研究室
14	7/12 17:30～ 18:50			医療安全管理体 制を理解する。	2) 医療法が求める医 療安全管理につ いて説明する。 3) 患者影響度分類に ついて説明する。 4) 医療事故防止対策 について説明す る。	参考資料を読 む。	本院医療事 故防止対策 マニュアル 「一から学 ぶ歯科医療 安全管理」 (医歯薬出 版)	障害者歯科 学研究室
15	7/20 17:30～ 18:50			医療事故報告制 度について理解 する。	5) 医療事故報告シ ステムについて説 明する。 6) 事故調査システ ムについて説明す る。	なし	スライド	障害者歯科 学研究室

## 障害者歯科学講義② (有病者の歯科治療)

後期15コマ (ユニット1～5 : 2単位)

評価責任者：小島 寛

**〔担当教員〕**

小島 寛

**〔一般目標〕**

歯科診療において配慮を要する代表的な疾患に関する全身のおよび歯科的専門的知識を修得する。

**〔授業到達目標〕**

代表的な疾患の全身のおよび歯科的特徴を文献的エビデンスにもとづき説明できる。

**〔参考書〕**

1. 「Syndromes of the head and neck」 (Oxford University Press)
2. 「口から診える症候群・病気」 (日本障害者歯科学会)

**〔成績評価の方法・基準〕**

筆記試験を課し、60%以上の得点率を合格とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	10/4 17:30～ 18:50	小島	ユニット1 口腔領域に異常を伴う染色体異常	歯、口腔、顎、顔面に異常を伴う染色体異常による症候群の歯科診療を理解する。	1) Down 症候群の歯周疾患を説明する。	参考資料を読む。	障害歯誌 16: 166-171, 1995 N Engl J Med 276:1460-1463, 1967	障害者歯科学研究室
2	10/18 17:30～ 18:50				2) Down 症候群の口腔の特徴を説明する。			
3	10/25 17:30～ 18:50				3) Turner 症候群の特徴を説明する。	参考資料の該当項目を読む。	Syndromes of the head and neck (Oxford University Press)	障害者歯科学研究室
		4) Klinefelter 症候群の特徴を説明する。	5) 猫鳴き症候群の特徴を説明する。	6) その他の染色体異常の特徴を説明する。	Syndromes of the head and neck (Oxford University Press)			
4	11/1 17:30～ 18:50	小島				ユニット2 口腔領域に異常を伴う遺伝疾患	歯、口腔、顎、顔面に異常を伴う遺伝疾患の歯科診療を理解する。	1) Treacher Collins 症候群の特徴を説明する。
					2) Robin シークエンスの特徴を説明する。			
					3) Goldenhar 症候群の特徴を説明する。			

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
5	11/8 17:30～ 18:50				4) 鎖骨頭蓋骨異形成症の特徴を説明する。 5) Apert 症候群および Crouzon 症候群の特徴を説明する。 6) Marfan 症候群の特徴を説明する。	参考資料の該当項目を読む。	Syndromes of the head and neck (Oxford University Press)	障害者歯科学研究室
6	11/15 17:30～ 18:50				7) Papillon-Lefevre 症候群の特徴を説明する。 8) 低フォスファターゼ症の特徴を説明する。	参考資料の該当項目を読む。	Syndromes of the head and neck (Oxford University Press) 「口から診える症候群・病気」(日本障害者歯科学会)	障害者歯科学研究室
7	11/22 17:30～ 18:50	小島	ユニット 3 口腔領域に異常を伴うその他の疾患	歯、口腔、顎、顔面に異常を伴う疾患の歯科診療を理解する。	1) 無汗型外胚葉異形成症の特徴を説明する。 2) 色素失調症の特徴を説明する。	参考資料の該当項目を読む。	Syndromes of the head and neck (Oxford University Press) 「口から診える症候群・病気」(日本障害者歯科学会)	障害者歯科学研究室
8	11/29 17:30～ 18:50				3) 先天性表皮水疱症の特徴を説明する。	参考資料の該当項目を読む。	「口から診える症候群・病気」(日本障害者歯科学会)	障害者歯科学研究室
9	12/6 17:30～ 18:50	小島	ユニット 4 心疾患と歯科治療	先天性心奇形を有する患者の歯科診療を理解する。	1) 代表的な先天性心奇形を説明する。	参考資料を読む。	感染性心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン (2008改訂版)	障害者歯科学研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
10	12/13 17:30～ 18:50				2) 一過性菌血症を 起こす歯科処置 について説明す る。 3) 抗生剤予防投与 が必要な先天性 心奇形について 説明する。 4) 抗生剤予防投与 の方法を説明す る。	参考資料を読 む。	J. Antimic rob Chemother 57: 1035-1042 , 2006 Circulati on116:173 6-54, 2007	障害者歯科 学研究室
11	12/20 17:30～ 18:50				5) 英国および米 国の抗生剤予防 投与法の変遷を 説明する。	参考資料を読 む。	福歯大誌 33: 21-28, 2007	障害者歯科 学研究室
12	1/17 17:30～ 18:50				6) 感染性心内膜 炎予防のための 最新の考え方を 説明する。	参考資料を読 む。	Am J Cardiol 54:797-80 1, 1984 Brit Dent J189:610- 616, 2000	障害者歯科 学研究室
13	1/24 17:30～ 18:50	小島	ユニット5 臓器移植、造 血幹細胞移 植と歯科治 療	移植患者の歯科 診療を理解す る。	1) 移植患者の易 感染性について 説明する。	参考資料を読 む。	<a href="http://www.in.gov/isdh/files/OrganTransplantProf.pdf#search=dental+management+of+the+organ+transplant+patient">http://www.in.gov/isdh/files/OrganTransplantProf.pdf#search=dental+management+of+the+organ+transplant+patient</a> , <a href="http://www.aapd.org/media/policies_guidelines/g_chemo.pdf#search=guideline+on+dental+management+of+pediatric+patients+receiving+chemotherapy">http://www.aapd.org/media/policies_guidelines/g_chemo.pdf#search=guideline+on+dental+management+of+pediatric+patients+receiving+chemotherapy</a> ,	障害者歯科 学研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
14	1/31 17:30～ 18:50				2) 移植予定患者の 歯科治療計画に ついて説明する。	参考資料を読 む。	「造血細胞 移植患者の 口腔ケアガ イドライ ン」(日本 口腔ケア学 会)	障害者歯科 学研究室
15	2/7 17:30～ 18:50				3) 口腔ケアについ て説明する。	なし		

## 障害者歯科実習① (全身麻酔下歯科治療)

前期30コマ (ユニット1 : 2単位)  
評価責任者 : 小島 寛

〔担当教員〕  
小島 寛

〔一般目標〕  
障害者がおかれた環境、ならびに基礎疾患、知的発達段階を的確に把握して、全身麻酔下歯科治療を行うための専門的知識・技能・態度を修得する。

〔授業到達目標〕  
障害者に対する全身麻酔下歯科治療を指導医の介助のもとで実施できる。

〔教科書・参考書〕  
なし

〔成績評価の方法・基準〕  
観察記録により判定し、60%以上の得点率を合格とする。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	6/10 9:00~ 10:20	小島	ユニット1 障害者の全 身麻酔した 歯科治療の 補助・介助・ 処置	安全で円滑な全身 麻酔下歯科治療を 実施するために必 要な知識、技能およ び態度を身につけ る。	1)保護者に対して全 身麻酔下歯科治療 の説明を行い、理 解を得る。	障害者歯科の全 身麻酔下歯科治 療マニュアル	患者 病棟 手術室 歯科ユニッ ト、歯科治 療器具・材 料、個人防 護具 電子カルテ	障害者歯科 診療室 病棟 手術室
2	10:35~ 11:55				2)関係するスタッ フに全身麻酔の実 施および入院に 関する必要事項 を連絡する。			
3	13:00~ 14:20				3)術前検査を実 施する。			
4	14:35~ 15:55				4)術前検査結果 を判断する。			
5	16:10~ 17:30				5)全身麻酔下 歯科治療計画 を立案する。			
6	6/17 9:00~ 10:20				6)診療に必要な 材料を漏れなく 準備することが できる。			
7	10:35~ 11:55				7)全身麻酔下 歯科治療の 補助を行う。			
8	13:00~ 14:20				8)全身麻酔下 で歯科治療 を行う。			
9	14:35~ 15:55				9)一連の内容を 診療録に記載 する。			
10	16:10~ 17:30				10)手術記録 を作成する。			
11	6/24 9:00~ 10:20			11)退院時 要約を作成 する。				
12	10:35~ 11:55							
13	13:00~ 14:20							
14	14:35~ 15:55							

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
15	16:10～ 17:30							
16	7/1 9:00～ 10:20							
17	10:35～ 11:55							
18	13:00～ 14:20							
19	14:35～ 15:55							
20	16:10～ 17:30							
21	7/8 9:00～ 10:20							
22	10:35～ 11:55							
23	13:00～ 14:20							
24	14:35～ 15:55							
25	16:10～ 17:30							
26	7/15 9:00～ 10:20							
27	10:35～ 11:55							
28	13:00～ 14:20							
29	14:35～ 15:55							
30	16:10～ 17:30							

## 障害者歯科実習② (発達障害者の行動変容1)

後期30コマ(ユニット1:2単位)  
評価責任者:小島 寛

〔担当教員〕  
小島 寛

〔一般目標〕

発達障害者の脳機能異常に由来する特有の認知行動様式を理解した上で、歯科診療における行動変容に必要な専門的知識・技能・態度を修得する。

〔授業到達目標〕

治療に不協力的な自閉スペクトラム症者に対して、歯科診療チェアで水平位をとらせ、口腔内診査を実施できる。

〔教科書・参考書〕

なし

〔成績評価の方法・基準〕

観察記録により判定し、60%以上の得点率を合格とする。

回	授業日時	授業者	ユニット番号・項目名	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	10/4 9:00~ 10:20	小島	ユニット1 発達障害者の歯科診療における説明の方法、診査のしかた	発達障害者の認知行動様式を理解し、安全で円滑な診療を実施するために必要な知識、技能および態度を身につける。	1)発達障害者を診察室に誘導する。 2)発達障害者に診察内容を説明する。 3)発達障害者を歯科診療チェアに座らせ、水平位をとらせる。 4)発達障害者に診療の手順を説明する。 5)発達障害者の口腔内診査を実施する。	自閉スペクトラム症の認知行動様式の特徴について調べる。 小児歯科患者への対応法について調べる。 障害者歯科患者への対応法について調べる。	患者 歯科ユニット、歯科治療器具・材料	障害者歯科診療室
2	10:35~ 11:55							
3	10/5 9:00~ 10:20							
4	10:35~ 11:55							
5	10/6 9:00~ 10:20							
6	10:35~ 11:55							
7	10/12 9:00~ 10:20							
8	10:35~ 11:55							
9	10/13 9:00~ 10:20							
10	10:35~ 11:55							
11	10/18 9:00~ 10:20							
12	10:35~ 11:55							



回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
13	10/19 9:00～ 10:20							
14	10/19 10:35～ 11:55							
15	10/20 9:00～ 10:20							
16	10/20 10:35～ 11:55							
17	10/25 9:00～ 10:20							
18	10/25 10:35～ 11:55							
19	10/26 9:00～ 10:20							
20	10/26 10:35～ 11:55							
21	10/27 9:00～ 10:20							
22	10/27 10:35～ 11:55							
23	11/1 9:00～ 10:20							
24	11/1 10:35～ 11:55							
25	11/2 9:00～ 10:20							
26	11/2 10:35～ 11:55							
27	11/8 9:00～ 10:20							
28	11/8 10:35～ 11:55							
29	11/9 9:00～ 10:20							
30	11/9 10:35～ 11:55							

## 障害者歯科実習③ (発達障害者の行動変容2)

後期30コマ (ユニット1: 2単位)

評価責任者: 小島 寛

〔担当教員〕

小島 寛

〔一般目標〕

発達障害者の脳機能異常に由来する特有の認知行動様式を理解した上で、歯科診療における行動変容に必要な専門的知識・技能・態度を修得する。

〔授業到達目標〕

治療に不協力的な自閉スペクトラム症者に対して、種々の治療の前準備となる機械的紙面清掃、浸潤麻酔、ラバーダム防湿を人的抑制や抑制具等を用いずに行うことができる。

〔教科書・参考書〕

なし

〔成績評価の方法・基準〕

観察記録により判定し、60%以上の得点率を合格とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	11/10 9:00~ 10:20	小島	ユニット1 発達障害者における基本的診療行為	発達障害者の認知行動様式を理解し、安全で円滑な診療を実施するために必要な知識、技能および態度を身につける。	1) 発達障害者に対して機械的歯面清掃を行う。 2) 発達障害者に対してラバーダム防湿を実施する。 3) 発達障害者に対してバキューム操作を実施する。 4) 発達障害者に対して浸潤麻酔を実施する。	自閉スペクトラム症の認知行動様式の特徴について調べる。 小児歯科患者への対応法について調べる。 障害者歯科患者への対応法について調べる。	患者 歯科ユニット、歯科治療器具・材料	障害者歯科診療室
2	10:35~ 11:55							
3	11/15 9:00~ 10:20							
4	10:35~ 11:55							
5	11/16 9:00~ 10:20							
6	10:35~ 11:55							
7	11/17 9:00~ 10:20							
8	10:35~ 11:55							
9	11/22 9:00~ 10:20							
10	10:35~ 11:55							
11	11/24 9:00~ 10:20							
12	10:35~ 11:55							

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
13	11/29 9:00～ 10:20							
14	10:35～ 11:55							
15	11/30 9:00～ 10:20							
16	10:35～ 11:55							
17	12/1 9:00～ 10:20							
18	10:35～ 11:55							
19	12/6 9:00～ 10:20							
20	10:35～ 11:55							
21	12/7 9:00～ 10:20							
22	10:35～ 11:55							
23	12/8 9:00～ 10:20							
24	10:35～ 11:55							
25	12/13 9:00～ 10:20							
26	10:35～ 11:55							
27	12/14 9:00～ 10:20							
28	10:35～ 11:55							
29	12/15 9:00～ 10:20							
30	10:35～ 11:55							

## 矯正歯科学講義①

前期15コマ（ユニット1～3：2単位）

評価責任者：玉置幸雄

〔担当教員〕

玉置幸雄

〔一般目標〕

顎顔面成長や不正咬合の発現を理解するとともに、不正咬合の診断や治療方法に関する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕

- ①顎顔面の成長発育を説明する。
- ②不正咬合の病態を説明する。
- ③不正咬合の診査・検査方法を説明する。

〔教科書・参考書〕

1. William R. Proffit 著『プロフィットの現代歯科矯正学』クインテッセンス出版 2004

〔成績評価の方法・基準〕

出席 20%、レポート 30%、指定症例の分析結果作成 50%

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	4/8 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット1 顎顔面の成 長発育	顎顔面の成長発育 を理解する。	顎顔面の成長発育を 説明する。	卒前時に修得し た成長発育の内 容についてまと めておく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
2	4/15 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット1 歯列の成長 発育	顎顔面の成長発育 を理解する。	歯列の成長発育を説 明する。	卒前時に修得し た成長発育の内 容についてまと めておく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
3	4/22 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット1 口腔機能の 発達	顎顔面の成長発育 を理解する。	口腔機能の発達を説 明する。	卒前時に修得し た成長発育の内 容についてまと めておく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
4	4/6 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット2 不正咬合の 病態	不正咬合の病態を 理解する。	叢生の病態を説明す る。	卒前時に修得し た不正咬合の病 態の内容について まとめておく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
5	5/13 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット2 不正咬合の 病態	不正咬合の病態を 理解する。	空隙歯列の病態を説 明する。	卒前時に修得し た不正咬合の病 態の内容について まとめておく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
6	5/20 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット2 不正咬合の 病態	不正咬合の病態を 理解する。	上顎前突の病態を説 明する。	卒前時に修得し た不正咬合の病 態の内容について まとめておく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
7	5/27 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット2 不正咬合の 病態	不正咬合の病態を 理解する。	下顎前突の病態を説 明する。	卒前時に修得し た不正咬合の病 態の内容につい てまとめてお く。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
8	6/3 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット2 不正咬合の 病態	不正咬合の病態を 理解する。	開咬の病態を説明す る。	卒前時に修得し た不正咬合の病 態の内容につい てまとめてお く。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
9	6/10 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット2 不正咬合の 病態	不正咬合の病態を 理解する。	過蓋咬合の病態を説 明する。	卒前時に修得し た不正咬合の病 態の内容につい てまとめてお く。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
10	6/17 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット2 不正咬合の 病態	不正咬合の病態を 理解する。	交叉咬合の病態を説 明する。	卒前時に修得し た不正咬合の病 態の内容につい てまとめてお く。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
11	6/24 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット2 不正咬合の 病態	不正咬合の病態を 理解する。	埋伏歯の病態を説明 する。	卒前時に修得し た不正咬合の病 態の内容につい てまとめてお く。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
12	7/1 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット3 不正咬合の 診査・検査	不正咬合の形態的 診査・検査方法を理 解する。	セファロ分析（側 面、正面）を説明す る。	卒前時に修得し た不正咬合の診 査・検査の内容 についてまとめ ておく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
13	7/8 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット3 不正咬合の 診査・検査	不正咬合の形態的 診査・検査方法を理 解する。	模型分析を説明す る。	卒前時に修得し た不正咬合の診 査・検査の内容 についてまとめ ておく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
14	7/15 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット3 不正咬合の 診査・検査	不正咬合の形態的 診査・検査方法を理 解する。	抜歯・非抜歯の判定 方法と固定の設定を 説明する。	卒前時に修得し た不正咬合の診 査・検査の内容 についてまとめ ておく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
15	8/26 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット3 不正咬合の 診査・検査	不正咬合の形態的 診査・検査方法を理 解する。	コンピュータを用い たセファロ分析を説 明する。	コンピュータに よるセファロ分 析に用いるソフ トの使用方法を 修得しておく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室

## 矯正歯科学講義②

後期15コマ（ユニット1～3：2単位）

評価責任者：玉置幸雄

### 〔担当教員〕

玉置幸雄

### 〔一般目標〕

顎顔面成長や不正咬合の発現を理解するとともに、不正咬合の診断や治療方法に関する基本的な知識を習得する。

### 〔授業到達目標〕

- ①不正咬合の診断方法を説明する。
- ②不正咬合の治療方法を説明する。
- ③他科とのチームアプローチを説明する。

### 〔教科書・参考書〕

1. William R. Proffit 著『プロフィットの現代歯科矯正学』クインテッセンス出版 2004

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席 20%、レポート 30%、指定症例の治療計画作成 50%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	9/30 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット1 不正咬合の機能的診査・検査と診断	不正咬合の機能的診査・検査方法と診断を理解する。	下顎位・早期接触の診査方法を説明する。	診査・検査に用いる器具と機器の使用方法を修得しておく。	プロフィットの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
2	10/7 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット1 不正咬合の機能的診査・検査と診断	不正咬合の機能的診査・検査方法と診断を理解する。	口腔周囲筋機能の診査方法を説明する。	診査・検査に用いる器具と機器の使用方法を修得しておく。	プロフィットの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
3	10/14 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット1 不正咬合の機能的診査・検査と診断	不正咬合の機能的診査・検査方法と診断を理解する。	顎運動解析装置を用いた検査方法を説明する。	診査・検査に用いる器具と機器の使用方法を修得しておく。	プロフィットの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
4	10/21 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット1 不正咬合の機能的診査・検査と診断	不正咬合の機能的診査・検査方法と診断を理解する。	POS を用いた診断方法を説明する。	診査・検査に用いる器具と機器の使用方法を修得しておく。	プロフィットの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
5	10/28 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット1 不正咬合の機能的診査・検査と診断	不正咬合の機能的診査・検査方法と診断を理解する。	矯正治療におけるインフォームドコンセントを説明する。	診査・検査に用いる器具と機器の使用方法を修得しておく。	プロフィットの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室
6	12/2 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット2 不正咬合の治療方法	各種不正咬合の治療方法を理解する。	矯正治療による組織変化を説明する。	卒前時に修得した治療方法の内容についてまとめておく。	プロフィットの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科学分野研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
7	12/9 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット2 不正咬合の 治療方法	各種不正咬合の治 療方法を理解する。	矯正治療に必要な力 学を説明する。	卒前時に修得し た治療方法の内 容についてまと めておく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
8	12/16 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット2 不正咬合の 治療方法	各種不正咬合の治 療方法を理解する。	唇舌側弧線装置、床 矯正装置と拡大装 置を説明する。	卒前時に修得し た治療方法の内 容についてまと めておく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
9	1/6 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット2 不正咬合の 治療方法	各種不正咬合の治 療方法を理解する。	機能的矯正装置を説 明する。	卒前時に修得し た治療方法の内 容についてまと めておく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
10	1/13 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット2 不正咬合の 治療方法	各種不正咬合の治 療方法を理解する。	顎整形装置を説明す る。	卒前時に修得し た治療方法の内 容についてまと めておく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
11	1/20 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット2 不正咬合の 治療方法	各種不正咬合の治 療方法を理解する。	マルチブラケット装 置による基本的治 療方法を説明する。	卒前時に修得し た治療方法の内 容についてまと めておく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
12	1/27 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット2 不正咬合の 治療方法	各種不正咬合の治 療方法を理解する。	保定を説明する。	卒前時に修得し た治療方法の内 容についてまと めておく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
13	2/3 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット3 不正咬合の 治療におけ るチームア プローチ	不正咬合の治療に おけるチームア プローチを理解する。	限局矯正を説明す る。	卒前時に修得し たチームアプ ローチの内容につ いてまとめてお く。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
14	2/17 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット3 不正咬合の 治療におけ るチームア プローチ	不正咬合の治療に おけるチームア プローチを理解する。	顎変形症の病態と外 科的矯正治療を説明 する。	卒前時に修得し たチームアプ ローチの内容につ いてまとめてお く。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室
15	2/24 (木) 13:00～ 14:20	玉置	ユニット3 不正咬合の 治療におけ るチームア プローチ	不正咬合の治療に おけるチームア プローチを理解する。	口唇・口蓋裂の病態 と治療を説明する。	卒前時に修得し たチームアプ ローチの内容につ いてまとめてお く。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科学 分野研究室

## 矯正歯科学実習①

前期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：玉置幸雄

### 〔担当教員〕

玉置幸雄、阿部朗子

### 〔一般目標〕

矯正治療に用いる基本的装置の製作方法を習得するとともに、基本的な診査・検査方法を習得して各種不正咬合の診断と治療計画の作成を行う。

### 〔授業到達目標〕

- ①口腔機能の基本的な検査方法を習得する。
- ②セファロ分析および模型分析の方法を習得する。

### 〔教科書・参考書〕

1. 宮下邦彦 著『頭部エックス線規格写真法の基礎 第2版』クインテッセンス出版 2009
2. William R. Proffit 著『プロフィットの現代歯科矯正学』クインテッセンス出版 2004

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席 20%、分析結果作成 30%、指定症例の診断・治療方針説明の OSCE 50%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 2	4/14 (水) 13:00～ 15:55	阿部	ユニット1 不正咬合の 機能的診 査・検査方法	不正咬合の機能的診査・検査方法を習得する。	口腔周囲筋機能の診査方法を習得する。	診査に用いる器具と機器の使用方法を修得しておく。	プロフィットの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科診療室
3 ～ 4	4/21 (水) 13:00～ 15:55	阿部	ユニット1 不正咬合の 機能的診 査・検査方法	不正咬合の機能的診査・検査方法を習得する。	下顎位・早期接触の診査方法を習得する。	診査に用いる器具と機器の使用方法を修得しておく。	プロフィットの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科診療室
5 ～ 6	5/7 (金) 13:00～ 15:55	阿部	ユニット1 不正咬合の 機能的診 査・検査方法	不正咬合の機能的診査・検査方法を習得する。	顎運動解析装置を用いた検査方法を習得する。	検査に用いる器具と機器の使用方法を修得しておく。	プロフィットの現代歯科矯正学 Proffit 著	矯正歯科診療室
7 ～ 10	5/12 (水) 9:00～ 15:55	玉置	ユニット2 不正咬合の 形態的診 査・検査方法 と診断	不正咬合の形態的診査・検査方法ならびに診断方法を習得する。	正面セファロを用いた硬組織分析方法を習得する。	セファロ分析に用いる器具とポリゴン表の使用方法を修得しておく。	頭部エックス線規格写真法の基礎 宮下邦彦 著	矯正歯科診療室
11 ～ 14	5/19 (水) 9:00～ 15:55	玉置	ユニット2 不正咬合の 形態的診 査・検査方法 と診断	不正咬合の形態的診査・検査方法ならびに診断方法を習得する。	側面セファロを用いた硬組織分析方法を習得する。	セファロ分析に用いる器具とポリゴン表の使用方法を修得しておく。	頭部エックス線規格写真法の基礎 宮下邦彦 著	矯正歯科診療室
15 ～ 18	5/26 (水) 9:00～ 15:55	玉置	ユニット2 不正咬合の 形態的診 査・検査方法 と診断	不正咬合の形態的診査・検査方法ならびに診断方法を習得する。	側面セファロを用いた軟組織分析方法を習得する。	セファロ分析に用いる器具とポリゴン表の使用方法を修得しておく。	頭部エックス線規格写真法の基礎 宮下邦彦 著	矯正歯科診療室



回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
19 ～ 22	6/2 (水) 9:00～ 15:55	玉置	ユニット2 不正咬合の 形 態 的 診 査・検査方法 と診断	不正咬合の形態的 診査・検査方法なら びに診断方法を習 得する。	顎態模型を用い歯 列・咬合の模型分析 方法を習得する。	模型分析に用い る器具とポリゴ ン表の使用 方法を修得して おく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科 診療室
23 ～ 26	6/9 (水) 9:00～ 15:55	玉置	ユニット2 不正咬合の 形 態 的 診 査・検査方法 と診断	不正咬合の形態的 診査・検査方法なら びに診断方法を習 得する。	予測模型の製作方法 を習得し、抜歯・非 抜歯の判定や外科的 矯正治療の治療計画 の作成に用いる。	模型分析に用い る器具とポリゴ ン表の使用 方法を修得して おく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科 診療室
27 ～ 30	6/16 (水) 9:00～ 15:55	玉置	ユニット2 不正咬合の 形 態 的 診 査・検査方法 と診断	不正咬合の形態的 診査・検査方法なら びに診断方法を習 得する。	POS を用いた診断方 法を習得する。	セファロ分析・ 模型分析に用い る器具とポリゴ ン表の使用 方法を修得して おく。	プロフィット の現代歯科 矯正学 Proffit 著	矯正歯科 診療室

## 矯正歯科学実習②

前期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：玉置幸雄

### 〔担当教員〕

玉置幸雄、阿部朗子

### 〔一般目標〕

矯正治療に用いる基本的装置の製作方法を習得するとともに、基本的な診査・検査方法を習得して各種不正咬合の診断と治療計画の作成を行う。

### 〔授業到達目標〕

- ①不正咬合の治療に用いる矯正装置の製作方法を習得する。
- ②混合歯列期の症例の診断を行い、治療計画を作成する。

### 〔教科書・参考書〕

1. 宮下邦彦 著『頭部エックス線規格写真法の基礎 第2版』クインテッセンス出版 2009
2. 石川博之 他編著『チェアサイド・ラボサイドの矯正装置ビジュアルガイド』医歯薬出版 2004
3. 石川博之 他編著『矯正歯科治療 この症例にこの装置 第2版』医歯薬出版 2017

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席 20%、装置製作物 30%、指定症例の診断・治療方針説明の OSCE 50%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 2	6/23 (水) 13:00～ 15:55	玉置	ユニット1 矯正装置の 製作方法	矯正装置の製作方法を習得する。	床装置を製作する。	卒前時に修得した床装置の製作方法についてまとめておく。	チェアサイド・ラボサイドの矯正装置ビジュアルガイド 石川博之 他編著	矯正歯科 診療室・技 工室
3 ～ 4	6/30 (水) 13:00～ 15:55	玉置	ユニット1 矯正装置の 製作方法	矯正装置の製作方法を習得する。	フレンケル装置を製作する。	卒前時に修得した床装置の製作方法についてまとめておく。	チェアサイド・ラボサイドの矯正装置ビジュアルガイド 石川博之 他編著	矯正歯科 診療室・技 工室
5 ～ 6	7/7 (水) 13:00～ 15:55	玉置	ユニット1 矯正装置の 製作方法	矯正装置の製作方法を習得する。	アクチバトールを製作する。	卒前時に修得した床装置の製作方法についてまとめておく。	チェアサイド・ラボサイドの矯正装置ビジュアルガイド 石川博之 他編著	矯正歯科 診療室・技 工室
7 ～ 8	7/14 (水) 13:00～ 15:55	阿部	ユニット1 矯正装置の 製作方法	矯正装置の製作方法を習得する。	クワドヘリックスを製作する。	卒前時に修得したリングルアーチの製作方法についてまとめておく。	チェアサイド・ラボサイドの矯正装置ビジュアルガイド 石川博之 他編著	矯正歯科 診療室・技 工室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
9 ～ 10	7/21 (水) 13:00～ 15:55	阿部	ユニット1 矯正装置の 製作方法	矯正装置の製作方 法を習得する。	急速拡大装置を製作 する。	卒前時に修得し たリングルア ーチの製作方法に ついてまとめて おく。	チェアサイ ド・ラボサイ ドの矯正装 置ビジュアル ガイド 石川博之 他編著	矯正歯科 診療室・技 工室
11 ～ 14	7/28 (水) 9:00～ 15:55	阿部	ユニット2 混合歯列期 の患者の診 断方法と治 療計画の作 成方法	混合歯列期の患者 の診断方法と治療 計画の作成方法を 習得する。	混合歯列期叢生症例 の診断と治療計画の 作成を行う。	卒前時に修得し た診断・治療計 画の作成方法に ついてまとめて おく。	矯正歯科治 療 この症 例にこの装 置 石川博之 他編著	セミナー室
15 ～ 18	8/4 (水) 9:00～ 15:55	阿部	ユニット2 混合歯列期 の患者の診 断方法と治 療計画の作 成方法	混合歯列期の患者 の診断方法と治療 計画の作成方法を 習得する。	混合歯列期上顎前突 症例の診断と治療計 画の作成を行う。	卒前時に修得し た診断・治療計 画の作成方法に ついてまとめて おく。	矯正歯科治 療 この症 例にこの装 置 石川博之 他編著	セミナー室
19 ～ 22	8/10 (火) 9:00～ 15:55	玉置	ユニット2 混合歯列期 の患者の診 断方法と治 療計画の作 成方法	混合歯列期の患者 の診断方法と治療 計画の作成方法を 習得する。	混合歯列期下顎前突 症例の診断と治療計 画の作成を行う。	卒前時に修得し た診断・治療計 画の作成方法に ついてまとめて おく。	矯正歯科治 療 この症 例にこの装 置 石川博之 他編著	セミナー室
23 ～ 26	8/18 (水) 9:00～ 15:55	玉置	ユニット2 混合歯列期 の患者の診 断方法と治 療計画の作 成方法	混合歯列期の患者 の診断方法と治療 計画の作成方法を 習得する。	混合歯列期開咬症例 の診断と治療計画の 作成および筋機能療 法を行う。	卒前時に修得し た診断・治療計 画の作成方法に ついてまとめて おく。	矯正歯科治 療 この症 例にこの装 置 石川博之 他編著	セミナー室
27 ～ 30	8/25 (水) 9:00～ 15:55	玉置	ユニット2 混合歯列期 の患者の診 断方法と治 療計画の作 成方法	混合歯列期の患者 の診断方法と治療 計画の作成方法を 習得する。	埋伏歯の診断と治療 計画の作成を行う。	卒前時に修得し た診断・治療計 画の作成方法に ついてまとめて おく。	矯正歯科治 療 この症 例にこの装 置 石川博之 他編著	セミナー室

## 矯正歯科学実習③

後期30コマ (ユニット1～2 : 2単位)

評価責任者 : 玉置幸雄

### 〔担当教員〕

玉置幸雄、阿部朗子

### 〔一般目標〕

矯正治療に用いる基本的装置の製作方法を習得するとともに、基本的な診査・検査方法を習得して各種不正咬合の診断と治療計画の作成を行う。

### 〔授業到達目標〕

- ①永久歯列期の症例の診断を行い、治療計画を作成する。
- ②顎変形症の診断を行い、治療計画を作成する。
- ③口唇・口蓋裂の不正咬合の診断を行い、治療計画を作成する。

### 〔教科書・参考書〕

1. 宮下邦彦 著『頭部エックス線規格写真法の基礎 第2版』クインテッセンス出版 2009
2. 石川博之 他編著『矯正歯科治療 この症例にこの装置 第2版』医歯薬出版 2017

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席 20%、予測模型の製作物 30%、指定症例の診断・治療方針説明の OSCE 50%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 4	9/29 (水) 9:00～ 15:55	玉置	ユニット1 永久歯列期 の患者の診 断方法と治 療計画の作 成方法	永久歯列期の患者 の診断方法と治療 計画の作成方法を 習得する。	永久歯列期Ⅰ級叢生 症例の診断と治療計 画の作成を行う。	卒前時に修得し た診断・治療計 画の作成方法に ついてまとめて おく。	矯正歯科治 療 この症 例にこの装 置 石川博之 他編著	矯正歯科学 分野研究室
5 ～ 8	10/6 (水) 9:00～ 15:55	阿部	ユニット1 永久歯列期 の患者の診 断方法と治 療計画の作 成方法	永久歯列期の患者 の診断方法と治療 計画の作成方法を 習得する。	永久歯列期Ⅰ級開咬 症例の診断と治療計 画の作成を行う。	卒前時に修得し た診断・治療計 画の作成方法に ついてまとめて おく。	矯正歯科治 療 この症 例にこの装 置 石川博之 他編著	矯正歯科学 分野研究室
9 ～ 12	10/13 (水) 9:00～ 15:55	阿部	ユニット1 永久歯列期 の患者の診 断方法と治 療計画の作 成方法	永久歯列期の患者 の診断方法と治療 計画の作成方法を 習得する。	永久歯列期Ⅱ級症例 の診断と治療計画の 作成を行う。	卒前時に修得し た診断・治療計 画の作成方法に ついてまとめて おく。	矯正歯科治 療 この症 例にこの装 置 石川博之 他編著	矯正歯科学 分野研究室
13 ～ 16	10/20 (水) 9:00～ 15:55	玉置	ユニット1 永久歯列期 の患者の診 断方法と治 療計画の作 成方法	永久歯列期の患者 の診断方法と治療 計画の作成方法を 習得する。	永久歯列期Ⅲ級症例 の診断と治療計画の 作成を行う。	卒前時に修得し た診断・治療計 画の作成方法に ついてまとめて おく。	矯正歯科治 療 この症 例にこの装 置 石川博之 他編著	矯正歯科学 分野研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
17 ～ 20	10/27 (水) 9:00～ 15:55	玉置	ユニット1 永久歯列期 の患者の診 断方法と治 療計画の作 成方法	永久歯列期の患者 の診断方法と治療 計画の作成方法を 習得する。	永久歯列期Ⅰ級上下 顎前突症例の診断と 治療計画の作成を行 う。	卒前時に修得し た診断・治療計 画の作成方法に ついてまとめて おく。	矯正歯科治 療 この症 例にこの装 置 石川博之 他編著	矯正歯科学 分野研究室
21 ～ 25	1/5 (水) 9:00～ 17:30	阿部	ユニット2 不正咬合の 治療にお けるチーム アプローチ の方法	不正咬合の治療に おけるチームア プローチの 方法を習 得する。	顎変形症患者の診断 方法と治療計画の 作成方法を習得する。	卒前時に修得し た診断・治療計 画の作成方法に ついてまとめて おく。	矯正歯科治 療 この症 例にこの装 置 石川博之 他編著	矯正歯科学 分野研究室
26 ～ 30	1/12 (水) 9:00～ 17:30	玉置	ユニット2 不正咬合の 治療にお けるチーム アプローチ の方法	不正咬合の治療に おけるチームア プローチの 方法を習 得する。	口唇・口蓋裂患者の 診断方法と治療計 画の作成方法を習得 する。	卒前時に修得し た診断・治療計 画の作成方法に ついてまとめて おく。	矯正歯科治 療 この症 例にこの装 置 石川博之 他編著	矯正歯科学 分野研究室

## 口腔外科学講義①

前期 15コマ (ユニット1～3 : 2単位)  
評価責任者 : 池邊哲郎

〔担当教員〕  
池邊哲郎、米津博文

〔一般目標〕  
口腔顎顔面領域の外傷および形態異常の診断法と治療法の現状を理解し、EBMに基づいた正確で安全な手術のための問題点を抽出する力をつけ、その問題点を解決する方法論を習得する。

〔授業到達目標〕  
① 歯牙の外傷の診断法と治療法を説明できる。  
② 口腔・顎顔面領域の軟組織損傷の創傷治癒と治療法を説明できる。  
③ 口腔・顎顔面領域の骨折の診断法、治療法と予防法を説明できる。

〔教科書・参考書〕  
① 宮崎 正 編 『口腔外科学』第4版 医歯薬出版  
② 榎本昭二他 監修 『最新口腔外科学』 第5版 医歯薬出版

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点 70%、レポート 30%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日時 限	授 業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 5	前期 4月 月・金 8:15～ 9:30	池邊哲郎 米津博文	ユニット1 歯の外傷	歯牙の外傷の診断法と治療法を説明できる。	1. 歯牙の外傷の診断法を説明できる。 2. 歯牙脱臼の治癒過程を説明できる。 3. 歯牙再植法を説明できる。 4. 脱臼歯牙の予後について説明できる。 5. 歯牙損傷の予防法について説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	口腔外科 カンファレンスルーム
6 ～ 10	前期 5月 月・金 8:15～ 9:30	池邊哲郎 米津博文	ユニット2 軟組織の損傷	口腔・顎顔面領域の軟組織損傷の創傷治癒と治療法を説明できる。	1. 創傷治癒過程を細胞・組織レベルで説明できる。 2. 顔面皮膚損傷の種類と治療法を説明できる。 3. 口腔粘膜損傷の種類と治療法を説明できる。 4. 縫合法を説明できる。 5. 上皮再生についての文献を読み、説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	口腔外科 カンファレンスルーム
11 ～ 15	前期 6月 月・金 8:15～ 9:30	池邊哲郎 米津博文	ユニット3 顎骨骨折	口腔・顎顔面領域の骨折の診断法、治療法と予防法を説明できる。	1. 骨の構造と骨折の修復過程を説明できる。 2. 顎骨骨折の画像を読み影できる。 3. 歯槽骨骨折・下顎骨骨折の診断法と治療法を説明できる。 4. 上顎骨骨折・頬骨骨折の診断法と治療法を説明できる。 5. マウスガードの意義を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	口腔外科 カンファレンスルーム

## 口腔外科学講義②

後期15コマ（ユニット1～3：2単位）

評価責任者：池邊哲郎

**〔担当教員〕**

池邊哲郎、米津博文

**〔一般目標〕**

口腔顎顔面領域の外傷および形態異常の診断法と治療法の現状を理解し、EBMに基づいた正確で安全な手術のための問題点を抽出する力をつけ、その問題点を解決する方法論を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 口腔・顎顔面領域の機能異常疾患の診断法と治療法を説明できる。
- ② 口腔・顎顔面領域の形態異常疾患の診断法と治療法を説明できる。
- ③ 口腔・顎顔面領域疾患の論文を読み内容を説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

- ① 宮崎 正 編 『口腔外科学』第4版 医歯薬出版
- ② 榎本昭二他 監修 『最新口腔外科学』 第5版 医歯薬出版

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点70%、レポート30%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 5	後期 9月・金 8:15～ 9:30	池邊哲郎 米津博文	ユニット1 顎関節疾患	口腔・顎顔面領域の機能異常疾患の診断法と治療法を説明できる。	1. 顎関節の構造と機能を説明できる。 2. 顎関節症の病態を説明できる。 3. 顎関節症の診断法と治療法を説明できる。 4. 顎関節強直症の診断法と治療法を説明できる。 5. 顎関節脱臼の診断法と治療法を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	口腔外科カンファレンスルーム
6 ～ 10	後期 10月・金 8:15～ 9:30	池邊哲郎 米津博文	ユニット2 顎変形症	口腔・顎顔面領域の形態異常疾患の診断法と治療法を説明できる	1. 顎変形症の種類と診断法を説明できる。 2. 顎変形症の手術法を説明できる。 3. 顎変形症の予後について説明できる。 4. 顎変形症と顎関節の関連を説明できる。 5. 仮骨延長術の原理と術式を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	口腔外科カンファレンスルーム
11 ～ 15	後期 11月・金 8:15～ 9:30	池邊哲郎 米津博文	ユニット3 論文読解	口腔・顎顔面領域疾患の論文を読み内容を説明できる。	1. 口腔・顎顔面領域疾患の論文を読み説明できる。 2. 口腔・顎顔面領域疾患の論文を読み説明できる。 3. 口腔・顎顔面領域疾患の論文を読み説明できる。 4. 口腔・顎顔面領域疾患の論文を読み説明できる。 5. 口腔・顎顔面領域疾患の論文を読み説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	口腔外科カンファレンスルーム

## 口腔外科学実習① (臨床基礎実習)

前期30コマ (ユニット1～4 : 2単位)  
評価責任者 : 池邊哲郎

〔担当教員〕

池邊哲郎、平木昭光、橋本憲一郎

〔一般目標〕

口腔顎顔面領域の疾患の口腔内写真、画像（エックス線、CT、MRI）、および病理組織像を観察し、診断力を習得する。

〔授業到達目標〕

口腔外科外来患者の疾患データ（写真、画像、組織）を解釈し的確な診断と治療計画を立てることができる。

〔教科書・参考書〕

- ① 宮崎 正 編 『口腔外科学』第4版 医歯薬出版
- ② 榎本昭二他 監修 『最新口腔外科学』 第5版 医歯薬出版

〔成績評価の方法・基準〕

出席点70%、実習点30%、実習点の評価の基準は、各症例に対して適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 10	4月～ 7月 月曜日 10:00 ～ 12:00	池邊哲郎 平木昭光	ユニット1 診断法	口腔外科外来患者の疾患データ（写真、画像、組織）を解釈し的確な診断ができる。	1. 口腔外科外来患者を診察し臨床所見から的確な診断を行う。 2. 口腔外科外来患者を診察し画像所見から鑑別診断を列挙する。 3. 口腔外科外来患者を診察し、必要な臨床検査を選択する。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	口腔外科外来診療室
11 ～ 15	4月～ 7月 木曜日 10:00 ～ 12:00	池邊哲郎 平木昭光	ユニット2 治療計画	口腔外科外来患者の疾患データ（写真、画像、組織）を解釈し治療計画を立てることができる。	1. 口腔外科外来患者を診察し、その診断から的確な治療計画を立てる。 2. 口腔外科外来患者を診察し複数の治療法を挙げてその利点欠点を説明する。 3. 選択した治療法の合併症を説明する。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	口腔外科外来診療室



回	授業日 時 限	授 業担 当 者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
16 ～ 25	9 月～ 11 月 月曜日 9:40～ 11:40	池邊哲郎 平木昭光 橋本憲一 郎	ユニット3 入院患者	口腔外科入院 患者の治療上 の問題点や合 併症を説明で きる。	1. 口腔外科入 院患者の治療 計画を立てる。 2. 口腔外科入 院患者の全身 管理ができる。	教科書・参考書 の該当箇所を読 む。	教科書・ 参考書	医科歯科 総合病院 病棟
26 ～ 30	9 月～ 11 月 木曜日 9:40～ 11:40	池邊哲郎 平木昭光 橋本憲一 郎	ユニット4 周術期管理	口腔外科入院 患者の周術期 の管理ができ る。	1. 口腔外科入 院患者の手術 計画を立てる。 2. 口腔外科入 院患者の周術 期の指示がで きる。 3. 口腔外科入 院患者の術前 検査をオーダ ーし結果を解 釈する。	教科書・参考書 の該当箇所を読 む。	教科書・ 参考書	医科歯科 総合病院 病棟

## 口腔外科学実習② (口腔・顎顔面の機能修復と形態の改善法)

後期30コマ (ユニット1: 2単位)  
評価責任者: 池邊哲郎

〔担当教員〕  
池邊哲郎、米津博文、勝俣由里

〔一般目標〕  
口腔顎顔面領域の形態異常・機能異常の診断法と治療法を習得する。

〔授業到達目標〕  
顎変形症手術の計画と準備ができる。

〔教科書・参考書〕  
① 宮崎 正 編 『口腔外科学』第4版 医歯薬出版  
② 榎本昭二他 監修 『最新口腔外科学』 第5版 医歯薬出版

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点70%、実習点30%、実習点の評価の基準は、各症例に対して適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業担 当 者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
1 ～ 30	4月～ 7月 月曜日 水曜日 17:00 ～ 18:30	池邊哲郎 米津博文	ユニット1 顎変形症手 術	顎変形症手術の計 画と準備ができる。	1. 顎変形症のペーパ ーサージェリーがで きる① 2. 顎変形症のペーパ ーサージェリーがで きる② 3. 顎変形症セファロ 写真から骨片の移動 量・方向を決定でき る① 4. 顎変形症セファロ 写真から骨片の移動 量・方向を決定でき る② 5. 顎変形症の骨片移 動後の咬合を推定で きる① 6. 顎変形症の骨片移 動後の咬合を推定で きる② 7. 顎変形症の術後セ ファロ写真を評価で きる① 8. 顎変形症の術後セ ファロ写真を評価で きる② 9. 顎変形症の症例プ レゼンテーションが できる① 10. 顎変形症の症例プ レゼンテーションが できる② 11. 術後骨組織のコン ピューターシミュレ	教科書・参考書 の該当箇所を読 む。	教科書・ 参考書	口腔外科 外来診療室  手術室

回	授業日 時 限	授 業担 当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					ーシヨンができる① 12. 術後骨組織のコン ピューターシミュレ ーシヨンができる② 13. 術後軟組織のコン ピューターシミュレ ーシヨンができる① 14. 術後軟組織のコン ピューターシミュレ ーシヨンができる② 15. 手術の準備ができ る。			

## 口腔外科学実習③ (口腔・顎顔面の機能修復と形態の改善法)

後期30コマ (ユニット1: 2単位)  
評価責任者: 池邊哲郎

〔担当教員〕  
池邊哲郎、米津博文

〔一般目標〕  
口腔顎顔面領域の形態異常・機能異常の診断法と治療法を習得する。

〔授業到達目標〕  
顎関節症の診断に基づいた治療計画を立てることができる。

〔教科書・参考書〕  
① 宮崎 正 編 『口腔外科学』第4版 医歯薬出版  
② 榎本昭二他 監修 『最新口腔外科学』 第5版 医歯薬出版

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点70%、実習点30%、実習点の評価の基準は、各症例に対して適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担 当 者	ユニット番 号・項目名	学 習 目 標 (G I O)	行 動 目 標 (S B O s)	予 習 の 項 目	媒 体 ・ 参 考 資 料	場 所
1 ～ 30	8月～ 11月 月曜日 水曜日 17:00 ～ 18:30	池邊哲郎 米津博文	ユニット1 顎関節症の 診断と治療	顎関節症の診断に 基づいた治療計画 を立てることがで きる。	1. 顎関節症の理学療法 ができる① 2. 顎関節症の理学療法 ができる② 3. 顎関節症のマニピュ レーションができ る① 4. 顎関節症のマニピュ レーションができ る② 5. 顎関節症のスプリン トを作製できる① 6. 顎関節症のスプリン トを作製できる② 7. 顎関節症の薬物療法 を理解できる① 8. 顎関節症の薬物療法 を理解できる② 9. 顎関節症の画像診断 ができる① 10. 顎関節症の画像診 断ができる② 11. 顎関節腔に穿刺が できる。 12. 顎関節腔にパンピ ングができる① 13. 顎関節腔にパンピ ングができる② 14. 顎関節鏡を操作で きる① 15. 顎関節鏡を操作で きる②	教科書・参考書 の該当箇所を読 む。	教科書・ 参考書	口腔外科 外来診療室

## 口腔腫瘍学講義①・②

口腔腫瘍学講義① 前期 15コマ (ユニット1～3 : 2単位)

口腔腫瘍学講義② 後期 15コマ (ユニット4～6 : 2単位)

評価責任者 : 平木昭光

### 〔担当教員〕

平木昭光、橋本憲一郎、佐々木三奈、吉住潤子

### 〔一般目標〕

口腔癌の病態病理、診断法と治療法、特に集学的治療と各種再建法について理解する。  
癌切除標本の取り扱い方、臨床病理組織の見方、患者管理を理解する。

### 〔授業到達目標〕

- ① 口腔癌の臨床診断法・画像診断法を説明できる。
- ② 口腔癌の放射線療法・化学療法を説明できる。
- ③ 口腔癌の手術術式を説明できる。
- ④ 口腔再建術における各種骨・筋皮弁の設計法と適応を説明できる。
- ⑤ 口腔癌切除標本の取り扱いと病理組織診断の要点を説明できる。
- ⑥ 口腔癌に関する英語論文の内容を説明できる。

### 〔教科書・参考書〕

1. 宮崎 正 編『口腔外科学 第4版』医歯薬出版 2019
2. 内山健志 編『サクシント口腔外科学 第4版』学建書院 2019

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点 70%、レポート 30%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
1 ～ 5	4月 火・木 曜日  8:10～ 9:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット1	口腔癌の臨床診断 法・画像診断法を説 明できる。	1. 前癌病変の病態 と診断法を説明でき る。 2. 口腔癌の視診 型、触診法を説明で きる。 3. 口腔癌の検査の 進め方を説明でき る。 4. 口腔癌のエック ス線、CT、MRI 検査を説明できる。 5. 転移リンパ節の 診断法を説明でき る。	教科書・参考書 の該当箇所を読 む。	配布プリン ト	口腔外科カ ンファレン スルーム
6 ～ 10	5月 火・木 曜日  8:10～ 9:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット2	口腔癌の放射線療 法・化学療法を説明 できる。	6. 術前照射と術後 照射について説明で きる。 7. 化学療法の投与 方法と各種抗癌薬の 作用機序を説明でき る。 8. 放射線療法と化	教科書・参考書 の該当箇所を読 む。	配布プリン ト	口腔外科カ ンファレン スルーム

回	授業日時	授業者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
					学療法有害事象とその対策法を説明できる。 9. 放射線療法と化学療法の併用療法の種類とその意義について説明できる。 10. 集学的治療の概念を説明できる。			
11	6月 ～ 15 火・木 曜日  8:10～ 9:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット3	口腔癌の手術術式を説明できる。	11. 舌癌の手術術式とその適応を説明できる。 12. 下顎歯肉癌の手術術式とその適応を説明できる。 13. 上顎歯肉癌の手術術式とその適応を説明できる。 14. 頸部郭清術の手術術式とその適応を説明できる。 15. 手術による機能障害の種類と対策法を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム
16	【後期】 9月 ～ 20 火・木 曜日  8:10～ 9:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット4	口腔再建術における各種骨・筋皮弁の設計法と適応を説明できる。	16. 植皮・局所皮弁の種類、術式、適応を説明できる。 17. 筋皮弁の種類、術式、適応を説明できる。 18. 骨皮弁の種類、術式、適応を説明できる。 19. 遊離皮弁の種類、術式、適応を説明できる。 20. 再建術のトラブルとその対策法を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム
21	10月 ～ 25 火・木 曜日  8:10～ 9:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット5	口腔癌切除標本の取り扱いと病理組織診断の要点を説明できる。	21. 口腔癌切除標本の固定法、切り出し、記録、リンパ節記録について説明できる。 22. 扁平上皮癌の分化度、組織学的浸潤様式を説明できる。  23. 放射線・化学療法の組織学的効果を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					24. 放射線・化学療法 の臨床的効果を説明 できる。 25. 扁平上皮癌の顎 骨浸潤様式を説明で きる。			
26 ～ 30	11月 火・木 曜日  8:10～ 9:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット6	口腔癌に関する英 語論文の内容を説 明できる。	26. 口腔癌に関する 英語論文の内容を説 明できる。 27. 口腔癌に関する 英語論文の内容を説 明できる。 28. 口腔癌に関する 英語論文の内容を説 明できる。 29. 口腔癌に関する 英語論文の内容を説 明できる。 30. 口腔癌に関する 英語論文の内容を説 明できる。	教科書・参考書 の該当箇所を読 む。	配布プリン ト	口腔外科カ ンファレン スルーム

## 口腔腫瘍学実習①

30コマ (ユニット1～2: 2単位)  
評価責任者: 平木昭光

**〔担当教員〕**

平木昭光、橋本憲一郎、佐々木三奈、吉住潤子

**〔一般目標〕**

口腔癌の病態を理解し、治療計画立案および予後の経過観察法を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 口腔癌の病態を論文から理解する。
- ② 口腔癌患者の予後の経過観察ができる。
- ③ 臨床所見、画像所見、病理所見を統合して疾患を理解できる。

**〔教科書・参考書〕**

1. 宮崎 正 編『口腔外科学 第4版』医歯薬出版 2019
2. 内山健志 編『サクシント口腔外科学 第4版』学建書院 2019

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点 70%、実習点 30%、実習点の評価の基準は、各症例に対して適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 15	4月～ 7月 火曜日  18:00 ～ 19:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット1	口腔癌の病態を論文から理解する。	1. 口腔癌細胞に関する基礎的な英語論文を読解できる。  2. 口腔癌の臨床に関する英語論文を読解できる。  3. 口腔癌の臨床に関する論文のエビデンスレベルを評価できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム
16 ～ 30	4月～ 12月 金曜日  10:00 ～ 12:00	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット2	口腔癌患者の予後の経過観察ができる。	1. 口腔癌患者の術後の経過観察ができる。  2. 口腔癌患者の術後の画像検査の評価ができる。  3. 口腔癌患者の QOL を医療面接によって評価できる。  4. 口腔癌患者の術後機能を評価できる。  5. 口腔癌患者および家族に経過を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム



## 口腔腫瘍学実習②

30コマ（ユニット1：2単位）  
評価責任者：平木昭光

### 〔担当教員〕

平木昭光、橋本憲一郎、佐々木三奈、吉住潤子

### 〔一般目標〕

口腔癌の病態を理解し、治療計画立案および予後の経過観察法を習得する。

### 〔授業到達目標〕

- ① 口腔癌の病態を論文から理解する。
- ② 口腔癌患者の予後の経過観察ができる。
- ③ 臨床所見、画像所見、病理所見を統合して疾患を理解できる。

### 〔教科書・参考書〕

1. 宮崎 正 編『口腔外科学 第4版』医歯薬出版 2019
2. 内山健志 編『サクシント口腔外科学 第4版』学建書院 2019

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点 70%、実習点 30%、実習点の評価の基準は、各症例に対して適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
1 ～ 30	4 月～ 3 月 1 回 水曜日 18:00 ～ 19:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット1	臨床所見、画像所見、病理所見を統合して疾患を理解できる。	症例検討会(CPC) 10 回 1 回 3 コマ	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム

## 口腔腫瘍学実習③ (口腔軟組織および顎骨の再建術)

30コマ (ユニット1～3 : 2単位)  
評価責任者 : 平木昭光

**〔担当教員〕**

平木昭光、橋本憲一郎、佐々木三奈、吉住潤子

**〔一般目標〕**

口腔軟組織および顎骨の再建術の基本技術を理解する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 植皮術の理論と方法を説明できる。
- ② 有茎皮弁の理論と方法を説明できる。
- ③ 遊離皮弁の理論と方法を説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

- 1. 宮崎 正 編『口腔外科学 第4版』医歯薬出版 2019
- 2. 内山健志 編『サクシント口腔外科学 第4版』学建書院 2019

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点 70%、実習点 30%、実習点の評価の基準は、各症例に対して適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担 当 者	ユニット番 号・項目名	学 習 目 標 (G I O)	行 動 目 標 (S B O S)	予 習 の 項 目	媒体・ 参考資料	場 所
1 ～ 10	5 月～ 7 月 金曜日  18:00 ～ 19:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット1	植皮術の理論と方法を説明できる。	1. 皮膚の構造を説明できる。 2. ダーマトームの使い方を理解する。 3. タイオーバー法を説明できる。 4. 植皮の適応を説明できる。 5. 植皮術の手順を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム
11 ～ 20	8 月～ 10 月 金曜日  18:00 ～ 19:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット2	有茎皮弁の理論と方法を説明できる。	6. 有茎皮弁の種類と理論を説明できる。 7. 大胸筋皮弁の設計と適応を説明できる。 8. 頸部島状皮弁の設計と適応を説明できる。 9. D-P 皮弁の設計と適応を説明できる。 10. 有茎皮弁の合併症を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	配布プリント	口腔外科カンファレンスルーム

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
21 ～ 30	8 月～ 10 月 金曜日  18:00 ～ 19:30	平木 橋本 佐々木 吉住	ユニット3	遊離皮弁の理論と 方法を説明できる。	11. 遊離皮弁の種類 と理論を説明でき る。 12. 微小血管吻合の 手順と危険因子を説 明できる。 13. 前腕皮弁の設計 と適応を説明でき る。 14. 腹直筋皮弁の設 計と適応を説明でき る。 15. 広背筋皮弁と肩 甲骨皮弁の設計と適 応を説明できる。	教科書・参考書 の該当箇所を読 む。	配布プリン ト	口腔外科カ ンファレン スルーム

## 口腔画像診断学講義①

前期15コマ（ユニット1～4：2単位）  
評価責任者：香川 豊宏

〔担当教員〕  
香川豊宏

〔一般目標〕  
顎顔面領域の疾患の画像診断を適切に行うために、CTの撮像原理、CT特有の障害陰影、画像解剖および病変の所見を理解するとともに、CT画像を用いた臨床研究の方法および最新の読影技法を習得する。

〔授業到達目標〕  
①CTの撮像原理を説明できる。  
②CTの障害陰影を説明できる。  
③CT解剖を説明できる。  
④病変のCT所見を説明できる。  
⑤CTに関する最新の論文を読み、その研究方法について説明できる。

〔教科書・参考書〕  
Peter M Som, Hugh D Curtin 編 「Head and Neck Imaging」

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点40%、レポート60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 3	前期 4月 月曜日 13:00 ～ 14:20	香川	ユニット1	CT撮像原理およびCT特有の障害陰影を修得する。	1. 管球と検出器との関係を説明できる。 2. CT画像形成原理を説明できる。 3. CT値について説明できる。 4. window幅、window値について説明できる。 5. 部分容積効果について説明できる。 6. 金属アーチファクトを説明できる。 7. 動きによるアーチファクトを説明できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を讀んでおく。	「Head and Neck Imaging」	画像診断学分野教授室
4 ～ 8	前期 5月、火曜日 13:00 ～ 14:20	香川	ユニット2	CT解剖を修得する。	1. 頭頸部のCT解剖を説明できる。 2. 頭頸部の臓器のCT値を説明できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を讀んでおく。	「Head and Neck Imaging」	画像診断学分野教授室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
9 ～ 13	前期 5月、 6月、火 曜日 13:00 ～ 14:20	香川	ユニット3	病変のCT所見を修得する。	1. 良性腫瘍のCT所見を説明できる。 2. 悪性腫瘍のCT所見を説明できる。 3. 嚢胞のCT所見を説明できる。 4. 炎症のCT所見を説明できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	「Head and Neck Imaging」	画像診断学 分野教授室
14 ～ 15	前期 6月、火 曜日 13:00 ～ 14:20	香川	ユニット4	CTに関する最新の論文を読み、その研究方法について修得する。	1. 文献調査のまとめを行い、最新の情報を説明できる。 2. 臨床研究法について説明できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	「Head and Neck Imaging」	画像診断学 分野教授室

## 口腔画像診断学講義②

後期 15コマ (ユニット1～4 : 2単位)  
評価責任者：香川 豊宏

〔担当教員〕  
香川豊宏

〔一般目標〕  
顎顔面領域の疾患の画像診断を適切に行うために、MRI の撮像原理、MRI 特有の障害陰影、画像解剖および病変の形態的および機能的所見を理解するとともに、MRI 画像を用いた臨床研究の方法および最新の読影技法を習得する。

〔授業到達目標〕

- ①MRI の撮像原理を説明できる。
- ②MRI の障害陰影を説明できる。
- ③MRI 解剖を説明できる。
- ④病変の形態的および機能的 MRI 所見を説明できる。
- ⑤MRI に関する最新の論文を読み、その研究方法について説明できる。

〔教科書・参考書〕  
Peter M Som, Hugh D Curtin 編 「Head and Neck Imaging」

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点 40%、レポート 60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 3	後期 9月 月曜日 13:00 ～ 14:20	香川	ユニット1	MRI 撮像原理および MRI 特有の障害陰影の成因を理解する。	1. MRI 画像形成原理を説明できる。 2. T1 強調画像について説明できる。 3. T2 強調画像について説明できる。 4. STIR 画像について説明できる。 5. fMRI について説明できる。 6. 金属アーチファクトを説明できる。 7. 動きによるアーチファクトを説明できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	「Head and Neck Imaging」	画像診断学分野教授室
4 ～ 8	後期 9月 月曜日 13:00 ～ 14:20	香川	ユニット2	MRI 解剖を修得する。	1. 頭頸部の MRI 解剖を説明できる。 2. 頭頸部の臓器の信号強度を説明できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	「Head and Neck Imaging」	画像診断学分野教授室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
9 ～ 13	後期 9月 月曜日 13:00 ～ 14:20	香川	ユニット3	病変のMRI 所見の 記述法を修得する。	1. 良性腫瘍のMRI 所見を説明でき る。 2. 悪性腫瘍のMRI 所見を説明でき る。 3. 嚢胞のMRI 所見 を説明できる。 4. 炎症のMRI 所見 を説明できる。	学生時代の教科 書・参考書の該 当箇所を読んで おく。	「Head and Neck Imaging」	画像診断学 分野教授室
14 ～ 15	後期 9月 月曜日 13:00 ～ 14:20	香川	ユニット4	MRI に関する最新 の論文を読み、その 研究方法について 修得する。	1. 文献調査のまと めを行い、最新の 情報を説明でき る。 2. 臨床研究法につ いて説明できる。	学生時代の教科 書・参考書の該 当箇所を読んで おく。	「Head and Neck Imaging」	画像診断学 分野教授室

## 口腔画像診断学実習①

前期30コマ（ユニット1～3：2単位）  
評価責任者：香川 豊宏

〔担当教員〕  
香川豊宏

〔一般目標〕  
歯科疾患のエックス線検査を適切に行うために口内法エックス線撮影および読影に必要な基本的な理論および手技を修得する。

〔授業到達目標〕

- ①二等分法撮影の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。
- ②平行法撮影の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。
- ③咬翼法撮影の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。
- ④咬合法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。
- ⑤歯頸部投影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。
- ⑥偏心投影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。

〔教科書・参考書〕  
岡野友宏、他 編集 『歯科放射線学 第5版』 医歯薬出版 2013  
佐野 司 他 『歯科放射線マニュアル』、南山堂、 2006

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点40%、実習点60%。実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 10	前期 4月 水曜日、 木曜日 9:00～ 12:00	香川	ユニット1	二等分法および平行法の撮影技術、読影技術を理解し修得する。	1. 二等分法撮影の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。 2. 平行法撮影の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	『歯科放射線学 第5版』 『歯科放射線マニュアル』	放射線外来
11 ～ 20	前期 4月、 5月 水曜日、 木曜日 9:00～ 12:00	香川	ユニット2	咬翼法および咬合法の撮影技術、読影技術を理解し修得する。	1. 咬翼法撮影の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。 2. 咬合法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	『歯科放射線学 第5版』 『歯科放射線マニュアル』	放射線外来
21 ～ 30	前期 5月、 6月 水曜日、 木曜日 9:00～ 12:00	香川	ユニット3	歯頸部投影法および偏心投影法の撮影技術、読影技術を理解し修得する。	1. 歯頸部投影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。 2. 偏心投影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	『歯科放射線学 第5版』 『歯科放射線マニュアル』	放射線外来



## 口腔画像診断学実習②

前期30コマ（ユニット1～3：2単位）

評価責任者：香川 豊宏

〔担当教員〕  
香川豊宏

〔一般目標〕

顎顔面領域の疾患のエックス線検査を適切に行うために口外法撮影および読影に必要な基本的な理論および手技を修得する。

〔授業到達目標〕

- ①パノラマエックス線写真の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。
- ②後頭前頭方向撮影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。
- ③Waters法の撮影技術および読影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。
- ④顎関節撮影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。
- ⑤頭部エックス線規格撮影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。

〔教科書・参考書〕

岡野友宏、他 編集 『歯科放射線学 第5版』 医歯薬出版 2013  
佐野 司 他 『歯科放射線マニュアル』、南山堂、 2006

〔成績評価の方法・基準〕

出席点40%、実習点60%。実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 10	前期 6月,7月 水曜日, 木曜日 9:00～ 12:00	香川	ユニット1	パノラマエックス線写真の読影法を理解し修得する。	1. パノラマエックス線写真の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	『歯科放射線学 第5版』 『歯科放射線マニュアル』	放射線外来
11 ～ 20	前期 7月,8月 水曜日, 木曜日 9:00～ 12:00	香川	ユニット2	頭部単純エックス線写真の撮影技術を理解し修得する。	1. 後頭前頭方向撮影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。 2. Waters法の撮影技術および読影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	『歯科放射線学 第5版』 『歯科放射線マニュアル』	放射線外来
21 ～ 30	前期 8月,9月 水曜日, 木曜日 9:00～ 12:00	香川	ユニット3	頭部単純エックス線写真の読影法を理解し修得する。	1. 顎関節撮影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。 2. 頭部エックス線規格撮影法の撮影技術および読影法を説明でき、実践できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を読んでおく。	『歯科放射線学 第5版』 『歯科放射線マニュアル』	放射線外来

## 口腔画像診断学実習③

後期30コマ（ユニット1～3：2単位）  
評価責任者：香川 豊宏

〔担当教員〕  
香川豊宏

〔一般目標〕  
顎顔面領域の疾患を適切に画像検査および読影するために CT、MRI および超音波検査に必要な基本的な理論を理解し、その読影技術を修得する。

〔授業到達目標〕  
①CT の撮影技術を説明し、読影できる。  
②MRI の撮影技術を説明し、読影できる。  
③超音波検査の走査技術を説明し、読影できる。

〔教科書・参考書〕  
岡野友宏、他 編集 『歯科放射線学 第5版』 医歯薬出版 2013  
佐野 司 他 『歯科放射線マニュアル』、南山堂、 2006  
Peter M Som, Hugh D Curtin 編 「Head and Neck Imaging」

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点 40%、実習点 60%。実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 10	後期 10月 水曜日、 木曜日 9:00～ 12:00	香川	ユニット1	CTの撮影技術および読影法を理解し修得する。	1. CT装置の操作を説明できる。 2. CT検査条件を説明できる。 3. CT画像作成法を説明できる。 4. CT画像を読影できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を讀んでおく。	『歯科放射線学 第5版』 『歯科放射線マニュアル』 「Head and Neck Imaging」	放射線外来
11 ～ 20	後期 11月 水曜日、 木曜日 9:00～ 12:00	香川	ユニット2	MRIの撮影技術および読影法を理解し修得する。	1. MRI装置の操作を説明できる。 2. MRI検査条件を説明できる。 3. MRI画像作成法を説明できる。 4. MRI画像を読影できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を讀んでおく。	『歯科放射線学 第5版』 『歯科放射線マニュアル』 「Head and Neck Imaging」	放射線外来
21 ～ 30	後期 12月、 1月 水曜日 9:00～ 12:00	香川	ユニット3	超音波検査の走査技術および読影法を理解し修得する。	1. 超音波装置の操作を説明できる。 2. 超音波検査条件を説明できる。 3. 超音波画像作成法を説明できる。 4. 超音波画像を読影できる。	学生時代の教科書・参考書の該当箇所を讀んでおく。	『歯科放射線学 第5版』 『歯科放射線マニュアル』 「Head and Neck Imaging」	放射線外来

## 麻酔管理学講義 ①

前期 15コマ (ユニット1～3 : 2単位)  
評価責任者 : 谷口省吾

**〔担当教員〕**

谷口省吾、野上堅太郎、池田水子

**〔一般目標〕**

疼痛を主症状とする疾患の疼痛制御法ならびに歯科治療に伴う疼痛を制御する方法について理解する。

**〔授業到達目標〕**

- ①疼痛の原因と生体への影響について説明できる。
- ②各種麻酔薬の特徴と疼痛管理法について説明できる。
- ③疼痛性疾患の治療法について説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

1. 歯科麻酔学 医歯薬出版、第8版、2018年
2. ミラー麻酔科学、武田純三監訳、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007
3. ガイトン生理学、御手洗玄洋監訳、エルゼビアジャパン、2010年

**〔成績評価の方法・基準〕**

口頭試問, レポート, 口頭発表

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 3	4～5月 月曜日 午後12時～ 午後1時	谷口 野上 池田	ユニット1 疼痛の原因 と生体への 影響	疼痛の原因と生体への影響について理解する。	1. 疼痛の発生機序を説明できる。 2. 疼痛の原因を説明できる。 3. 疼痛の生体への影響について説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	麻酔管理学研究室
4 ～ 10	5～6月 月曜日 午後12時～ 午後1時	谷口 野上 池田	ユニット2 歯科治療時 の疼痛管理法	各種麻酔薬の特徴と疼痛管理法について理解する。	1. 局所麻酔薬の特徴を説明できる。 2. 局所麻酔法について説明できる。 3. 吸入麻酔薬の特徴を説明できる。 4. 吸入麻酔薬での全身麻酔法を説明できる。 5. 静脈麻酔薬や麻薬の特徴を説明できる。 6. 静脈麻酔薬や麻薬での全身麻酔法を説明できる。 7. 鎮静法について説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	麻酔管理学研究室

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
11 ～ 15	6～7月の月曜 日午後 に時間を 前も って指 定、1 回1時 間	谷口 野上 池田	ユニット3 疼痛性疾患 の治療法	疼痛性疾患の治療法について理解する。	1. 神経ブロックについて説明できる。 2. 消炎鎮痛薬の作用機序について説明できる。 3. 抗うつ薬, 精神薬の鎮痛作用について説明できる。 4. 麻薬による鎮痛とその副作用について説明できる。 5. Drug Challenge Test の方法とその意義について説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	麻醉管理学研究室

## 麻酔管理学講義 ②

後期 15コマ (ユニット1～3 : 2単位)

評価責任者 : 谷口省吾

**〔担当教員〕**

谷口省吾、野上堅太郎、池田水子

**〔一般目標〕**

侵襲などのストレスに対する生体の反応を理解し、有害な反応を防止するために行う麻酔の目的、作用などを理解する。また、歯科治療を受ける患者のバイタルサインの把握法、状態評価法について理解を深める。

**〔授業到達目標〕**

- ①侵襲時の生体反応に関連する生理学について説明できる。
- ②侵襲時の生体反応について説明できる。
- ③侵襲による生体反応の制御法について説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

1. 歯科麻酔学 医歯薬出版、第8版、2018年
2. ミラー麻酔科学、武田純三監訳、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007年
3. ガイトン生理学、御手洗玄洋監訳、エルゼビアジャパン、2010年

**〔成績評価の方法・基準〕**

口頭試問、レポート、口頭発表

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 5	9～10月 月曜日 午後12時～ 午後1時	谷口 野上 池田	ユニット1 侵襲時の生体反応	侵襲時の生体反応における生理・内分泌反応について理解する。	1. 心血管系の機能を説明できる。 2. 呼吸系の機能を説明できる。 3. 内分泌系の機能を説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	麻酔管理学研究室
6 ～ 12	10～11月 月曜日 午後12時～ 午後1時	谷口 野上 池田	ユニット2 侵襲時の生体反応	侵襲時の生体反応における代謝・神経機能およびショックの概念について理解する。	1. 代謝の変動を説明できる。 2. 自律神経機能の変動を説明できる。 3. ショックの種類と病態について説明できる。 4. 臓器障害について説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	麻酔管理学研究室
13 ～ 15	11～12月 月曜日 午後12時～ 午後1時	谷口 野上 池田	ユニット3 侵襲による生体反応の制御法	侵襲による生体反応の制御法について理解する。	1. 侵襲による生体反応の評価法について説明できる。 2. 麻酔による生体反応の制御について説明できる。 3. 薬物による侵襲反応の制御について説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	麻酔管理学研究室

## 麻酔管理学実習 ①

前期 30 コマ (ユニット 1～3 : 2 単位)

評価責任者 : 谷口省吾

**〔担当教員〕**

谷口省吾、野上堅太郎、池田水子

**〔一般目標〕**

バイタルサインの測定およびモニタリングにより患者の状態を正確に把握し、安全な患者管理法を習得する。顎顔面痛や麻痺の発生機序を理解し、その診断と治療に必要な基礎的な知識と技術を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① バイタルサインの種類とそれぞれの項目の測定法について説明できる。
- ② 呼吸・循環のモニタリングについて説明できる。
- ③ 呼吸・循環以外のモニタおよび全身麻酔関連装置について説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

- 1. 歯科麻酔学 医歯薬出版、第 8 版、2018 年
- 2. ミラー麻酔科学、武田純三監訳、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007 年
- 3. ガイトン生理学、御手洗玄洋監訳、エルゼビアジャパン、2010 年

**〔成績評価の方法・基準〕**

口頭試問, レポート, 口頭発表

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
1 ～ 10	4～5 月 木曜日 午後 時間を 前もつ て指定、 1 回 1 時間 で 2 回 連続	谷口 野上 池田	ユニット 1 バイタルサ インの把握	バイタルサインに ついて理解する。	1. バイタルサインの種類 について説明できる。 2. 血圧測定について説明 できる。 3. 脈拍の測定について説 明できる。 4. 呼吸状態について説明 できる。 5. 体温について説明でき る。	教科書・参考書の 該当箇所を読む。	教科書・ 参考書	麻酔管理学 研究室、 手術室
11 ～ 20	5～6 月 木曜日 午後 時間を 前もつ て指定、 1 回 1 時間 で 2 回 連続日	谷口 野上 池田	ユニット 2 呼吸・循環 のモニタリ ング	呼吸・循環のモニ タリングについ て理解する。	1. 心電図の仕組みを説明 できる。 2. 心電図の判読法を説明 できる。 3. パルスオキシメータ測 定の意義と仕組みを説明 できる。 4. カプノグラム測定の意 義と仕組みを説明でき る。 5. 麻酔ガス濃度測定の意 義と仕組みを説明でき る。	教科書・参考書の 該当箇所を読む。	教科書・ 参考書	麻酔管理学 研究室、 手術室
21 ～ 30	6～7 月 木曜日 午後 時間を 前もつ て指定、 1 回 1 時間で 2 回連続	谷口 野上 池田	ユニット 3 呼吸・循環 以外のモニ タおよび全 身麻酔関連 装置	呼吸・循環以外のモ ニタおよび全身麻 酔関連装置につ いて理解する。	1. 体温測定の意義について 説明できる。 2. 代謝のモニタリングの意 義と仕組みについて説明 できる。 3. 中枢神経系のモニタリ ングの意義と仕組みにつ いて説明できる。 4. 麻酔器の構造と始業点 検法について説明でき る。 5. 人工呼吸器の構造と機 能について説明できる。	教科書・参考書の 該当箇所を読む。	教科書・ 参考書	麻酔管理学 研究室、 手術室

## 麻酔管理学実習 ②

後期30コマ (ユニット1～3 : 2単位)

評価責任者 : 谷口省吾

### 〔担当教員〕

谷口省吾、野上堅太郎、池田水子

### 〔一般目標〕

手術侵襲などのストレスに対する生体の反応を知り、有害な反応を防止するために行う全身麻酔の目的、作用を理解し、全身麻酔に必要な基礎的な知識と技術を習得する。歯科治療時に発生する緊急事態を把握・分析でき、救急蘇生に必要な基礎的な知識と技術を習得する。また、顎顔面痛や麻痺の発生機序を理解し、その診断と治療に必要な基礎的な知識と技術を習得する。

### 〔授業到達目標〕

- ①術前評価と麻酔計画について説明できる
- ②気道確保と気管挿管について説明できる。
- ③周術期管理について理解する。

### 〔教科書・参考書〕

1. 歯科麻酔学 医歯薬出版、第8版、2018年
2. ミラー麻酔科学、武田純三監訳、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007年
3. ガイトン生理学、御手洗玄洋監訳、エルゼビアジャパン、2010年

### 〔成績評価の方法・基準〕

口頭試問, レポート, 口頭発表

	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
1 ～ 10	9～10 月の木 曜日午 後に時 間を前 もって 指定、 1回1 時間で 2回連 続	谷口 野上 池田	ユニット1 術前評価と 麻酔計画	術前評価と麻酔計 画について理解す る。	1.術前状態評価を説明で きる。 2.症例の麻酔危険度を説 明できる。 3.症例と手術法に即した 麻酔計画を説明できる。 4.吸入麻酔薬の種類、特 徴、吸入麻酔法を説明で きる。 5.静脈麻酔薬の種類、特 徴、吸入麻酔法を説明で きる。	教科書・参考書の 該当箇所を読む。	教科書・ 参考書	麻酔管理 学 研究室、 病棟
11 ～ 20	11～12 月の木 曜日午 後に時 間を前 もって 指定、 1回1 時間で 2回連 続	谷口 野上 池田	ユニット2 気道確保と 気管挿管	気道確保と気管挿 管について理解す る。	1.気道の解剖と気道確保 の重要性について説明で きる。 2.気道確保の方法を説明 できる。 3.気管挿管の意義と方法 を説明できる。 4.気道確保困難な症例の 対処法を説明できる。 5.気管麻酔の適応・利点・ 欠点を説明できる。	教科書・参考書の 該当箇所を読む。	教科書・ 参考書	麻酔管理 学 研究室、 手術室
21 ～ 30	1～3月 の木曜 日午後 に時間 を前も って指 定、1 回1時 間で2 回連続	谷口 野上 池田	ユニット3 周術期管理	周術期管理につい て理解する。	1.麻酔の導入・維持・覚 醒を説明できる。 2.麻酔深度と手術侵襲の 関係を説明できる。 3.麻酔中の呼吸・循環管 理を説明できる。 4.術中輸液・輸血の意義 を説明できる。 5.術中合併症の種類を知 り、その予防法・対処法を 説明できる。	教科書・参考書の 該当箇所を読む。	教科書・ 参考書	麻酔管理 学 研究室、 病棟

## 麻酔管理学実習 ③

前期 30 コマ (ユニット 1～4 : 2 単位)  
評価責任者 : 谷口省吾

**〔担当教員〕**

谷口省吾、野上堅太郎、池田水子

**〔一般目標〕**

周術期管理における術後の合併症とその対策、小児や障害者など通常成人と異なる特徴と管理法、精神鎮静法の種類と実施法、ならびに歯科治療時の全身偶発症と治療法について理解する。

**〔授業到達目標〕**

- ①術後管理について説明できる
- ②小児や患者の特徴と麻酔管理上の注意点を説明できる。
- ③精神鎮静法について説明できる。
- ④歯科治療時に起こる全身的偶発症について説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

1. 歯科麻酔学 医歯薬出版、第8版、2018年
2. ミラー麻酔科学、武田純三監訳、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007年
3. ガイトン生理学、御手洗玄洋監訳、エルゼビアジャパン、2010年

**〔成績評価の方法・基準〕**

口頭試問, レポート, 口頭発表

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 6	4～5月 木曜日 午後12時～1時 1回1時間 連続	谷口 野上 池田	ユニット1 術後管理	術後管理について理解する。	1. 麻酔からの覚醒状態と抜管の時期について説明できる。 2. 術後合併症、その予防法・対処法について説明できる。 3. 日帰り全身麻酔の意義と問題点について説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	麻酔管理学研究室、手術室
7 ～ 10	5～6月、 木曜日 午後12時～1時 1回1時間 連続	谷口 野上 池田	ユニット2 小児・障害者の麻酔管理	小児や患者の特徴と麻酔管理上の注意点を理解する。	1. 小児の特徴と麻酔管理上の注意点を説明できる。 2. 障害者の特徴と麻酔管理上の注意点について説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	麻酔管理学研究室、手術室
11 ～ 20	6～7月、 木曜日 午後12時～1時 1回1時間 連続	谷口 野上 池田	ユニット3 精神鎮静法	精神鎮静法について理解する。	1. 精神鎮静法の特徴を知り、全身麻酔法との相違点について説明できる。 2. 精神鎮静法の適応と禁忌について説明できる。 3. 笑気の特徴と吸入鎮静法について説明できる。 4. 静脈内鎮静法に使用する薬剤の種類とその使用方法について説明できる。 5. 精神鎮静法の帰宅基準とその意義について説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	麻酔管理学研究室、歯科外来



回	授業日時限	授業者 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
21 ～ 30	1～3月、 木曜日 午後1時 を前も って指 定、 1回1時 間で2回 連続	谷口 野上 池田	ユニット4 救急蘇生法	歯科治療時に起こる全身的偶発症について理解する。	1. 歯科治療時に起こる全身的偶発症の種類と原因について説明できる。 2. 全身的偶発症に対する対処法について説明できる。 3. 一次救命処置の手順と方法について説明できる。 4. AED の重要性と使用方法について説明できる。 5. 二次救命処置の手順と方法について説明できる。	教科書・参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	麻酔管理学研究室、麻酔科外来

## 内科学講義①

前期 15コマ (ユニット1～4 : 2単位)  
評価責任者 : 大星博明

〔担当教員〕  
大星 博明

〔一般目標〕  
高齢者に多く発症する脳梗塞の重要性を理解する。

〔授業到達目標〕  
①脳梗塞の病態を説明できる。  
②脳梗塞の病態を解明する研究法を説明できる。

〔教科書・参考書〕  
脳卒中実験ハンドブック 佐野圭司監修, 1990, IPC 社

〔成績評価の方法・基準〕  
出席時口頭試問 40%、ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時	授業者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 4	前期 4月～ 5月 木曜日  10:35 ～ 11:55	大星	ユニット1 脳梗塞の病態	脳梗塞の病態について説明できる。	1. 臨床研究と比較した基礎研究の意義を説明できる。 2. 脳梗塞の病態について説明できる。 3. 脳虚血の病態について説明できる。 4. 脳梗塞における炎症の役割について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・脳卒中実験ハンドブック	内科学研究室
5 ～ 8	前期 5月～ 6月 木曜日  10:35 ～ 11:55	大星	ユニット2 脳梗塞の治療法	脳梗塞の治療法と問題点について説明できる。	1. 脳梗塞の急性期治療法について説明できる。 2. 脳梗塞の慢性期治療法について説明できる。 3. 脳梗塞治療法の問題点について説明できる。 4. 開発中の新規治療法について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・脳卒中実験ハンドブック	内科学研究室
9 ～ 11	前期 7月 木曜日  10:35 ～ 11:55	大星	ユニット3 脳梗塞治療の研究	脳梗塞治療の研究法について説明できる。	1. 実験動物を用いた研究について説明できる。 2. 動物を用いた脳虚血モデルについて説明できる。 3. 培養細胞を用いた虚血モデルについて説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント・脳卒中実験ハンドブック	内科学研究室

回	授業日 時限	授業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
12 ～ 15	前期 9月 木曜日 10:35 ～ 11:55	大星	ユニット4 研究法の理 解と創造	脳梗塞治療に関する最新の英語論文を読み、研究の方法と新しい方向性を理解する。	1. 脳梗塞治療に関する英語論文のプレゼンテーション(1) 2. 脳梗塞治療に関する英語論文のプレゼンテーション(2) 3. 脳梗塞治療に関する英語論文のプレゼンテーション(3) 4. 脳梗塞治療に関する英語論文のプレゼンテーション(4)	該当する論文を検索し、素読しておく。	配付プリント・脳卒中実験ハンドブック	内科学研究室

## 内科学講義②

後期 15コマ (ユニット1～4 : 2単位)  
評価責任者 : 大星博明

〔担当教員〕  
大星 博明

〔一般目標〕  
新規治療法開発の重要性を理解するために、遺伝子治療研究の基礎を習得する。

〔授業到達目標〕  
①遺伝子治療の理論を説明できる。  
②遺伝子治療の研究法を説明できる。

〔教科書・参考書〕  
遺伝子治療学, JA ウォルフ編, 1998年, Springer 社

〔成績評価の方法・基準〕  
出席時口頭試問 40%、ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時	授業者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 4	後期 10月 木曜日  10:35 ～ 11:55	大星	ユニット1 遺伝子治療 の概念	遺伝子治療の概念 について説明でき る。	1. 遺伝子治療の概念 について説明できる。 2. 遺伝子治療の歴史 について説明できる。 3. 遺伝子治療の倫理 について説明できる。 4. 遺伝子導入の基礎 について説明できる。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	配付プリン ト・参考書	内科学研究 室
5 ～ 7	後期 11月 木曜日  10:35 ～ 11:55	大星	ユニット2 遺伝子導入 法	遺伝子導入法につ いて説明できる。	1. 遺伝子導入ベクタ ーについて説明でき る。 2. 細胞への遺伝子導 入法について説明で きる。 3. 生体への遺伝子導 入法について説明で きる。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	配付プリン ト・参考書	内科学研究 室
8 ～ 10	後期 12月 木曜日  10:35 ～ 11:55	大星	ユニット3 遺伝子治療 研究	生活習慣病に対す る遺伝子治療研究 について説明でき る。	1. 血管への遺伝子導 入研究について説明 できる。 2. 動脈硬化に対する 遺伝子治療研究につ いて説明できる。 3. 脳梗塞に対する遺 伝子治療研究につ いて説明できる。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	配付プリン ト・参考書	内科学研究 室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
12 ～ 15	後期 1月～ 2月 木曜日  10:35 ～ 11:55	大星	ユニット4 研究法の理 解と創造	生活習慣病の遺伝 子治療に関する最 新の英語論文を読 み、新しい研究の方 向性を理解する。	1. 生活習慣病の遺伝 子治療に関する論文 のプレゼンテーショ ン(1) 2. 生活習慣病の遺伝 子治療に関する論文 のプレゼンテーショ ン(2) 3. 生活習慣病の遺伝 子治療に関する論文 のプレゼンテーショ ン(3) 4. 生活習慣病の遺伝 子治療に関する論文 のプレゼンテーショ ン(4) 5. 生活習慣病の遺伝 子治療に関する論文 のプレゼンテーショ ン(5)	該当する論文を 検索し、素読し ておく。	配付プリン ト・参考書	内科学研究 室

## 内科学実習① (内科学基礎演習 I)

後期30コマ (ユニット1～2 : 2単位)  
評価責任者 : 大星博明

〔担当教員〕  
大星 博明

〔一般目標〕  
高齢者に多く発症する脳梗塞の重要性を理解する。

〔授業到達目標〕  
①脳梗塞の病態を説明できる。  
②脳梗塞の病態を解明する実験の基本的技法を説明できる。

〔教科書・参考書〕  
脳卒中実験ハンドブック 佐野圭司監修, 1990, IPC 社

〔成績評価の方法・基準〕  
出席時口頭試問 40%、実習達成度 60%。  
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	後期 ～ 9 月 ～ 10 月 金曜日  13 : 00 ～ 15 : 55	大星	ユニット1 脳梗塞の病 態の理解	実験動物の扱いに 関する基礎を修得 する	実験動物の扱いに 関する基礎を修得する	参考書の該当箇 所を予習してお く。	配付プリン ト・参考書	内科学分野 研究室  アニマルセ ンター  九州大学
16 ～ 30	後期 ～ 10 月～ 12 月 金曜日  13 : 00 ～ 15 : 55	大星	ユニット2 脳梗塞の病 態の解明	脳梗塞の病態を解 明する手技を修得 する。	実験動物を用いた脳 梗塞実験の技法を修 得する。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	配付プリン ト・参考書	内科学分野 研究室  アニマルセ ンター  九州大学

## 内科学実習② (内科学基礎演習Ⅱ)

後期30コマ (ユニット1～3：2単位)  
評価責任者：大星博明

〔担当教員〕  
大星 博明

〔一般目標〕  
高齢者に多く発症する脳梗塞の重要性を理解する。

〔授業到達目標〕  
①脳梗塞の病態を説明できる。  
②脳梗塞の病態を解明する実験の基本的技法を説明できる。

〔教科書・参考書〕  
脳卒中実験ハンドブック 佐野圭司監修, 1990, IPC社

〔成績評価の方法・基準〕  
出席時口頭試問40%、実習達成度60%。  
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
1 ～ 10	後期 12月～ 1月 金曜日  13:00 ～ 15:55	大星	ユニット1 脳梗塞の新 規治療法を 探究 (I)	脳梗塞の新規治療 法を探究する手技 を修得する (I)	治療薬を用いた脳梗 塞実験の技法を修得 する	参考書の該当箇 所を予習してお く。	配付プリン ト・参考書	内科学分野 研究室  アニマルセ ンター  九州大学
11 ～ 20	後期 2月 金曜日  13:00 ～ 15:55	大星	ユニット2 脳梗塞の新 規治療法の 探究 (II)	脳梗塞の病態を解 明する手技を修得 する (II)	組織サンプルの解析 技法を修得する	参考書の該当箇 所を予習してお く。	配付プリン ト・参考書	内科学分野 研究室  アニマルセ ンター  九州大学
21 ～ 30	後期 3月 金曜日  13:00 ～ 15:55	大星	ユニット3 1 脳梗塞の 新規治療法 の探究 (III)	脳梗塞の病態を解 明する手技を修得 する (III)	解析結果を統計解析 し、考察を行う。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	配付プリン ト・参考書	内科学分野 研究室  アニマルセ ンター  九州大学

## 内科学実習③ (内科学基礎演習Ⅲ)

後期30コマ (ユニット1～4 : 2単位)  
評価責任者 : 大星博明

〔担当教員〕  
大星 博明

〔一般目標〕  
新規治療法開発の重要性を理解する。

〔授業到達目標〕  
①遺伝子治療実験を説明できる。  
②遺伝子治療実験の基本的技法を説明できる。

〔教科書・参考書〕  
遺伝子治療学, JA ウォルフ編, 1998年, Springer社

〔成績評価の方法・基準〕  
出席時口頭試問40%、実習達成度60%。  
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 6	後期 10月 火曜日  13:00 ～ 15:55	大星	ユニット1 遺伝子導入 の基礎(I)	遺伝子導入の基礎 を理解し、実験手技 を修得する(I)	1. 遺伝子導入ベクター の取り扱いを修得 する。 2. 遺伝子導入ベクター の取り扱いを修得 する。 3. 細胞への遺伝子導 入法を修得する。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	配付プリン ト・参考書	内科学分野 研究室  アニマルセ ンター  九州大学
7 ～ 15	後期 11月 火曜日  13:00 ～ 15:55	大星	ユニット2 遺伝子導入 の基礎(II)	遺伝子導入の基礎 を理解し、実験手技 を修得する(II)	1. 細胞への遺伝子導 入法を修得する。 2. 生体への遺伝子導 入法を修得する。 3. 生体への遺伝子導 入法を修得する。 4. 発現遺伝子の解析 法を修得する	参考書の該当箇 所を予習してお く。	配付プリン ト・参考書	内科学分野 研究室  アニマルセ ンター  九州大学
16 ～ 22	後期 12月～ 1月 火曜日  13:00 ～ 15:55	大星	ユニット3 遺伝子導入 法の応用(I)	遺伝子導入法を用 いて生活習慣病に 対する新規治療を 探究する手技を修 得する(I)	1. 生活習慣病モデル への遺伝子導入法を 修得する。 2. 生活習慣病モデル への遺伝子導入法を 修得する。 3. 生活習慣病モデル への遺伝子導入法を 修得する。 4. 組織サンプルの解 析技法を修得する。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	配付プリン ト・参考書	内科学分野 研究室  アニマルセ ンター  九州大学



回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
23 ～ 30	後期 1月～ 2月 火曜日  13:00 ～ 15:55	大星	ユニット4 遺伝子導入 法の応用 (II)	遺伝子導入法を用 いて生活習慣病に 対する新規治療を 探究する手技を修 得する(II)	1. 組織サンプルの解 析技法を修得する。 2. 解析結果を統計解 析し、考察を行う。 3. 解析結果を統計解 析し、考察を行う。 4. 解析結果を統計解 析し、考察を行う。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	配付プリン ト・参考書	内科学分野 研究室  アニマルセ ンター  九州大学

## 心療内科学講義① (ストレス医療学)

前期15コマ (ユニット1～3 : 2単位)  
評価責任者 : 金光芳郎

〔担当教員〕  
金光芳郎

〔一般目標〕  
ストレス理論、ストレスモデルについて理解し、代表的なストレス疾患である心身症、生活習慣病、精神疾患について、その病態と診断法、治療法について習得する。

〔授業到達目標〕  
① 代表的なストレス関連疾患について述べることができる。  
② ストレスモデルを説明できる。  
③ ストレス評価法を説明できる。  
④ 生活習慣病の行動変容の技法について述べることができる。

〔教科書・参考書〕  
特になし

〔成績評価の方法・基準〕  
出席40%。各ユニットにおけるレポート40%、プレゼンテーション20%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 5	4～5月 火曜日 16:10～ 17:30	金光	ユニット1	ストレスモデルについて理解する。	1. ストレス学説について説明できる。 2. 心身相関について説明できる。 3. ストレス評価法について説明できる。 4. 対処行動について説明できる。 5. ストレス診断法について説明できる。	ストレス学説について理解しておく。	特になし	総合医学学生実習室・共同研究室
6 ～ 10	6～7月 火曜日 16:10～ 17:30	金光	ユニット2	ストレス関連疾患について理解する。	6. ストレスによる自律神経系の疾患について、病態、症状、治療法を説明できる。 7. ストレスによる内分泌系の疾患について、病態、症状、治療法を説明できる。 8. ストレスによる免疫系の疾患について、病態、症状、治療法を説明できる。 9. 生活習慣病について、病態、症状、治療法について説明できる。 10. うつ病について病態、症状、診断法、治療法について説明できる。	ストレス性身体疾患について調べておく。	特になし	総合医学学生実習室・共同研究室
11 ～ 15	8～9月 火曜日 16:10～	金光	ユニット3	ストレス関連疾患の治療法・行動療法について理解する。	11. 学習理論について説明できる。 12. 行動理論と行動療法について説明できる。	学習理論について調べておく。	特になし	総合医学学生実習室・共同研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
	17:30				13. 自律訓練法とバイオフィードバック法について説明できる。 14. 生活習慣病の行動変容法について説明できる。 15. ストレス対処法について説明できる。			

## 心療内科学講義② (心身症)

後期15コマ (ユニット1～3 : 2単位)  
評価責任者 : 金光芳郎

〔担当教員〕  
金光芳郎

〔一般目標〕  
心身症について、その病態と診断法、治療法について習得し、代表的な口腔領域の心身症について、心身医学的に理解する。

〔授業到達目標〕

- ① 代表的な心身症を述べることができる。
- ② 心身症の病態、成り立ちを説明できる。
- ③ 心身症の診断法を説明できる。
- ④ 心身症の治療法を説明できる。

〔教科書・参考書〕  
特になし

〔成績評価の方法・基準〕  
出席 40%。各ユニットにおけるレポート 40%、プレゼンテーション 20%

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 5	10～ 11月 木曜日 16:10～ 17:30	金光	ユニット1	心身症について理解する。	1. 心身症の病態について説明できる。 2. 心身症の診断法について説明できる。 3. 心理テストについて説明できる。 4. 代表的な精神障害(統合失調症、気分障害、不安障害)について説明できる。 5. 代表的な心身症について説明できる。	心身症の病態・診断法、代表的な心身症について調べておく。	特になし	総合医学学生実習室・共同研究室
6 ～ 10	12～1月 木曜日 16:10～ 17:30	金光	ユニット2	口腔領域の心身症について理解する。	6. 舌痛症について文献を読み、理解する。 7. 顎関節症について文献を読み、理解する。 8. 口臭症について文献を読み、理解する。 9. 慢性疼痛について文献を読み、理解する。 10. 慢性疲労症候群、線維筋痛症について文献を読み、理解する。	代表的な心身症の概念について調べておく。	特になし	総合医学学生実習室・共同研究室
11 ～ 15	2～3月 木曜日 16:10～ 17:30	金光	ユニット3	心身症の治療法について理解する。	11. 自律訓練法について説明できる。 12. 交流分析について説明できる。 13. 心理療法について説明できる。 14. 認知行動療法について説明できる。 15. 全人的医療について説明できる。	心身症の治療法について調べておく。	特になし	総合医学学生実習室・共同研究室

## 心療内科学実習① (心身医学臨床演習 1)

前期30コマ (ユニット1～2 : 2単位)  
評価責任者 : 金光芳郎

〔担当教員〕  
金光芳郎

〔一般目標〕  
心身医学的な診断法と治療法を演習と実習により習得する。

〔授業到達目標〕

- ① 診断において心理社会的な背景を聴取し、疾患発症に及ぼす影響を推察できる。
- ② 心理テストの判定を行い、心理面の評価を習得する。
- ③ 心理療法のうち、簡易精神療法、行動療法、自律訓練法について演習を通じ習得する。

〔教科書・参考書〕  
特になし

〔成績評価の方法・基準〕  
出席 50%。各ユニットにおけるレポート 30%、プレゼンテーション 20%

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	4～5月 金曜日 13:00～ 17:30	金光	ユニット1	心身症の診断を心理社会的背景を含めて行うことができる。	演習ならびに臨床の場において、心理社会的な背景を聴取し、心身症の発症や経過に及ぼす影響について判定できる。 1. インテーク面接(初診面接)を理解する。 2. 心理テストの実施について理解する。	心身症の診断法について調べておく。	特になし	総合医学学生実習室・心療内科外来
16 ～ 30	5～6月 金曜日 13:00～ 17:30	金光	ユニット2	ストレス関連疾患について理解する。	演習ならびに臨床の場において、下記の心身医学的な治療法ができるように習得する。 1. 自律訓練法 2. バイオフィードバック法 3. 行動療法 4. 簡易精神療法	心身医学的治療法について調べておく。	特になし	総合医学学生実習室・心療内科外来

## 心療内科学実習② (心身医学臨床演習 2)

前期 30 コマ (ユニット 1～2 : 2 単位)  
評価責任者 : 金光芳郎

〔担当教員〕  
金光芳郎

〔一般目標〕  
心身医学的な診断法と治療法を演習と実習により習得する。

〔授業到達目標〕  
① 指導教官のもとで診療に参加し、インテーク面接・心理テストの実際の技術を習得する。  
② 指導教官のもとで診療に参加し、心理面接の実際の技術を習得する。

〔教科書・参考書〕  
特になし

〔成績評価の方法・基準〕  
出席 50%。各ユニットにおけるレポート 30%、プレゼンテーション 20%

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 15	7～8月 ～ 金曜日 13:00～ 17:30	金光	ユニット1	インテーク面接・心理テスト	実際の臨床の中で、インテーク面接、心理テストを行い、心身医学的診断および治療について理解する。	インテーク面接、心理テストについて調べておく。	特になし	総合医学学生実習室・心療内科外来
16 30	8～9月 ～ 金曜日 13:00～ 17:30	金光	ユニット2	心理面接	実際の臨床の中で、心理面接（同伴）を行い、心身医学的診断および治療について理解する。	心理面接について調べておく。	特になし	総合医学学生実習室・心療内科外来

## 心療内科学実習③ (自律神経機能検査)

後期 30 コマ (ユニット1~3 : 2 単位)  
評価責任者 : 金光芳郎

〔担当教員〕  
金光芳郎

〔一般目標〕  
心身症の診断に用いられる代表的な自律神経機能検査法について理解する。

〔授業到達目標〕

- ① 心拍変動パワースペクトル解析法
- ② 発汗検査法
- ③ 起立試験
- ④ 各種試験

〔教科書・参考書〕  
特になし

〔成績評価の方法・基準〕  
出席 50%。各ユニットにおけるレポート 30%、プレゼンテーション 20%

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ~ 10	10~11 月 水曜日 13:00~  17:30	金光	ユニット1	発汗の生理を理解し演習により発汗検査法を理解する。	発汗検査法の理論について理解する。	発汗検査法について調べておく。	特に無し	総合医学学生実習室・心療内科外来
11 ~ 20	12~1 月 水曜日 13:00~  17:30	金光	ユニット2	心拍を利用した自律神経機能検査法について理解し演習により理解する。	心拍変動パワースペクトル解析法の理論を理解する。	心拍変動解析について調べておく。	特に無し	総合医学学生実習室・心療内科外来
21 ~ 30	2~3 月 水曜日 13:00~  17:30	金光	ユニット3	低血圧、起立性低血圧について理解し演習により起立試験を理解する。	起立試験の理論を理解する。	起立試験について調べておく。	特に無し	総合医学学生実習室・心療内科外来

## 外科学講義① (がんの浸潤・転移の基礎と臨床)

前期 15コマ (ユニット1～2 : 2単位)  
評価責任者 : 池田 哲夫

〔担当教員〕  
外科学分野指導教員

〔一般目標〕  
がんとの特異的生物学的特徴である浸潤・転移について、病理学的・細胞生物学的・分子生物学にメカニズムを理解し、それに基づいて、がん治療を外科腫瘍学的に考察する。

〔教育方法〕  
スライド、プリント、学内 LAN による講義、演習

〔授業到達目標〕  
出席点 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した英語論文のプレゼンテーション 30%

〔教科書・参考書〕  
Vincent T. DeVita ほか編集「Cancer, Principles & Practice of Oncology, 9<sup>th</sup> ed.」  
Lippincott Williams & Wilkins 2008  
Donald W. Kufe ほか編集「Cancer Medicine 7」BC Decker Inc. 2006  
日本臨床腫瘍学会編「新臨床腫瘍学 第4版」南江堂

〔成績評価の方法・基準〕  
口頭試問、レポート

回	授業日 時 限	授業担 当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資 料	場所
1	4月 5限	外科学 分野指 導教員	ユニット1 がんの浸潤・ 転移	癌の病因と疫学を理解 する。	癌の病因と疫学を 臨床腫瘍学の基礎 として説明できる。	新臨床腫瘍学 3 がんの病因 と疫学の項目 を読んでおく。	新臨床 腫瘍学 第4版	医 科 実 習 室
2	がんとの特異的性質を臨 床病理学的な点から理 解する。			がんとの特異的性質 を臨床病理学的な 点から説明できる。	1 がんの発生 と進展機構の 項目を読んで おく。	新臨床 腫瘍学 第4版		
3	がんとの特異的性質を細 胞生物学的な点から理 解する。			がんとの特異的性質 を細胞生物学的な 点から説明できる。	新臨床 腫瘍学 第4版			
4	がんとの特異的性質を分 子生物学的な点から理 解する。			がんとの特異的性質 を分子生物学的な 点から説明できる。	新臨床 腫瘍学 第4版			
5	5月 5限			がん転移のメカニズム を統合的に理解する (I)	がん転移のメカニ ズムを統合的に説 明できる (I)	8. 浸潤と転移, 9. 血管新生, 10. がん幹細胞 の項目を読ん	新臨床 腫瘍学 第4版	



回	授業日 時 限	授業担 当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資 料	場所
6	5月 5限	外科学 分野指 導教員	ユニット2 がん転移巣の 治療	がん転移のメカニズムを統合的に理解する (II)	がん転移のメカニズムを統合的に説明できる (II)	で お く。	新臨床腫瘍学第4版	
7	がん転移のメカニズムを統合的に理解する (III)			がん転移のメカニズムを統合的に説明できる (III)	新臨床腫瘍学第4版			
8	6月 5限			がん転移に対する治療方針を理解する (手術治療)。	がん転移に対する治療方針を説明できる (手術治療)	8 外科療法の項目を読んでおく。	新臨床腫瘍学第4版	
9				がん転移に対する治療方針を理解する (非手術治療)。	がん転移に対する治療方針を説明できる (非手術治療)。	9 放射線治療 14 各種抗がん薬の項目を読んでおく。	新臨床腫瘍学第4版	
10				がん転移巣の治療における外科手術の役割を理解する。	がん転移巣の治療における外科手術の役割を説明できる。	7 がんの診断, 8 外科療法の項目を読んでおく。	新臨床腫瘍学第4版	
11				がん転移巣の治療における外科手術の適応を理解する。	がん転移巣の治療における外科手術の適応を説明できる。		新臨床腫瘍学第4版	
12				がん転移巣の外科手術による治療効果を理解する。	がん転移巣の外科手術による治療効果を説明できる。		新臨床腫瘍学第4版	
13				がん転移巣の外科手術による術後合併症を理解する。	がん転移巣の外科手術による術後合併症を説明できる。		新臨床腫瘍学第4版	
14				がん転移に対する最新 (開発中) の治療法を理解する。	がん転移に対する最新 (開発中) の治療法を説明できる。	分子標的治療薬の項目を読んでおく。	新臨床腫瘍学第4版 インターネット	
15				7月 5限	がん医療におけるチーム医療の重要性を理解する。	がん医療におけるチーム医療の重要性を説明できる。	がん医療におけるチーム医療の項目を読んでおく。	

## 外科学講義② (外科合併症管理学入門)

後期15コマ (ユニット1～6 : 2単位)  
評価責任者 : 池田 哲夫

〔担当教員〕  
外科学分野指導教員

〔一般目標〕  
外科手術後の合併症の病態とその管理方法を理解し、歯科手術後の合併症との共通点および相違点について考察する。

〔教育方法〕  
スライド、プリント、学内LANによる講義、演習

〔授業到達目標〕  
出席点40%、各ユニット毎に提出するレポート30%、指定した英語論文のプレゼンテーション30%

〔教科書・参考書〕  
Vincent T. DeVitaほか編集「Cancer, Principles & Practice of Oncology, 9<sup>th</sup> ed.」  
Lippincott Williams & Wilkins 2008  
Donald W. Kufeほか編集「Cancer Medicine 7」BC Decker Inc. 2006  
日本臨床腫瘍学会編「新臨床腫瘍学 第4版」南江堂

〔成績評価の方法・基準〕  
口頭試問, レポート

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	9月 5限	外科学 分野指 導教員	ユニット1	外科手術後の合併症を、その原因別に分類し、病名を理解する。	外科手術後の合併症を、その原因別に分類し、病名を説明できる。	CDCガイドラインを読んでおく	特に指定しない。	医科実習室
2	外科手術後合併症の全体像		外科手術後の合併症を、その病態別に分類し、病名を理解する。	外科手術後の合併症を、その病態別に分類し、病名を説明できる。	CDCガイドラインを読んでおく			
3	ユニット2		手術部位感染 (SSI) の発生要因と分類について理解する。	手術部位感染 (SSI) の発生要因と分類について説明できる。	CDCガイドラインを読んでおく	特に指定しない。		
4	手術部位感染 (SSI)		手術部位感染 (SSI) の治療について、分類別に理解する。	手術部位感染 (SSI) の治療について、分類別に説明できる。				
5	10月 5限		手術部位感染 (SSI) の予防について理解する	手術部位感染 (SSI) の予防について説明できる				

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所	
6	10月 5限	外科学 分野指 導教員	ユニット3  呼吸器系・循 環器系合併 症	術後無気肺の発生要 因と予防・治療を理 解する	術後無気肺の発生要因 と予防・治療を説明でき る	分 か り や す い 内 科 学 を 読 ん で お く。	特に指定し ない。	医科実習室	
7				術後肺炎の発生要因 と予防・治療を理解 する	術後肺炎の発生要因と 予防・治療を説明できる				特に指定し ない。
8				不整脈の発生要因と 予防・治療を理解す る。	不整脈の発生要因と予 防・治療を説明できる。				
9			ユニット4  糖尿病の管 理	糖尿病の術前管理に ついて理解する。	糖尿病の術前管理につ いて説明できる。		特に指定し ない。		
10			11月 5限	糖尿病の術中・術後 管理について理解す る。	糖尿病の術中・術後管理 を説明できる。				
11			11月 5限	ユニット5  術後イレウ ス	術後イレウスの分類 と診断について理解 する。		術後イレウスの分類と 診断について説明でき る。		特に指定し ない。
12					術後イレウスの治療 について病態別につ いて理解する。		術後イレウスの治療に ついて病態別に説明で きる。		
13					ユニット6  体液バラン スの異常と 輸液管理		電解質バランス異常 の種類と各々の病態 について理解する。		
14			12月 5限	酸塩基平衡の仕組み とその異常による病 態について理解す る。	酸塩基平衡の仕組みと その異常による病態に ついて説明できる。				
15	バランスシートによ る輸液管理法につ いて理解する。	バランスシートによる 輸液管理法について説 明できる。							

## 外科学実習① (悪性腫瘍の診断・治療の実際と今後の展望)

前期30コマ (ユニット1～5 : 2単位)

評価責任者 : 池田 哲夫

**〔担当教員〕**

外科学分野指導教員

**〔一般目標〕**

悪性腫瘍の画像診断法、外科的治療法、化学療法を理解し、さらに実践することから外科腫瘍学的考察法を体得する

**〔教育方法〕**

スライド、プリント、学内LANによる講義、演習

**〔授業到達目標〕**

出席点40%、各ユニット毎に提出するレポート30%、指定した英語論文のプレゼンテーション30%

**〔教科書・参考書〕**

Vincent T. DeVitaほか編集「Cancer, Principles & Practice of Oncology, 9<sup>th</sup> ed.」

Lippincott Williams & Wilkins 2008

Donald W. Kufeほか編集「Cancer Medicine 7」BC Decker Inc. 2006

日本臨床腫瘍学会編「新臨床腫瘍学 第4版」南江堂

**〔成績評価の方法・基準〕**

口頭試問, レポート

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ~ 30	4月 4・5限	外科学 分野指 導教員	ユニット1  消化管の画像診 断法	胃および大腸X 線検査法につい て理解する。	胃X線検査法に ついて説明し、 読影できる。	CDCガイド ラインを讀 んでおく	特に指定 しない。	医科実習 室
					胃内視鏡検査法 について説明 し、読影できる。	CDCガイド ラインを讀 んでおく		
					大腸X線検査法 について説明 し、読影できる。	CDCガイド ラインを讀 んでおく		
			大腸内視鏡検査 法について説明 し、読影できる。					
	5月 4・5限		ユニット2 実質臓器の画像 診断法	胸腹部CT検査 法について理解 し、実際の画像 を讀影する。	胸部CT検査法 について説明 し、実際の画像 を讀影できる。	CDCガイド ラインを讀 んでおく		

回	授業日 時 限	授業担 当者	ユニット番号・ 項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
	5月 4・5限	外科学 分野指 導教員		超音波検査法について理解し、実際の画像を読影する。	腹部CT検査法について説明し、実際の画像を読影できる。			
					腹部エコー検査法について説明し、実際の画像を読影できる。			
					乳線エコー検査法について説明し、実際の画像を読影できる。			
	6月 4・5限		ユニット3 悪性腫瘍の進行度分類と進行度に応じた治療方針	悪性腫瘍の進行度分類と進行度に応じた治療方針を理解する。	胃癌の進行度分類と進行度に応じた治療方針を説明できる。	分かりやすい内科学を読んでおく。		
			ユニット4 悪性腫瘍に対する外科手術の役割と適応	悪性腫瘍に対する外科手術の役割と適応を理解する。	大腸癌の進行度分類と進行度に応じた治療方針を説明できる。	分かりやすい内科学を読んでおく。		
					胃癌に対する外科手術の役割と適応を説明できる。	分かりやすい内科学を読んでおく。		
	7月 4・5限				胃癌手術を見学し、その外科解剖を説明できる。			
					大腸癌に対する外科手術の役割と適応を説明できる。			
					乳癌に対する外科手術の役割と適応を説明できる。			

回	授業日 時 限	授業担 当者	ユニット番号・ 項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
	7月 4・5限	外科学 分野指 導教員			乳癌手術を見学し、その外科解剖を説明できる。			
	ユニット5 悪性腫瘍に対する化学療法の役割と適応		悪性腫瘍に対する化学療法の役割と適応を理解する。	消化器癌化学療法施行症例の診療録を熟読し、その症例について役割と適応を説明できる				
					乳癌化学療法施行症例の診療録を熟読し、その症例について役割と適応を説明できる。	分かりやすい内科学を 読んでおく。		

## 外科学実習② (外科学臨床基礎演習)

後期30コマ (ユニット1～5 : 2単位)

評価責任者： 池田 哲夫

**〔担当教員〕**

外科学分野指導教員

**〔一般目標〕**

外科の周術期管理方法を理解し、歯科周術期との共通点および相違点について考察する。

**〔教育方法〕**

スライド、プリント、学内LANによる講義、演習

**〔授業到達目標〕**

出席点40%、各ユニット毎に提出するレポート30%、指定した英語論文のプレゼンテーション30%

**〔教科書・参考書〕**

Vincent T. DeVitaほか編集「Cancer, Principles & Practice of Oncology, 9<sup>th</sup> ed.」

Lippincott Williams & Wilkins 2008

Donald W. Kufeほか編集「Cancer Medicine 7」BC Decker Inc. 2006

日本臨床腫瘍学会編「新臨床腫瘍学 第4版」南江堂

**〔成績評価の方法・基準〕**

口頭試問, レポート

回	授業日 時 限	授業担 当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資 料	場所
1 30	9月～11 月 4・5限	外科学 分野指 導教員	ユニット1  呼吸器系の 周術期管理 と合併症	呼吸器疾患を有する患者の診療録を熟読し、その周術期管理に関する問題点を理解する。	呼吸器疾患を有する患者の診療録を熟読し、その周術期管理に関する問題点を説明できる。	分かりやすい内科学を 読んでおく。	特に指 定しな い。	医 科 実 習 室
	呼吸器系の周術期管理に関する重要点を理解する。			呼吸器系の周術期管理に関する文献を選択し、熟読する。				
				外科手術後の呼吸器合併症を、その病因別および病態別に分類し、病名を理解する	外科手術後の呼吸器合併症を、その病因別および病態別に分類し、病名を挙げ、説明できる。			
	9月～11 月 4・5限		ユニット2  循環器系の 周術期管理	循環器疾患を有する患者の診療録を熟読し、その周術期管理に関する問題点を理解する。	循環器疾患を有する患者の診療録を熟読し、その周術期管理に関する問題点を説明できる。			

回	授業日 時 限	授業担 当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資 料	場所
			と合併症	題点を理解する				
				循環器系の周術期管理に関する重要点を列記する。	循環器系の周術期管理に関する文献を選択し、熟読する。 循環器系の周術期管理に関する文献を選択し、熟読する。			
				外科手術後の循環器合併症を、その病因別および病態別に分類し、病名を理解する	外科手術後の循環器合併症を、その病因別および病態別に分類し、病名を挙げ、説明できる。			
			ユニット3 糖尿病の周術期管理と合併症	糖尿病を有する患者の診療録を熟読し、その周術期管理に関する問題点を理解する	糖尿病を有する患者の診療録を熟読し、その周術期管理に関する問題点を説明できる。			
				糖尿病の周術期管理に関する重要点を理解する。	糖尿病の周術期管理に関する文献を選択し、熟読する。 糖尿病の周術期管理に関する重要点を説明できる。			
				外科手術後の糖尿病合併症を、その病因別および病態別に分類し、病名を理解する	外科手術後の糖尿病合併症を、その病因別および病態別に分類し、病名を挙げ、説明できる。			



## 外科学実習③ (外科学臨床基礎演習)

後期30コマ (ユニット1～5 : 2単位)

評価責任者: 池田 哲夫

〔担当教員〕  
外科学分野指導教員

〔一般目標〕  
外科の周術期管理方法を理解し、歯科周術期との共通点および相違点について考察する。

〔教育方法〕  
スライド、プリント、学内LANによる講義、演習

〔授業到達目標〕  
出席点40%、各ユニット毎に提出するレポート30%、指定した英語論文のプレゼンテーション30%

〔教科書・参考書〕  
Vincent T. DeVitaほか編集「Cancer, Principles & Practice of Oncology, 9<sup>th</sup> ed.」  
Lippincott Williams & Wilkins 2008  
Donald W. Kufeほか編集「Cancer Medicine 7」BC Decker Inc. 2006  
日本臨床腫瘍学会編「新臨床腫瘍学 第4版」南江堂

〔成績評価の方法・基準〕  
口頭試問, レポート

回	授業日 時 限	授業担 当者	ユニット番 号・ 項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 30	12月～ 3月 4・5限	外科学 分野指 導教員	ユニット1  手術創の周術 期管理と合併 症	手術部位感染 (SSI)に関する ガイドラインを 理解する	手術部位感染 (SSI)に関するガ イドラインを説 明できる。	CDCガイドラ インを讀ん でおく。	特に指定 しない。	医科 実習 室
				SSIの発生要因 と分類について 理解する。	SSIの発生要因 と分類について 説明できる。			
				SSIの治療につ いて、分類別 について理解す る。	SSIの治療につ いて、分類別 について説明できる。			
				SSIの予防につ いて理解する。	SSIの予防につ いて説明できる。			
			ユニット2  抗生剤使用と 合併症	抗生剤使用と合 併症について理 解する	周術期における 予防投与に関す る文献を選択し、 説明する。			

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
	12月～ 3月 4・5限				歯科周術期との 抗生剤の違いと 合併症について 説明する。			
			ユニット5 体液バランス の周術期管理 と合併症	体液バランス異常 を有する患者の 診療録を熟読 し、その周術期 管理に関する問 題点について理 解する。	酸体液バランス異常 を有する患者の 診療録を熟読 し、その周術期管 理に関する問題 点について説明 できる。	分かりやす い内科学を 読んでおく。		
				体液バランスの周 術期管理につい て理解する。	体液バランスの周術 期管理について 熟読する。			
					体液バランスの周術 期管理について 説明できる。			
				外科手術後の体 液バランス異常 を、その病因別 および病態別に 分類し、病名を 列記する。	外科手術後の体 液バランス異常を、 その病因別およ び病態別に分類 し、病名を挙げ、 説明できる。			

## 耳鼻咽喉科学講義① (嚥下機能検査)

前期 15コマ (ユニット1～4 : 2単位)  
評価責任者 : 山野貴史

〔担当教員〕  
山野貴史

〔一般目標〕

嚥下に関連する構造・機能について理解するとともに、嚥下障害の病態、原因疾患に関する基本的知識を習得し、最新の嚥下機能検査を理解する。

〔授業到達目標〕

咽頭喉頭の構造について説明できる。  
従来の嚥下検査を説明できる。  
最新の嚥下検査を説明できる。  
日常よくみる嚥下障害について理解する

〔教科書・参考書〕

参考書 なし

〔成績評価の方法・基準〕

レポート

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 5	【前期】 4月 火・水曜日 16:10～ 17:30	山野	ユニット1	嗅覚の基礎について理解する。	1. 咽頭喉頭の形態が説明できる。 2. 咽頭喉頭の構造が説明できる。 3. 嚥下の生理機能を説明できる。 4. 嚥下障害の病態が説明できる。 5. 嚥下障害の原因について説明できる。	教科書などで咽頭、喉頭の解剖を理解しておく	なし	耳鼻咽喉科学 研究室
6 ～ 8	【前期】 5月 火・水曜日 16:10～ 17:30	山野	ユニット2	これまでの嚥下機能検査について理解する。	6. スクリーニングについて説明できる。 7. 嚥下障害を疑う所見について説明できる。 8. 嚥下障害の障害認定について説明できる。	嚥下機能検査について教科書などを読んでおく	なし	耳鼻咽喉科学 研究室
9 ～ 12	【前期】 6月 火・水曜日 16:10～ 17:30	山野	ユニット3	新しい嚥下機能検査について理解する。	9. 水飲みテストについて説明できる。 10. 嚥下内視鏡検査について説明できる。 11. 嚥下造影検査について説明できる。 12. ストロボスコーピーについて説明できる。	嚥下機能検査について教科書などを読んでおく	なし	耳鼻咽喉科学 研究室
13 ～ 15	【前期】 7月 火・水曜日 16:10～ 17:30	山野	ユニット4	日常よくみる嚥下障害疾患について理解する。	13. 神経疾患による嚥下障害が説明できる。 14. 頭頸部癌術後後の嚥下障害が説明できる。 15. 声帯麻痺による嚥下障害が説明できる。	嚥下障害を来す疾患について教科書などを読んでおく	なし	耳鼻咽喉科学 研究室

## 耳鼻咽喉科学講義② (鼻副鼻腔疾患)

前期 15コマ (ユニット1～4 : 2単位)  
評価責任者 : 山野貴史

〔担当教員〕  
山野貴史

〔一般目標〕  
歯科との境界領域である、上顎洞炎などの鼻副鼻腔に関連する構造・機能について理解するとともに、歯性上顎洞炎などの病態、原因疾患に関する基本的知識を習得し、その予後を左右する因子について理解する。

〔授業到達目標〕  
鼻副鼻腔の解剖生理について理解する  
CT 検査について理解する  
診断について理解する  
内視鏡手術について理解する

〔教科書・参考書〕  
参考書 なし

〔成績評価の方法・基準〕  
レポート

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 5	【前期】 4月 木・金曜日 16:10～ 17:30	山野	ユニット1	鼻副鼻腔の基礎について理解する。	1. 鼻副鼻腔の形態が説明できる。 2. 鼻副鼻腔の構造が説明できる。 3. 鼻副鼻腔の生理機能を説明できる。 4. 鼻腔形態の正常異常が説明できる。 5. 副鼻腔炎について説明できる。	教科書などで鼻副鼻腔解剖を理解しておく	なし	耳鼻咽喉科学 研究室
6 ～ 8	【前期】 5月 木・金曜日 16:10～ 17:30	山野	ユニット2	鼻副鼻腔の検査について理解する。	6. 単純X Pの所見について説明できる。 7. C T検査所見について説明できる。 8. その他特殊嗅覚、検査について説明できる。	教科書などで鼻副鼻腔生理を理解しておく	なし	耳鼻咽喉科学 研究室
9 ～ 12	【前期】 6月 木・金曜日 16:10～ 17:30	山野	ユニット3	鼻副鼻腔疾患の治療について理解する。	9. アレルギー性鼻炎説明できる。 10. 慢性副鼻腔炎について説明できる。 11. 上顎洞癌について説明できる。 12. 内視鏡手術について説明できる。	教科書などで聴覚生理を理解しておく	参考書 なし	耳鼻咽喉科学 研究室
13 ～ 15	【前期】 7月 木・金曜日 16:10～ 17:30	山野	ユニット4	鼻副鼻腔疾患の疫学について理解する。	13. ロジスティック回帰分析が説明できる。 14. 歯性上顎洞炎の予後因子が説明できる。 15. 上顎洞根治術と ESSの違いが説明できる。	鼻副鼻腔疾患の疫学について理解する。	参考書 なし	耳鼻咽喉科学 研究室

## 耳鼻咽喉科学実習①

後期46コマ（ユニット1～2：3単位）  
評価責任者：山野貴史

〔担当教員〕  
山野貴史

〔一般目標〕  
耳鼻科領域の臨床研究の基盤となる診断、予防及び治療の基礎的事項を理解し、基本的技法を修得する。

〔授業到達目標〕  
①耳鼻咽喉科診察を理解し、修得する  
②耳鼻咽喉科における画像診断の基礎を理解し、基本的手技を実践する

〔教科書・参考書〕  
参考書  
NEW 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 南江堂

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点40%、実習点60%。実習の評価の基準は適切な説明及び実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担 当 者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 23	【後期】 10月～ 12月 月曜日 13:00～ 15:55	山野	ユニット1	耳鼻咽喉科診察を 理解し、修得する	1. 顎帯鏡、ライト使用法 を理解する。 2. 耳鏡、拡大耳鏡使用法 を修得する。 3. 鼻鏡使用法を修得す る 4. 後鼻鏡、喉頭鏡使用法 を修得する。 5. 耳鼻科領域の打診、触 診を説明できる 6. 内視鏡使用した診察 を修得する 7. 診察所見を図示し、説 明できる	耳鼻咽喉科の疾 患について代表 的なものを理解 しておく	なし	耳鼻咽喉 科学 研究室
24 ～ 46	【後期】 1月～ 3月 月曜日 13:00～ 15:55	山野	ユニット2	耳鼻咽喉科におけ る画像診断の基礎 を理解し、基本的手 技を実践する	8. 耳鼻科領域の単純X 線撮影法を理解する 9. 単純X線撮影のオー ダー法を理解する 10. 単純X線撮影の読影 を理解する 11. 各撮影法の異常所見 を説明できる 12. 耳鼻科領域の超音波 検査を説明する 13. MRI検査による耳 鼻科疾患の診断の基 礎を説明する 14. CT検査による耳鼻 科疾患の診断の基礎 を説明する 15. 耳鼻科における各種 画像診断の診断的価	画像診断の読影 方法について理 解しておく	なし	耳鼻咽喉 科学 研究室

回	授業日 時 限	授 業 担 当 者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					値を評価する			

## 耳鼻咽喉科学実習②

後期48コマ（ユニット1～3：3単位）

評価責任者：山野貴史

〔担当教員〕  
山野貴史

〔一般目標〕

耳鼻科領域の臨床研究の基盤となる診断、予防及び治療の基礎的事項を理解し、基本的技法を修得する。

〔授業到達目標〕

- ①嗅覚検査、味覚検査基礎を理解し、修得する
- ②平衡機能検査を理解し、修得する
- ③耳鼻咽喉科内視鏡検査を理解し、修得する

〔教科書・参考書〕

参考書

NEW 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 南江堂

〔成績評価の方法・基準〕

出席点40%、実習点60%。実習の評価の基準は適切な説明及び実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 16	【後期】 10月～ 11月 月曜日 13:00～ 15:55	山野	ユニット1	嗅覚検査、味覚検査基礎を理解し、修得する	1. 嗅覚の基礎を説明できる 2. 味覚の基礎を説明できる 3. 基準嗅力検査を修得する 4. 味覚検査(ディスク法)を修得する 5. 新しい嗅覚検査および味覚検査を説明できる	教科書などで耳・鼻の解剖を理解しておく	なし	耳鼻咽喉科学外来
17 ～ 32	【後期】 12月～ 1月 月曜日 13:00～ 15:55	山野	ユニット2		6. 平衡覚の基礎を理解する 7. 眼振を理解する 8. 重心計の原理を理解する 9. 眼振記録を修得する 10. 重心計検査を修得する 11. 各種平衡障害を説明できる	教科書などで耳・鼻の解剖を理解しておく	なし	耳鼻咽喉科学外来
33 ～ 48	【後期】 2月～ 3月 月曜日 13:00～ 15:55	山野	ユニット3	耳鼻咽喉科内視鏡検査を理解し、修得する	12. 内視鏡の原理を理解する 13. 鼻・咽喉内視鏡を修得する 14. その他の内視鏡検査を説明できる 15. 内視鏡手術を説明できる	教科書などで咽喉頭の解剖を理解しておく	なし	耳鼻咽喉科学外来

## 眼科学講義①

前期15コマ（ユニット1～4：2単位）

評価責任者：川野 庸一

### 〔担当教員〕

川野 庸一、大島裕司

### 〔一般目標〕

血管新生について病理学的・細胞生物学的・分子生物学にメカニズムを理解し、それに基づいて、眼内血管新生病の治療について考察する。

### 〔授業到達目標〕

- ① 失明原因疾患の時代的変遷とその背景について説明する。
- ② 眼内血管新生病について説明する。
- ③ 血管新生について病理学的・細胞生物学的・分子生物学的に説明する。
- ④ 血管新生のメカニズムに基づき、眼内血管新生病の治療について説明する。

### 〔教科書・参考書〕

参考文献

Dorrel M, et al. Ocular neovascularisation: Basic mechanisms and therapeutic advances. Survey of Ophthalmology 52:S3-S19, 2007.

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した英語論文のプレゼンテーション 30%。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の 項目	媒体・ 参考資料	場 所 備 考
1 2 3	前期 6月 水曜日 16:10～ 17:30	川野 庸一	ユニット1 失明原因疾患	失明原因疾患の時代的変遷とその背景について理解する。	1. 日本における失明原因について説明する。 2. 日本における失明原因の疫学について説明する。 3. 日本における失明原因の時代的変遷とその背景について説明する。	参考書の該当項目	参考書	眼科教授室
4 5 6 7	前期 7月 水曜日 16:10～ 17:30	大島 裕司	ユニット2 眼内血管新生病	眼内血管新生病について理解する	4. 糖尿病網膜症について説明する。 5. 加齢黄斑変性について説明する。 6. 網膜静脈閉塞症について説明する。 7. 血管新生緑内障について説明する。	参考書の該当項目	参考書	眼科教授室
8 9 10 11	前期 8月 水曜日 16:10～ 17:30	川野 庸一	ユニット3 血管新生の生物学	血管新生について病理学的・細胞生物学的・分子生物学的に理解する。	8. 血管新生について病理学的に説明する。 9. 血管新生について細胞生物学的に説明する。 10. 血管新生について分子生物学的に説明する。 11. 血管新生について総合的に説明する。	参考書の該当項目	参考書	眼科教授室
12 13 14 15	前期 9月 水曜日 16:10～ 17:30	大島 裕司	ユニット4 血管新生病の治療	血管新生のメカニズムに基づき、眼内血管新生病の治療について理解する。	12. 眼内血管新生病に対するレーザー治療について説明する。 13. 眼内血管新生病に対する手術治療について説明する。 14. 眼内血管新生病に対する薬物治療について説明する。 15. 眼内血管新生病に関する今後の展望について説明する。	参考書の該当項目	参考書	眼科教授室



## 眼科学講義②

後期 15コマ (ユニット1～6 : 2単位)

評価責任者 : 川野 庸一

### 〔担当教員〕

川野 庸一、大島裕司

### 〔一般目標〕

眼科領域の主な疾患及び病態生理を理解し、また顕微鏡を用いた手術治療について学ぶ。

### 〔授業到達目標〕

- ① 眼瞼および涙器について理解する。
- ② 角・結膜について理解する。
- ③ 水晶体について理解する。
- ④ 緑内障について理解する。
- ⑤ ぶどう膜について理解する。
- ⑥ 網膜・硝子体について理解する。
- ⑦ 斜視・弱視について理解する。
- ⑧ 視神経について理解する。
- ⑨ 眼外傷および腫瘍について理解する。
- ⑩ 眼科手術について理解する。

### 〔参考書〕

大野 重昭ほか編集 「標準眼科学」 医学書院 2007

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所備考
1 2	後期 9月 水曜日 16:10～ 17:30	川野 庸一	ユニット1 前眼部疾患	前眼部疾患について理解する。	1. 眼瞼および涙器に関する疾患について説明する。 2. 結膜に関する疾患について説明する。	参考書の該当項目	参考書	眼科教授室
3 4 5	後期 9月 水曜日 16:10～ 17:30	川野 庸一	ユニット2 角膜・水晶体 角膜・水晶体・緑内障	角膜・水晶体・緑内障について理解する。	3. 角膜に関する疾患について説明する。 4. 水晶体に関する疾患について説明する。 5. 緑内障について説明する。	参考書の該当項目	参考書	眼科教授室
6 7 8	後期 10月 水曜日 16:10～ 17:30	大島 裕司	ユニット3 ぶどう膜および網膜硝子体疾患	ぶどう膜および網膜硝子体疾患について理解する。	6. ぶどう膜に関する疾患について説明する。 7. 網膜・硝子体に関する疾患の分類と診断について説明する。 8. 網膜・硝子体に関する疾患の治療について説明する。	参考書の該当項目	参考書	眼科教授室
9 10	後期 10月 水曜日 16:10～ 17:30	川野 庸一	ユニット4 斜視弱視、視神経疾患	斜視弱視および視神経疾患について理解する。	9. 斜視・弱視について説明する。 10. 視神経に関する疾患について説明する。	参考書の該当項目	参考書	眼科教授室
11 12	後期 11月 水曜日 16:10～ 17:30	川野 庸一	ユニット5 眼腫瘍、眼外傷	眼腫瘍および眼外傷について理解する。	11. 眼腫瘍について説明する。 12. 眼外傷について説明する。	参考書の該当項目	参考書	眼科教授室

13	後期	大島裕司	ユニット6	眼科手術について理解する。	13.眼科手術の消毒法および麻酔法について説明する。	参考書の該当項目	参考書	眼科教授室
14	11月				14.顕微鏡を用いた眼科手術について説明する。			
15	水曜日 16:10～ 17:30				15.眼科治療の今後の展望について説明する。			

## 眼科学実習①

前期30コマ（ユニット1～5：2単位）  
評価責任者：川野 庸一

### 〔担当教員〕

川野 庸一、大島裕司

### 〔一般目標〕

眼科疾患の画像診断、外科的治療法を理解しさらに実践する。

### 〔授業到達目標〕

- ① 眼底画像検査について説明し、実際の画像を読影する。
- ② 細隙灯顕微鏡検査について説明し、実践する。
- ③ 眼エコー検査法について説明し、実際の画像を読影する。
- ④ 頭部CT及びMRI検査法について説明し、実際の画像を読影する。
- ⑤ 眼科疾患に対する外科手術の役割と適応を説明する。

### 〔参考書〕

大野 重昭ほか編集 「標準眼科学」 医学書院 2007

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点40%、各ユニット毎に提出するレポート30%、指定した英語論文のプレゼンテーション30%

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所 備考
1 ～ 6	前期 4月 曜日 16:10 ～ 17:30	大島 裕司	ユニット1 眼底の画像 診断法	1. 眼底写真について理解する。 2. 蛍光眼底造影検査について理解する。 3. 光干渉断層計について理解する。 4. 細隙灯顕微鏡検査について理解する。	1. 眼底写真について説明し、症例画像を読影する。 2. 蛍光眼底造影検査について説明し、症例画像を読影する。 3. 光干渉断層計について説明し、症例画像を読影する。 4. 細隙灯顕微鏡検査について説明し、実践する。	「標準眼科学」の該当項目	参考書 診療録	病棟カ ンファ レンス ルーム
7 ～ 12	前期 5月 曜日 16:10 ～ 17:30	川野庸 一	ユニット2 眼窩の画像 診断法	1. CT検査法について理解する。 2. MRI検査法について理解する。 3. 眼エコーについて理解する。 4. 病理検査について理解する。	1. CT検査法について説明し、症例画像を読影する。 2. MRI検査法について説明し、症例画像を読影する。 3. 眼エコーについて説明し、症例画像を読影する。 4. 病理検査について説明し、症例画像を読影する。	「標準眼科学」の該当項目	参考書 診療録	病棟カ ンファ レンス ルーム

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所 備 考
13 ～ 18	前期 6月 月曜日 16:10 ～ 17:30	川野庸 一	ユニット3 前眼部疾患 の画像診断 法	5. 眼瞼結膜疾患について理解する。 6. 角膜疾患について理解する。 7. 水晶体疾患について理解する。	5. 眼瞼結膜疾患について説明し、症例画像を読影する。 6. 角膜疾患について説明し、症例画像を読影する。 7. 水晶体疾患について説明し、症例画像を読影する。	「標準眼科学」の該当項目	参考書 診療録	病棟カ ンファ レンス ルーム
19 ～ 24	前期 6月 火曜日 13:00 ～ 17:30	大島 裕司	ユニット4 眼科手術	1. 白内障手術を見学し、その手技を理解する。 2. 白内障手術を理解する。 3. 緑内障手術を見学し、その手技を理解する。 4. 緑内障に対する手術の適応を理解する。 5. 硝子体手術を見学し、その手技を理解する。 6. 硝子体手術の適応を理解する。	1. 白内障手術を見学し、その手技を説明する。 2. 白内障に対する外科手術の役割と適応を説明する。 3. 緑内障手術を見学し、その手技を説明する。 4. 緑内障に対する外科手術の役割と適応を説明する。 5. 硝子体手術を見学し、その手技を説明する。 6. 硝子体手術の役割と適応を説明する。	「標準眼科学」の該当項目	参考書 診療録	手術室
25 ～ 30	前期 7月 月曜日 16:10 ～ 17:30	川野庸 一	ユニット5 ぶどう膜炎 に対する外 科治療	1. ぶどう膜炎症例について理解する。 2. ぶどう膜炎症例の治療について理解する	1. ぶどう膜炎症例の診療録を熟読し、その症例の診断について説明する。 2. ぶどう膜炎症例の診療録を熟読し、その治療について説明する。	「標準眼科学」の該当項目	参考書 診療録	病棟カ ンファ レンス ルーム

## 眼科学実習②

後期30コマ（ユニット1～3：2単位）

評価責任者：川野 庸一

### 〔担当教員〕

川野 庸一、大島裕司

### 〔一般目標〕

眼科領域における血管新生に関連する疾患の病態を理解し、考察する。

### 〔授業到達目標〕

- ① 糖尿病網膜症について理解する。
- ② 加齢黄斑変性について理解する。
- ③ 網膜静脈分枝閉塞症について理解する。

### 〔参考書〕

J. J. Kanski & B. Bowling (eds.) Clinical Ophthalmology, 7<sup>th</sup> ed. - A Systemic Approach  
BUTTERWORTH-HEINEMANN 2011

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の 項目	媒体・ 参考資料	場 所 備 考
1 ～ 10	後期 9月 月曜日 13:00 ～ 17:30	川野 庸一	ユニット1 糖尿病網膜 症	糖尿病網膜 症について 理解する。	1. 糖尿病網膜症を有する患 者の診療録を熟読し、その 治療における問題点を列 記する。 2. 糖尿病網膜症に関する文 献を選択し、熟読する。 3. 糖尿病網膜症治療とその 予後を、病態別に分類し説 明する。	参考書の 該当項目	参考書 診療録	病棟カ ンファ レンス ルーム 外来、 図書館
11 ～ 20	後期 9月 金曜日 13:00 ～ 17:30	大島 裕司	ユニット2 加齢黄斑変 性	加齢黄斑変 性について 理解する。	1. 加齢黄斑変性を有する患 者の診療録を熟読し、その 診断における問題点を列 記する。 2. 加齢黄斑変性の治療にお ける問題点を列記する。 3. 加齢黄斑変性に関する文 献を選択し、熟読する。 4. 加齢黄斑変性の治療法と その予後を、病態別に分類 し説明する。	参考書の 該当項目	参考書 診療録	病棟カ ンファ レンス ルーム 外来、 図書館
21 ～ 30	後期 10月 月曜日 13:00 ～ 17:30	大島 裕司	ユニット3 網膜静脈分 枝閉塞症	網膜静脈分 枝閉塞症に ついて理解 する。	1. 網膜静脈分枝閉塞症を有 する患者の診療録を熟読 し、その診断における問題 点を列記する。 2. 網膜静脈分枝閉塞症に関 する文献を選択し、熟読す る。 3. 網膜静脈分枝閉塞症治療 法とその予後を、病態別に 分類し説明する。	参考書の 該当項目	参考書 診療録	病棟カ ンファ レンス ルーム 外来、 図書館

## 眼科学実習③ (眼科学臨床基礎演習)

後期30コマ (ユニット1～3 : 2単位)

評価責任者：川野 庸一

**〔担当教員〕**

川野 庸一、大島裕司

**〔一般目標〕**

眼科領域における炎症性疾患の病態を理解し、考察する。

**〔授業到達目標〕**

- ① アレルギー性結膜炎について理解する。
- ② 眼窩炎症性疾患について理解する。
- ③ ぶどう膜炎について理解する。

**〔参考書〕**

J. J. Kanski & B. Bowling (eds.) Clinical Ophthalmology, 7<sup>th</sup> ed. - A Systemic Approach  
BUTTERWORTH-HEINEMANN 2011

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の 項目	媒体・ 参考資料	場所 備考
1 ～ 10	後期 10月 金曜日 13:00 ～ 17:30	大島 裕司	ユニット1 アレルギー 性結膜炎	アレルギー 性結膜炎に ついて理解 する。	1. アレルギー性結膜炎を有 する患者の診療録を熟読 し、その治療における問 題点を列記する。 2. アレルギー性結膜炎に関 する文献を選択し、熟読 する。 3. アレルギー性結膜炎を、病 因別および病態別に分類 し、病名を列記する。	参考書 の該当 項目	診療録 参考書	病棟カ ンファ レンス ルーム、 外来、 図書館
11 ～ 20	後期 11月 月曜日 13:00 ～ 17:30	川野 庸一	ユニット2 眼窩炎症性 疾患	眼窩炎症性 疾患につい て理解す る。	1. 眼窩炎症性疾患を有する 患者の診療録を熟読し、そ の治療における問題点を 列記する。 2. シェーグレン症候群に関 する文献を選択し、熟読す る。 3. IgG4 関連疾患に関する文 献を選択し、熟読する。 4. 眼窩炎症性疾患の治療法 とその予後を、病態別に分 類し説明する。	参考書 の該当 項目	診療録 参考書	病棟カ ンファ レンス ルーム、 外来、 図書館
21 ～ 30	後期 11月 金曜日 13:00 ～ 17:30	川野 庸一	ユニット3 ぶどう膜炎	ぶどう膜炎 について理 解する。	1. ぶどう膜炎を有する患者 の診療録を熟読し、その治 療における問題点を列記 する。 2. ベーチェット病に関する 文献を選択し、熟読する。 3. ぶどう膜炎の治療法とそ の予後を、病態別に分類し 説明する。	参考書 の該当 項目	診療録 参考書	病棟カ ンファ レンス ルーム、 外来、 図書館

## 小児科学講義①

前期 15コマ (ユニット1～2 : 2単位)  
評価責任者 : 鳥巢 浩幸

〔担当教員〕  
鳥巢 浩幸

〔一般目標〕  
小児の特性および小児期特有の疾患について理解する。

〔授業到達目標〕

- ① 小児の成長・発達について説明できる。
- ② 小児に多い感染症の特徴を解説できる。
- ③ 小児に多いアレルギー疾患の特徴を解説できる。

〔教科書・参考書〕

- ・ Nelson Textbook of Pediatrics 21th ed Saunders
- ・ 小児科学 (第3版) 医学書院
- ・ 小児科学 (改訂10版) 文光堂

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点 50%、ユニット毎に提出するレポート 50%

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 7	前期 4月 ～5月 火曜日 10:35 ～ 11:55	鳥巢 小児科 担当教員	ユニット1	小児の成長・発達について説明できる。	1. 小児の成長を説明できる。 2. 小児の精神的発達を説明できる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・ 参考書	小児科 外来
8 ～ 15	前期 6月～ 7月 火曜日 10:35 ～ 11:55	鳥巢 小児科 担当教員	ユニット2	小児期に多い疾患の特徴について、解説できる。	1. 感染症の病態が理解できる。 2. アレルギー疾患の病態が説明できる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・ 参考書	小児科 外来

## 小児科学講義②

後期15コマ（ユニット1～2：2単位）  
評価責任者：鳥巢 浩幸

〔担当教員〕  
鳥巢 浩幸

〔一般目標〕  
小児の特性および小児期特有の疾患について理解する。

〔授業到達目標〕  
① 小児に多い神経疾患を説明できる。  
② 先天性疾患・遺伝性疾患を解説できる。  
③ 小児期の発達障害の特徴を説明できる。

〔教科書・参考書〕  
・ Nelson Textbook of Pediatrics 21th ed Saunders  
・ 小児科学（第3版） 医学書院  
・ 小児科学（改訂10版） 文光堂

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点 50%、ユニット毎に提出するレポート 50%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 7	後期 10月 ～ 11月 火曜日 10:35 ～ 11:55	鳥巢	ユニット1	小児期に多い疾患の特徴について、解説できる。	1. 小児に多い神経疾患の病態が理解できる。 2. 先天性疾患・遺伝性疾患の病態が説明できる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書	小児科 外来
8 ～ 15	後期 12月 ～ 1月 火曜日 10:35 ～ 11:55	鳥巢	ユニット2	小児期の発達障害の特徴を説明できる。	1. 自閉症スペクトラム障害の病態が理解できる。 2. 注意欠陥多動症の病態と対応が説明できる。 3. 学習障害の病態と対応が説明できる。	講義内で指定される資料をあらかじめ読んでおく。	教科書・参考書	小児科 外来



## 小児科学実習① (基礎演習)

前期30コマ (ユニット1～2:2単位)  
評価責任者: 鳥巢 浩幸

〔担当教員〕  
鳥巢 浩幸

〔一般目標〕  
小児の特性および小児期特有の疾患を理解するために、小児の接し方や診察法を修得する。

〔授業到達目標〕

- ① 小児の間診法を理解する。
- ② 小児の計測法を理解できる。
- ③ 小児の診察法を理解できる。

〔教科書・参考書〕

- ・Nelson Textbook of Pediatrics 21th ed Saunders
- ・開業医の外来小児科学

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点 40%、実習点 60%。  
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 15	前期 4月 ～ 5月 金曜日  9:00～ 11:55	鳥巢 小児科 担当教員	ユニット1	小児の接し方を理解する	小児の間診法・計測法を理解する	ユニット終了時に提示される課題に対し、レポートを作成する。	教科書・参考書	小児科 外来
16 ～ 30	前期 6月 ～ 7月 金曜日  9:00～ 11:55	鳥巢 小児科担 当教員	ユニット2	小児の診察法を理解する	小児の診察法を理解する	ユニット終了時に提示される課題に対し、レポートを作成する。	教科書・参考書	小児科 外来

## 小児科学実習② (基礎演習)

後期30コマ (ユニット1～2 : 2単位)  
評価責任者 : 鳥巢 浩幸

〔担当教員〕  
鳥巢 浩幸

〔一般目標〕  
小児の特性および小児期特有の疾患を理解するために、小児診療での検査とその適応・解釈について理解する。

〔授業到達目標〕  
① 小児の検査法を理解する。  
② 小児の検査結果を解釈できる。

〔教科書・参考書〕  
・ Nelson Textbook of Pediatrics 21th ed Saunders  
・ 開業医の外来小児科学

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点 40%、実習点 60%。  
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 15	後期 10月 ～ 11月 水曜日 9:00～ 11:55	鳥巢 小児科 担当教員	ユニット1	小児検査について理解する	小児の診療における検査法について理解する	ユニット終了時に提示される課題に対し、レポートを作成する。	教科書・参考書	小児科 外来
16 ～ 30	後期 12月 ～ 1月 水曜日 9:00～ 11:55	鳥巢 小児科 担当教員	ユニット2	小児における検査結果の解釈ができる	1. 小児における検査の選択について理解する 2. 検査結果を解釈ができる	ユニット終了時に提示される課題に対し、レポートを作成する。	教科書・参考書	小児科 外来

## 小児科学実習③ (基礎演習)

後期30コマ (ユニット1～2 : 2単位)  
評価責任者 : 鳥巢 浩幸

〔担当教員〕  
鳥巢 浩幸

〔一般目標〕  
小児の特性および小児期特有の疾患を理解する

〔授業到達目標〕  
① 小児の感染症について理解し、対応法・治療法について説明できる  
② 小児のアレルギー性疾患について理解し、対応法・治療法について説明できる

〔教科書・参考書〕  
・ Nelson Textbook of Pediatrics 21th ed Saunders  
・ 開業医の外来小児科学

〔成績評価の方法・基準〕  
出席点 40%、実習点 60%。  
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 15	後期 10月 ～ 11月 金曜日 9:00～ 11:55	鳥巢 小児科 担当教員	ユニット1	小児の感染症について理解し、対応法・治療法について説明できる	1. 診断法を理解する 2. 抗菌薬の使い方を理解する 3. 解熱剤等の使い方を理解する	ユニット終了時に提示される課題に対し、レポートを作成する。	教科書・参考書	小児科 外来
16 ～ 30	後期 12月 ～ 1月 金曜日 9:00～ 11:55	鳥巢 小児科 担当教員	ユニット2	小児のアレルギーについて理解し、対応法・治療法について説明できる	1. 診断法を理解する 2. 抗アレルギー薬の使い方を理解する 3. 吸入剤等の使い方を理解する	ユニット終了時に提示される課題に対し、レポートを作成する。	教科書・参考書	小児科 外来

## 整形外科科学講義①

前期15コマ（ユニット1～4：2単位）  
評価責任者：井上 敏生

〔担当教員〕

井上 敏生、加島 伸浩、永野 智子

〔一般目標〕

1. 運動学・運動力学を、歩行分析を通して理解する。
2. 骨折の病態と、治療の考え方を理解する。
3. 骨長調整の手法と原理について理解する。

〔授業到達目標〕

1. 正常歩行における下肢の関節の動きを、運動学・運動力学的に説明できる。
2. 骨折治療法の原理を説明できる。
3. 仮骨延長法における骨形成の原理を説明できる。

〔教科書・参考書〕

特に指定しないが、テーマに関する最近の外国雑誌をチェックする。  
プリント配布

〔成績評価の方法・基準〕

出席点 50%、レポート 50%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 4	前期 4月～ 5月 水曜日  14:35 ～ 15:55	井上 加島 永野	ユニット1	歩行の力学（歩行の原理について基礎的知識を理解する。）	1. 歩行の原理について具体的に説明する。 2. 運動学・運動力学について説明する。 3. 下肢の関節の機能について説明する。 4. 異常歩行の種類とその病態について説明する。	力学の概念（位置、速度、加速度、質量、力）について調べておく。	配布プリント	整形外科学研究室
5 ～ 8	前期 5月～ 6月 水曜日  14:35 ～ 15:55	井上 加島 永野	ユニット2	骨折の病態（骨折の病態について基礎的知識を理解する。）	5. 骨構造について説明する。 6. 骨折の病態について具体的に説明する。 7. 骨折の分類と特徴について具体的に説明する。 8. 開放骨折、病的骨折について具体的に説明する。	主な骨の名称と骨形態について調べておく。	配布プリント	整形外科学研究室
9 ～ 11	前期 7月 水曜日  14:35 ～ 15:55	井上 加島 永野	ユニット3	骨折の治療（骨折の治療について基礎的知識を理解する。）	9. 骨折の治癒過程について具体的に説明する。 10. 骨折の保存的治療について具体的に説明する。 11. 骨折の観血的治療について具体的に説明する。	主な骨の名称と骨形態について調べておく。	配布プリント	整形外科学研究室

回	授業日 時限	授業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
12 ～ 15	前期 9月 水曜日  14:35 ～ 15:55	井上 加島 永野	ユニット4	骨長調整の手法と原理（骨長調整について基礎的知識を理解する。）	12. 骨長調整の必要となる病態、疾患について説明する。 13. 骨長調整の手法と原理について具体的に説明する。 14. 仮骨延長法の基礎と原理について具体的に説明する。 15. 仮骨延長法の実際について具体的に説明する。	長管骨の骨構造について調べておく。	配布プリント	整形外科学 研究室

## 整形外科学講義②

後期15コマ（ユニット5～8：2単位）

評価責任者：井上 敏生

### 〔担当教員〕

井上 敏生、加島 伸浩、永野 智子

### 〔一般目標〕

1. 関節の構造を理解する。
2. 運動学・運動力学を、関節の動きを通して理解する。
3. 関節拘縮の原因と治療の考え方について理解する。

### 〔授業到達目標〕

1. 関節の構成要素を説明できる。
2. 関節モーメントについて説明できる。
3. 関節拘縮の種類と病態について説明できる。

### 〔教科書・参考書〕

特に指定しないが、テーマに関する最近の外国雑誌をチェックする。  
プリント配布

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点 50%、レポート 50%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 4	後期 10月～ 11月 水曜日  14:35 ～ 15:55	井上 加島 永野	ユニット5	関節の構造（関節について基礎的知識を理解する。）	1. 関節の構造について解剖学的に説明する。 2. 関節周囲の構造について解剖学的に説明する。 3. 関節の種類について説明する。 4. 関節の種類別の特徴について説明する。	主な関節の名称を調べる。	配布プリント	整形外科学研究室
5 ～ 8	後期 11月～ 12月 水曜日  14:35 ～ 15:55	井上 加島 永野	ユニット6	関節の運動（関節の運動学・運動力学について理解する。）	5. 関節の運動学について総論的に説明する。 6. 関節の運動学について具体的に説明する。 7. 関節の運動力学について総論的に説明する。 8. 関節の運動力学について具体的に説明する。	四肢の関節を動かす主な筋の名称を調べる。	配布プリント	整形外科学研究室
9 ～ 11	後期 1月 水曜日  14:35 ～ 15:55	井上 加島 永野	ユニット7	関節拘縮の病態（関節拘縮の原因と病態を理解する。）	9. 関節拘縮の原因について具体的に説明する。 10. 関節拘縮の病態について具体的に説明する。 11. 関節拘縮の全身への影響について具体的に説明する。	主な関節の正常可動域を調べる。	配布プリント	整形外科学研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
12 ～ 15	後期 2月 水曜日 14:35 ～ 15:55	井上 加島 永野	ユニット8	関節拘縮の治療（関 節拘縮の治療の考 え方と実際につい て理解する。）	12. 関節拘縮の治療の考 え方について総論的 に説明する。 13. 関節拘縮の治療の考 え方について具体的 に説明する。 14. 関節拘縮の治療の実 際について具体的に 説明する。 15. 関節拘縮の治療の限 界について具体的に 説明する。	四肢の関節を動 かす主な筋の名 称を調べる。	配布プリン ト	整形外科学 研究室

## 整形外科学実習①

前期30コマ（ユニット1～3：2単位）  
評価責任者：井上 敏生

**〔担当教員〕**

井上 敏生、加島 伸浩、永野 智子

**〔一般目標〕**

1. 運動学・運動力学を、歩行分析を通して理解する。
2. 歩行分析により実際の歩行を理解する。
3. 歩行分析により正常歩行および異常歩行を理解する。

**〔授業到達目標〕**

1. 歩行分析の方法について具体的に説明する。
2. 実際の歩行について具体的に説明する。
3. 正常歩行と異常歩行の違いについて説明する。

**〔教科書・参考書〕**

特に指定しないが、テーマに関する最近の外国雑誌をチェックする。  
プリント配布

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点 50%、レポート 50%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 10	前期 4月・金 曜日 14:30 ～ 17:30	井上 加島 永野	ユニット1	歩行の力学1(歩行分析の方法を理解する。)	1. 歩行分析の方法について具体的に説明する①。 2. 歩行分析の方法について具体的に説明する②。 3. 歩行分析の方法について具体的に説明する③。	自分で歩いてみて、下肢の動きのイメージ、足の衝撃、緊張する筋を体感する。	配布プリント	整形外科外来
11 ～ 20	前期 4月, 5月 月・金 曜日 14:30 ～ 17:30	井上 加島 永野	ユニット2	歩行の力学2(実際の歩行を分析する。)	1. 実際の歩行について具体的に説明する①。 2. 実際の歩行について具体的に説明する②。 3. 実際の歩行について具体的に説明する③。	非高齢者の歩行を観察する。	配布プリント	整形外科学外来
21 ～ 30	前期 5月, 6月 月・金 曜日 14:30 ～ 17:30	井上 加島 永野	ユニット3	歩行の力学3(正常歩行と異常歩行の違いを理解する。)	1. 正常歩行と異常歩行の違いについて説明する①。 2. 正常歩行と異常歩行の違いについて説明する②。 3. 正常歩行と異常歩行の違いについて説明する③。	高齢者の歩行を観察する。	配布プリント	整形外科学外来



## 整形外科実習②

前期30コマ（ユニット4～6：2単位）  
評価責任者：井上 敏生

**〔担当教員〕**

井上 敏生、加島 伸浩、永野 智子

**〔一般目標〕**

1. 骨折の治療について具体的方法を理解する。
2. 骨折の治療法の選択の意義を理解する。
3. 骨長調整の手法を理解する。

**〔授業到達目標〕**

1. 骨折の治療について具体的に説明する。
2. 骨折の治療法の選択の意義について説明する。
3. 骨長調整の手法について具体的に説明する。

**〔教科書・参考書〕**

特に指定しないが、テーマに関する最近の外国雑誌をチェックする。  
プリント配布

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点 50%、レポート 50%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 10	前期 6月、 7月・金 曜日  14:30 ～ 17:30	井上 加島 永野	ユニット4	骨折の治療1 (骨折の治療について具体的方法を理解する。)	1. 骨折の治療について具体的に説明する①。 2. 骨折の治療について具体的に説明する②。 3. 骨折の治療について具体的に説明する③。	主な四肢の骨の名称を調べる。	配布プリント	整形外科外来
11 ～ 20	前期 7月、 8月・金 曜日  14:30 ～ 17:30	井上 加島 永野	ユニット5	骨折の治療2 (骨折の治療法の選択の意義を理解する。)	1. 骨折の治療法の選択の意義について説明する①。 2. 骨折の治療法の選択の意義について説明する②。 3. 骨折の治療法の選択の意義について説明する③。	骨折時の骨折部の組織の状態およびその後の経時的変化を調べる。	配布プリント	整形外科学外来
21 ～ 30	前期 8月、 9月・金 曜日  14:30 ～ 17:30	井上 加島 永野	ユニット6	骨長調整の手法 (骨長調整の手法を理解する。)	1. 骨長調整の手法について具体的に説明する①。 2. 骨長調整の手法について具体的に説明する②。 3. 骨長調整の手法について具体的に説明する③。	骨長調整の手法 (骨長調整の手法を理解する。)	配布プリント	整形外科学外来

## 整形外科学実習③

後期30コマ（ユニット7～9：2単位）

評価責任者：井上 敏生

**〔担当教員〕**

井上 敏生、加島 伸浩、永野 智子

**〔一般目標〕**

1. 関節の構造を理解する。
2. 運動学・運動力学を、関節の動きを通して理解する。
3. 関節拘縮の原因と治療の考え方について理解する。

**〔授業到達目標〕**

1. 関節の構造を模型等を使い理解する。
2. 関節の動きを、画像や実際の人の関節の動きを見て理解する。
3. 関節拘縮の治療の具体的方法を、画像等を使い理解する。

**〔教科書・参考書〕**

特に指定しないが、テーマに関する最近の外国雑誌をチェックする。  
プリント配布

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点 50%、レポート 50%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 10	後期 10月・金 曜日 14:30 ～ 17:30	井上 加島 永野	ユニット7	関節の構造(関節の解剖を理解する。)	1. 関節の構造について具体的に説明する ①。 2. 関節の構造について具体的に説明する ②。 3. 関節の構造について具体的に説明する ③。	主な関節の名称を調べる。	配布プリント	整形外科外来
11 ～ 20	後期 10月、 11月・金 曜日 14:30 ～ 17: 300	井上 加島 永野	ユニット8	関節の運動学・運動力学(関節の動きを分析する。)	1. 関節の動きについて具体的に説明する ①。 2. 関節の動きについて具体的に説明する ②。 3. 関節の動きについて具体的に説明する ③。	主な関節の種類を調べる。	配布プリント	整形外科学外来
21 ～ 30	後期 11月、 12月・金 曜日 14:30 ～ 17:30	井上 加島 永野	ユニット9	関節の拘縮(病態と治療を理解する。)	1. 関節の拘縮の病態について説明する。 2. 関節の拘縮の治療について説明する。 3. 関節拘縮の治療の限界について説明する。	主な関節の正常可動域を調べ	配布プリント	整形外科学外来

## 皮膚科学講義①

前期15コマ（ユニット1～4：2単位）

評価責任者：古村 南夫

〔担当教員〕  
古村 南夫

### 〔一般目標〕

本来は非自己を認識して攻撃する生体防御機構が、自己を攻撃する自己免疫によって起こる自己免疫疾患のなかで、自己免疫性水疱症は発症機構が最も解明されている。その発症機構を、1. 自己抗原、2. リンパ球、3. 水疱形成の3段階に分けて習得し、自己免疫についての理解を深める。

### 〔授業到達目標〕

- ①自己免疫性水疱症の病態について説明できる。
- ②自己免疫性水疱症の治療法と問題点について説明できる。
- ③自己免疫性水疱症の診断および治療法の新規開発のための研究アプローチを説明できる。
- ④自己免疫性水疱症発症病態解明に関する最新の英語論文を読み、研究の方法と新しい研究の方向性を理解する。

### 〔教科書・参考書〕

参考書

自己免疫性水疱症—今日の進歩、 医学のあゆみ vol.236, No.11 医歯薬出版株式会社、2011  
水疱症の治療 最前線、 MB Derma(デルマ) No.222, 全日本病院出版会、2014

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席時口頭試問40%、各ユニットの終了時に提出するレポート30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	4月～7月 月曜日 13:00～ 14:20	古村	ユニット1 自己免疫性水疱症:病態の理解	自己免疫性水疱症の病態について理解する。	臨床研究と比較した基礎研究の意義を説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	自己免疫性水疱症—今日の進歩	総合医学学生実習室 (研究棟2F)
2					天疱瘡の病態について説明できる。			
3					水疱性類天疱瘡の病態について説明できる。			
4					自己免疫性水疱症における慢性炎症の役割について説明できる。			
5		古村	ユニット2 自己免疫性水疱症:治療法と問題点	自己免疫性水疱症の治療法と問題点について理解する。	自己免疫性水疱症の免疫抑制療法について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	水疱症の治療 最前線	総合医学学生実習室 (研究棟2F)

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
6		古村	ユニット2 自己免疫性 水疱症:治療 法と問題点	自己免疫性水疱症 の治療法と問題点 について理解する。	自己免疫性水疱症の 大量γグロブリン静 注療法について説明 できる。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	水疱症の治 療 最前線	総合医学学 生実習室 (研究棟 2 F)
7					自己免疫性水疱症治 療法の問題点につ いて説明できる			
8					開発中の新規治療 法について説明で きる。			
9	10	古村	ユニット3 自己免疫性 水疱症:診 断・治療法新 規開発	自己免疫性水疱症 の診断および治療 法の新規開発のた めの研究アプロ ーチについて理解す る。	蛍光抗体法や免疫電 顕を用いた研究につ いて説明できる。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	自己免疫性 水疱症-今 日の進歩	総合医学学 生実習室 (研究棟 2 F)
10					動物を用いた自己免 疫性水疱症発症モデ ルについて説明でき る。			
11					培養細胞を用いた特 異抗体による発症モ デルについて説明で きる。			
12	13	古村	ユニット4 自己免疫性 水疱症:発症 病態解明と 最新の知見	自己免疫性水疱症 発症病態解明に関 する最新の英語論 文を読み、研究の方 法と新しい方向性 を理解する。	自己免疫性水疱症治 療に関する英語論文 のプレゼンテーショ ン(1)	該当する論文を 検索し、素読し ておく。	発表用資料 の配布	総合医学学 生実習室 (研究棟 2 F)
13					自己免疫性水疱症治 療に関する英語論文 のプレゼンテーショ ン(2)			
14					自己免疫性水疱症治 療に関する英語論文 のプレゼンテーショ ン(3)			
15					自己免疫性水疱症治 療に関する英語論文 のプレゼンテーショ ン(4)			

## 皮膚科学講義②

後期 15コマ (ユニット1～4 : 2単位)

評価責任者 : 古村 南夫

〔担当教員〕  
古村 南夫

〔一般目標〕  
新規治療法開発の重要性を理解するために、分子標的治療の開発と研究の基礎を習得する。

〔授業到達目標〕

- ①分子標的治療の概念について説明できる。
- ②がんや関節リウマチ、尋常性乾癬の分子標的治療薬について説明できる。
- ③種々の免疫学的異常を呈する慢性炎症性皮膚疾患である尋常性乾癬に対する分子標的治療の研究について説明できる。
- ④尋常性乾癬の分子標的治療に関する最新の英語論文を読み、新しい研究の方向性を理解する。

〔教科書・参考書〕  
参考書  
分子標的治療薬マスターガイド 弦間 昭彦(編)、中外医学社、2014

〔成績評価の方法・基準〕  
出席時口頭試験 40%、各ユニットの終了時に提出するレポート 30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	9月～ 12月 月曜日 13:00 ～ 14:20	古村	ユニット1 分子標的治 療の概念	分子標的治療の概 念について理解す る。	分子標的治療の概念 について説明でき る。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	分子標的治 療薬マスタ ーガイド	総合医学学 生実習室 (研究棟2 F)
2					分子標的治療の歴史 について説明でき る。			
3					分子標的治療の倫理 について説明でき る。			
4					分子標的薬の基礎に ついて説明できる。			
5		古村	ユニット2 分子標的薬 の分子レベ ルでの治療 標的に対す る作用	分子標的薬の分子 レベルでの治療標 的に対する働きに ついて理解する。	分子標的薬の種類を 説明できる。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	分子標的治 療薬マスタ ーガイド	総合医学学 生実習室 (研究棟2 F)
6					がんの増殖や転移 に必要な分子を特 異的に抑える機序 を説明できる。			

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
7		古村	ユニット2 分子標的薬 の分子レベ ルでの治療 標的に対す る作用	分子標的薬の分子 レベルでの治療標 的に対する働きに ついて理解する。	関節リウマチや尋常 性乾癬などの炎症 性疾患で炎症に関 わる分子を特異的 に抑える機序につ いて説明できる。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	分子標的治 療薬マスタ ーガイド	総合医学学 生実習室 (研究棟2 F)
8		古村	ユニット3 がんや慢性 炎症性疾患 に対する分 子標的治療 の研究	がんや慢性炎症性 疾患に対する分子 標的治療の研究に ついて理解する。	分子標的薬によるが ん治療の研究につ いて説明できる。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	分子標的治 療薬マスタ ーガイド	総合医学学 生実習室 (研究棟2 F)
9	分子標的薬による関 節リウマチ治療の研 究について説明でき る。							
10	分子標的薬による尋 常性乾癬治療の研究 について説明でき る。							
11		古村	ユニット4 尋常性乾癬 の新規分子 標的薬治療 法開発に関 連した最新 知見	尋常性乾癬の新規 分子標的薬治療法 開発に関する最新 の英語論文を読 み、新しい研究の方 向性を理解する。	尋常性乾癬の新規分 子標的薬治療法開 発に関する論文のプレ ゼンテーション(1)	該当する論文を 検索し、素読し ておく。	発表用資料 の配布	総合医学学 生実習室 (研究棟2 F)
12	尋常性乾癬の新規分 子標的薬治療法開 発に関する論文のプレ ゼンテーション(2)							
13	尋常性乾癬の新規分 子標的薬治療法開 発に関する論文のプレ ゼンテーション(3)							
14	尋常性乾癬の新規分 子標的薬治療法開 発に関する論文のプレ ゼンテーション(4)							
15	尋常性乾癬の新規分 子標的薬治療法開 発に関する論文のプレ ゼンテーション(5)							

## 皮膚科学実習①

前期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：古村 南夫

〔担当教員〕

古村 南夫

〔一般目標〕

自己免疫性水疱症の発症病態を解明する実験の基本的技法を修得する。

〔授業到達目標〕

①自己免疫性水疱症で知られている病態を理解し病態をさらに解明する手技を修得する。

②自己免疫性水疱症の新規治療法を探究する手技を修得する。

〔教科書・参考書〕

参考書

自己免疫性水疱症—今日の進歩、医学のあゆみ vol.236, No.11 医歯薬出版株式会社、2011

水疱症の治療 最前線、MB Derma(デルマ) No.222, 全日本病院出版会、2014

〔成績評価の方法・基準〕

出席時口頭試問 40%、実習達成度 60%。

実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 8	4月～ 7月 ・木 曜日	古村	ユニット1 自己免疫性 水疱症:基本 的免疫血清 学的診断手 技(1)	自己免疫性水疱症 の病態を理解し、基 本的な免疫血清学 的診断の手技を修 得する。	蛍光抗体法を用いた 実験法の基礎を修得 する。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	自己免疫性 水疱症—今 日の進歩	総合医学講 座実験室
9 ～ 15	14:30 ～ 17:30				イムノプロット法を 用いた実験法の基礎 を修得する。			
16 ～ 22		古村	ユニット2 自己免疫性 水疱症:基本 的免疫血清 学的診断手 技(2)	自己免疫性水疱症 の病態を解明する 手技を修得する。	ELISA 法を用いた研 究に関する基礎を習 得する。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	自己免疫性 水疱症—今 日の進歩	総合医学講 座実験室
23 ～ 30		古村	ユニット2 自己免疫性 水疱症:基本 的免疫血清 学的診断手 技(2)	自己免疫性水疱症 の病態を解明する 手技を修得する。	ELISA 法を用いた研 究に関する基礎を習 得する。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	自己免疫性 水疱症—今 日の進歩	総合医学講 座実験室

## 皮膚科学実習②

後期30コマ（ユニット1～3：2単位）

評価責任者：古村 南夫

〔担当教員〕  
古村 南夫

〔一般目標〕  
自己免疫性水疱症の発症病態を解明する実験の基本的技法を修得する。

〔授業到達目標〕  
①自己免疫性水疱症の病態を理解し、さらなる病態を解明する手技を修得する。  
②自己免疫性水疱症の新規治療法を探究する手技を修得する。

〔教科書・参考書〕  
参考書  
自己免疫性水疱症—今日の進歩、 医学のあゆみ vol.236, No.11 医歯薬出版株式会社、2011  
水疱症の治療 最前線、 MB Derma(デルマ) No.222, 全日本病院出版会、2014

〔成績評価の方法・基準〕  
出席時口頭試問40%、実習達成度60%。  
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 10	9月～ 12月・木 曜日 14:30 ～ 17:30	古村	ユニット1 自己免疫性 水疱症:新規 治療の探求 (1)	自己免疫性水疱症 の新規治療を探求 する手技を理解す る(1)	免疫血清学的解析を もとにした特異抗原 の同定の手法と治療 標的の検索方法を習 得する。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	自己免疫性 水疱症—今 日の進歩	総合医学講 座実驗室
11 ～ 20	17:30	古村	ユニット2 自己免疫性 水疱症:新規 治療の探求 (2)	自己免疫性水疱症 の新規治療法を探 究する手技を修得 する(2)	組織サンプルの解析 技法を修得する。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	自己免疫性 水疱症—今 日の進歩	総合医学講 座実驗室
21 ～ 30		古村	ユニット3 自己免疫性 水疱症:新規 治療の探求 (3)	自己免疫性水疱症 の新規治療法を探 究する手技を修得 する(3)	解析結果を統合して 診断アルゴリズムを 理解したうえで、具 体的な治療方法開発 の可能性について考 察を行う。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	自己免疫性 水疱症—今 日の進歩	総合医学講 座実驗室



## 皮膚科学実習③

後期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：古村 南夫

### 〔担当教員〕

古村 南夫

### 〔一般目標〕

新規治療法の開発の重要性を理解するために、ゲノム解析による遺伝子変異の同定から分子標的薬が創薬される過程について理解する。

### 〔授業到達目標〕

①遺伝子クローニング実験において頻繁に行われるインサートチェックをコロニーPCR の手法で確認し、その増幅産物を使って塩基配列を決定する実験手技を修得する。

②ゲノム変異に基づいた分子標的療法を用いた新規治療を探究する方法を理解するための基本的知識として、ヒト遺伝子に関連する情報のインターネット上での入手、解析方法を習得する。

### 〔教科書・参考書〕

参考書

これからのゲノム医療を知る—遺伝子の基本から分子標的薬、オーダーメイド医療まで 中村 祐輔編、羊土社、2009

Entrez Gene クイックスタート PDF 形式のファイルを下記アドレスでダウンロードする。

([www.jst.go.jp/nbdc/bird/minicourses/gene.pdf](http://www.jst.go.jp/nbdc/bird/minicourses/gene.pdf))

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席時口頭試問 40%、実習達成度 60%。

実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 5	1月～ 3月 月・木 曜日 14:30 ～ 17:30	古村	ユニット1 遺伝子クローニング技術	遺伝子クローニングの基礎を理解し、実験手技を修得する。	遺伝子クローニング実験の流れを理解する。	参考書の該当箇所を予習しておく。	これからのゲノム医療を知る—遺伝子の基本から分子標的薬、オーダーメイド医療まで	総合医学講座実習室
6 ～ 10					クローニング用ベクターの取り扱いを習得する(1)。			
11 ～ 15					クローニング用ベクターの取り扱いを習得する(2)。			
16 ～ 20					大腸菌への遺伝子導入法とコロニーPCRの手技を習得する。			
21 ～ 25					遺伝子導入した大腸菌の増幅産物を用いて遺伝子配列を決定する。			

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
26 ～ 28		古村	ユニット2 遺伝子関連 情報の処理	mRNA やゲノム配列 情報、遺伝子構造情 報 (エクソン、イン トロンの位置)、機 能、変異と関連する 表現型といったヒ ト遺伝子に関連す る情報をどのよう に手に入れるかを 学ぶ。	NCBI の Entrez Gene で、特定のタンパク 質のヒトのエントリ を検索し遺伝子情報 確認後、場所をゲノ ムマップ上で確認 し、機能、別名、遺 伝子の変異に関連し た表現型を調べる。 RefSeq の mRNA のデ ータでアノテート された選択的スプラ イス転写産物と真核 生物ホモログ確認。 Alignment Scores 表 示で相同性やアライ メントを調べる方法 を習得する。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	Entrez Geneクイッ クスタート PDF 形式の ファイル	総合医学講 座研究室
29 ・ 30					SNP:GeneViewにて遺 伝子上にアノテート された塩基置換を 確認し、非同義置換 の変異やコード領域 にある既知の SNP s が表現型に関連する か SNP レポート中の OMIMデータにアクセ スする方法を習得す る。 発現タンパク質の変 異による立体構造の 変化を比較する方法 を習得する。			

## 内視鏡学講義①

前期15コマ（ユニット1～4：2単位）  
評価責任者：池田 哲夫

〔担当教員〕  
池田 哲夫

〔一般目標〕  
内視鏡と内視鏡外科手術の現状と必要な機器の原理と開発の基礎を習得する。

〔授業到達目標〕

〔教科書・参考書〕

参考書 クリニカルエンジニアリング 24-2—臨床工学ジャーナル 特集:内視鏡外科手術—腹腔鏡下手術などをサポートする臨床工（単行本）廣瀬稔（著）学研メディカル秀潤社（2013/1/1）

〔成績評価の方法・基準〕

出席時口頭試問 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 4	前期 4月～ 5月 木曜日  10:35 ～ 11:55	池田	ユニット1 内視鏡と内視鏡機器の歴史	内視鏡と内視鏡機器の歴史について説明できる。	1. 内視鏡技術の歴史について説明できる。  2. 内視鏡技術と機器開発について説明できる。	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント	内視鏡センター
5 ～ 8	前期 5月～ 6月 木曜日  10:35 ～ 11:55	池田	ユニット2 高周波電気手術器機(電気メス、超音波切開凝固装置)の原理と応用	高周波電気手術器機(電気メス、超音波切開凝固装置)の原理と応用	4. 電気メスの原理について説明できる。  5. 生体内無線電力伝送方法について説明できる。  6. 生体内無線電力伝送方法の応用技術と実験方法について説明できる	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント	内視鏡センター
9 ～ 11	前期 7月 木曜日  10:35 ～ 11:55	池田	ユニット3 光学画像診断装置	光学画像診断装置の原理と応用について説明できる。	7. 近赤外線を用いた診断装置の研究について説明できる。  8. Hb 色素に着目した生体定量イメージング装置の原理と応用について説明でき	参考書の該当箇所を予習しておく。	配付プリント	内視鏡センター

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					る。			
12 ～ 15	前期 9月 木曜日  10:35 ～ 11:55	池田	ユニット4 組織接合方 法	組織接合方法の現 状と新しい方向性 を理解する。	9. コラーゲン繊維の 構造と生体材料につ いて説明できる  10. コラーゲンの嵌 合現症について説明 できる	該当する論文を 検索し、素読し ておく。	配付プリン ト	内視鏡セン ター

## 内視鏡学講義②

後期 15コマ (ユニット1～4 : 2単位)  
評価責任者 : 池田 哲夫

〔担当教員〕  
池田 哲夫

〔一般目標〕  
常在細菌が操る人の健康と疾患の基礎と研究方法を習得する。

〔授業到達目標〕

〔教科書・参考書〕  
参考書 医学のあゆみ 264 巻1号 腸内細菌と臨床医学 医歯薬出版 (2018/1/5)

〔成績評価の方法・基準〕  
出席時口頭試問 40%、各ユニット毎に提出するレポート 30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 4	後期 10月 木曜日  10:35 ～ 11:55	池田	ユニット1 ヒト常在菌 の概念。	腸内細菌叢の基礎 と研究の歴史につ いて説明できる。	1. 腸内細菌叢と口 腔内常在菌について 説明できる。 2. 腸内細菌叢の研 究方法について説明 できる。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	配付プリン ト・参考書	内視鏡セン ター
5 ～ 7	後期 11月 木曜日  10:35 ～ 11:55	池田	ユニット2 腸内細菌叢 と肥満、メタ ボリックシン ドローム	腸内細菌叢と肥 満、メタボリックシ ンドロームの關係 について説明でき る	3. 腸内細菌叢と肥満 について説明でき る。 4. 腸内細菌叢とメタ ボリックシンドロ ームの關係について。 7. 腸内細菌叢の役 割について説明でき る。	参考書の該当箇 所を予習してお く	配付プリン ト・参考書	内視鏡セン ター
8 ～ 10	後期 12月 木曜日  10:35 ～ 11:55	池田	ユニット3 腸内細菌叢 とアレルギー 、動脈硬化 その他の疾 患	腸内細菌叢とアレ ルギー、動脈硬化そ の他の疾患ついて 説明できる。	4. 腸内細菌叢とアレ ルギー性疾患につい て説明できる。 5. 腸内細菌叢と動脈 硬化の關係につい て。 6. 腸内細菌叢とエネ ルギー代謝について 説明できる。	参考書の該当箇 所を予習してお く。	配付プリン ト・参考書	内視鏡セン ター

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11 ～ 15	後期 1月～ 2月 木曜日  10:35 ～ 11:55	池田	ユニット4 腸内細菌叢 解析方法と 健全化治療	腸内細菌叢解析方 法と健全化治療を 理解する。	7. 次世代シーケンサ ーを用いた腸内細菌 叢解析方法の原理に ついて説明できる。  8. 腸内細菌叢解析の 臨床応用に関して説 明できる。  9. プロバイオティク スの有用性と投与方法 について説明でき る  10. 食事とプレバイ オティクスについて 説明できる。	該当する論文を 検索し、素読し ておく。	配付プリン ト・参考書	内視鏡セン ター

## 内視鏡学実習①

後期15コマ（ユニット1, 2：2単位）  
評価責任者：池田 哲夫

〔担当教員〕  
池田 哲夫

〔一般目標〕  
上部消化管内視鏡検査および処置を理解するために、実際の技法および評価項目を学習し、生体モデルを用いて手技を取得する。

〔授業到達目標〕  
上部消化管内視鏡検査および処置の実際を理解する。

〔教科書・参考書〕  
消化器内視鏡ハンドブック改訂第2版 日本消化器内視鏡学会監修, 2017年, 日本メディカルセンター  
内視鏡外科手術実践マニュアル: 術式別でわかりやすい! 単行本 今本治彦編集, 2014年, メディカ出版

〔成績評価の方法・基準〕  
出席時口頭試問 40%、実習達成度 60%。  
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1-8	後期 9月、 10月 火曜日 13:00 ～ 15:55	池田	ユニット1 上部消化管内視鏡検査の理解	上部消化管内視鏡検査の手技・評価方法を取得する	上部消化管内視鏡検査の器具の取り扱いを学習し、生体モデルを用いて手技を取得する	参考書の該当箇所を予習しておく	配付プリント・参考書	内視鏡センター医局  内視鏡室
9-15	後期 9月、 10月 火曜日 13:00 ～ 15:55	池田	ユニット2 上部消化管内視鏡処置の理解	上部消化管内視鏡処置の手技・評価方法を取得する	上部消化管内視鏡処置の器具の取り扱いを学習し、生体モデルを用いて手技を取得する	参考書の該当箇所を予習しておく	配付プリント・参考書	内視鏡センター医局  内視鏡室

## 内視鏡学実習②

後期15コマ（ユニット1，2：2単位）  
評価責任者：池田 哲夫

〔担当教員〕  
池田 哲夫

〔一般目標〕  
下部消化管内視鏡検査および処置を理解するために、実際の技法および評価項目を学習し、生体モデルを用いて手技を取得する。

〔授業到達目標〕  
下部消化管内視鏡検査および処置の実際を理解する。

〔教科書・参考書〕  
消化器内視鏡ハンドブック改訂第2版 日本消化器内視鏡学会監修, 2017年, 日本メディカルセンター  
内視鏡外科手術実践マニュアル: 術式別でわかりやすい! 単行本 今本治彦編集, 2014年, メディカ出版

〔成績評価の方法・基準〕  
出席時口頭試問 40%、実習達成度 60%。  
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1-8	後期 11月、12月 火曜日 13:00 ～ 15:55	池田	ユニット1 下部消化管内視鏡検査の理解	下部消化管内視鏡検査の手技・評価方法を取得する	下部消化管内視鏡検査の器具の取り扱いを学習し、生体モデルを用いて手技を取得する	参考書の該当箇所を予習しておく	配付プリント・参考書	内視鏡センター医局  内視鏡室
9-15	後期 11月、12月 火曜日 13:00 ～ 15:55	池田	ユニット2 下部消化管内視鏡処置の理解	下部消化管内視鏡処置の手技・評価方法を取得する	下部消化管内視鏡処置の器具の取り扱いを学習し、生体モデルを用いて手技を取得する	参考書の該当箇所を予習しておく	配付プリント・参考書	内視鏡センター医局  内視鏡室



## 内視鏡学実習③

後期15コマ（ユニット1，2：2単位）  
評価責任者：池田 哲夫

〔担当教員〕  
池田 哲夫

〔一般目標〕  
腹腔鏡下手術を理解するために、実際の技法および観察項目を学習し、生体モデルを用いて手技を取得する。

〔授業到達目標〕  
腹腔鏡下手術の実際を理解する。

〔教科書・参考書〕  
消化器内視鏡ハンドブック改訂第2版 日本消化器内視鏡学会監修, 2017年, 日本メディカルセンター  
内視鏡外科手術実践マニュアル: 術式別でわかりやすい! 単行本 今本治彦編集, 2014年, メディカ出版

〔成績評価の方法・基準〕  
出席時口頭試問 40%、実習達成度 60%。  
実習の評価の基準は適切な説明および実習ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1-8	後期 1月、2月 火曜日 13:00 ～ 15:55	池田	ユニット1 腹腔鏡下手術の理解	腹腔鏡下手術の実際を理解する	腹腔鏡下手術の現場を見学し、内容を理解する	参考書の該当箇所を予習しておく	配付プリント・参考書	内視鏡センター医局  手術室
9-15	後期 1月、2月 火曜日 13:00 ～ 15:55	池田	ユニット2 腹腔鏡下手術の体験	腹腔鏡下手術の技を取得する	生体モデルを用いた腹腔鏡下手術のデモンストレーションを行い、手技を獲得する	参考書の該当箇所を予習しておく	配付プリント・参考書	内視鏡センター医局  手術室

## 口腔健康科学講義①

前期15コマ（ユニット1～3：2単位）

評価責任者：埴岡 隆

**〔担当教員〕**

埴岡 隆、谷口奈央、島津 篤

**〔一般目標〕**

口臭、歯周病、オーラルフレイル等歯科疾患の臨床疫学研究開発に関する基本的な知識を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ①口腔疾患の疫学研究開発の基本について説明できる。
- ②人を対象とする医学系研究倫理指針の臨床疫学研究開発への適用について説明できる。
- ③口臭・ホロバイオントの臨床疫学研究開発について説明できる。
- ④歯周病・オーラルフレイルの臨床疫学研究開発について説明できる。
- ⑤喫煙・食生活と口腔疾患の関係に関する臨床疫学研究開発について説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

参考書

1. 中村好一、基礎から学ぶ楽しい疫学 第4版、医学書院、2020年  
（疫学の基礎知識を切れ味鋭くユーモアに富んだ語り口で懇切丁寧に解説。3520円）
2. 川村 孝、臨床研究の教科書：研究デザインとデータ処理のポイント第2版、医学書院、2020年  
（EBM時代の臨床研究に必要な疫学的知識をまとめた。4620円）

**〔成績評価の方法・基準〕**

1. 課題レポート（各ユニット）40%
2. 指定論文（総説1編）のプレゼンテーション 30%
3. 選択論文（総説1編）のプレゼンテーション 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	4月第2週月・水・金	埴岡 隆	1・疫学基礎1	口腔疾患の臨床疫学研究の基本について説明できる。	生物統計学の基礎と応用について説明できる。	生物統計学の基礎と応用	参考書1,2	研究室
2	16:10～	谷口奈央	1・疫学基礎2	口腔疾患の臨床疫学研究の基本について説明できる。	口腔疾患の疫学指標と特徴について説明できる。	口腔疾患の疫学指標と特徴	参考書1,2	研究室
3	17:30	島津 篤	1・疫学基礎3	口腔疾患の臨床疫学研究の基本について説明できる。	口腔疫学固有の特徴について説明できる。	口腔疾患固有の特徴	参考書1,2	研究室
4	5月第2週月・水・金	埴岡 隆	2・臨床疫学1	臨床疫学研究および倫理指針について説明できる。	臨床疫学研究の方法について説明できる。	臨床疫学研究の方法	参考書1,2	研究室
5	16:10～	谷口奈央	2・臨床疫学2	臨床疫学研究および倫理指針について説明できる。	臨床疫学研究のすすめ方について説明できる。	臨床疫学研究のすすめ方	参考書1,2	研究室
6	17:30	島津 篤	2・臨床疫学3	臨床疫学研究および倫理指針について説明できる。	倫理指針の実践について説明できる。	ヒトを対象とする医学系研究倫理指針	参考書1,2	研究室
7	6月第2週月・水・金	谷口奈央	3・臨床疫学開発1・口臭1	口臭・ホロバイオントの臨床疫学研究開発について説明できる。	口臭・ホロバイオントに関連する臨床疫学指標について説明できる。	口臭・ホロバイオントに関連する臨床疫学指標	参考書1,2 指定論文	研究室

回	授業日 時限	授業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
8	16:10 ～ 17:30	谷口奈央	3・臨床疫 学開発1・ 口臭2	口臭・ホロバイオ ントの臨床疫学研 究開発について説 明できる。	口臭・ホロバイオン トに関連する臨床疫学研 究のすすめ方について 説明できる。	口臭・ホロバイ オントに関連す る臨床疫学研 究のすすめ方	参考書1,2 指定論文	研究室
9		谷口奈央	3・臨床疫 学開発1・ 口臭3	口臭・ホロバイオ ントの臨床疫学研 究開発について説 明できる。	口臭・ホロバイオン トに関連する臨床疫学知 見について説明でき る。	口臭・ホロバイ オントに関連す る臨床疫学知見	参考書1,2 指定論文	研究室
10	7月 第2週 月・水・ 金	島津 篤	3・臨床疫 学2・ 歯周病1	歯周病・オーラル フレイルの臨床疫 学研究開発につい て説明できる。	歯周病・オーラルフレ イルに関連する臨床疫 学指標について説明で きる。	歯周病・オーラ ルフレイルに関 連する臨床疫学 指標	参考書1,2 指定論文	研究室
11	16:10 ～ 17:30	島津 篤	3・臨床疫 学2・ 歯周病2	歯周病・オーラル フレイルの臨床疫 学研究開発につい て説明できる。	歯周病・オーラルフレ イルに関連する臨床疫 学研究のすすめ方につ いて説明できる。	歯周病・オーラ ルフレイルに関 連する臨床疫学 研究のすすめ方	参考書1,2 指定論文	研究室
12		埴岡 隆	3・臨床疫 学2・ 歯周病3	歯周病・オーラル フレイルの臨床疫 学研究開発につい て説明できる。	歯周病・オーラルフレ イルに関連する臨床疫 学知見について説明で きる。	歯周病・オーラ ルフレイルに関 連する臨床疫学 知見	参考書1,2 指定論文	研究室
13	9月 第2週 月・水・ 金	埴岡 隆	3・臨床疫 学3・ 喫煙1	喫煙・食生活の臨 床疫学研究開発に ついて説明でき る。	喫煙・食生活に関連す る疫学指標について説 明できる。	喫煙・食生活に 関連する疫学指 標	参考書1,2 指定論文	研究室
14	16:10 ～ 17:30	埴岡 隆	3・臨床疫 学3・ 喫煙2	喫煙・食生活の臨 床疫学研究開発に ついて説明でき る。	喫煙・食生活に関連す る臨床疫学研究のすす め方について説明でき る。	喫煙・食生活に 関連する臨床疫 学研究のすすめ 方	参考書1,2 指定論文	研究室
15		埴岡 隆	3・臨床疫 学3・ 喫煙3	喫煙・食生活の臨 床疫学研究開発に ついて説明でき る。	喫煙・食生活に関連す る臨床疫学知見につい て説明できる。	喫煙・食生活に 関連する臨床疫 学知見	参考書1,2 指定論文	研究室

## 口腔健康科学講義②

後期15コマ（ユニット1～4：2単位）

評価責任者：埴岡 隆

**〔担当教員〕**

埴岡 隆、谷口奈央、島津 篤

**〔一般目標〕**

口臭、歯周病およびオーラルフレイルの臨床疫学知見による全身の健康とのコモンリスクファクター・アプローチの研究開発に関する知識を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ①健康教育、行動変容および健康政策研究開発の基本について説明できる。
- ②口臭・ホロバイオン異常の予防開発研究について説明できる。
- ③歯周病・オーラルフレイルの予防研究開発について説明できる。
- ④歯科におけるタバコ対策・食生活改善に係る予防研究開発について説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

参考書

1. 一般社団法人 日本健康教育学会(著)、健康行動理論による研究と実践、医学書院 2019（健康教育・ヘルスプロモーションの理論・モデルをわかりやすく整理。4180円）
2. 福田 洋、江口泰正(編)、中山和弘(著)、ヘルスリテラシー:健康教育の新しいキーワード、大修館書店 2016（健康教育・健康行動変容についての最新知見を盛り込んだ必携書。2090円）

**〔成績評価の方法・基準〕**

1. 課題レポート（各ユニット）40%
2. 指定論文（総説1編）のプレゼンテーション 30%
3. 選択論文（総説1編）のプレゼンテーション 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	10月 第2週 月・水・金	島津 篤	1・健康教育1	健康教育研究開発を説明できる。	健康教育研究の方法について説明できる。	健康教育	参考書1	研究室
2	16:10 ～ 17:30	埴岡 隆	1・健康教育2	健康教育研究開発を説明できる。	健康教育研究のすすめ方について説明できる。	健康教育研究	参考書1	研究室
3		谷口奈央	2・行動科学1	行動科学研究開発を説明できる。	行動科学研究の方法について説明できる。	行動科学	参考書1	研究室
4	11月 第2週 月・水・金	谷口奈央	2・行動科学2	行動科学研究開発を説明できる。	行動科学研究のすすめ方について説明できる。	行動科学研究	参考書1	研究室
5	16:10 ～ 17:30	埴岡 隆	3・健康政策学1	健康政策研究開発を説明できる。	健康政策研究の方法について説明できる。	健康政策研究の方法	参考書1 指定文献	研究室
6		島津 篤	3・健康政策学2	健康政策研究開発を説明できる。	健康政策研究のすすめ方について説明できる。	健康政策研究のすすめ方	参考書1 指定文献	研究室
7	12月 第2週 月・水・金	谷口奈央	4・口腔疾患予防研究開発1・口臭1	口臭・ホロバイオン異常の予防研究開発を説明できる。	口臭・ホロバイオン異常のリスク要因研究開発について説明できる。	口臭・ホロバイオン異常のリスク要因	参考書1 指定文献	研究室

回	授業日 時 限	授 業担 当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
8	16:10 ～ 17:30	谷口奈央	4・口腔疾患予 防研究開発1・ 口臭2	口臭・ホロバイ オントの予防 研究開発を説 明できる。	口臭・ホロバイオント異 常と口腔機能・全身疾患 の関係研究開発につい て説明できる。	口臭・ホロバイ オントと口腔機 能・全身疾患の 関係	参考書1 指定文献	研究室
9		谷口奈央	4・口腔疾患予 防研究開発1・ 口臭3	口臭・ホロバイ オントの予防 研究開発を説 明できる。	口臭・ホロバイオント異 常ならびに全身疾患の 予防介入研究開発を説 明できる。	口臭・ホロバイ オントならびに 全身疾患の予防 介入	参考書1 指定文献	研究室
10	1月 第2週 月・水・ 金	島津 篤	4・口腔疾患予 防研究開発2・ 歯周病1	歯周病予防研 究開発を説明 できる。	歯周病・オーラルフレイ ルのリスク要因研究開 発について説明できる。	歯周病・オーラ ルフレイルのリ スク要因	参考書1 指定文献	研究室
11	16:10 ～ 17:30	島津 篤	4・口腔疾患予 防研究開発2・ 歯周病2	歯周病予防研 究開発を説明 できる。	歯周病・オーラルフレイ ルと全身疾患との関係 研究開発について説明 できる。	歯周病・オーラ ルフレイルと全 身疾患との関係	参考書1 指定文献	研究室
12		埴岡 隆	4・口腔疾患予 防研究開発2・ 歯周病3	歯周病予防研 究開発を説明 できる。	歯周病・オーラルフレイ ルと全身疾患の予防介 入研究開発を説明でき る。	歯周病・オーラ ルフレイルと全 身疾患の予防介 入	参考書1 指定文献	研究室
13	2月 第2週 月・水・ 金	埴岡 隆	4・口腔疾患予 防研究開発3・ タバコ使用・食 生活1	タバコ対策・食 生活改善研究 開発を説明で きる。	喫煙・食生活と口腔疾患 との関係研究開発を説 明できる。	喫煙・食生活と 口腔疾患との関 係	参考書1 指定文献	研究室
14	16:10 ～ 17:30	埴岡 隆	4・口腔疾患予 防研究開発3・ タバコ使用・食 生活2	タバコ対策・食 生活改善研究 開発を説明で きる。	受動喫煙・栄養成分と口 腔疾患との関係研究開 発を説明できる。	受動喫煙・栄養 成分と口腔疾患 との関係	参考書1 指定文献	研究室
15		埴岡 隆	4・口腔疾患予 防研究開発3・ タバコ使用・食 生活3	タバコ対策・食 生活改善研究 開発を説明で きる。	口腔疾患と全身疾患の コモンリスクファクタ ー・アプローチ研究を説 明できる。	口腔疾患と全身 疾患のコモンリ スクファクタ ー・アプローチ	参考書1 指定文献	研究室

## 口腔健康科学実習①

前期30コマ（ユニット1～3：2単位）

評価責任者：埴岡 隆

### 〔担当教員〕

埴岡 隆、谷口奈央、島津 篤

### 〔一般目標〕

口臭、歯周病・オーラルフレイル等歯科疾患の臨床疫学研究開発について論文に基づいて批判する。

### 〔授業到達目標〕

- ①口腔疾患の疫学研究開発の基本について研究論文をもとに批判する。
- ②人を対象とする医学系研究倫理指針の臨床疫学研究開発への適用について研究論文をもとに批判する。
- ③口臭・ホロボイオントの臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。
- ④歯周病・オーラルフレイルの臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。
- ⑤食生活・喫煙と口腔疾患の関係に関する臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。

### 〔教科書・参考書〕

参考書

1. 中村好一、基礎から学ぶ楽しい疫学 第4版、医学書院、2020年  
(疫学の基礎知識を切れ味鋭くユーモアに富んだ語り口で懇切丁寧に解説。3520円)
2. 川村 孝、臨床研究の教科書: 研究デザインとデータ処理のポイント第2版、医学書院、2020年  
(EBM時代の臨床研究に必要な疫学的知識をまとめた。4620円)

### 〔成績評価の方法・基準〕

1. 課題レポート（各ユニット）40%
2. 指定論文（原著1編）の批判的プレゼンテーション 30%
3. 選択論文（原著1編）の批判的プレゼンテーション 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	4月 第3週 月・水・金	埴岡 隆	1・疫学基礎1	口腔疾患の臨床疫学研究の基本について研究論文をもとに批判する。	生物統計学の基礎と応用について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	検索した文献	研究室
2	14:35 ～	谷口奈央	1・疫学基礎2	口腔疾患の臨床疫学研究の基本について研究論文をもとに批判する。	口腔疾患の疫学指標と特徴について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	検索した文献	研究室
3	17:30	島津 篤	1・疫学基礎3	口腔疾患の臨床疫学研究の基本について研究論文をもとに批判する。	口腔疫学固有の特徴について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	検索した文献	研究室
4	5月 第3週 月・水・金	埴岡 隆	2・臨床疫学1	臨床疫学研究および倫理指針について研究論文をもとに批判する。	臨床疫学研究の方法について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	検索した文献	研究室
5	14:35 ～	谷口奈央	2・臨床疫学2	臨床疫学研究および倫理指針について研究論文をもとに批判する。	臨床疫学研究のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	検索した文献	研究室
6	17:30	島津 篤	2・臨床疫学3	臨床疫学研究および倫理指針について研究論文をもとに批判する。	倫理指針の実践について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室

回	授業日時限	授業者	ユニット番号・項目名	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
7	6月 第3週 月・水・金 14:35	谷口奈央	3・臨床疫学開発・1 口臭・ホロバイオン1	口臭・ホロバイオン異常の臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。	口臭・ホロバイオン異常に関連する臨床疫学指標について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室
8	～ 17:30	谷口奈央	3・臨床疫学開発1・ 口臭・ホロバイオン2	口臭・ホロバイオン異常の臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。	口臭・ホロバイオン異常に関連する臨床疫学研究のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室
9		谷口奈央	3・臨床疫学開発1・ 口臭・ホロバイオン3	口臭・ホロバイオン異常の臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。	口臭・ホロバイオン異常に関連する臨床疫学知見について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室
10	7月 第3週 月・水・金 14:35	島津 篤	3・臨床疫学2・歯周病・オーラルフレイル1	歯周病・オーラルフレイルの臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。	歯周病・オーラルフレイルに関連する臨床疫学指標について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室
11	～ 17:30	島津 篤	3・臨床疫学2・歯周病・オーラルフレイル2	歯周病・オーラルフレイルの臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。	歯周病・オーラルフレイルに関連する臨床疫学研究のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室
12		埴岡 隆	3・臨床疫学2・歯周病・オーラルフレイル3)	歯周病・オーラルフレイルの臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。	歯周病・オーラルフレイルに関連する臨床疫学知見について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室
13	9月 第3週 月・水・金 14:35	埴岡 隆	3・臨床疫学3・1喫煙・食生活	喫煙・食生活の臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。	喫煙・食生活に関連する疫学指標について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室
14	～ 17:30	埴岡 隆	3・臨床疫学3・2喫煙・食生活	喫煙・食生活の臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。	喫煙・食生活に関連する臨床疫学研究のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室
15		埴岡 隆	3・臨床疫学3・3喫煙・食生活	喫煙・食生活の臨床疫学研究開発について研究論文をもとに批判する。	喫煙・食生活に関連する臨床疫学知見について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書1,2 検索した文献	研究室

## 口腔健康科学実習②

後期 30コマ (ユニット1～4 : 2単位)  
評価責任者 : 埴岡 隆

### 〔担当教員〕

埴岡 隆、谷口奈央、島津 篤

### 〔一般目標〕

口臭、歯周病等歯科疾患およびオーラルフレイルの臨床疫学知見による全身の健康とのコモンリスクファクター・アプローチの研究開発に関する研究を論文に基づいて批判する。

### 〔授業到達目標〕

- ①健康教育、行動変容および健康政策研究開発の基本についての研究を論文に基づいて批判する。
- ②口臭・ホロバイオン異常の予防研究開発についての研究を論文に基づいて批判する。
- ③歯周病・オーラルフレイルの予防研究開発についての研究を論文に基づいて批判する。
- ④歯科におけるタバコ対策・食生活に係る予防研究開発についての研究を論文に基づいて批判する。

### 〔教科書・参考書〕

参考書

1. 一般社団法人 日本健康教育学会(著)、健康行動理論による研究と実践、医学書院 2019 (健康教育・ヘルスプロモーションの理論・モデルをわかりやすく整理。4180円)
2. 福田 洋、江口泰正(編)、中山和弘(著)、ヘルスリテラシー:健康教育の新しいキーワード、大修館書店 2016 (健康教育・健康行動変容についての最新知見を盛り込んだ必携書。2090円)

### 〔成績評価の方法・基準〕

1. 課題レポート(各ユニット) 40%
2. 指定論文(総説1編)のプレゼンテーション 30%
3. 選択論文(総説1編)のプレゼンテーション 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	10月 第3週 月・水・ 金	島津 篤	1・ 健康教育1	健康教育研究開発について研究論文をもとに批判する。	健康教育研究の方法について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書3 検索した 文献	研究室
2	14:35 ～ 17:30	埴岡 隆	1・ 健康教育2	健康教育研究開発について研究論文をもとに批判する。	健康教育研究のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書3 検索した 文献	研究室
3		谷口奈央	2・ 行動科学1	行動科学研究開発について研究論文をもとに批判する。	行動科学研究の方法について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書3 検索した 文献	研究室
4	11月 第3週 月・水・ 金	谷口奈央	2・ 行動科学2	行動科学研究開発について研究論文をもとに批判する。	行動科学研究のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書3 検索した 文献	研究室
5	14:35 ～ 17:30	埴岡 隆	3・ 健康政策学 1	健康政策研究開発について研究論文をもとに批判する。	健康政策研究の方法について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書3 検索した 文献	研究室
6		島津 篤	3・ 健康政策学 2	健康政策研究開発について研究論文をもとに批判する。	健康政策研究のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書3 検索した 文献	研究室
7	12月 第3週 月・水・ 金	谷口奈央	4・ 口腔疾患予 防研究開発 1・口臭1	口臭・ホロバイオン異常の予防研究開発について研究論文をもとに批判する。	口臭・ホロバイオン異常のリスク要因研究開発について研究論文をもとに批判する。	研究論文を探し精読する。	参考書3 検索した 文献	研究室



回	授業日 時 限	授 業担 当 者	ユニット番 号・項目名	学 習 目 標 (G I O)	行 動 目 標 (S B O s)	予 習 の 項 目	媒 体 ・ 参 考 資 料	場 所
8	14:35 ～ 17:30	谷口奈央	4・ 口腔疾患予 防研究開発 1・口臭2	口臭・ホロバイオン ト異常の予防研究開 発について研究論文 をもとに批判する。	口臭・ホロバイオン ト異常とオーラルフレ イル・全身疾患の関 係研究開発について 研究論文をもとに批 判する。	研究論文を 探し精読す る。	参考書3 検索した 文献	研究室
9		谷口奈央	4・ 口腔疾患予 防研究開発 1・口臭3	口臭・ホロバイオン ト異常の予防研究開 発について研究論文 をもとに批判する。	口臭・ホロバイオン ト異常ならびに全身 疾患の予防介入研 究開発について研 究論文をもとに批 判する。	研究論文を 探し精読す る。	参考書3 検索した 文献	研究室
10	1月 第3週 月・水・ 金 14:35	島津 篤	4・ 口腔疾患予 防研究開発 2・ 歯周病1	歯周病・オーラルフ レイル研究開発につ いて研究論文をもと に批判する。	歯周病・オーラルフレ イルのリスク要因研 究開発について研 究論文をもとに批 判する。	研究論文を 探し精読す る。	参考書3 検索した 文献	研究室
11	～ 17:30	島津 篤	4・ 口腔疾患予 防研究開発 2・ 歯周病2	歯周病・オーラルフ レイル研究開発につ いて研究論文をもと に批判する。	歯周病・オーラルフレ イルと全身疾患との 関係研究開発につ いて研究論文をも とに批判する。	研究論文を 探し精読す る。	参考書3 検索した 文献	研究室
12		埴岡 隆	4・ 口腔疾患予 防研究開発 2・ 歯周病3	歯周病・オーラルフ レイル研究開発につ いて研究論文をもと に批判する。	歯周病・オーラルフレ イルと全身疾患の予 防介入研究開発につ いて研究論文をも とに批判する。	研究論文を 探し精読す る。	参考書3 検索した 文献	研究室
13	2月 第3週 月・水・ 金 14:35 ～	埴岡 隆	4・ 口腔疾患予 防研究開発 3・ 食生活・タ バコ使用1	タバコ対策・食生活 改善研究開発につ いて研究論文をもと に批判する。	喫煙・食生活と口腔 疾患との関係研究 開発について研 究論文をもとに批 判する。	研究論文を 探し精読す る。	参考書3 検索した 文献	研究室
14	17:30	埴岡 隆	4・ 口腔疾患予 防研究開発 3・ 食生活・タ バコ使用2	タバコ対策・食生活 改善研究開発につ いて研究論文をもと に批判する。	受動喫煙と口腔疾 患との関係研究開 発について研 究論文をもとに批 判する。	研究論文を 探し精読す る。	参考書3 検索した 文献	研究室
15		埴岡 隆	4・ 口腔疾患予 防研究開発 3・ 食生活・タ バコ使用3	タバコ対策・食生活 改善研究開発につ いて研究論文をもと に批判する。	口腔疾患と全身疾 患のリスクファク ター・アプローチ 研究について研 究論文をもとに批 判する。	研究論文を 探し精読す る。	参考書3 検索した 文献	研究室

## 口腔健康科学実習③

後期 30コマ (ユニット1～3 : 2単位)  
評価責任者: 埴岡 隆

**〔担当教員〕**

埴岡 隆、谷口奈央、島津 篤

**〔一般目標〕**

口腔疫学研究ならびに口腔健康教育および口腔予防医学研究に関する技能を身につける。

**〔授業到達目標〕**

- ①疫学研究に関係する研究倫理指針および口臭、歯周病・オーラルフレイルおよびその他の口腔領域の疾患に関する疫学研究ならびに健康教育および予防医学研究の目的・方法について研究に適用し、論文に記述できる。
- ②口臭、歯周病・オーラルフレイルおよびその他の口腔領域の疾患に関する口腔疫学研究ならびに健康教育および予防医学研究の研究結果を纏めて論文に記述できる。
- ③口臭、歯周病・オーラルフレイルおよびその他の口腔領域の疾患に関する口腔疫学研究ならびに健康教育および予防医学研究の研究結果の考察を論文に記述できる。

**〔教科書・参考書〕**

参考書

1. 中村好一、基礎から学ぶ楽しい疫学 第4版、医学書院、2020年  
(疫学の基礎知識を切れ味鋭くユーモアに富んだ語り口で懇切丁寧に解説。3520円)
2. 川村 孝、臨床研究の教科書: 研究デザインとデータ処理のポイント第2版、医学書院、2020年  
(EBM時代の臨床研究に必要な疫学的知識をまとめた。4620円)
3. 一般社団法人 日本健康教育学会(著)、健康行動理論による研究と実践、医学書院 2019  
(健康教育・ヘルスプロモーションの理論・モデルをわかりやすく整理。4180円)
4. 福田 洋、江口泰正(編)、中山和弘(著)、ヘルスリテラシー: 健康教育の新しいキーワード、大修館書店 2016 (健康教育・健康行動変容についての最新知見を盛り込んだ必携書。2090円)

**〔成績評価の方法・基準〕**

1. 課題レポート (各ユニット) 30%
2. 選択した課題に対する仮想研究のプレゼンテーション 70%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	10月・11月 火 13:00	埴岡 隆	1・研究目的的方法1・研究提案	臨床疫学および健康介入の既存研究の目的・方法について研究に適用し、論文に記述できる。	研究開発提案に関する基本項目を整理する。	研究開発提案	既存研究の既存資料、参考書1-3	研究室
2	～ 15:55	埴岡 隆	1・研究目的的方法2・目的意義	臨床疫学および健康介入の既存研究の目的・方法について研究に適用し、論文に記述できる。	研究の目的・意義を吟味する。	研究の目的・意義	既存研究の既存資料	研究室
3		埴岡 隆	1・研究目的的方法3・対象	臨床疫学および健康介入の既存研究の目的・方法について研究に適用し、論文に記述できる。	研究の対象を選定する。	研究の対象の選定	既存研究の既存資料	研究室
4		埴岡 隆	1・研究目的的方法4・方法	臨床疫学および健康介入の既存研究の目的・方法について研究に適用し、論文に記述できる。	研究の方法を立案する。	研究の方法立案	既存研究の既存資料	研究室
5		埴岡 隆	1・研究目的的方法5・記述	臨床疫学および健康介入の既存研究の目的・方法について研究に適用し、論文に記述できる。	研究の目的・意義、方法について論文に記述する。	研究目的意義方法の記述	既存研究の既存資料	研究室
6	11月・12月 火	谷口奈央	2・研究結果1・情報収集	臨床疫学および健康介入の既存研究に関する情報を収集・分析し、その結果を論文に記述できる。	既存研究の結果に関する情報を収集する。	研究結果情報の収集	既存研究の既存資料、参考書1-3	研究室

回	授業日 時 限	授 業担 当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
7	13:00 ～ 15:55	谷口奈央	2・研究結 果2・ 情報整理	臨床疫学および健康介入の既存研 究に関する情報を収集・分析し、 その結果を論文に記述できる。	既存研究の資 料を整理す る。	研究資料整 理	既存研究 の既存資 料	研究室
8		谷口奈央	2・研究結 果3・ 情報分析	臨床疫学および健康介入の既存研 究に関する情報を収集・分析し、 その結果を論文に記述できる。	既存研究の結 果を分析す る。	研究結果分 析	既存研究 の既存資 料	研究室
9		谷口奈央	2・研究結 果4・ 結果提示	臨床疫学および健康介入の既存研 究に関する情報を収集・分析し、 その結果を論文に記述できる。	結果を図表に 提示する。	結果図表提 示	既存研究 の既存資 料	研究室
10		谷口奈央	2・研究結 果5・ 記述	臨床疫学および健康介入の既存研 究に関する情報を収集・分析し、 その結果を論文に記述できる。	結果について 論文に記述す る。	結果論文記 述	既存研究 の既存資 料	研究室
11	1月・ 2月 火 13:00 ～ 15:55	島津 篤	3・考察1・ 結果整理要 約	臨床疫学および健康介入の既存研 究の結果に関する考察を論文に記 述できる。	結果に関連す る資料を収集 する。	結果関連資 料収集	既存研究 の既存資 料、参考 書1-3	研究室
12		島津 篤	3・考察2・ 関連文献収 集	臨床疫学および健康介入の既存研 究の結果に関する考察を論文に記 述できる。	結果に関連す る研究を整理 する。	結果関連研 究を整理	既存研究 の既存資 料	研究室
13		島津 篤	3・考 察 3・目的結 果関係整理	臨床疫学および健康介入の既存研 究の結果に関する考察を論文に記 述できる。	結果と研究目 的の関係を整 理する。	結果研究目 的関係整理	既存研究 の既存資 料	研究室
14		島津 篤	3・考察4・ 研究限界	臨床疫学および健康介入の既存研 究の結果に関する考察を論文に記 述できる。	研究の限界を 整理する。	研究限界整 理	既存研究 の既存資 料	研究室
15		埴岡 隆	3・考察5・ 記述	臨床疫学および健康介入の既存研 究の結果に関する考察を論文に記 述できる。	考察について 論文に記述す る。	考察論文記 述	既存研究 の既存資 料	研究室

## 社会歯科学講義①

前期 15コマ (ユニット1～4 : 2単位)  
評価責任者 : 社会歯科学教育担当教員

**〔担当教員〕**

社会歯科学教育担当教員

**〔一般目標〕**

我が国の医療・介護・福祉の制度における歯科医師の立ち位置に関する研究の目的を理解すると共に、社会歯科学研究を遂行する上で必要とされる基本的な着目点・情報収集技術・考察の加え方を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 児童虐待防止対策のあり方を説明できる。
- ② 生活保護制度のあり方を説明できる。
- ③ 年金制度のあり方を説明できる。
- ④ 地域包括ケアシステムのあり方を説明できる。
- ⑤ 高齢者医療制度のあり方を説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

- ① 厚生労働省「厚生労働白書〈令和2年版〉令和時代の社会保障と働き方を考える」日経印刷、2020年（厚生労働省の守備範囲がいかにかが良く分かります）
- ② 口腔保健協会「歯科保健関係統計資料 2020年版 口腔保健・歯科医療の統計」口腔保健協会、2020年（口腔保健に関する統計資料がたくさん載っています）

**〔成績評価の方法・基準〕**

授業テーマに関するプレゼンテーションと質疑応答（100%）

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	前期 4月 金曜日 9:00～	社会歯科学教育担当教員	ユニット1 児童福祉	児童虐待防止対策を考える。	児童虐待防止対策の沿革と課題を説明できる。	児童虐待防止対策の沿革と課題を調べる。	配付プリント	口腔保健学研究室
2	10:20	同上			少子化対策の沿革と課題を説明できる。	少子化対策の沿革と課題を調べる。		
3	同上	同上			児童虐待防止対策のあり方を説明できる。	児童虐待防止対策のあり方について調べる。		
4	前期 5月 金曜日 9:00～	同上	ユニット2 所得保障	生活保護制度のあり方を理解する。	生活保護制度の沿革を説明できる。	生活保護制度の沿革を調べる。	配付プリント	口腔保健学研究室
5	10:20	同上			生活保護制度の課題を説明できる。	生活保護制度の課題を調べる。		
6	同上	同上			生活保護制度のあり方を説明できる。	ベーシックインカムについて調べる。		
7	前期 6月 金曜日 9:00～	同上	年金制度のあり方を考える。	年金制度の沿革を説明できる。	年金制度の沿革を調べる。	配付プリント	口腔保健学研究室	
8	10:20	同上						年金制度の課題を説明できる。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
9		同上			年金制度のあり方を説明できる。	年金制度のあり方について調べる。		
10	前期 7月 金曜日	同上	ユニット3 介護保険	地域包括ケアシステムのあり方を考える。	地域包括ケアシステムの沿革と課題を説明できる。	地域包括ケアシステムの沿革と課題を調べる。	配付プリント	口腔保健学 研究室
11	9:00～ 10:20	同上			介護保険の沿革と課題を説明できる。	介護保険の沿革と課題を調べる。		
12		同上			地域包括ケアシステムのあり方を説明できる。	地域包括ケアシステムのあり方について調べる。		
13	前期 8月 金曜日	同上	ユニット4 医療保険	高齢者医療制度のあり方を考える。	医療保険の沿革と課題を説明できる。	医療保険の沿革と課題を調べる。	配付プリント	口腔保健学 研究室
14	9:00～ 10:20	同上			高齢者医療制度の沿革と課題を説明できる。	高齢者医療制度の沿革と課題を調べる。		
15		同上			高齢者医療制度のあり方を説明できる。	高齢者医療制度のあり方について調べる。		

## 社会歯科学講義②

後期15コマ（ユニット1～5：2単位）  
評価責任者：社会歯科学教育担当教員

〔担当教員〕  
社会歯科学教育担当教員

### 〔一般目標〕

我が国の医療制度における歯科医師の立ち位置に関する研究の目的を理解すると共に、社会歯科学研究を遂行する上で必要とされる基本的な着目点・情報収集技術・考察の加え方を習得する。

### 〔授業到達目標〕

- ①診療報酬改定のあり方を説明できる。
- ②歯科診療所経営のあり方を説明できる。
- ③将来の歯科衛生士像を述べる。
- ④将来の歯科技工士像を述べる。
- ⑤将来の歯科医師の需給を説明できる。

### 〔教科書・参考書〕

- ①厚生労働省「厚生労働白書〈令和2年版〉令和時代の社会保障と働き方を考える」  
日経印刷、2020年（厚生労働省の守備範囲がいかに広がりが良く分かります）
- ②口腔保健協会「歯科保健関係統計資料 2020年版 口腔保健・歯科医療の統計」  
口腔保健協会、2020年（口腔保健に関する統計資料がたくさん載っています）

### 〔成績評価の方法・基準〕

授業テーマに関するプレゼンテーションと質疑応答（100%）

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	後期 10月 金曜日 9:00～	社会歯科学教育担当教員	ユニット1 診療報酬	診療報酬の改定について理解する。	診療報酬改定の歴史を説明できる。	診療報酬改定の歴史を調べる。	配付プリント	口腔保健学研究室
2	10:20	同上			診療報酬改定の課題を説明できる。	診療報酬改定の課題を調べる。		
3		同上			診療報酬改定のあり方を説明できる。	診療報酬改定のあり方について調べる。		
4	後期 11月 金曜日 9:00～	同上	ユニット2 歯科診療所の経営	歯科診療所の経営状態について理解する。	医療経済実態調査について説明できる。	医療経済実態調査について調べる。	配付プリント	口腔保健学研究室
5	10:20	同上			歯科診療所の経営状態の推移を説明できる。	歯科診療所の経営状態の推移を調べる。		
6		同上			歯科診療所経営のあり方を説明できる。	歯科診療所経営のあり方について調べる。		
7	後期 12月 金曜日 9:00～	同上	ユニット3 歯科衛生士	歯科衛生士の業務を理解する。	歯科衛生士の歴史を説明できる。	歯科衛生士の歴史を調べる。	配付プリント	口腔保健学研究室
8	10:20	同上			歯科衛生士業務の課題を説明できる。	歯科衛生士業務の課題を調べる。		

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
9		同上				将来の歯科衛生士像を述べる。	将来の歯科衛生士像について調べる。	
10	後期 1月	同上	ユニット4 歯科技工士	歯科技工士の業務を理解する。	歯科技工士の歴史を説明できる。	歯科技工士の歴史を調べる。	配付プリント	口腔保健学 研究室
11	金曜日 9:00～ 10:20	同上			歯科技工士業務の課題を説明できる。	歯科技工士業務の課題を調べる。		
12		同上			将来の歯科技工士像を述べる。	将来の歯科技工士像について調べる。		
13	後期 2月 金曜日	同上	ユニット5 歯科医師の 需給	歯科医師の需給問題を理解する。	歯科医師の需給問題の経緯を説明できる。	歯科医師の需給問題の経緯を調べる。	配付プリント	口腔保健学 研究室
14	9:00～ 10:20	同上			歯科医師の需給問題を説明できる。	歯科医師の需給問題を調べる。		
15		同上			将来の歯科医師の需給を説明できる。	将来の歯科医師の需給について調べる。		

## 社会歯科学実習①

前期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：社会歯科学教育担当教員

### 〔担当教員〕

社会歯科学教育担当教員

### 〔一般目標〕

社会歯科学領域の研究の特性について理解すると共に、調査で得られる個人単位のデータの取り扱い方法に関する基本的な技術を修得する。

### 〔授業到達目標〕

- ①個人単位のデータを分析する研究の特性を理解し、データの取り扱い方法を修得する。
- ②データを点検し、データベースを構築する方法を修得する。
- ③基礎統計量を記述する方法を修得する。

### 〔教科書・参考書〕

- ①厚生労働省「厚生労働白書〈令和2年版〉令和時代の社会保障と働き方を考える」日経印刷、2020年（厚生労働省の守備範囲がいかに広いかが良く分かります）
- ②口腔保健協会「歯科保健関係統計資料 2020年版 口腔保健・歯科医療の統計」口腔保健協会、2020年（口腔保健に関する統計資料がたくさん載っています）

### 〔成績評価の方法・基準〕

レポート5篇と試問（100%）

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 15	前期 ～ 4月～ 5月 水曜日 13:00～ 17:30	社会歯 科学教 育担当 教員	ユニット1 個人単位の データ～歯 科受診	個人単位のデータ の取り扱い方法(1) 住民の歯科受診に 関するデータ	住民の生活習慣と歯 科受診に関する調査 の概要を説明する。	住民の生活習慣 に関するデータ を収集する。	配付プリン ト	口腔保健学 研究室
		同上			関連する文献を読 み、研究計画書を作 成する。	住民の歯科受診 に関するデータ を収集する。		
		同上			データを点検し、デ ータベースを構築す る。	住民の歯科受診 に関する論文を 見つける。		
		同上			基礎統計量を記述す る。	上記データの基 礎統計量を観察 する。		
		同上			考察を記述し、レポ ートを完成させる。	上記の結果を考 察する。		
16 30	前期 ～ 6月～ 7月 水曜日 13:00～ 17:30	同上	ユニット2 個人単位の データ～医 院経営	個人単位のデータ の取り扱い方法(2) 歯科診療所の経営 状態に関するデー タ	歯科診療所の診療形 態と経営状態に関す る調査の概要を説明 する。	歯科診療所の診 療形態に関する データを収集す る。	配付プリン ト	口腔保健学 研究室
		同上			関連する文献を読 み、研究計画書を作 成する。	歯科診療所の経 営状態に関する データを収集す る。		



回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
		同上			データを点検し、データベースを構築する。	関連する文献を見つける。		
		同上			基礎統計量を記述する。	上記データの基礎統計量を観察する。		
		同上			考察を記述し、レポートを完成させる。	上記の結果を考察する。		

## 社会歯科学実習②

後期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：社会歯科学教育担当教員

### 〔担当教員〕

社会歯科学教育担当教員

### 〔一般目標〕

社会歯科学領域の研究の特性について理解すると共に、調査で得られる個人単位のデータの取り扱い方法に関する基本的な技術を修得する。

### 〔授業到達目標〕

- ①市町村単位のデータを分析する研究の特性を理解し、データの取り扱い方法を修得する。
- ②重回帰分析法を修得する。
- ③ロジスティック回帰分析法を修得する。

### 〔教科書・参考書〕

- ①厚生労働省「厚生労働白書〈令和2年版〉令和時代の社会保障と働き方を考える」日経印刷、2020年（厚生労働省の守備範囲がいかにかに広いか良く分かります）
- ②口腔保健協会「歯科保健関係統計資料 2020年版 口腔保健・歯科医療の統計」口腔保健協会、2020年（口腔保健に関する統計資料がたくさん載っています）

### 〔成績評価の方法・基準〕

レポート5篇と試問（100%）

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 15	後期 10月～ 11月 水曜日 13:00～ 17:30	社会歯 科学教 育担当 教員	ユニット1 市町村単位 のデータ～ 医療費	市町村単位のデー タの取り扱い方 法:高齢者の歯科医 療費に関するデー タ	市町村単位の高齢者 の現在歯数と歯科医 療費に関する調査の 概要を説明する。	高齢者の現在歯 数に関するデー タを収集する。	配付プリン ト	口腔保健学 研究室
		同上			関連する文献を読 み、研究計画書を作 成する。	高齢者の歯科医 療費に関するデー タを収集す る。		
		同上			データベースを構築 し、基礎統計量を記 述する。	関連する文献を 見つける。		
		同上			重回帰分析を行い、 解析結果を記述す る。	重回帰分析につ いて調べる。		
		同上			考察を記述し、レポ ートを完成させる。	上記結果を考察 する。		
16 30	後期 11月～ 12月 水曜日 13:00～ 17:30	同上	ユニット2 個人単位の データ～就 業状態	個人単位のデー タの取り扱い方法(3) 歯科医師の就業状 態に関するデータ	歯科医師の免許取得 後年数と就業状態に 関する調査の概要を 説明する。	歯科医師の就業 状態に関するデー タを収集す る。	配付プリン ト	口腔保健学 研究室
		同上			関連する文献を読 み、研究計画書を作 成する。	関連する文献を 見つける。		
		同上			データベースを構築 し、基礎統計量を記 述する。	基礎統計量を観 察する。		

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
		同上			ロジスティック回帰 分析を行い、解析結 果を記述する。	ロジスティック 回帰分析につい て調べる。		
		同上			考察を記述し、レポ ートを完成させる。	上記の結果を考 察する。		

## 社会歯科学実習③

後期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：社会歯科学教育担当教員

**〔担当教員〕**

社会歯科学教育担当教員

**〔一般目標〕**

社会歯科学領域の研究の特性について理解すると共に、調査で得られる個人単位のデータの取り扱い方法に関する基本的な技術を修得する。

**〔授業到達目標〕**

- ①都道府県単位のデータを分析する研究の特性を理解し、データの取り扱い方法を修得する。
- ②テキストデータを分析する方法を修得する。
- ③ウェブ上に公開されている統計データを吟味して収集する方法を修得する。

**〔教科書・参考書〕**

- ①厚生労働省「厚生労働白書〈令和2年版〉令和時代の社会保障と働き方を考える」  
日経印刷、2020年（厚生労働省の守備範囲がいかに広いかが良く分かります）
- ②口腔保健協会「歯科保健関係統計資料 2020年版 口腔保健・歯科医療の統計」  
口腔保健協会、2020年（口腔保健に関係する統計資料がたくさん載っています）

**〔成績評価の方法・基準〕**

レポート5篇と試問（100%）

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 15	後期 ～ 1月～ 2月 水曜日 13:00～ 17:30	社会歯 科学教 育担当 教員	ユニット1 個人単位の データ～ヒ ヤリ・ハット	個人単位のデータ の取り扱い方法(4) 歯科医師のヒヤ リ・ハットに関する データ	歯科医師のヒヤリ・ ハットに関する調査 の概要を説明する。	歯科医師のヒヤリ・ ハットに関 するデータを収 集する。	配付プリン ト	口腔保健学 研究室
		同上			関連する文献を読 み、研究計画書を作 成する。	関連する文献を見 つける。		
		同上			データを点検し、基 礎統計量を記述す る。	上記データの基 礎統計量を観察 する。		
		同上			テキストデータを分 析し、解析結果を記 述する。	テキストデータ の統計処理方法 を調べる。		
		同上		考察を記述し、レポ ートを完成させる。	上記の結果を考 察する。			
16 30	後期 ～ 2月～ 3月 水曜日 13:00～ 17:30	同上	ユニット2 都道府県単 位のデータ ～受療状況	都道府県単位のデ ータの取り扱い方 法:住民の受療状況 に関するデータ	都道府県単位の住民 の受療状況に関する 調査の概要を説明す る。	住民の受療状況 に関するデータ を収集する。	配付プリン ト	口腔保健学 研究室
		同上			関連する文献を読 み、研究計画書を作 成する。	関連する文献を見 つける。		
		同上			データを点検し、基 礎統計量を記述す る。	データの基礎統 計量を観察す る。		

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
		同上			重回帰分析を行い、 解析結果を記述す る。	重回帰分析の結 果を予測する。		
		同上			考察を記述し、レポ ートを完成させる。	上記結果を考察 する。		

## 医療統計学講義①

前期15コマ（ユニット1～5：2単位）  
評価責任者：埴岡 隆

〔担当教員〕  
島津 篤、埴岡 隆

〔一般目標〕  
口腔医学論文を題材にして、生物学・口腔医学の観点から、確率論的なものの見方を理解し、統計的推測の原理と方法を理解するとともに、口腔医学においてよく遭遇する標本に統計手法を適用するときに生じる問題点と統計解析ソフトウェアの利用に関する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕  
① 母集団と標本、誤差とランダムについて説明する。  
② データの要約、データの分布について説明する。  
③ 信頼区間について説明する。  
④ 連続量の2群間比較について説明する。  
⑤ 分割表の解析について説明する。

〔教科書・参考書〕  
参考書  
1. 基礎医学統計学(改訂第7版) 加納 克己(著), 高橋 秀人(著) 南江堂 2019  
2. 今日から使える 医療統計 新谷 歩(著) 医学書院 2015  
3. いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキノ 第1巻 浅井 隆(著) アトムズ 2010  
4. いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキノ 第2巻 浅井 隆(著) アトムズ 2010  
5. いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキノ 第3巻 浅井 隆(著) アトムズ 2010

〔成績評価の方法・基準〕  
1. 出席点 40%  
2. 課題レポート(各ユニット) 30%  
3. 英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	【前期】 4月 木曜日 10:35 ～ 11:55	島津篤 埴岡隆	ユニット1 統計的推測 の基礎	母集団と標本、誤差 とランダムについて 説明する。	1) 標本調査と実験研 究について説明す る。 2) 誤差について説明 する。 3) ランダムについて 説明する。	指定された口腔 医学論文の、指 定された範囲に 目を通してお く。	指定された 口腔医学論 文	研究室
2								
3								
4	【前期】 5月 木曜日 10:35 ～ 11:55	島津篤 埴岡隆	ユニット2 データと分 布	データの要約、デー タの分布について 説明する。	1) データの分布の中 心性を表す指標につ いて説明する。 2) データのばらつき を表す指標について 説明する。 3) 代表的な確率分布 について説明する。	指定された口腔 医学論文の、指 定された範囲に 目を通してお く。	指定された 口腔医学論 文	研究室
5								
6								
7	【前期】 6月 木曜日 10:35	島津篤 埴岡隆	ユニット3 信頼区間	信頼区間について 説明する。	1) 標本平均値の分布 について説明する。 2) 標準誤差について 説明する。	指定された口腔 医学論文の、指 定された範囲に 目を通してお	指定された 口腔医学論 文	研究室
8								

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
9	～ 11:55				3) 信頼区間について説明する。	く。		
10	【前期】 7月 木曜日		ユニット4 連続量の2群間比較	連続量の2群間比較について説明する。	1) 対応のない t 検定について説明する。 2) 等分散の検定について説明する。 3) 対応のある t 検定について説明する。	指定された口腔医学論文の、指定された範囲に目を通しておく。	指定された口腔医学論文	研究室
11	10:35 ～							
12	11:55							
13	【前期】 8月 木曜日		ユニット5 分割表の解析	分割表の解析について説明する。	1) $\chi^2$ 検定について説明する。 2) 2つの母比率の差の検定について説明する。 3) マンテル・ヘンツェル検定について説明する。	指定された口腔医学論文の、指定された範囲に目を通しておく。	指定された口腔医学論文	研究室
14	10:35 ～							
15	11:55							

## 医療統計学講義②

後期 15コマ (ユニット1～5 : 2単位)  
評価責任者：埴岡 隆

**〔担当教員〕**

谷口奈央、埴岡 隆

**〔一般目標〕**

口腔医学論文を題材にして、生物学・口腔医学の観点から、確率論的なものの見方を理解し、統計的推測の原理と方法を理解するとともに、口腔医学においてよく遭遇する標本に統計手法を適用するときに生じる問題点と統計解析ソフトウェアの利用に関する基本的な知識を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 分散分析と多重比較について説明する。
- ② ノンパラメトリック検定法について説明する。
- ③ 相関と回帰について説明する。
- ④ 生存分析について説明する。
- ⑤ メタ・アナリシスについて説明する。

**〔教科書・参考書〕**

参考書

1. 基礎医学統計学(改訂第7版) 加納 克己 (著), 高橋 秀人 (著) 南江堂 2019
2. 今日から使える 医療統計 新谷 歩 (著) 医学書院 2015
3. いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキソ 第1巻 浅井 隆 (著) アトムズ 2010
4. いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキソ 第2巻 浅井 隆 (著) アトムズ 2010
5. いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキソ 第3巻 浅井 隆 (著) アトムズ 2010

**〔成績評価の方法・基準〕**

1. 出席点 40%
2. 課題レポート (各ユニット) 30%
3. 英語論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	【後期】 10月 木曜日 10:35 ～ 11:55	谷口奈央 埴岡 隆	ユニット1 分散分析	分散分析と多重比較について説明する。	1) 分散分析について説明する。 2) 反復測定分散分析について説明する。 3) 多重比較について説明する。	指定された口腔医学論文の、指定された範囲に目を通しておく。	指定された口腔医学論文	研究室
2								
3								
4	【後期】 11月 木曜日 10:35 ～ 11:55		ユニット2 ノンパラメトリック検定法	ノンパラメトリック検定法について説明する。	1) マン・ホイットニのU検定について説明する。 2) ウィルコクソンの符号付き順位検定について説明する。 3) クラスカル・ウォリスの検定について説明する。	指定された口腔医学論文の、指定された範囲に目を通しておく。	指定された口腔医学論文	研究室
5								
6								



回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
7	【後期】 11-12 月 木曜日 10:35 ～ 11:55		ユニット3 相関と回帰	相関と回帰について説明する。	1) 相関係数の有意性の検定について説明する。 2) 回帰係数の有意性の検定について説明する。 3) ロジスティック回帰分析について説明する。	指定された口腔医学論文の、指定された範囲に目を通しておく。	指定された口腔医学論文	研究室
8								
9								
10	【後期】 1月 木曜日 10:35 ～ 11:55		ユニット4 生存分析	生存分析について説明する。	1) カプランマイヤー法について説明する。 2) ログランク検定について説明する。 3) コックス回帰分析について説明する。	指定された口腔医学論文の、指定された範囲に目を通しておく。	指定された口腔医学論文	研究室
11								
12								
13	【後期】 2月 木曜日 10:35 ～ 11:55		ユニット5 メタ・アナリシス	メタ・アナリシスについて説明する。	1) 無作為化比較試験について説明する。 2) 無作為化比較試験と疫学研究の違いについて説明する。 3) メタ・アナリシスの方法について説明する。	指定された口腔医学論文の、指定された範囲に目を通しておく。	指定された口腔医学論文	研究室
14								
15								

## 医療統計学実習①

前期30コマ（ユニット1～5：2単位）

評価責任者：埴岡 隆

### 〔担当教員〕

島津 篤

### 〔一般目標〕

臨床・基礎の研究における研究デザイン、データ収集、統計解析の方法、アウトプットの解釈、データ解析のまとめ方について、研究論文に基づいて批判する。

### 〔授業到達目標〕

- ① 2群間比較について研究論文をもとに批判する。
- ② 多重比較について研究論文をもとに批判する。
- ③ 回帰分析について研究論文をもとに批判する。
- ④ メタ・アナリシスについて研究論文をもとに批判する。
- ⑤ 各自の研究に関連した研究論文を選び批判的プレゼンテーションをする。

### 〔教科書・参考書〕

参考書

1. 基礎医学統計学(改訂第7版) 加納 克己 (著), 高橋 秀人 (著) 南江堂 2019
2. 今日から使える 医療統計 新谷 歩 (著) 医学書院 2015
3. いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキソ 第1巻 浅井 隆 (著) アトムズ 2010
4. いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキソ 第2巻 浅井 隆 (著) アトムズ 2010
5. いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキソ 第3巻 浅井 隆 (著) アトムズ 2010

### 〔成績評価の方法・基準〕

1. 課題レポート（各ユニット）40%
2. 指定論文の批判的プレゼンテーション 30%
3. 選択論文の批判的プレゼンテーション 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	【前期】 4月 金曜日 14:35～ 17:30	島津篤	ユニット1 2群間比較	2群間比較について研究論文をもとに批判する。	1) 研究論文のデータの特徴と統計手法について説明する。 2) 解析方法と結果の扱い方について研究論文をもとに批判する。 3) 統計解析のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	指定された口腔医学研究論文に目を通しておく。	指定された口腔医学研究論文	研究室
2								
3								
4								
5								
6								
7	【前期】 5月 金曜日 14:35～ 17:30	島津篤	ユニット2 多重比較	多重比較について研究論文をもとに批判する。	1) 研究論文のデータの特徴と統計手法について説明する。 2) 解析方法と結果の扱い方について研究論文をもとに批判する。 3) 統計解析のすすめ方について研究論文をもとに批判する。	指定された口腔医学研究論文に目を通しておく。	指定された口腔医学研究論文	研究室
8								
9								
10								
11								
12								

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
13	【前期】 6月 金曜日 14:35～ 17:30		ユニット3 回帰分析	回帰分析について 研究論文をもとに 批判する。	1) 研究論文のデータ の特徴と統計手法に ついて説明する。 2) 解析方法と結果の 扱い方について研究 論文をもとに批判す る。 3) 統計解析のすすめ 方について研究論文 をもとに批判する。	指定された口腔 医学研究論文に 目を通してお く。	指定された 口腔医学研 究論文	研究室
14								
15								
16								
17								
18								
19	【前期】 7月 金曜日 14:35～ 17:30		ユニット4 メタ・アナリ シス	メタ・アナリシスに ついて研究論文を もとに批判する。	1) 研究論文のデータ の特徴と統計手法に ついて説明する。 2) 解析方法と結果の 扱い方について研究 論文をもとに批判す る。 3) 統計解析のすすめ 方について研究論文 をもとに批判する。	指定された口腔 医学研究論文に 目を通してお く。	指定された 口腔医学研 究論文	研究室
20								
21								
22								
23								
24								
25	【前期】 8月 金曜日 14:35～ 17:30		ユニット5 種々の統計 手法	各自の研究に関連 した研究論文を選 び批判的プレゼン テーションをする。	1) 研究論文のデータ の特徴と統計手法に ついて説明する。 2) 解析方法と結果の 扱い方について研究 論文をもとに批判す る。 3) 統計解析のすすめ 方について研究論文 をもとに批判する。	指定された口腔 医学研究論文に 目を通してお く。	指定された 口腔医学研 究論文	研究室
26								
27								
28								
29								
30								

## 医療統計学実習②

後期30コマ（ユニット1～5：2単位）  
評価責任者：埴岡 隆

**〔担当教員〕**

谷口奈央、埴岡 隆

**〔一般目標〕**

臨床・基礎の研究における研究デザイン、データ収集、統計解析の方法、アウトプットの解釈、データ解析のまとめ方について、研究論文に基づいて批判する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 多変量解析について研究論文をもとに批判する。
- ② アンケート調査の解析について研究論文をもとに批判する。
- ③ データマイニングについて研究論文をもとに批判する。
- ④ 高度なデータ解析手法について研究論文をもとに批判する。
- ⑤ 最新の研究論文を選び批判的プレゼンテーションをする。

**〔教科書・参考書〕**

参考書

1. 基礎医学統計学(改訂第7版) 加納 克己 (著), 高橋 秀人 (著) 南江堂 2019
2. 今日から使える 医療統計 新谷 歩 (著) 医学書院 2015
3. いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキノ 第1巻 浅井 隆 (著) アトムズ 2010
4. いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキノ 第2巻 浅井 隆 (著) アトムズ 2010
5. いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキノ 第3巻 浅井 隆 (著) アトムズ 2010

**〔成績評価の方法・基準〕**

1. 課題レポート (各ユニット) 40%
2. 指定論文の批判的プレゼンテーション 30%
3. 選択論文の批判的プレゼンテーション 30%

回	授業日 時 限	授 業 担 当 者	ユニット番 号・項目名	学 習 目 標 (G I O)	行 動 目 標 (S B O s)	予 習 の 項 目	媒 体 ・ 参 考 資 料	場 所
1	【後期】 10月 金曜日 14:35～ 17:30	谷口奈央 埴岡 隆	ユニット1 多変量解析	多変量解析につ いて研究論文を もとに批判す る。	1) 研究論文のデー タの特徴と統計手 法について説明 する。 2) 解析方法と結 果の扱い方につ いて研究論文を もとに批判す る。 3) 統計解析のす すめ方について 研究論文をもと に批判する。	指定された口腔 医学研究論文に 目を通してお く。	指定された 口腔医学研 究論文	研究室
2								
3								
4								
5								
6								
7	【後期】 11月 金曜日 14:35～ 17:30	谷口奈央 埴岡 隆	ユニット2 アンケート 調査	アンケート調査 について研究論 文をもとに批判 する。	1) 研究論文のデー タの特徴と統計手 法について説明 する。 2) 解析方法と結 果の扱い方につ いて研究論文を もとに批判す る。 3) 統計解析のす すめ方について 研究論文をもと に批判する。	指定された口腔 医学研究論文に 目を通してお く。	指定された 口腔医学研 究論文	研究室
8								
9								
10								
11								
12								
13	【後期】	谷口奈央 埴岡 隆	ユニット3 データマイニ ン	データマイニン グについて研究 論文をもとに批 判する。	1) 研究論文のデー タの特徴と統計手 法について説明 する。 2) 解析方法と結 果の扱い方につ いて研究論文を もとに批判す る。 3) 統計解析のす すめ方について 研究論文をもと に批判する。	指定された口腔 医学研究論文に 目を通してお く。	指定された 口腔医学研 究論文	研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
14	11-12 月 金曜日 14:35～ 17:30		データマイ ニング	グについて研究 論文をもとに批 判する。	の特徴と統計手法に ついて説明する。 2) 解析方法と結果の 扱い方について研究 論文をもとに批判す る。 3) 統計解析のすすめ 方について研究論文 をもとに批判する。	医学研究論文に 目を通してお く。	口腔医学研 究論文	
15								
16								
17								
18								
19	【後期】 1月 金曜日 14:35～ 17:30		ユニット4 高度なデー タ解析手法	高度なデータ解 析手法について 研究論文をもと に批判する。	1) 研究論文のデー タの特徴と統計手法 について説明する。 2) 解析方法と結果の 扱い方について研究 論文をもとに批判す る。 3) 統計解析のすすめ 方について研究論文 をもとに批判する。	指定された口腔 医学研究論文に 目を通してお く。	指定された 口腔医学研 究論文	研究室
20								
21								
22								
23								
24								
25	【後期】 2月 金曜日 14:35～ 17:30		ユニット5 統計解析の 動向	最新の研究論文 を選び批判的プ レゼンテーショ ンをする。	1) 研究論文のデー タの特徴と統計手法 について説明する。 2) 解析方法と結果の 扱い方について研究 論文をもとに批判す る。 3) 統計解析のすすめ 方について研究論文 をもとに批判する。	指定された口腔 医学研究論文に 目を通してお く。	指定された 口腔医学研 究論文	研究室
26								
27								
28								
29								
30								

## 医療統計学実習③

後期30コマ（ユニット1～5：2単位）  
評価責任者：埴岡 隆

〔担当教員〕  
谷口奈央、埴岡 隆

〔一般目標〕  
基礎・臨床の研究を計画・実施していくうえで必要となるデータベース作成・管理法、統計解析ソフトウェアの利用法、アウトプットの解釈の仕方、データ解析のまとめ方について、具体的なデータをを用いた実習を通じて習得する。

〔授業到達目標〕

- ① 統計処理の基本を理解し、統計解析ソフトウェアによるデータの基礎的な扱い方を習得する。
- ② 2群の比較法の基本を理解し、具体的な扱い方とまとめ方を習得する。
- ③ 分散分析と多重比較の基本を理解し、具体的な扱い方とまとめ方を習得する。
- ④ 相関と回帰の基本を理解し、具体的な扱い方とまとめ方を習得する。
- ⑤ 各自のテーマに関係する統計解析の技法を習得する。

〔教科書・参考書〕  
参考書

1. 基礎医学統計学(改訂第7版) 加納 克己(著), 高橋 秀人(著) 南江堂 2019
2. 今日から使える 医療統計 新谷 歩(著) 医学書院 2015
3. いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキソ 第1巻 浅井 隆(著) アトムズ 2010
4. いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキソ 第2巻 浅井 隆(著) アトムズ 2010
5. いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキソ 第3巻 浅井 隆(著) アトムズ 2010

〔成績評価の方法・基準〕

1. 出席点 50%
2. 実習レポート 50%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	【後期】 10月 金曜日 9:00～ 11:55	谷口奈央 埴岡 隆	ユニット1 統計ソフトウェアの基本操作	統計処理の基本を理解し、統計解析ソフトウェアによるデータの基礎的な扱い方を習得する。	1) データの形と適切な統計処理について説明する。 2) データを整理し、グラフ表現を用いて特徴を説明する。 3) 基礎統計量と区間推定を求める。	指定された口腔医学研究論文に目を通しておく。	指定された口腔医学研究論文	研究室
2								
3								
4								
5								
6								
7	【後期】 11月 金曜日 9:00～ 11:55		ユニット2 2群の比較	2群の比較法の基本を理解し、具体的な扱い方とまとめ方を習得する。	1) 2群間の平均値の差を検定する。 2) カイ2乗検定法を利用する。 3) マン・ホイットニーのU検定を利用する。	指定された口腔医学研究論文に目を通しておく。	指定された口腔医学研究論文	研究室
8								
9								
10								
11								
12								

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
13	【後期】 11-12 月 金曜日 9:00~ 11:55		ユニット3 分散分析	分散分析と多重 比較の基本を理解し、具体的な 扱い方とまとめ 方を習得する。	1) 一元配置の分散分 析と多重比較をす る。 2) 反復測定による一 元配置の分散分析を する。 3) クラスカル・ウォ リスの検定を利用す る。	指定された口腔 医学研究論文に 目を通してお く。	指定された 口腔医学研 究論文	研究室
14								
15								
16								
17								
18								
19	【後期】 1月 金曜日 9:00~ 11:55		ユニット4 相関と回帰	相関と回帰の基 本を理解し、具 体的な扱い方と まとめ方を習得 する。	1) 相関係数を算出 し、有意性を検定す る。 2) 直線回帰について 説明し、回帰係数の 有意性を検定する。 3) ロジスティック回 帰分析をする。	指定された口腔 医学研究論文に 目を通してお く。	指定された 口腔医学研 究論文	研究室
20								
21								
22								
23								
24								
25	【後期】 2月 金曜日 9:00~ 11:55		ユニット5 種々の解析 法	各自のテーマに 関係する統計解 析の技法を習得 する。	1) データの型と特 徴、適切な統計解析 について説明する。 2) 統計解析を行い、 レポートを作成す る。 3) データ、方法、結 果、考察について発 表し、討論する。	指定された口腔 医学研究論文に 目を通してお く。	指定された 口腔医学研 究論文	研究室
26								
27								
28								
29								
30								

# 言語情報学講義 ①

前期15コマ (ユニット1～5 : 2単位)

評価責任者 : 壬生正博

## 〔担当教員〕

壬生正博

## 〔一般目標〕

医療人間学の一環として、医療における「知」の遺産を文化史的な視点から講義する。我々人間の「生命」は史的にどのように捉えられ、生命維持のためにどのような医療がなされてきたのだろうか。本講義の対象となる範囲は広く、風俗・習慣、文芸、芸術、宗教等を含み、講義ではこれらを題材として、西欧医療を中心に他の諸国の医療事情も視野に入れつつ、知的・精神的な変遷の概要を把握することを目的とする。

## 〔授業到達目標〕

- ① The History of Disease について説明できる。
- ② The Rise of Medicine について説明できる。
- ③ What is Disease ? について説明できる。
- ④ Primary Care について説明できる。
- ⑤ Medical Science について説明できる。

## 〔教科書・参考書〕

参考書

1. The Cambridge Illustrated History of Medicine (Cambridge University Press) 2009
2. The History of Medicine: A Very Short Introduction (Oxford University Press) 2008
3. A Brief History of Disease, Science & Medicine (Asklepiad Press) 2004

## 〔成績評価の方法・基準〕

1. 出席 40%
2. 各ユニットでのプレゼンテーション 30%
3. 課題レポート 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	4月 火曜日 10:35	壬生	ユニット1 The History of Disease of Disease について	The History of Disease について説明できる。	The Rise of New Diseases について英語の文献を読み説明できる。 New Plagues について英語の文献を読み説明できる。 Nutritional Diseases について英語の文献を読み説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。  ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に 1. および2.	医療人間学講座内
2	～							
3	11:55							



回	授業日時限	授業者担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
4 5 6	5月 火曜日 10:35 ～ 11:55	壬生	ユニット2 The Rise of Medicine に ついて	The Rise of Medicine につ いて説明でき る。	Greek Medicine について英語 の文献を読み 説明できる。  The Christian View of the Sick について英語 の文献を読み 説明できる。  Medicine in the Dark Ages につ いて英語の文 献を読み説明 できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。  ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に 1. および2.	医療人間学講座内
7 8 9	6月 火曜日 10:35 ～ 11:55	壬生	ユニット3 What is Disease? に ついて	What is Disease? につ いて説明でき る。	Disease and Illness につ いて英語の文 献を読み説明 できる。  The Medical View of Illness について英語 の文献を読み 説明できる。  The Sick Role について英語 の文献を読み 説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。  ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に 1. および2.	医療人間学講座内
10 11 12	7月 火曜日 10:35 ～ 11:55	壬生	ユニット4 Primary Care について	Primary Care について説明 できる。	What the Traditional Patient Wanted について英語 の文献を読み 説明できる。  New Medications について英語 の文献を読み 説明できる。  Shifting the Site of Primary Care について 英語の文献を 読み説明でき る。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。  ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に 1. および2.	医療人間学講座内

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
13 14 15	9月 火曜日 10:35 ～ 11:55	壬生	ユニット5 Medical Science に ついて	Medical Science に ついて説明 できる。	Anatomical Foundations について英語 の文献を読み 説明できる。 Medicine Becomes Scientificに ついて英語の 文献を読み説 明できる。 Twentieth-C entury Breakthrough sについて英 語の文献を読 み説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。  ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に1. および2.	医療人間学講座内

## 言語情報学講義 ②

後期15コマ（ユニット1～5：2単位）  
評価責任者：壬生正博

〔担当教員〕  
壬生正博

### 〔一般目標〕

医療人間学の一環として、医療における「知」の遺産を文化史的な視点から講義する。我々人間の「生命」は史的にどのように捉えられ、生命維持のためにどのような医療がなされてきたのだろうか。本講義の対象となる範囲は広く、風俗・習慣、文芸、芸術、宗教等を含み、講義ではこれらを題材として、西欧医療を中心に他の諸国の医療事情も視野に入れつつ、知的・精神的な変遷の概要を把握することを目的とする。

### 〔授業到達目標〕

- ① Hospitals and Surgery について説明できる。
- ② Drug Treatment and the Rise of Pharmacology について説明できる。
- ③ Mental Illness について説明できる。
- ④ Medicine, Society, and the State について説明できる。
- ⑤ Looking to the Future について説明できる。

### 〔教科書・参考書〕

参考書

1. The Cambridge Illustrated History of Medicine (Cambridge University Press) 2009
2. The History of Medicine: A Very Short Introduction (Oxford University Press) 2008
3. A Brief History of Disease, Science & Medicine (Asklepiad Press) 2004

### 〔成績評価の方法・基準〕

1. 出席 40%
2. 各ユニットでのプレゼンテーション 30%
3. 課題レポート 30%

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	10月 火曜日 10:35	壬生	ユニット1 Hospitals and Surgery について	Hospitals and Surgery につ いて説明でき る。	Traditional Surgery につ いて英語の文 献を読み説 明できる。	・上記教科書や参 考書等の該当箇 所の英文の内 容を辞書等 を用いて調べ 理解し、内容 の概略を説明 できるように まとめておく。	上記教科書・参 考書の主に1. および2.	医療人間 学講座内
2	～ 11:55				The Traditional Hospital につ いて英語の文 献を読み説 明できる。			
3					The Age of Anaesthesia につ いて英語の文 献を読み説 明できる。	・該当箇所につ いてインターネット 等を利用して予 備知識を得て おく。		

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
4 5 6	11月 火曜日 10:35 ～ 11:55	壬生	ユニット2 Drug Treatment and the Rise of Pharmacologyについて	Drug Treatment and the Rise of Pharmacologyについて説明できる。	Greek and Roman Remediesについて英語の文献を読み説明できる。 Pharmacology Comes of Ageについて英語の文献を読み説明できる。 The Chemotherapy of Cancerについて英語の文献を読み説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に1. および2.	医療人間学講座内
7 8 9	12月 火曜日 10:35 ～ 11:55	壬生	ユニット3 Mental Illnessについて	Mental Illnessについて説明できる。	The Greek Traditionについて英語の文献を読み説明できる。 Psychiatric Techniquesについて英語の文献を読み説明できる。 Modern Psychological Medicineについて英語の文献を読み説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に1. および2.	医療人間学講座内
10 11 12	1月 火曜日 10:35 ～ 11:55	壬生	ユニット4 Medicine, Society, and the Stateについて	Medicine, Society, and the Stateについて説明できる。	Medical Markets in Enlightenment Europeについて英語の文献を読み説明できる。 Science and Moralsについて英語の文献を読み説明できる。 Health Services After the Second World Warについて英語の文献を読み説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に1. および2.	医療人間学講座内
13 14 15	2月 火曜日 10:35 ～ 11:55	壬生	ユニット5 Looking to the Futureについて	Looking to the Futureについて説明できる。	The Promise of Medicineについて英語の文献を読み説明できる。 Computers in Medicineについて英語の文献を読み説明できる。 The Flight from Scienceについて英語の文献を読み説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に1. および2.	医療人間学講座内

# 言語情報学演習 ①

前期30コマ（ユニット1～5：2単位）  
評価責任者：壬生正博

〔担当教員〕  
壬生正博

〔一般目標〕

医療人間学の一環として、医療における「知」の遺産を文化史的な視点から学ぶ。我々人間の「生命」は史的にどのように捉えられ、生命維持のためにどのような医療がなされてきたのだろうか。本演習の対象となる範囲は広く、風俗・習慣、文芸、芸術、宗教等を含み、演習ではこれらを題材として、西欧医療を中心に他の諸国の医療事情も視野に入れて、知的・精神史的な価値・意義を英語論文に基づいて習得する。

〔授業到達目標〕

- ① 人類と医療の歴史について概略を説明できる。
- ② 医学の起源について説明できる。
- ③ 古代社会の医療文化について説明できる。
- ④ 医療と信仰について文化史的に説明できる。
- ⑤ 中世ヨーロッパ社会の医療文化について説明できる。

〔教科書・参考書〕

1. The Greatest Benefit to Mankind: A Medical History of Humanity (W.W.Norton & Company) 1998
2. Medicine & Culture: Varieties of Treatment in the United States, England, West Germany, and France (Henry Holt and Company) 1988
3. Culture and Health: Applying Medical Anthropology (Jossey-Bass) 2009
4. Culture, Health and Illness (Hodder Education) 2007
5. Culture Competence in Health Care (Jossey-Bass) 2002

〔成績評価の方法・基準〕

1. 出席 40%
2. 各ユニットでのプレゼンテーション 30%
3. 課題レポート 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 6	4月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット1 人類と医療の歴史	人類と医療の歴史について概略を理解する。	人類史における医療文化について研究論文をもとに概略できる(1)。 人類史における医療文化について研究論文をもとに概略できる(2)。 医療文化史上の重要な人物や事象について研究論文をもとに概略できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に1. および2.	医療人間学講座内

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
7 ～ 12	5月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット2 医学の起源	医学の起源 について理 解する。	People and Plagues につ いて研究論文を もとに説明でき る。 Plague につ いて研究論文を もとに説明でき る。 Approaches to Healing につ いて研究論文を もとに説明でき る。	・上記教科書や 参考書等の該 当箇所の内容を辞書 等を用いて調 べ理解し、内容 の概略を説明 できるように まとめておく。 ・該当箇所につ いてインター ネット等を利用 して予備知 識を得ておく。	上記教科書・参考書 の主に1. および 2.	医療人間学 講座内
13 ～ 18	5月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット3 古代社会の 医療文化	古代社会の 医療文化に ついて理解 する。	古代ギリシアの 医療文化につ いて研究論文を もとに説明でき る(1)。 古代ギリシアの 医療文化につ いて研究論文を もとに説明でき る(2)。 古代ローマの医 療文化につ いて研究論文を もとに説明でき る。	・上記教科書や 参考書等の該 当箇所の内容を辞書 等を用いて調 べ理解し、内容 の概略を説明 できるように まとめておく。 ・該当箇所につ いてインター ネット等を利用 して予備知 識を得ておく。	上記教科書・参考書 の主に1. および 2.	医療人間学 講座内
19 ～ 24	6月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット4 医療と信仰	医療と信仰 について文 化史的に理 解する。	医療と信仰につ いて研究論文を もとに説明でき る(1)。 医療と信仰につ いて研究論文を もとに説明でき る(2)。 医療と信仰につ いて研究論文を もとに説明でき る(3)。	・上記教科書や 参考書等の該 当箇所の内容を辞書 等を用いて調 べ理解し、内容 の概略を説明 できるように まとめておく。 ・該当箇所につ いてインター ネット等を利用 して予備知 識を得ておく。	上記教科書・参考書 の主に1. および 2.	医療人間学 講座内

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
25 ～ 30	6月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット5 中世ヨーロッパ社会の医療文化	中世ヨーロッパ社会の医療文化について理解する。	中世ヨーロッパ社会の宗教について研究論文をもとに説明できる 中世ヨーロッパ社会の医療と一般庶民との関係について研究論文をもとに説明できる。 中世ヨーロッパ社会の身体の捉え方について研究論文をもとに説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に1. および2.	医療人間学 講座内

## 言語情報学演習 ②

後期30コマ（ユニット1～5：2単位）

評価責任者：壬生正博

### 〔担当教員〕

壬生正博

### 〔一般目標〕

医療人間学の一環として、医療における「知」の遺産を文化的な視点から学ぶ。我々人間の「生命」は史的にどのように捉えられ、生命維持のためにどのような医療がなされてきたのだろうか。本演習の対象となる範囲は広く、風俗・習慣、文芸、芸術、宗教等を含み、演習ではこれらを題材として、西欧医療を中心に他の諸国の医療事情も視野に入れて、知的・精神的な価値・意義を英語論文に基づいて習得する。

### 〔授業到達目標〕

- ① ルネサンス期の医療文化について説明できる。
- ② ルネサンス期に生じた新たな医学思想について説明できる。
- ③ 科学革命期の医療文化について説明できる。
- ④ 19世紀の医療文化について説明できる（1）。
- ⑤ 19世紀の医療文化について説明できる（2）。

### 〔教科書・参考書〕

1. The Greatest Benefit to Mankind: A Medical History of Humanity (W.W.Norton & Company) 1998
2. Medicine & Culture: Varieties of Treatment in the United States, England, West Germany, and France (Henry Holt and Company) 1988
3. Culture and Health: Applying Medical Anthropology (Jossey-Bass) 2009
4. Culture, Health and Illness (Hodder Education) 2007
5. Culture Competence in Health Care (Jossey-Bass) 2002

### 〔成績評価の方法・基準〕

1. 出席 40%
2. 各ユニットでのプレゼンテーション 30%
3. 課題レポート 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 6	7月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット1 ルネサンス期の医療文化	ルネサンス期の医療文化について理解する。	中世とルネサンスの文化的相違について研究論文をもとに説明できる。 ルネサンス期の解剖学の捉え方について研究論文をもとに説明できる。 ルネサンス期の外科的処置の方法について研究論文をもとに説	参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめる。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に1. および2.	医療人間学 講座内



回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					明できる。			
7 ～ 12	9月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:3	壬生	ユニット2 ルネサンス 期に生じた 新たな医学 思想	ルネサンス期 に生じた新 たな医学思 想について 理解する。	医化学につ いて研究論 文をもとに 説明できる。 人体の捉え 方について 研究論文を もとに説明 できる。 ルネサンス 期の医学思 想について 説明できる。	参考書等の 該当箇所の 英文の内容を 辞書等を用 いて調べ理 解し、内容 の概略を説 明できるよう にまとめてお く。 ・該当箇所 についてイン ターネット 等を利用して 予備知識を得 ておく。	上記教科書・参 考書の主に1. および2.	医療人間学 講座内
13 ～ 18	9月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット3 科学革命期 の医療文化	科学革命期 の医療文化 について理 解する。	科学革命期 の病気に対 する考え方 について研 究論文をも とに説明可 い。 科学革命期 の治療学に ついて研究 論文をもと に説明でき る。 科学革命期 の医療と一 般庶民との 関係につ いて研究論 文をもとに 説明できる。	参考書等の 該当箇所の 英文の内容を 辞書等を用 いて調べ理 解し、内容 の概略を説 明できるよう にまとめてお く。 ・該当箇所 についてイン ターネット 等を利用して 予備知識を得 ておく。	上記教科書・参 考書の主に1. および2.	医療人間学 講座内
19 ～ 24	10月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット4 19世紀の医 療文化	19世紀の医 療文化につ いて理解す る(1)。	フランスに おける医学 上の文化史 的事象につ いて研究論 文をもとに 説明できる。 ドイツにお ける医学上 の文化史的 事象につ いて研究論 文をもとに 説明できる。 イギリスに おける医学 上の文化史 的事象につ いて研究論 文をもとに 説明できる。	参考書等の 該当箇所の 英文の内容を 辞書等を用 いて調べ理 解し、内容 の概略を説 明できるよう にまとめてお く。 ・該当箇所 についてイン ターネット 等を利用して 予備知識を得 ておく。	上記教科書・参 考書の主に1. および2.	医療人間学 講座内

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
25 ～ 30	10月 水曜日 ～ 金曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット5 19世紀の医療文化	19世紀の医療文化について理解する(2)。	フランスにおける医療従事者についての諸事情を研究論文をもとに説明できる。 ドイツにおける医療従事者についての諸事情を研究論文をもとに説明できる。 イギリスにおける医療従事者についての諸事情を研究論文をもとに説明できる。	参考書等の該当箇所の英文の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめておく。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得ておく。	上記教科書・参考書の主に1. および2.	医療人間学 講座内

## 言語情報学演習 ③

後期 30コマ (ユニット1～5 : 2単位)

評価責任者: 壬生正博

〔担当教員〕

壬生正博

〔一般目標〕

医療人間学の一環として、医療における「知」の遺産を文化史的な視点から学ぶ。我々人間の「生命」は史的にどのように捉えられ、生命維持のためにどのような医療がなされてきたのだろうか。本演習の対象となる範囲は広く、風俗・習慣、文芸、芸術、宗教等を含み、演習ではこれらを題材として、西欧医療を中心に他の諸国の医療事情も視野に入れて、知的・精神的な価値・意義を英語論文に基づいて習得する。

〔授業到達目標〕

- ① 公衆医学について文化史的に説明できる。
- ② 医学と国家、国民との関わりについて文化史的に説明できる。
- ③ フランスにおける現代の医療と文化について説明できる。
- ④ ドイツにおける現代の医療と文化について説明できる。
- ⑤ イギリスにおける現代の医療と文化について説明できる。

〔教科書・参考書〕

1. The Greatest Benefit to Mankind: A Medical History of Humanity (W.W.Norton & Company) 1998
2. Medicine & Culture: Varieties of Treatment in the United States, England, West Germany, and France (Henry Holt and Company) 1988
3. Culture and Health: Applying Medical Anthropology (Jossey-Bass) 2009
4. Culture, Health and Illness (Hodder Education) 2007
5. Culture Competence in Health Care (Jossey-Bass) 2002

〔成績評価の方法・基準〕

1. 出席 40%
2. 各ユニットでのプレゼンテーション 30%
3. 課題レポート 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 6	11月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット1 公衆医学	公衆医学について文化史的に理解する。	公衆衛生についての文化的事象を研究論文をもとに説明できる。 公衆衛生と政治についての文化的事象を研究論文をもとに説明できる。 健康状態の強化について研究論文をもとに説明できる。	・上記教科書や参考書等の該当箇所の内容を辞書等を用いて調べ理解し、内容の概略を説明できるようにまとめる。 ・該当箇所についてインターネット等を利用して予備知識を得る。	上記教科書・参考書の主に 1. および2.	医療人間学講座内

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
7 ～ 12	11月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:3	壬生	ユニット2 医学と国 家、国民と のかかわり	医学と国 家、国民と のかかわり について文化 史的に理解 する。	医学と国家との 関わりについて 研究論文をもと に説明できる (1)。 医学と国家との 関わりについて 研究論文をもと に説明できる (2)。 医学と国民との 関わりについて 研究論文をもと に説明できる。	・上記教科書や参 考書等の該当箇 所の英文の内容 を辞書等を用い て調べ理解し、内 容の概略を説明 できるようにま とめておく。  ・該当箇所につい てインターネット 等を利用して 予備知識を得て おく。	上記教科書・参 考書の主に 1. および2.	医療人間 学講座内
13 ～ 18	12月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット3 フランスに おける現代 の医療と文 化について	フランスに おける現代 の医療と文 化について 理解する。	フランスにおけ る現代の医療と 文化について研 究論文をもとに 説明できる (1)。 フランスにおけ る現代の医療と 文化について研 究論文をもとに 説明できる (2)。 フランスにおけ る現代の医療と 文化についてネ ットで検索し説 明、批判する。	・上記教科書や参 考書等の該当箇 所の英文の内容 を辞書等を用い て調べ理解し、内 容の概略を説明 できるようにま とめておく。  ・該当箇所につい てインターネット 等を利用して 予備知識を得て おく。	上記教科書・参 考書の主に 1. および2.	医療人間 学講座内
19 ～ 24	12月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット4 ドイツにお ける現代の 医療と文化 について理 解する。	ドイツにおけ る現代の医療と 文化について研 究論文をもとに 説明できる。 ドイツにおける 現代の医療と文 化について研究 論文をもとに説 明できる(2)。 ドイツにおける 現代の医療と文 化についてネッ トで検索し説 明、批判する。	ドイツにおける 現代の医療と文 化について研究 論文をもとに説 明できる(1)。 ドイツにおける 現代の医療と文 化について研究 論文をもとに説 明できる(2)。 ドイツにおける 現代の医療と文 化についてネッ トで検索し説 明、批判する。	・上記教科書や参 考書等の該当箇 所の英文の内容 を辞書等を用い て調べ理解し、内 容の概略を説明 できるようにま とめておく。  ・該当箇所につい てインターネット 等を利用して 予備知識を得て おく。	上記教科書・参 考書の主に 1. および2.	医療人間 学講座内

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
25 ～ 30	1月 火曜日 水曜日 13:00 ～ 17:30	壬生	ユニット5 イギリスに おける現代 の医療と文 化	イギリスに おける現代 の医療と文 化について 理解する。	イギリスにお ける現代の医療と 文化について研 究論文をもとに 説明できる(1)。 イギリスにお ける現代の医療と 文化について研 究論文をもとに 説明できる(2)。 イギリスにお ける現代の医療と 文化についてネ ットで検索し説 明、批判する。	・上記教科書や参 考書等の該当箇 所の英文の内容 を辞書等を用い て調べ理解し、内 容の概略を説明 できるようにま とめておく。  ・該当箇所につい てインターネット 等を利用して 予備知識を得て おく。	上記教科書・参 考書の主に 1. および2.	医療人間 学講座内

## 医療倫理学講義①

前期 15 コマ (ユニット 1～4 : 2 単位)  
評価責任者 : 永嶋哲也

**〔担当教員〕**

永嶋哲也

**〔一般目標〕**

診療や臨床研究において近年生じている倫理問題について学び、現代における医療分野での倫理的知識を獲得することを通じて、医療の現場において倫理問題に対処する基本的な知識を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 伝統的な医療倫理の価値観について説明できる。
- ② 生命倫理学の成り立ちと内実について説明できる。
- ③ 医療倫理におけるいわゆる「四原則」について説明できる。
- ④ いわゆる「四原則」を具体的事例へ適用できる。

**〔教科書・参考書〕**

**教科書**

1. James T. Rule, Robert M. Veatch 『デンタル・エシックス』クインテッセンス出版、2001年  
(実質上唯一の歯科医療専門の倫理学概説書。7,020円)
2. アルバート・R・ジョンセン 『生命倫理学の誕生』勁草書房、2009年  
(生命倫理学の成り立ちについて当事者の立場からの歴史的解説。7,992円)
3. トム・L・ビーチャム、ジェイムズ・F・チルドレス 『生命医学倫理 第五版』麗澤大学出版会、2009年  
(生命倫理学の「古典的」概説書。7,800円)

**参考書**

1. グレゴリー・E・ペンス 『医療倫理』みすず書房、2000年  
(歴史的転換点となった事例を紹介しながら、生命倫理学の全体像を解説。上下巻。)

**〔成績評価の方法・基準〕**

1. 課題レポート (各ユニット) 40%
2. 指定論文のプレゼンテーション 30%
3. 選択論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	4月 火曜日 VI限	永嶋	ユニット1 伝統的な医療倫理	伝統的な医療倫理の価値観について説明できる。	歯科医療における倫理の位置付けについて概観できる	『デンタル・エシックス』第1章	J. Rule, R. Veatch 『デンタル・エシックス』	講座研究室
2					倫理学の基礎理論を説明できる	同書、第2章		
3					現実事例を倫理学基礎理論と関連させて説明できる	同書、第3-4章		

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
4	5月 火曜日 VI限	永嶋	ユニット2 生命倫理学の誕生	生命倫理学の成り立ちと内実について説明できる。	1950年代以前の倫理状況について説明できる	『生命倫理学の誕生』第1章	A. ジョンセン『生命倫理学の誕生』 G. ペンス『医療倫理』	講座研究室
5					1960-70年代の倫理状況について説明できる	同書、第2章		
6					1970-80年代の倫理状況について説明できる	同書、第3章		
7					生命倫理学とは何かについて説明できる	同書、第4章		
8	6月 火曜日 VI限	永嶋	ユニット3 医療倫理の「四原則」	医療倫理におけるいわゆる「四原則」について説明できる。	「ベルモント・レポート」といわゆる「四原則」との関連について説明できる	『生命医学倫理』第1章	T. ビーチャム、J. チルドレス『生命医学倫理』	講座研究室
9					自律尊重原則について説明できる			
10					無加害原則と与益原則について説明できる			
11					正義原則について説明できる			
12	7月 火曜日 VI限	永嶋	ユニット4 「四原則」の事例適用	いわゆる「四原則」を具体的事例へ適用できる。	自律尊重原則を具体的事例に適用できる	同書、第3章	T. ビーチャム、J. チルドレス『生命医学倫理』 G. ペンス『医療倫理』	講座研究室
13					無加害原則と与益原則を具体的事例に適用できる	同書、第4章		
14					無加害原則と与益原則が対立する具体的事例に対処できる	同書、第5章		
15					正義原則を具体的事例に適用できる	同書、第6章		

## 医療倫理学講義②

後期15コマ（ユニット1～4：2単位）

評価責任者：永嶋哲也

**〔担当教員〕**

永嶋哲也

**〔一般目標〕**

診療や臨床研究において近年生じている倫理問題について学び、現代における医療分野での倫理的知識を獲得することを通じて、医療の現場において倫理問題に対処する基本的な知識を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 医療倫理における一般原則について説明できる。
- ② 臨床倫理学のアプローチについて説明できる。
- ③ 臨床倫理学の手法を用いて医療における道徳的ジレンマに対処できる。
- ④ 主要な倫理規範について説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

**教科書**

1. James T. Rule, Robert M. Veatch『デンタル・エシックス』クインテッセンス出版、2001年  
(実質上唯一の歯科医療専門の倫理学概説書。7,200円)
2. Albert R. Jonsen, Mark Siegler, William J. Winslade『臨床倫理学 第5版』新興医学出版社、2006年  
(四分割のよる症例検討シートが提案されている臨床倫理学の基本テキスト。3,564円)
3. アルバート・R・ジョンセン『生命倫理学の誕生』勁草書房、2009年  
(生命倫理学の成り立ちについて当事者の立場からの歴史的解説。7,992円)
4. 『WMA 医の倫理マニュアル』日本医師会、2007年  
(世界医師会作成、日本医師会翻訳・発行の「医の倫理」説明書。1,620円)

**参考書**

1. ジョージ・J・アナス『患者の権利 第三版』明石書店、2007年  
(患者の権利についての「古典的」概説書。8,208円)

**〔成績評価の方法・基準〕**

1. 課題レポート（各ユニット）40%
2. 指定論文のプレゼンテーション 30%
3. 選択論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	9月 火曜日 VI限	永嶋	ユニット1 医療倫理の 一般原則	医療倫理における 一般原則について 説明できる。	歯科的「益・善」に ついて説明できる	『デンタル・エ シックス』第5-9 章	J. Rule, R. Veatch『デ ンタル・エ シックス』	講座研究室
2					説明義務について説 明できる			
3					守秘義務について説 明できる			
4					応召義務について説 明できる			



回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
5	10月 火曜日 VI限	永嶋	ユニット2 臨床倫理学の アプローチ	臨床倫理学の アプローチについて 説明できる。	臨床倫理学とは どういうものか 説明できる	『デンタル・エ シックス』第13 章  『臨床倫理学』 序文	J. Rule, R. Veatch『デ ンタル・エ シックス』  A. Jonsen, M. Siegler, W. Winslade 『臨床倫理 学』	講座研究室
6					臨床倫理学にお ける事例検討シ ートについて説 明できる			
7					臨床倫理学にお ける事例検討を 実践できる			
8	11月 火曜日 VI限	永嶋	ユニット3 道徳的ジレン マへの対処	臨床倫理学の 手法を用いて 医療における 道徳的ジレン マに対処でき る。	歯学部におけ る倫理問題に ついて説明で きる	『デンタル・エ シックス』第10 章  同書、第12章	J. Rule, R. Veatch『デ ンタル・エ シックス』  A. Jonsen, M. Siegler, W. Winslade 『臨床倫理 学』	講座研究室
9					歯科医学研究 の倫理的ジレ ンマについて 説明できる			
10					専門家として の倫理問題に ついて説明で きる			
11	12月 火曜日 VI限  1月 火曜日 VI限	永嶋	ユニット4 医療におけ る主要な倫 理規範	主要な倫理規 範について説 明できる。	「ヒポクラテ スの誓い」と 「ジュネーブ 宣言」につい て説明できる	『生命倫理学 の誕生』第1章  『WMA医の倫 理マニュアル』 はじめに、第1 章  日本医師会 『WMA医の 倫理マニユ アル』	A. ジョ ンセン『生 命倫理学の 誕生』  日本医師 会『WMA 医の倫理 マニユ アル』	講座研究室
12					「ニュルン ベルグ綱領」 と「ヘルシン キ宣言」につ いて説明でき る			
13					「ベルモン ト・レポート 」と「ヘルシ ンキ宣言」東 京改訂につ いて説明でき る			
14					「患者の権 利章典」と 「リスボン宣 言」につい て説明できる			
15					「歯科医師 の倫理綱領」 と「歯科医師 の職業倫理」 につい て説明できる			

## 医療倫理学演習①

前期 4 5 コマ (ユニット 1 ~ 2 : 3 単位)  
評価責任者 : 永嶋哲也

〔担当教員〕  
永嶋哲也

〔一般目標〕

診療や臨床研究において近年生じている倫理問題について学び、現代における医療分野での倫理的知識を獲得することを通じて、医療の現場において倫理問題に対処する基本的な知識を習得する。

〔授業到達目標〕

- ① 現代倫理学の基本的立場とその理論について説明できる。
- ② 功利主義倫理学について説明できる。

〔教科書・参考書〕

教科書

1. 伊勢田哲治『動物からの倫理学入門』名古屋大学出版会、2008年、3,024円
2. ピーター・シンガー『実践の倫理 新版』昭和堂、1999年、3,078円

参考書

1. 川本隆史『現代倫理学の冒険』創文社、1995年、3,780円
2. ピーター・シンガー『生と死の倫理』昭和堂、1998年、2,484円

〔成績評価の方法・基準〕

1. 課題レポート (各ユニット) 40%
2. 指定論文のプレゼンテーション 30%
3. 選択論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ~ 25	4-6月 月曜日 VI-VII 限	永嶋	ユニット1 伝統的な医療倫理	現代倫理学の基本的立場とその理論について説明できる。	メタ倫理学について概説する 規範倫理学について概説する 応用倫理学について概説する 功利主義倫理学について概説する 義務論倫理学について概説する 社会契約説倫理学について概説する 徳倫理学について概説する 共同体主義倫理学について概説する ケア倫理学について概説する	『動物からの倫理学入門』序章  同書、第1章  同書、第3章  同書、第7章	伊勢田哲治『動物からの倫理学入門』  川本隆史『現代倫理学の冒険』	講座研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
26 ～ 45	6-7月 月曜日 VI-VII 限	永嶋	ユニット2 功利主義倫 理学	功利主義倫理学に ついて説明できる。	倫理性の基礎につい て功利主義的に説明 する	『実践の倫理』 第1章	P. シンガー 『実践の倫 理』  P. シンガー 『生と死の 倫理』	講座研究室
					平等と公平性につい て功利主義的に説明 する	同書、第2章		
					動物解放について功 利主義的に説明する	同書、第3章		
					人を殺すこと、死な せることの是非につ いて功利主義的に説 明する	同書、第4章		
					富の再分配について 功利主義的に説明す る	同書、第8章		
					自然環境の問題につ いて功利主義的に説 明する	同書、第10章		

## 医療倫理学演習②

後期45コマ（ユニット1～2：3単位）

評価責任者：永嶋哲也

### 〔担当教員〕

永嶋哲也

### 〔一般目標〕

診療や臨床研究において近年生じている倫理問題について学び、現代における医療分野での倫理的知識を獲得することを通じて、医療の現場において倫理問題に対処する基本的な知識を習得する。

### 〔授業到達目標〕

- ① 徳倫理について説明できる。
- ② 医療倫理におけるいわゆる「四原則」について説明できる。

### 〔教科書・参考書〕

#### 教科書

1. アラスデア・マッキンタイア『美徳なき時代』みすず書房、1993年、5,940円
2. トム・L・ビーチャム、ジェイムズ・F・チルドレス『生命医学倫理 第五版』麗澤大学出版会、2009年、7,800円

#### 参考書

1. J・ピーパー『四枢要徳について』知泉書館、2007年
2. ロザリンド・ハーストハウス『徳倫理学について』知泉書館、2014年、5,616円
3. 加藤尚武・児玉聡（監訳）『徳倫理学基本論文集』勁草書房、2015年、4,104円
4. グレゴリー・E・ペンス『医療倫理』みすず書房、2000年

### 〔成績評価の方法・基準〕

1. 課題レポート（各ユニット）40%
2. 指定論文のプレゼンテーション 30%
3. 選択論文のプレゼンテーション 30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 20	9-10 月曜日 VI-VII 限	永嶋	ユニット1 徳倫理学	徳倫理学について説明できる。	徳の概念について現代倫理学の徳理論から説明する	『美徳なき時代』第1章	A. マッキンタイア『美徳なき時代』 J. ピーパー『四枢要徳について』 R. ハーストハウス『徳倫理学について』	講座研究室
					道徳に関する情緒主義を徳理論から批判する	同書、第2-3章		
					道徳に関する啓蒙主義を徳理論から批判する	同書、第4-6章		
					道徳に関する近代的英雄主義を徳理論から批判する	同書、第10章		
					正義について徳理論から説明する	同書、第17章		
21 ～ 45	11-1 月曜日 VI-VII 限	永嶋	ユニット2 医療倫理の「四原則」	医療倫理におけるいわゆる「四原則」について説明できる。	道徳規範について生命倫理学から説明する	『生命医学倫理』第1章	T. ビーチャム、J. チルドレス『生命医学倫理』	講座研究室
					道徳的人格について生命倫理学から説明する	同書、第2章		

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					自律尊重原則について生命倫理学から説明する	同書、第3章	G. ペンス 『医療倫理』	
					無加害原則について生命倫理学から説明する	同書、第4章		
					与益原理について生命倫理学から説明する	同書、第5章		
					正義原則について生命倫理学から説明する	同書、第6章		
					専門家-患者関係について生命倫理学から説明する	同書、第7章		
					道徳に関する現代の諸理論を生命倫理学から批判する	同書、第8章		
					道徳的正当化のモデルについて生命倫理学から説明する	同書、第9章		
					プロフェッショナリズムについて生命倫理学との関係から説明する			

## 生化学講義①

前期 15コマ (2単位)  
評価責任者：梅津 桂子

〔担当教員〕  
梅津 桂子

〔一般目標〕

様々な DNA 修復機構について、研究の歴史的な経緯や発展を理解した上で、遺伝学・生化学・分子生物学・構造生物学を中心とした最新の知見を習得し、未解決の問題点や今後の進展について考察する。また、ゲノム維持機構の破綻とヒト疾患との関連について理解し、研究の医学的応用について考察する。

〔授業到達目標〕

- ゲノム維持機構に関する重要な研究について、研究の展開における意義を背景や解析方法の開発と関連付けて検証できる。
- ゲノム維持機構研究の現状を把握し、今後の問題点について具体的に指摘できる。
- 科学的知見が確立するまでの過程について、具体的な歴史的経緯を踏まえて追体験する。
- 文献の検索や情報収集を行い、内容を総括して発表することができる。

〔教科書・参考書〕

使用テキスト：“DNA Repair and Mutagenesis”, 2nd Edition, Errol C. Friedberg *et. al.*, ASM Press (Washington, D.C.)  
上記テキスト中の引用文献

〔成績評価の方法・基準〕

テキスト“DNA Repair and Mutagenesis”の内容や引用文献について各自予め調べておき、順次時間中に発表した上で、内容について討論するゼミナール方式とする。テーマに関して予め十分に調査し、その結果を適切に説明できているか、また、調査の結果に基づいて発展的な討論ができているかを判断基準とする。  
出席点 20%、発表と討論の内容 80%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 2 3	4月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津	ユニット1 DNA 修復総論	DNA 損傷の原因と生物学的影響や DNA 修復の関係を理解する	DNA 修復研究の歴史的な経緯を概説できる	次回の内容について予め抄読し、おき必要に応じて参考文献も読んでおくこと	テキスト Part 1 に対応	生化学分野 教授室
4 5 6	5月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津		文献を検索し、重要な情報を収集して総括する	DNA 修復研究の進展においてエポックとなった研究について検証できる	次回の内容について予め抄読し、おき必要に応じて参考文献も読んでおくこと	テキスト Part 1 に対応	生化学分野 教授室
7 8 9	6月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津		DNA 修復機構について、最新の知見を概説すると共に、研究の現状や今後の展開についての問題点を指摘できる。		次回の内容について予め抄読し、おき必要に応じて参考文献も読んでおくこと	テキスト Part 1 に対応	生化学分野 教授室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
10 11 12	7月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津	ユニット2 DNA 損傷に 対する細胞 応答	DNA 損傷によって誘導される細胞応答について理解する	細胞周期チェックポイント研究の歴史的な経緯を概説できる	次回の内容について予め抄読し、おき必要に応じて参考文献も読んでおくこと	テキスト Part 4 に対応	生化学分野 教授室
13 14 15	8月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津		文献を検索し、重要な情報を収集して総括する	DNA ダメージチェックポイントや DNA 損傷に対する転写応答について、最新の知見を概説すると共に、研究の現状や今後の展開についての問題点を指摘できる	次回の内容について予め抄読し、おき必要に応じて参考文献も読んでおくこと	テキスト Part 4 に対応	生化学分野 教授室

## 生化学講義②

後期15コマ（2単位）

評価責任者：梅津 桂子

### 〔担当教員〕

梅津 桂子

### 〔一般目標〕

様々なDNA修復機構について、研究の歴史的な経緯や発展を理解した上で、遺伝学・生化学・分子生物学・構造生物学を中心とした最新の知見を習得し、未解決の問題点や今後の進展について考察する。また、ゲノム維持機構の破綻とヒト疾患との関連について理解し、研究の医学的応用について考察する。

### 〔授業到達目標〕

- ゲノム維持機構に関する重要な研究について、研究の展開における意義を背景や解析方法の開発と関連付けて検証できる。
- ゲノム維持機構研究の現状を把握し、今後の問題点について具体的に指摘できる。
- 科学的知見が確立するまでの過程について、具体的な歴史的経緯を踏まえて追体験する。
- 文献の検索や情報収集を行い、内容を総括して発表することができる。

### 〔教科書・参考書〕

使用テキスト：“DNA Repair and Mutagenesis”, 2nd Edition, Errol C. Friedberg *et. al*, ASM Press (Washington, D.C.)

上記テキスト中の引用文献

### 〔成績評価の方法・基準〕

テキスト“DNA Repair and Mutagenesis”の内容や引用文献について各自予め調べておき、順次時間中に発表した上で、内容について討論するゼミナール方式とする。テーマに関して予め十分に調査し、その結果を適切に説明できているか、また、調査の結果に基づいて発展的な討論ができているかを判断基準とする。

出席点20%、発表と討論の内容80%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 2 3	10月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津	ユニット1 ヒトゲノム 解析と疾患 の診断	ヒトゲノム解析について理解し、疾患の診断への応用を考察する	遺伝的多型解析の進展について説明し、それぞれの限界や問題点を指摘できる	次回の内容について予め抄読し、おき必要に応じて参考文献も読んでおくこと	テキスト Part 5 Chapter 30 に対応	生化学分野 教授室
4 5 6	11月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津		文献を検索し、重要な情報を収集して総括する	ハプロタイプマッピングの原理を説明し、その利用の現状や今後の展開についての問題点を指摘できる	次回の内容について予め抄読し、おき必要に応じて参考文献も読んでおくこと	テキスト Part 5 Chapter 30 に対応	生化学分野 教授室
7 8 9	12月 1月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津		SNIP 解析と疾患の診断について、最新の知見を概説すると共に、研究の現状や今後の展開についての問題点を指摘できる	次回の内容について予め抄読し、おき必要に応じて参考文献も読んでおくこと	テキスト Part 5 Chapter 30 に対応	生化学分野 教授室	



回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
10 11 12	2月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津	ユニット2 DNA 損傷に 対する細胞 応答の欠損 と疾患	DNA 損傷に対する 細胞応答が欠損す ることによって引 き起こされると考 えられる様々な疾 患について理解す る	高発がん家系につ いて、HNPCC やフ アンコニ貧血を代 表例として取り上 げ、疾患解析の経 緯や最新の知見を 概説できる	次回の内容につ いて予め抄読し ておき必要に応 じて参考文献も 読んでおくこと	テキスト Part 5 Chapters 28-29 に対 応	生化学分野 教授室
13 14 15	3月 月曜日 8:30～ 10:00	梅津		文献を検索し、重 要な情報を収集し て総括する	ヒト症候群のうち 、DNA 損傷に対 する細胞応答の欠 損が認められるも のについて、最新 の知見を概説すと 共に、研究の現状 や今後の展開につ いての問題点を指 摘できる	次回の内容につ いて予め抄読し ておき必要に応 じて参考文献も 読んでおくこと	テキスト Part 5 Chapters 28-29 に対 応	生化学分野 教授室

## 生化学実習①

前期 30コマ (2単位)  
評価責任者：梅津 桂子

### 〔担当教員〕

梅津 桂子、藤田 亜美、林 道夫、橋口 一成

### 〔一般目標〕

酸化ストレスに対するゲノム維持機構について、新規性を持った研究プロジェクトに積極的に参加し、研究を遂行する上で必要な能力を養う  
基本的な実験技術を修得すると共に、高度な解析方法についても理解して応用することを学ぶ

### 〔授業到達目標〕

- 研究目的に応じて研究計画を立案できる
- 実験データを解析し、論理的に結論を導き出して考察できる
- 研究の進展に応じた解析方法を適宜選択・開発できる
- 得られた実験結果を論理的に解析し、結果に基づいて次の展開を立案できる
- 指導教官や他の研究者と科学的な討論ができる

### 〔教科書・参考書〕

適宜指摘する文献と共に、自ら検索すること

### 〔成績評価の方法・基準〕

研究の進展状況から総合的に判断する

指導方針は以下の通りである

- 緻密な討論を通じて、論理的な研究が展開できるよう指導する
- 独立した研究者の育成を目指して、独自のアイデアについて尊重した指導を行う
- 究結果の発表や他の研究者との討論を積極的に行う機会を持つよう促す

以上の方針に基づき、ユニット4の遂行を前提として随時ユニット1-3を実施する

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 - 12	原則として毎 週月曜 日の 午後	梅津 または 藤田	ユニット1 研究計画立 案(演習)	研究目標に応じて 研究計画を立案す る	得られた実験結果に 基づいて、次の展開 を立案できる  研究の進展に応じた 解析方法を適宜選 択・開発できる  重要な文献から情報 を収集し、自分の結 果と関連づけて考察 することができる	関連論文や実験 書を参考に自分 なりに研究の方 向性を考えてお く	特に指定し ない 自分で検索 した関連論 文や実験書	生化学分野 教授室
13 - 24	原則として毎 週金曜 日の	梅津 または 藤田	ユニット2 実験結果の 解析(演習)	実験結果を解析 し、論理的に説明す る	得られた実験結果を 多角的に解析できる  実験手法や解析法の	実験結果を分析 し、得られる結 論をまとめてお く	特に指定し ない ただし、左 記の遂行に	生化学分野 教授室

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	予習の項目	媒体・参考資料	場所	
	午後					問題点を検討できる 重要な文献から情報を収集し、自分の結果と関連づけて考察することができる	必要に応じて図表を準備すること	必要な情報は自分で検索すること	
25 - 36	原則として隔週水曜日の午前9:00～12:00	梅津 藤田 林 橋口	ユニット3 研究進捗発表(演習)	自身の研究について発表し、質疑応答を行うことで、科学的思考と問題解決能力の習得に努める これらの過程を通して、プレゼンテーション方法についても学ぶ	自身の研究について目的を明確に示し、研究計画や実験データを解り易く説明できる  実験データに基づいて導き出される結論や考察を論理的に説明できる  他者の研究発表について十分に理解し、討論に積極的に参加することができる	研究の進捗について目的や問題点を含めて明確に記したレジメを準備しておく	特に指定しない ただし、左記の遂行に必要な情報は自分で検索すること	生化学分野 セミナー室	
全 期 間	授業・演習への参加と準備以外の時限	梅津 または 藤田	ユニット4 研究プロジェクトの遂行(実験)	研究計画に従って研究を遂行する	実験プロトコールを立案できる  実験プロトコールに従って、確実に実験を実施できる  高度な解析方法についても理解して応用できる	関連論文や実験書を参考に具体的なプロトコールを立てシミュレーションしておく	特に指定しない ただし、左記の遂行に必要な情報は自分で検索すること	生化学分野 研究室 先端科学研究センター	

## 生化学実習②

後期 30コマ (2単位)  
評価責任者：梅津 桂子

### 〔担当教員〕

梅津 桂子、藤田 亜美、林 道夫、橋口 一成

### 〔一般目標〕

酸化ストレスに対するゲノム維持機構について、新規性を持った研究プロジェクトに積極的に参加し、研究を遂行する上で必要な能力を養う  
基本的な実験技術を修得すると共に、高度な解析方法についても理解して応用することを学ぶ

### 〔授業到達目標〕

- 研究目的に応じて研究計画を立案できる
- 実験データを解析し、論理的に結論を導き出して考察できる
- 研究の進展に応じた解析方法を適宜選択・開発できる
- 得られた実験結果を論理的に解析し、結果に基づいて次の展開を立案できる
- 指導教官や他の研究者と科学的な討論ができる

### 〔教科書・参考書〕

適宜指摘する文献と共に、自ら検索すること

### 〔成績評価の方法・基準〕

研究の進展状況から総合的に判断する

指導方針は以下の通りである

- 緻密な討論を通じて、論理的な研究が展開できるよう指導する
- 独立した研究者の育成を目指して、独自のアイデアについて尊重した指導を行う
- 究結果の発表や他の研究者との討論を積極的に行う機会を持つよう促す

以上の方針に基づき、ユニット4の遂行を前提として随時ユニット1-3を実施する

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1-12	原則として毎週月曜日の午後	梅津 または 藤田	ユニット1 研究計画立案 (演習)	研究目標に応じて研究計画を立案する	得られた実験結果に基づいて、次の展開を立案できる  研究の進展に応じた解析方法を適宜選択・開発できる  重要な文献から情報を収集し、自分の結果と関連づけて考察することができる	関連論文や実験書を参考に自分なりに研究の方向性を考えておく	特に指定しない 自分で検索した関連論文や実験書	生化学分野 教授室
13-24	原則として毎週金曜日の午後	梅津 または 藤田	ユニット2 実験結果の解析 (演習)	実験結果を解析し、論理的に説明する	得られた実験結果を多角的に解析できる  実験手法や解析法の	実験結果を分析し、得られる結論をまとめておく	特に指定しない ただし、左記の遂行に	生化学分野 教授室

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
	後				問題点を検討できる 重要な文献から情報を収集し、自分の結果と関連づけて考察することができる	必要に応じて図表を準備すること	必要な情報は自分で検索すること	
25 - 36	原則として隔週水曜日の午前9:00～12:00	梅津藤田林橋口	ユニット3 研究進捗発表 (演習)	自身の研究について発表し、質疑応答を行うことで、科学的思考と問題解決能力の習得に努める これらの過程を通して、プレゼンテーション方法についても学ぶ	自身の研究について目的を明確に示し、研究計画や実験データを解り易く説明できる 実験データに基づいて導き出される結論や考察を論理的に説明できる 他者の研究発表について十分に理解し、討論に積極的に参加することができる	研究の進捗について目的や問題点を含めて明確に記したレジメを準備しておく	特に指定しない ただし、左記の遂行に必要な情報は自分で検索すること	生化学分野 セミナー室
全 期 間	授業・演習への参加と準備以外の時限	梅津 または 藤田	ユニット4 研究プロジェクトの遂行 (実験)	研究計画に従って研究を遂行する	実験プロトコールを立案できる 実験プロトコールに従って、確実に実験を実施できる 高度な解析方法についても理解して応用できる	関連論文や実験書を参考に具体的なプロトコールを立てシミュレーションしておく	特に指定しない ただし、左記の遂行に必要な情報は自分で検索すること	生化学分野 研究室 先端科学研究センター

## 生化学実習③

通年 30コマ (2単位)  
評価責任者：梅津 桂子

### 〔担当教員〕

梅津 桂子、藤田 亜美、林 道夫、橋口 一成 (生化学分野)  
感染生物学分野、分子機能制御学分野・生物学担当のメンバーも参加する

### 〔一般目標〕

関連研究分野の学術論文を理解し、研究者仲間に紹介することで、科学的思考と問題解決能力の習得に努める  
これらの過程を通して、プレゼンテーション方法についても学ぶ

### 〔授業到達目標〕

- 実験データを理解し、論理的な結論を導き出す過程をフォローすることができる
- 科学論文の結果や結論について、自らの論理で検討できる
- 指導教官や他の研究者と科学的な討論ができる
- 実験データや結論を分かりやすく呈示して説明することができる

### 〔教科書・参考書〕

予め次回に紹介予定の論文3報については、1週間前迄にメールで周知する  
自らが論文を紹介する際には、対象論文を十分に理解する為に、引用論文等についても適宜検討する必要がある

### 〔成績評価の方法・基準〕

自らが紹介する場合については、選んだ論文についての説明やプレゼンテーション、ならびに、質疑に対する応答を評価対象とする  
他者の論文紹介については、説明に対する理解や討論への参加等を評価対象とする  
科学的思考や問題解決能力の習得度合いを評価する

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1-12	原則として毎月第2水曜日の午後13:30～17:30	梅津 藤田 林 橋口	ユニット1 ジャーナル クラブ (論文抄読会)	関連研究分野の学術論文について理解することで、科学的思考と問題解決能力の習得に努める  科学的データや議論のプレゼンテーション法を学ぶ	論文の研究について目的や研究計画を論理的に説明できる  実験データに基づいて導き出される結論や考察を論理的に説明できる  他者の研究発表について十分に理解し、討論に積極的に参加することができる	紹介論文は予めメールで周知されるので事前に目を通しておく  自分が紹介する際には説明に合わせたスライドとレジメを準備しておく	紹介論文 毎回3報  自分が紹介する際には引用論文等も含む	本館7階 大学院セミナー室

## 感染生物学講義①

前期 15コマ (ユニット1～3 : 2単位)

評価責任者 : 田中芳彦

**〔担当教員〕**

田中芳彦、永尾潤一、岸川咲吏、豊永憲司

**〔一般目標〕**

感染論を理解するために、微生物と免疫の概要、微生物・宿主の相互関係、ならびに感染症に関する基本的な知識を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 生物としての病原体について説明できる。
- ② 微生物の病原因子と宿主の防御因子・機構について説明できる。
- ③ 免疫の概要とアレルギー疾患について説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

特に指定しないが、微生物学・免疫学・感染症に関する最新の外国雑誌をチェックする。

**〔成績評価の方法・基準〕**

講義内容に関する討論、指定した科学英語論文のプレゼンテーション。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1	火・水 曜日 9 : 00 ～ 10 : 20	田中 永尾 岸川 豊永	ユニット1 感染の概要	「Koch の条件」に ついて理解する。	「Koch の条件」につ いて説明できる。	「口腔微生物 学－感染と免疫 －」(学建書院) などで基本的な 知識を整理して おく。	プリント配 布	感染生物学 研究室
2				集団の感染と個体 の感染について理 解する。	集団の感染と個体の 感染について説明で きる。			
3				感染と発病につい て理解する。	感染と発病について 説明できる。			
4				感染症について理 解する。	感染症について説明 できる。			
5				感染予防の概念に ついて理解する。	感染予防の概念につ いて説明できる。			
6	火・水 曜日 9 : 00 ～ 10 : 20	田中 永尾 岸川 豊永	ユニット2 微生物の概 要	細菌の分類につい て理解する。	細菌の分類について 説明できる。	「口腔微生物 学－感染と免疫 －」(学建書院) などで基本的な 知識を整理して おく。	プリント配 布	感染生物学 研究室
7				細菌の形態につい て理解する。	細菌の形態について 説明できる。			
8				細菌の増殖と代謝 について理解する。	細菌の増殖と代謝に ついて説明できる。			
9				細菌の変異と遺伝 について理解する。	細菌の変異と遺伝に ついて説明できる。			
10				ウイルスについて 理解する。	ウイルスについて説 明できる。			

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11	火・水 曜日 9:00 ～ 10:20	田中 永尾 岸川 豊永	ユニット3 免疫の概要	免疫系の構成要素 と生体防御におけ る役割を理解する。	免疫系の構成要素と 生体防御における役 割を説明できる。	「口腔微生物 学-感染と免疫-」(学建書院) などで基本的な 知識を整理して おく。	プリント配 布	感染生物学 研究室
12				自然免疫について 理解する。	自然免疫について説 明できる。			
13				獲得免疫について 理解する。	獲得免疫について説 明できる。			
14				免疫細胞のシグナル 伝達について理 解する。	免疫細胞のシグナル 伝達について説明で きる。			
15				アレルギーについ て理解する。	アレルギーについて 説明できる。			



## 感染生物学講義②

後期 15コマ (ユニット4～6 : 2単位)  
評価責任者 : 田中芳彦

**〔担当教員〕**

田中芳彦、永尾潤一、岸川咲吏、豊永憲司

**〔一般目標〕**

感染論を理解するために、微生物と免疫の概要、微生物・宿主の相互関係、ならびに感染症に関する新しい情報や考え方を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ①組織レベルと全身レベルでの感染について説明できる。
- ②微生物学、免疫学、感染症に関する最新の英語論文を読み、新しい情報や考え方について説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

特に指定しないが、微生物学・免疫学・感染症に関する最新の外国雑誌をチェックする。

**〔成績評価の方法・基準〕**

講義内容に関する討論、指定した科学英語論文のプレゼンテーション。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	火・水曜日 9:00～ 10:20	田中 永尾 岸川 豊永	ユニット4 微生物学、免疫学、感染症に関する最新の情報や考え方	微生物に関する英語論文を抄読し、その概要を理解する。	微生物に関する英語論文を抄読し、その概要を説明できる。	主要な外国雑誌の特性に精通しておく。	プリント配布	感染生物学研究室
2				自然免疫に関する英語論文を抄読し、その概要を理解する。	自然免疫に関する英語論文を抄読し、その概要を説明できる。			
3				獲得免疫に関する英語論文を抄読し、その概要を理解する。	獲得免疫に関する英語論文を抄読し、その概要を説明できる。			
4				シグナル伝達に関する英語論文を抄読し、その概要を理解する。	シグナル伝達に関する英語論文を抄読し、その概要を説明できる。			
5				感染症に関する英語論文を抄読し、その概要を理解する。	感染症に関する英語論文を抄読し、その概要を説明できる。			
6	火・水曜日 9:00～ 10:20	田中 永尾 岸川 豊永	ユニット5 感染における微生物と宿主の関係	宿主の感受性について理解する。	宿主の感受性について説明できる。	主要な外国雑誌の特性に精通しておく。	プリント配布	感染生物学研究室
7				病原体の感染性と病原性について理解する。	病原体の感染性と病原性について説明できる。			
8				細菌由来の毒性物質について理解する。	細菌由来の毒性物質について説明できる。			

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学 習 目 標 (G I O)	行 動 目 標 (S B O s)	予 習 の 項 目	媒体・ 参考資料	場 所
9				ウイルス感染の細胞病理について理解する。	ウイルス感染の細胞病理について説明できる。			
10				細菌感染について理解する。	細菌感染について説明できる。			
11	火・水 曜日 9:00 ～ 10:20	田中 永尾 岸川 豊永	ユニット6 組織レベル および全身 レベルにお ける感染と 発病	組織における病原体の増殖について理解する。	組織における病原体の増殖について説明できる。	主要な外国雑誌の特性に精通しておく。	プリント配布	感染生物学 研究室
12				感染と炎症について説明できる。	感染と炎症について説明できる。			
13				体内における感染の展開について理解する。	体内における感染の展開について説明できる。			
14				正常細菌叢について理解する。	正常細菌叢について説明できる。			
15				急性感染と慢性感染の生物学について理解する。	急性感染と慢性感染の生物学について説明できる。			

## 感染生物学実習①

前期30コマ（ユニット1：2単位）  
評価責任者：田中芳彦

〔担当教員〕

田中芳彦、永尾潤一、岸川咲吏、豊永憲司

〔一般目標〕

微生物学を学び、研究を遂行するにあたって必要な基本的な技術と知識を習得する。

〔授業到達目標〕

- ① 微生物の安全な取り扱いができる。
- ② 微生物の観察方法を説明できる。
- ③ 微生物の同定方法を説明できる。

〔教科書・参考書〕

特に指定しないが、微生物学・免疫学・感染症に関する最新の外国雑誌をチェックする。

〔成績評価の方法・基準〕

演習・実習内容に関する討論、レポート。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 2 3	月一金 曜 13:00	田中 永尾 岸川 豊永	ユニット1 微生物学	微生物の実験や研究に必要な機器、器具を理解する。	微生物の実験や研究に必要な機器、器具の説明ができる。	「口腔微生物学－感染と免疫－」(学建書院)などで基本的な知識を整理しておく。	プリント配 布	感染生物学 研究室
4 5 6	～ 17:30			微生物の消毒・滅菌方法について理解する。	微生物の消毒・滅菌方法について説明できる。			
7 8 9				安全な微生物実験の手技について理解する。	安全な微生物実験の手技について説明できる。			
10 11 12				微生物の培養方法について理解する。	微生物の培養方法について説明できる。			
13 14 15				嫌気性細菌の取り扱い方法について理解する。	嫌気性細菌の取り扱い方法について説明できる。			
16 17 18	月一金 曜 13:00			田中 永尾 岸川 豊永	ユニット1 微生物学			
19 20 21	～ 17:30	細菌の酵素精製方法について理解する。	細菌の酵素精製方法について説明できる。					
22 23 24		化学療法薬の効果判定方法について理解する。	化学療法薬の効果判定方法について説明できる。					
25 26 27		ウェスタンブロッティングによる蛋白質の検出について説明できる。	ウェスタンブロッティングによる蛋白質の検出について説明できる。					

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
28 29 30				感染実験の方法について理解する。	感染実験の方法について説明できる。			

## 感染生物学実習②

前期30コマ（ユニット2：2単位）  
評価責任者：田中芳彦

〔担当教員〕

田中芳彦、永尾潤一、岸川咲吏、豊永憲司

〔一般目標〕

免疫学を学び、研究を遂行するにあたって必要な基本的な技術と知識を習得する。

〔授業到達目標〕

- ① 生体における免疫細胞の分布について説明できる。
- ② 免疫学的解析に用いる基本的な実験方法について説明できる。
- ③ 免疫細胞の分化・活性化・遊走などの高次機能について説明できる。

〔教科書・参考書〕

特に指定しないが、微生物学・免疫学・感染症に関する最新の外国雑誌をチェックする。

〔成績評価の方法・基準〕

演習・実習内容に関する討論、レポート。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1	月一金曜 13:00～ 17:30	田中永尾岸川豊永	ユニット2 免疫学	免疫の実験や研究に必要な機器、器具を理解する。	免疫の実験や研究に必要な機器、器具の説明ができる。	「口腔微生物学－感染と免疫－」(学建書院)などで基本的な知識を整理しておく。	プリント配布	感染生物学研究室
2				フローサイトメトリーの原理について理解する。	フローサイトメトリーの原理について説明できる。			
3				一次リンパ組織、二次リンパ組織の免疫細胞のプロファイルについて理解する。	一次リンパ組織、二次リンパ組織の免疫細胞のプロファイルについて説明できる。			
4				脾臓の組織免疫染色について理解する。	脾臓の組織免疫染色について説明できる。			
5				T細胞やB細胞など免疫細胞の単離方法を理解する。	T細胞やB細胞など免疫細胞の単離方法を説明できる。			
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13	月一金曜 13:00～ 17:30	田中永尾岸川豊永	ユニット2 免疫学	T細胞の抗原提示細胞認識について理解する。	T細胞の抗原提示細胞認識について説明できる。	「口腔微生物学－感染と免疫－」(学建書院)などで基本的な知識を整理しておく。	プリント配布	感染生物学研究室
16				自己と非自己の認識について理解する。	自己と非自己の認識について説明できる。			
17				免疫細胞の遊走について理解する。	免疫細胞の遊走について説明できる。			
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
25 26 27				食細胞の異物貪食 について理解する。	食細胞の異物貪食に ついて説明できる。			
28 29 30				受容体からのシグ ナル伝達について 理解する。	受容体からのシグナ ル伝達について説明 できる。			

## 感染生物学実習③

後期30コマ（ユニット3～4：2単位）  
評価責任者：田中芳彦

**〔担当教員〕**

田中芳彦、永尾潤一、岸川咲吏、豊永憲司

**〔一般目標〕**

感染症を学び、研究を遂行するにあたって必要な基本的な技術と知識を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 微生物の分子生物学的試験方法について説明できる。
- ② 微生物と宿主の相互関係を理解し、感染症と生体防御について説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

特に指定しないが、微生物学・免疫学・感染症に関する最新の外国雑誌をチェックする。

**〔成績評価の方法・基準〕**

演習・実習内容に関する討論、レポート。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 2 3	月一金 曜 13:00 ～ 17:30	田中 永尾 岸川 豊永	ユニット3 微生物の同 定方法	グラム陽性球菌の試験方法を理解する。	グラム陽性球菌の試験方法を説明できる。	「口腔微生物学－感染と免疫－」(学建書院)などで基本的な知識を整理しておく。	プリント配布	感染生物学研究室
4 5 6				グラム陽性桿菌の試験方法を理解する。	グラム陽性桿菌の試験方法を説明できる。			
7 8 9				グラム陰性球菌の試験方法を理解する。	グラム陰性球菌の試験方法を説明できる。			
10 11 12				グラム陰性桿菌の試験方法を理解する。	グラム陰性桿菌の試験方法を説明できる。			
13 14 15				RT-PCRによるRNAの検出について理解する。	RT-PCRによるRNAの検出について説明できる。			
16 17 18				月一金 曜 13:00 ～ 17:30	田中 永尾 岸川 豊永			
19 20 21	未熟樹状細胞と成熟樹状細胞、ならびにTLR刺激による樹状細胞の形態変化について理解する。	未熟樹状細胞と成熟樹状細胞、ならびにTLR刺激による樹状細胞の形態変化について説明できる。						
22 23 24	マクロファージのサイトカイン産生を理解する。	マクロファージのサイトカイン産生を説明できる。						

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
25 26 27				T細胞やB細胞のケモカイン遊走能について理解する。	T細胞やB細胞のケモカイン遊走能について説明できる。			
28 29 30				ヘルパーT細胞(Th1/Th2/Th17)分化について理解する。	ヘルパーT細胞(Th1/Th2/Th17)分化について説明できる。			



## 生体工学講義①

前期 15コマ (ユニット1～3 : 2単位)

評価責任者 : 都留寛治

**〔担当教員〕**

都留寛治、丸田道人、梶本 昇、佐藤 平

**〔一般目標〕**

歯冠修復材料についてその種類と特徴、性質について理解する。これらの材料に関する最近の研究論文を読み、論文の書き方ならびに研究方法に関する基本的な知識を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① セラミックス系歯冠修復材の種類・特徴・性質を説明できる。
- ② レジン系歯冠修復材の種類・特徴・性質を説明できる。
- ③ 金属系歯冠修復材の種類・特徴・性質を説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

スライドとプリントによる講義・演習

**〔成績評価の方法・基準〕**

ユニット毎に提出するレポート (50%)、指定した科学英語論文に関するプレゼンテーション及び質疑応答 (50%)

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 5	前期 4月～ 5月 木曜日 10:35～ 11:55	都留 寛治  丸田 道人  梶本 昇  佐藤 平	ユニット1	セラミックス系歯冠修復材について理解する。	1)セラミックス系歯冠修復材の種類について説明できる。 2)セラミックス系歯冠修復材の特徴について説明できる。 3)セラミックス系歯冠修復材の性質について説明できる。 4)セラミックス系歯冠修復材に関する論文を検索し、最近の研究動向を理解する。 5)精読した論文についてその概要を発表し質疑応答できる。	セラミックス系歯冠修復材に関する書籍、文献を検索し概略を把握しておく。	スライドのコピー 配布プリント	生体工学研究室
6 ～ 10	前期 6月～ 7月 木曜日 10:35～ 11:55	都留 寛治  丸田 道人  梶本 昇  佐藤 平	ユニット2	レジン系歯冠修復材について理解する。	1)レジン系歯冠修復材の種類について説明できる。 2)レジン系歯冠修復材の特徴について説明できる。 3)レジン系歯冠修復材の性質について説明できる。 4)レジン系歯冠修復材に関する論文を検索し、最近の研究動向を理解する。 5)精読した論文についてその概要を発表し質疑応答できる。	レジン系歯冠修復材に関する書籍、文献を検索し概略を把握しておく。	スライドのコピー 配布プリント	生体工学研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
11 ～ 15	前期 8月～ 9月 木曜日 10:35～ 11:55	都留 寛治  丸田 道人  梶本 昇  佐藤 平	ユニット3	金属系歯冠修復材 について理解する。	1) 金属系歯冠修復材 の種類について説明 できる。 2) 金属系歯冠修復材 の特徴について説明 できる。 3) 金属系歯冠修復材 の性質について説明 できる。 4) 金属系歯冠修復材 に関する論文を検索 し、最近の研究動向を 理解する。 5) 精読した論文につ いてその概要を発表 し質疑応答できる。	金属系歯冠修復 材に関する書 籍、文献を検索 し概略を把握し ておく。	スライドの コピー 配布プリン ト	生体工学研 究室

## 生体工学講義②

後期 15コマ (ユニット1～3 : 2単位)

評価責任者 : 都留寛治

**〔担当教員〕**

都留寛治、丸田道人、梶本 昇、佐藤 平

**〔一般目標〕**

硬組織代替材料についてその種類と特徴、性質について理解する。これらの材料に関する最近の研究論文を読み、論文の書き方ならびに研究方法に関する基本的な知識を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① セラミックス系硬組織代替材料の種類・特徴・性質を説明できる。
- ② 高分子系硬組織代替材料の種類・特徴・性質を説明できる。
- ③ 金属系硬組織代替材料の種類・特徴・性質を説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

スライドとプリントによる講義・演習

**〔成績評価の方法・基準〕**

ユニット毎に提出するレポート (50%)、指定した科学英語論文に関するプレゼンテーション及び質疑応答 (50%)

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 5	後期 10月～ 11月 木曜日 10:35～ 11:55	都留 寛治  丸田 道人  梶本 昇  佐藤 平	ユニット1	セラミックス系硬組織代替材料について理解する。	1) セラミックス系硬組織代替材料の種類について説明できる。 2) セラミックス系硬組織代替材料の特徴について説明できる。 3) セラミックス系硬組織代替材料の性質について説明できる。 4) セラミックス系硬組織代替材料に関する論文を検索し、最近の研究動向を理解する。 5) 精読した論文についてその概要を発表し質疑応答できる。	セラミックス系硬組織代替材料に関する書籍、文献を検索し概略を把握しておく。	スライドのコピー 配布プリント	生体工学研究室
6 ～ 10	後期 12月～ 1月 木曜日 10:35～ 11:55	都留 寛治  丸田 道人  梶本 昇  佐藤 平	ユニット2	高分子系硬組織代替材料について理解する。	1) 高分子系硬組織代替材料の種類について説明できる。 2) 高分子系硬組織代替材料の特徴について説明できる。 3) 高分子系硬組織代替材料の性質について説明できる。 4) 高分子系硬組織代替材料に関する論文を検索し、最近の研究動向を理解する。 5) 精読した論文についてその概要を発表し質疑応答できる。	高分子系硬組織代替材料に関する書籍、文献を検索し概略を把握しておく。	スライドのコピー 配布プリント	生体工学研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11 ～ 15	後期 2月～ 3月 木曜日 10:35～ 11:55	都留 寛治  丸田 道人  梶本 昇  佐藤 平	ユニット3	金属系硬組織代替材料について理解する。	1) 金属系硬組織代替材料の種類について説明できる。 2) 金属系硬組織代替材料の特徴について説明できる。 3) 金属系硬組織代替材料の性質について説明できる。 4) 金属系硬組織代替材料に関する論文を検索し、最近の研究動向を理解する。 5) 精読した論文についてその概要を発表し質疑応答できる。	金属系硬組織代替材料に関する書籍、文献を検索し概略を把握しておく。	スライドの コピー 配布プリン ト	生体工学研 究室

## 生体工学実習①

前期30コマ（ユニット1～2：2単位）  
評価責任者：都留寛治

**〔担当教員〕**

都留寛治、丸田道人、梶本 昇、佐藤 平

**〔一般目標〕**

歯科材料ならびに生体材料の物理的・化学的特性の測定に利用される各種分析機器の測定原理を理解し、その取り扱い法を修得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 熱膨張、示差熱分析、熱重量分析装置の原理・測定法・データ解析法を説明できる。
- ② 歯科用埋没材の熱膨張と熱分解挙動を説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

スライドとプリントによる講義および装置による実習  
新版熱分析、神戸博太郎、小澤丈夫編、講談社、1992

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点および実習レポート

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 15	4月～ 5月 木曜日 13:00～ 17:30	都留 寛治  丸田 道人  梶本 昇  佐藤 平	ユニット1	熱分析装置の原理を理解し、測定法を修得する。	1) 熱膨張測定装置の原理と測定法ならびにデータ解析法を説明できる。 2) 示差熱分析装置の原理と測定法ならびにデータ解析法を説明できる。 3) 熱重量分析装置の原理と測定法ならびにデータ解析法を説明できる。 4) 測定データをまとめ、説明できる。	熱分析装置に関する書籍、文献を検索し概略を把握しておく。	スライドのコピー 配布プリント 新版熱分析、神戸博太郎、小澤丈夫編、講談社、1992	生体工学研究室
16 ～ 30	6月～ 7月 木曜日 13:00～ 17:30	都留 寛治  丸田 道人  梶本 昇  佐藤 平	ユニット2	歯科材料の熱分析を行い、各材料の特性を理解する。	1) 歯科用埋没材の熱膨張測定を行い、埋没材の膨張特性を説明できる。 2) 歯科用埋没材の示差熱分析装置を行い、加熱時の埋没材の相変化を説明できる。 3) 歯科用埋没材の熱重量分析を行い、加熱時の埋没材の重量変化を説明できる。 4) 測定データをまとめ、説明できる。	歯科材料の熱分析に関する書籍、文献を検索し概略を把握しておく。	スライドのコピー 配布プリント	生体工学研究室

## 生体工学実習②

後期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：都留寛治

**〔担当教員〕**

都留寛治、丸田道人、梶本 昇、佐藤 平

**〔一般目標〕**

歯科材料ならびに生体材料の物理的・化学的特性の測定に利用される各種分光分析機器の測定原理を理解し、その取り扱い法を修得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 赤外吸収スペクトルの原理・測定法・データ解析法を説明できる。
- ② 紫外可視スペクトルの原理・測定法・データ解析法を説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

スライドとプリントによる講義および装置による実習

赤外法による材料分析 基礎と応用、錦田晃一、岩本令吉著、講談社、1993

第2版 機器分析のてびき(第1,2,3集, データ集), 泉 美治他監修、化学同人、1996

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点および実習レポート

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 15	8月～ 9月 木曜日 13:00～ 17:30	都留 寛治  丸田 道人  梶本 昇  佐藤 平	ユニット1	赤外分光分析装置の原理を理解し、測定法を修得する。	1) 赤外吸収スペクトルの原理と測定法ならびにデータ解析法を説明できる。 2) 無機歯科材料の赤外吸収スペクトルを測定し、同定法を説明できる。 3) 有機歯科材料の赤外吸収スペクトルを測定し、同定法を説明できる。 4) 測定データをまとめ、説明できる。	赤外分光分析装置に関する参考資料を読み、原理・測定法の概略を把握しておく。	赤外法による材料分析 基礎と応用、錦田晃一、岩本令吉著、講談社、1993 第2版 機器分析のてびき(第1,2,3集, データ集), 泉 美治他監修、化学同人、1996	生体工学研究室
16 ～ 30	10月～ 11月 木曜日 13:00～ 17:30	都留 寛治  丸田 道人  梶本 昇  佐藤 平	ユニット2	紫外・可視分光分析装置の原理を理解し、測定法を修得する。	1) 紫外・可視吸収スペクトルの原理と測定法ならびにデータ解析法を説明できる。 2) 歯科材料の紫外・可視吸収スペクトルを測定し、同定法を説明できる。 3) 歯科材料の紫外・可視吸収スペクトルを測定し、定量法を説明できる。 4) 測定データをまとめ、説明できる。	紫外・可視分光分析装置に関する参考資料を読み、原理・測定法の概略を把握しておく。	配布プリント	生体工学研究室

## 生体工学実習③

後期30コマ（ユニット1～2：2単位）  
評価責任者：都留寛治

**〔担当教員〕**

都留寛治、丸田道人、梶本 昇、佐藤 平

**〔一般目標〕**

歯科材料における種々の接着操作に関し、接着の原理およびコンポジットレジンや接着性レジンセメントにおける表面処理と接着強度ならびに耐久性の関連について実習を通じて修得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 接着の原理・接着力測定法・データ解析法を説明できる。
- ② 接着性レジンセメントの種類と特徴を理解し、各種歯科補綴材料に応用できる。

**〔教科書・参考書〕**

スライドとプリントによる講義および装置による実習  
スタンダード歯科理工学－歯科生体材料・歯科材料－、第7版 学建書院 2019

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点および実習レポート

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 15	12月～ 1月 木曜日 13:00～ 17:30	都留 寛治  丸田 道人  梶本 昇  佐藤 平	ユニット1	接着の原理を理解し、測定法を修得する。	1) 接着の原理と測定法を説明できる。 2) 接着力を評価するための試料作製法を説明できる。 3) 接着力を評価するための測定手順を説明できる。 4) 測定データをまとめ、説明できる。	接着に関する参考資料を読み原 理・測定法の概 略を把握しておく。	スタンダード歯科理工学－歯科生体材料・歯科材料－、梅本他監修学研書院2013	生体工学研究室
16 ～ 30	2月～ 3月 木曜日 13:00～ 17:30	都留 寛治  丸田 道人  梶本 昇  佐藤 平	ユニット2	接着性レジンセメントの接着特性を理解する。	1) 接着性レジンセメントの種類、特徴を理解する。 2) セラミックスへの接着強度を測定し表面処理との関係を理解する。 3) 歯科用合金への接着強度を測定し表面処理との関係を理解する。 4) 測定データをまとめ、説明できる。	接着性レジンセメントに関する参考資料を読み概 略を把握しておく。	プリント配布	生体工学研究室

## 細胞機能構造学講義①

前期 15コマ (ユニット1～3 : 2単位)

評価責任者：稲井哲一郎

**〔担当教員〕**

稲井哲一郎、畠山雄次、児玉 淳、北河憲雄、大谷崇仁、緒方佳代子、林 慶和

**〔一般目標〕**

口腔諸組織の組織学的特徴を理解するために、その構成成分である細胞（細胞小器官、細胞骨格、膜の裏打ち蛋白質、微小管）、上皮組織（腺）、支持組織（結合組織、骨組織、軟骨組織、血液、リンパ）、神経組織、筋組織や血管の超微構造を理解するとともにその研究方法に関する基本的な知識を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ①細胞小器官、細胞骨格、細胞膜、細胞膜の裏打ち蛋白質や微小管の形態について説明できる。
- ②上皮組織（腺）の形態について説明できる。
- ③支持組織、神経組織、筋組織の形態について説明できる。
- ④軟、硬組織の形態研究法について説明できる。
- ⑤各自テーマに関する最新の英語論文を読み、新しい情報や考え方について説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

1. 標準組織学 総論 藤田尚男、藤田恒夫著、医学書院 第5版、2015年
2. カラーアトラス 顕微鏡写真で見る細胞組織学 Wolfgang Kuehnel 著 坂井建雄、石村和敬訳、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2006年
3. 組織学 組織化学的アプローチ 小川 和朗、齋藤多久馬編集、朝倉書店、1996年

**〔成績評価の方法・基準〕**

レポートまたは口頭試問

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 5	【前期】 4月～5月 月曜日  9:00～ 10:20	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット1 細胞	細胞膜、細胞膜の裏打ち蛋白質、細胞小器官、細胞骨格、微細管の形態について理解する。	1. 細胞膜の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 2. 細胞膜の裏打ち蛋白質の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 3. 細胞小器官（ゴルジ装置、ミトコンドリア、粗面小胞体、滑面小胞体、水解小体）の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 4. 細胞骨格の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 5. 微細管の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。	配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	プリント配布	生体構造学研究室
6 ～ 10	【前期】 6月～7月 月曜日  9:00～ 10:20	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット2 上皮組織	上皮組織（腺）の形態について理解する。	6. 重層扁平上皮の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 7. 多列線毛上皮の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 8. 単層扁平上皮の形態的	配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	プリント配布	生体構造学研究室



回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 9. 唾液腺（漿液腺、粘液腺、混合腺）の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 10. 唾液腺導管系（介在部、線条部、小葉間導管、主導管）の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。			
11 ～ 15	【前期】 8月～9月 月曜日  9:00～ 10:20	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット3 発表	各自テーマに関する最新の英語論文を読み、新しい情報や考え方を理解する。	11. 各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる。 12. 各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる。 13. 各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる。 14. 各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる。 15. 各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる。	配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	プリント配布	生体構造学研究室

## 細胞機能構造学講義②

後期15コマ（ユニット1～3：2単位）  
評価責任者：稲井哲一郎

### 〔担当教員〕

稲井哲一郎、畠山雄次、児玉 淳、北河憲雄、大谷崇仁、緒方佳代子、林 慶和

### 〔一般目標〕

口腔諸組織の組織学的特徴を理解するために、その構成成分である細胞（細胞小器官、細胞骨格、膜の裏打ち蛋白質、微小管）、上皮組織（腺）、支持組織（結合組織、骨組織、軟骨組織、血液、リンパ）、神経組織、筋組織や血管の超微構造を理解するとともにその研究方法に関する基本的な知識を習得する。

### 〔授業到達目標〕

- ①細胞小器官、細胞骨格、細胞膜、細胞膜の裏打ち蛋白質や微小管の形態について説明できる。
- ②上皮組織（腺）の形態について説明できる。
- ③支持組織、神経組織、筋組織の形態について説明できる。
- ④軟、硬組織の形態研究法について説明できる。
- ⑤各自テーマに関する最新の英語論文を読み、新しい情報や考え方について説明できる。

### 〔教科書・参考書〕

1. 標準組織学 総論 藤田尚男、藤田恒夫著、医学書院 第5版、2015年
2. カラーアトラス 顕微鏡写真で見る細胞組織学 Wolfgang Kuehnel 著 坂井建雄、石村和敬訳、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2006年
3. 組織学 組織化学的アプローチ 小川 和朗、齋藤多久馬編集、朝倉書店、1996年

### 〔成績評価の方法・基準〕

レポートまたは口頭試問

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 5	【後期】 10月～11月 月曜日  10:35～ 11:55	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット1 支持組織・ 神経組織・ 筋組織	支持組織、神経組織、筋組織の形態について理解する。	16. 結合組織の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 17. 骨組織の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 18. 軟骨組織の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 19. 神経組織の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。 20. 筋組織の形態的特徴について説明でき、電顕写真を読むことができる。	教科書1の関連ページ及び配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	プリント 配布	生体構造学 研究室
6 ～ 10	【後期】 12月～1月 月曜日  10:35～	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方	ユニット2 形態研究法	軟・硬組織の形態研究法について理解する。	21. 軟組織の形態学的解析を行うための手法を説明できる。 22. 軟組織の機能的解析(組織・細胞化学)を行う	教科書1の関連ページ及び配布プリントの内容を予習し、理解して	プリント 配布	生体構造学 研究室

回	授業日 時 限	授 業担 当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
	11:55	林			ための手法を説明できる。 23. 軟組織の培養法について説明できる。 24. 硬組織の形態学的解析を行うための手法を説明できる。 25. 硬組織の機能的解析(組織・細胞化学)を行うための手法を説明できる。	おく。		
11 ～ 15	【後期】 2月～3月 月曜日  10:35～ 11:55	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット3 発表	各自テーマに関する最新の英語論文を読み、新しい情報や考え方を理解する。	26. 各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる。 27. 各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる。 28. 各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる。 29. 各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる。 30. 各自テーマに関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる。	各自テーマのプレゼンテーションを作成し、発表の練習をしておく。	プリント 配布	生体構造学 研究室

## 細胞機能構造学実習①

前期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：稲井哲一郎

**〔担当教員〕**

稲井哲一郎、畠山雄次、児玉 淳、北河憲雄、大谷崇仁、緒方佳代子、林 慶和

**〔一般目標〕**

口腔諸組織についての研究を遂行するための能力を養い、基本的実験技法を習得する。更に新しい研究を行うために高度な解析方法を学び、その応用力を付け、研究のプレゼンテーション方法についても学ぶ事を目標とする。

**〔授業到達目標〕**

- ① 口腔軟組織の透過電顕試料作製法の技法を説明できる。
- ② 硬組織の元素分析法と透過電顕試料作製法の技法を説明できる。
- ③ 免疫電顕の技法を理解し説明できる。
- ④ 口腔軟・硬組織の走査電顕試料作製法の技法を説明できる。
- ⑤ 口腔組織の三次元構造解析法を理解し説明できる。
- ⑥ 科学的思考方法を学び、プレゼンテーションの方法を説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

1. 電顕入門ガイドブック （社）日本顕微鏡学会 編 学会出版センター 2004年
2. 電子顕微鏡試料作製法 関西電子顕微鏡応用技術研究会編 金芳堂 1999年

**〔成績評価の方法・基準〕**

レポートまたは口頭試問。

回	授業日時	授業者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 15	【前期】 4月～ 5月  木曜日 13:00～ 15:55	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット1	口腔軟組織の透過電顕試料作製法の技法を理解し修得する。	1. 固定液・緩衝液の作製法を説明できる。 2. 灌流固定の方法を説明できる。 3. 透過電顕用試料の固定方法を説明できる。 4. 樹脂包埋の方法を説明できる。 5. 超薄切片の方法を説明できる。 6. 電子染色の方法を説明できる。 7. 透過電子顕微鏡の操作技法を説明できる。 8. 電顕写真の読み方を説明できる。	配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	配布プリント	生体構造学研究室
16 ～ 30	【前期】 6月～ 7月  木曜日 13:00～ 15:55	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット2	硬組織の元素分析法と透過電顕試料作製法の技法を理解し修得する。	1. 元素分析のための試料作製法を説明できる。 2. EPMA の操作方法を説明できる。 3. EPMA で得られたデータの解析を説明できる。 4. 硬組織の為の固定液を説明できる。 5. 還流固定した試料の脱灰方法を説明できる。 6. 硬組織写真の読み方を説明できる。	配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	配布プリント	生体構造学研究室

## 細胞機能構造学実習②

前期30コマ（ユニット3～4：2単位）

評価責任者：稲井哲一郎

**【担当教員】**

稲井哲一郎、畠山雄次、児玉 淳、北河憲雄、大谷崇仁、緒方佳代子、林 慶和

**【一般目標】**

口腔諸組織についての研究を遂行するための能力を養い、基本的実験技法を習得する。更に新しい研究を行うために高度な解析方法を学び、その応用力を付け、研究のプレゼンテーション方法についても学ぶ事を目標とする。

**【授業到達目標】**

- ① 口腔軟組織の透過電顕試料作製法の技法を説明できる。
- ② 硬組織の元素分析法と透過電顕試料作製法の技法を説明できる。
- ③ 免疫電顕の技法を理解し説明できる。
- ④ 口腔軟・硬組織の走査電顕試料作製法の技法を説明できる。
- ⑤ 口腔組織の三次元構造解析法を理解し説明できる。
- ⑥ 科学的思考方法を学び、プレゼンテーションの方法を説明できる。

**【教科書・参考書】**

1. 電顕入門ガイドブック (社)日本顕微鏡学会 編 学会出版センター 2004年
2. 電子顕微鏡試料作製法 関西電子顕微鏡応用技術研究会編 金芳堂 1999年

**【成績評価の方法・基準】**

レポートまたは口頭試問。

回	授業日時	授業者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 15	【前期】 4月～ 5月  金曜日 9:00～ 11:55	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット3	免疫電顕の手技を理解し修得する。	1. 免疫電顕のための固定液を説明できる。 2. pre-embedding 法による免疫電顕の技法を説明できる。 3. post-embedding 法による免疫電顕の技法を説明できる 4. 免疫電顕写真を読むことができる。	配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	配布プリント	生体構造学研究室
16 ～ 30	【前期】 6月～ 7月  金曜日 9:00～ 11:55	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット4	口腔軟・硬組織の走査電顕試料作製法の技法を理解し修得する。	1. 走査電顕試料のための試料採取を説明できる。 2. 走査電顕試料のための固定法を説明できる。 3. 臨界点乾燥法を説明できる。 4. 金属コーティングを説明できる。 5. 走査電子顕微鏡の操作技法を説明できる。 6. 走査電顕写真を読むことができる。	配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	配布プリント	生体構造学研究室

## 細胞機能構造学実習③

後期30コマ (ユニット5～6 : 2単位)

評価責任者 : 稲井哲一郎

### 〔担当教員〕

稲井哲一郎、畠山雄次、児玉 淳、北河憲雄、大谷崇仁、緒方佳代子、林 慶和

### 〔一般目標〕

口腔諸組織についての研究を遂行するための能力を養い、基本的実験技法を習得する。更に新しい研究を行うために高度な解析方法を学び、その応用力を付け、研究のプレゼンテーション方法についても学ぶ事を目標とする。

### 〔授業到達目標〕

- ① 口腔軟組織の透過電顕試料作製法の技法を説明できる。
- ② 硬組織の元素分析法と透過電顕試料作製法の技法を説明できる。
- ③ 免疫電顕の技法を理解し説明できる。
- ④ 口腔軟・硬組織の走査電顕試料作製法の技法を説明できる。
- ⑤ 口腔組織の三次元構造解析法を理解し説明できる。
- ⑥ 科学的思考方法を学び、プレゼンテーションの方法を説明できる。

### 〔教科書・参考書〕

1. 電顕入門ガイドブック (社) 日本顕微鏡学会 編 学会出版センター 2004年
2. 電子顕微鏡試料作製法 関西電子顕微鏡応用技術研究会編 金芳堂 1999年

### 〔成績評価の方法・基準〕

レポートまたは口頭試問。

回	授業日時	授業者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 15	【後期】 9月～ 10月  木曜日 9:00～ 11:55	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット5	口腔組織の三次元構造解析法を理解し修得する。	1. 三次元再構築をするための連続超薄切片作製を説明できる。 2. 3D構築のためのソフトウェアを使用し、3D再構築像作製を説明できる。 3. 電子線トモグラフィー (準超薄切片)を用いての3D再構築像作製を説明できる。 4. 用途に応じたソフトウェアを使用し、電子線トモグラフィーを用いた3D再構築像をカラリング解析することを説明できる。 5. 3D再構築像を読むことができる。	配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	配布プリント	生体構造学研究室
16 ～ 30	【後期】 11月～ 12月  木曜日 9:00～ 11:55	稲井 畠山 児玉 北河 大谷 緒方 林	ユニット6	自身の研究について発表し、質疑応答を行うことで科学的思考方法を学び、プレゼンテーションの方法を理解し修得する。	1. 自身の研究についての目的、研究計画をわかりやすく説明できる。 2. 実験結果をわかりやすく説明し、それから導き出される結果をわかりやすく説明できる。 3. 質疑応答に答えることにより科学的思考能力を身に着けることを理解する。 4. 上記過程を通じてプレゼンテーションの方法を身に着けることを理解する。	配布プリントの内容を予習し、理解しておく。	配布プリント	生体構造学研究室

## 人体機能構造学講義①、② (臨床口腔解剖学講義)

前期 15コマ (ユニット1～3 : 2単位)  
後期 15コマ (ユニット4～6 : 2単位)  
評価責任者 : 畠山 雄次

〔担当教員〕

畠山雄次、児玉淳、林慶和

〔一般目標〕

頭頸部臨床解剖学に関する基本的知識を習得する。

〔授業到達目標〕

頭頸部臨床解剖学を説明する。

〔教科書・参考書〕

上條雍彦『口腔解剖学1～5巻』 アナトーム社第3版第2刷 2001

〔成績評価の方法・基準〕

スケジュールは、評価責任者の研究・講義と受講者の研究・臨床等に併せて、評価責任者が指定する日程・形式をもって替える場合がある。出席点 50%、口頭試問 50%

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 5	【前期】 4月～5月 木曜日 14:35～ 15:55	畠山 児玉 林	ユニット1	口腔解剖学を説明する。	1. 口腔解剖学・骨学を説明する。 2. 口腔解剖学・筋学を説明する。 3. 口腔解剖学・脈管学を説明する。 4. 口腔解剖学・神経学を説明する。 5. 口腔解剖学・内臓学を説明する。	解剖学教科書で骨・筋・内臓・神経・脈管を調べる	教科書・参考書	生体構造学研究室
6 ～ 10	【前期】 6月～7月 木曜日 14:35～ 15:55	畠山 児玉 林	ユニット2	歯周外科に必要な解剖学を説明する。	6. 歯周外科の術式と解剖学的問題点について説明する。 7. 歯周外科の術式と解剖学的問題点について説明する。 8. 歯周外科の術式と解剖学的問題点について説明する。 9. 歯周外科の術式と解剖学的問題点について説明する。 10. 歯周外科の術式と解剖学的問題点について説明する。	歯周外科教科書で必要な骨・筋・内臓・神経・脈管を調べる	教科書・参考書	生体構造学研究室
11 ～ 15	【前期】 7月～9月 木曜日 14:35～ 15:55	畠山 児玉 林	ユニット3	歯科矯正に必要な解剖学を説明する。	11. 歯科矯正の術式と解剖学的問題点について説明する。 12. 歯科矯正の術式と解剖学的問題点について説明する。	矯正教科書で必要な骨・筋・内臓・神経・脈管を調べる	教科書・参考書	生体構造学研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
					13. 歯科矯正の術式と解剖学的問題点について説明する。 14. 歯科矯正の術式と解剖学的問題点について説明する。 15. 歯科矯正の術式と解剖学的問題点について説明する。			
6 ～ 20	【後期】 10月 ～11月 木曜日  10:35～ 11:55	畠山 児玉 林	ユニット4	口腔外科に必要な解剖学を説明する。	16. 口腔外科の術式と解剖学的問題点について説明する。 17. 口腔外科の術式と解剖学的問題点について説明する。 18. 口腔外科の術式と解剖学的問題点について説明する。 19. 口腔外科の術式と解剖学的問題点について説明する。 20. 口腔外科の術式と解剖学的問題点について説明する。	口腔外科教科書で必要な骨・筋・内臓・神経・脈管を調べる	教科書・参考書	生体構造学研究室
21 ～ 25	【後期】 12月 ～1月 木曜日  10:35～ 11:55	畠山 児玉 林	ユニット5	インプラントに必要な解剖学を説明する。	21. インプラントの術式と解剖学的問題点について説明する。 22. インプラントの術式と解剖学的問題点について説明する。 23. インプラントの術式と解剖学的問題点について説明する。 24. インプラントの術式と解剖学的問題点について説明する。 25. インプラントの術式と解剖学的問題点について説明する。	インプラント教科書で必要な骨・筋・内臓・神経・脈管を調べる	教科書・参考書	生体構造学研究室
26 ～ 30	【後期】 10月 ～2月 木曜日  10:35～ 11:55	畠山 児玉 林	ユニット6	咬合学に必要な解剖学を説明する。	26. ナソロジーを解剖学的観点から説明する。 27. スカンジナビア学派を解剖学的観点から説明する。 28. ギシェーの理論を解剖学的観点から説明する。 29. シュライヒのシステムを解剖学的観点から説明する。 30. スチュアート咬合器を解剖学的観点から説明する。	咬合教科書で必要な骨・筋・内臓・神経・脈管を調べる	教科書・参考書	生体構造学研究室



## 人体機能構造学実習① (臨床口腔解剖学演習)

後期 30コマ (ユニット1 : 2単位)  
評価責任者 : 畠山 雄次

〔担当教員〕  
畠山雄次 児玉淳 林慶和

〔一般目標〕  
頭頸部臨床解剖学に関する基本的知識を習得する。

〔授業到達目標〕  
頭頸部臨床解剖学を説明する。

〔教科書・参考書〕  
上條雍彦『口腔解剖学1～5巻』 アナトーム社第3版第2刷 2001

〔成績評価の方法・基準〕  
スケジュールは、評価責任者の研究・講義と受講者の研究・臨床等に併せて、評価責任者が指定する日程・形式をもって替える場合がある。出席点 80%、口頭試問 20%とする。

回	授業日時限	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 30	後期 10月 火曜日 金曜日 13:00 ～ 17:30 木曜日 14:30 ～ 16:00	畠山 児玉 林	ユニット1	歯周外科に必要な頭頸部の臨床口腔解剖学を实践する。	歯周外科に必要な臨床口腔解剖学を遗体によって説明する。	剖学教科書を用いて歯周外科に必要な関連事項をノートに整理する。 解剖学教科書で歯周外科に関連するキーワードをノートにまとめておく。	教科書・参考書	解剖実習室

## 人体機能構造学実習② (臨床口腔解剖学演習)

後期 30コマ (ユニット2 : 2単位)  
評価責任者 : 畠山 雄次

〔担当教員〕  
畠山雄次 児玉淳 林慶和

〔一般目標〕  
頭頸部臨床解剖学に関する基本的知識を習得する。

〔授業到達目標〕  
頭頸部臨床解剖学を説明する。

〔教科書・参考書〕  
上條雍彦『口腔解剖学1～5巻』 アナトーム社第3版第2刷 2001

〔成績評価の方法・基準〕  
スケジュールは、評価責任者の研究・講義と受講者の研究・臨床等に併せて、評価責任者が指定する日程・形式をもって替える場合がある。出席点80%、口頭試問20%とする。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 30	後期 11月 火曜日 金曜日 13:00 ～ 17:30 木曜日 14:30 ～ 17:30	畠山 児玉 林	ユニット2	インプラントに必要な頭頸部の臨床口腔解剖学を実践する。	インプラントに必要な頭頸部の臨床口腔解剖学を遺体によって説明する。	解剖学教科書を用いてインプラントに必要な関連事項をノートに整理する。 解剖学教科書でインプラントに関連するキーワードをノートにまとめておく。	教科書・ 参考書	解剖実習室

## 人体機能構造学実習③ (臨床口腔解剖学演習)

後期 30コマ (ユニット3 : 2単位)  
評価責任者 : 畠山 雄次

〔担当教員〕  
畠山雄次 児玉淳 林慶和

〔一般目標〕  
頭頸部臨床解剖学に関する基本的知識を習得する。

〔授業到達目標〕  
頭頸部臨床解剖学を説明する。

〔教科書・参考書〕  
上條雍彦『口腔解剖学1～5巻』 アナトーム社第3版第2刷 2001

〔成績評価の方法・基準〕  
スケジュールは、評価責任者の研究・講義と受講者の研究・臨床等に併せて、評価責任者が指定する日程・形式をもって替える場合がある。出席点 80%、口頭試問 20%とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 30	後期 12月 火曜日 木曜日 金曜日 13:00 ～ 17:30	畠山 児玉 林	ユニット3	口腔外科に必要な頭頸部の臨床口腔解剖学を実践する。	臨床口腔解剖学を解剖学初心者に説明する。	解剖学教科書を用いて口腔外科に必要な関連事項をノートに整理する。 解剖学教科書で口腔外科に関連するキーワードをノートにまとめておく。	教科書・参考書	解剖実習室

## 病態構造学講義①

前期 15コマ (ユニット1～5 : 2単位)

評価責任者：橋本 修一

**〔担当教員〕**

橋本修一、岡村和彦、吉本尚平

**〔一般目標〕**

人体組織の発生についての理解を基盤に、口腔顔面の発生・歯の発生について理解する。さらに歯のライフサイクル、組織の再生について理解し、研究活動に役立てる。

**〔授業到達目標〕**

- ① 人体組織の発生について理解する。
- ② 口腔顔面領域の発生について理解する。
- ③ 歯の発生について理解する。
- ④ 歯の萌出と脱落について理解する。
- ⑤ 組織の再生について理解する。

**〔教科書・参考書〕**

1. J. K. エイヴリー著 高野 吉郎 監訳『カラーエッセンシャル 口腔組織・発生学』西村書店 2002
2. 水上 哲也、楠川 仁悟、堀之内 康文、後藤 哲哉、自見英治郎、他6名著『基礎から臨床がわかる 再生歯科』クインテッセンス株式会社 2013
3. 中内啓光 編『幹細胞研究と再生医療』南山堂 2013

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点 40%、レポート 60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 3	前期 4月： 月、木  13:00 ～ 14:20	橋本 岡村 吉本	ユニット1	人体組織の発生について理解する。	1. 内胚葉系組織の発生について説明できる。 2. 中胚葉系組織の発生について説明できる。 3. 外胚葉系組織の発生について説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学分野 研究室3 実験室2
4 ～ 6	前期： 5月 月、木  13:00 ～ 14:20	橋本 岡村 吉本	ユニット2	口腔顔面領域の発生について理解する。	1. 口咽頭部・鰓弓の発生について説明できる。 2. 頭蓋・顔面の骨格の発生について説明できる。 3. 顔面と口蓋の発生について説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学分野 研究室3 実験室2。
7 ～ 9	前期： 6月 月、木 13:00 ～	橋本 岡村 吉本	ユニット3	歯の発生について理解する。	1. 歯の発生・発達段階について説明できる。 2. 象牙質・エナメル質・歯冠・歯根の発達について説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学分野 研究室3 実験室2

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
	14:20				きる。 3.支持構造の発生について説明できる。			
10 ~ 12	前期： 7月、木、 13:00 ~ 14:20	橋本 岡村 吉本	ユニット4	歯の萌出と脱落について理解する。	1.歯の萌出の一連の過程について説明できる。 2.歯の各萌出期の組織変化について説明できる。 3.歯の脱落過程について説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造 学分野 研究室3 実験室2
13 ~ 15	前期： 8月、木、 13:00 ~ 14:20	橋本 岡村 吉本	ユニット5	組織の再生について理解する。	1.組織再生の一連の過程について説明できる。 2.歯・歯周組織の再生について説明できる。 3.幹細胞と再生医療について説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造 学分野 研究室3 実験室2

## 病態構造学講義②

後期15コマ（ユニット6～10：2単位）

評価責任者：橋本 修一

### 〔担当教員〕

橋本修一、岡村和彦、吉本尚平

### 〔一般目標〕

癌をテーマに、概念、生物学的特性、発癌のメカニズム、診断上有用な臨床検査について理解する。併せて、癌幹細胞（cancer stem cell）について学び、分子標的治療の可能性に繋げる研究方略を構想できる。

### 〔授業到達目標〕

- ⑥ 癌の概念について理解する。
- ⑦ 発癌・癌の特性について理解する。
- ⑧ 発癌の要因・臨床検査について理解する。
- ⑨ 癌と幹細胞・分子メカニズム・分子標的治療について理解する。

### 〔教科書・参考書〕

1. 日合 弘（翻訳）、木南 凌（翻訳）『ペコリーノがんの分子生物学 第2版 - メカニズム・分子標的・治療 -』 メディカル・サイエンス・インターナショナル 2014
2. 中内啓光 編『幹細胞研究と再生医療』 南山堂 2013
3. 黒木登志夫 監、許 南浩、中村幸夫 編『改訂培養細胞実験ハンドブック（実験医学別冊 実験ハンドブックシリーズ）』 羊土社 2008
4. 山本 雅、仙波憲太郎 編『癌のシグナル伝達がわかる 癌研究の基礎から分子標的治療まで（わかる実験医学シリーズ）』 羊土社 2005

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点40%、レポート60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
16 ～ 18	後期： 9月： 月、木 13：00 ～ 14：20	橋本 岡村 吉本	ユニット6	癌の概念について理解する。	1. 癌の定義、生物学的特性、分類について説明できる。 2. 前癌病変と発癌過程、遺伝子変異について説明できる。 3. 口腔・唾液腺癌の組織学的分類について説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学 分野 研究室3 実験室2
19 ～ 21	後期： 10月 月、木 13：00 ～ 14：20	橋本 岡村 吉本	ユニット7	発癌・癌の特性について理解する（I）。	1. 癌と遺伝子発現調節（転写、エピジェネティクス）について説明できる。 2. 癌と増殖因子・シグナル伝達について説明できる。 3. 癌と細胞周期について説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学 分野 研究室3 実験室2

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
22 ～ 24	後期： 11月、木 13：00 ～ 14：20	橋本 岡村 吉本	ユニット8	発癌・癌の特性について理解する(II)。	1. 癌とアポトーシスについて説明できる。 2. 癌と免疫について説明できる。 3. 癌と老化・オートファジーについて説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学 分野 研究室3 実験室2
25 ～ 27	後期： 12月、水、木 13：00 ～ 14：20	橋本 岡村 吉本	ユニット9	発癌の要因・臨床検査について理解する。	1. 癌と感染・炎症について説明できる。 2. 癌と栄養・ホルモンについて説明できる。 3. 癌と臨床検査（腫瘍マーカー）について説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学 分野 研究室3 実験室2
28 ～ 30	後期： 1月、水、木 13：00 ～ 14：20	橋本 岡村 吉本	ユニット10	組織の再生について理解する。	1. 癌と幹細胞・分化について説明できる。 2. 癌と自己複製の分子メカニズムについて説明できる。 3. 癌の分子標的と治療戦略について説明できる。	指定教科書およびその他の資料を利用して胚葉について、学習しておく。	学習のまとめとしてレポートを提出する。	病態構造学 分野 研究室3 実験室2

## 病態構造学実習①

前期30コマ（ユニット1：2単位）  
評価責任者：橋本 修一

**〔担当教員〕**

橋本修一、岡村和彦、吉本尚平

**〔一般目標〕**

前癌病変について病態を理解した上で、病理学的に検討して病理診断能力を習得するとともに、病態の本質を明らかにする。

**〔授業到達目標〕**

- ① 口腔領域癌の前癌病変について理解する。

**〔教科書・参考書〕**

1. 日合 弘（翻訳）、木南 凌（翻訳）『ペコリーノがんの分子生物学 第2版 — メカニズム・分子標的・治療 —』 メディカル・サイエンス・インターナショナル 2014
2. 中内啓光 編『幹細胞研究と再生医療』 南山堂 2013
3. 井出利憲、田原栄俊 著『細胞培養入門ノート（無敵のバイオテクニカルシリーズ）』 羊土社 2010
4. 黒木登志夫 監、許 南浩、中村幸夫 編『改訂培養細胞実験ハンドブック（実験医学別冊 実験ハンドブックシリーズ）』 羊土社 2008
5. 山本 雅、仙波憲太郎 編『癌のシグナル伝達がわかる 癌研究の基礎から分子標的治療まで（わかる実験医学シリーズ）』 羊土社 2005
6. 名倉 宏、長村 義之、堤 寛 編『渡辺・中根 酵素抗体法 改訂4版』 学際企画 2002

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点40%、レポート60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担 当 者	ユニット 番号・項目 名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 30	前期 5～7月： 月、木  13：00 ～ 17：30	橋本 岡村 吉本	ユニット 1	口腔領域癌の前癌 病変について理解 する。	1. 前癌病変の定義・ 意義について理解す る。 2. 前癌病変の病理標 本を収集する。 3. 前癌病変の特性に ついて分子病理学的 解析を行う。 4. 学習結果のまと めを行う。	前癌病変につい て、教科書およ び論文を検索し て概要を学習し ておく。	自己完遂型 学習の修 得。 学習のまと めとしてレ ポートを提 出する。	病態構造学 分野 研究室3 実験室2



## 病態構造学実習②

前期30コマ（ユニット2：2単位）  
評価責任者：橋本 修一

### 〔担当教員〕

橋本修一、岡村和彦、吉本尚平

### 〔一般目標〕

口腔領域癌について病態を理解した上で、病理学的に検討して病理診断能力を習得するとともに、病態の本質を明らかにする。

### 〔授業到達目標〕

- ① 口腔領域癌の特性について理解する。

### 〔教科書・参考書〕

1. 日合 弘（翻訳）、木南 凌（翻訳）『ペコリーノがんの分子生物学 第2版 — メカニズム・分子標的・治療 —』メディカル・サイエンス・インターナショナル 2014
2. 中内啓光 編『幹細胞研究と再生医療』 南山堂 2013
3. 井出利憲、田原栄俊 著『細胞培養入門ノート（無敵のバイオテクニカルシリーズ）』羊土社 2010
4. 黒木登志夫 監、許 南浩、中村幸夫 編『改訂培養細胞実験ハンドブック（実験医学別冊実験ハンドブックシリーズ）』 羊土社 2008
5. 山本 雅、仙波憲太郎 編『癌のシグナル伝達がわかる 癌研究の基礎から分子標的治療まで（わかる実験医学シリーズ）』 羊土社 2005
6. 名倉 宏、長村 義之、堤 寛 編『渡辺・中根 酵素抗体法 改訂4版』 学際企画 2002

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点40%、レポート60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担 当 者	ユニット 番号・項目 名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
31 ～ 60	後期 8～10月： 月、木  13：00 ～ 17：30	橋本 岡村 吉本	ユニット 2	口腔領域癌の特性 について理解する。	1. 口腔領域癌の分 類・意義について理 解する。 2. 口腔領域癌症例の 病理標本を収集す る。 3. 口腔領域癌の特性 について分子病理学 的解析を行う。 4. 学習結果のまと めを行う。	口腔癌につい て、教科書およ び論文を検索し て概要を学習し ておく。	自己完遂型 学習の修 得。 学習のまと めとしてレ ポートを提 出する。	病態構造学 分野 研究室3 実験室2

## 病態構造学実習③

後期30コマ (ユニット3: 2単位)  
評価責任者: 橋本 修一

**〔担当教員〕**

橋本修一、岡村和彦、吉本尚平

**〔一般目標〕**

(癌)幹細胞について病態を理解した上で、病理学的に検討して病理診断能力を習得するとともに、病態の本質を明らかにする。

**〔授業到達目標〕**

① (癌)幹細胞の特性について理解する。

**〔教科書・参考書〕**

1. 日合 弘 (翻訳), 木南 凌 (翻訳) 『ペコリーノがんの分子生物学 第2版 - メカニズム・分子標的・治療 -』 メディカル・サイエンス・インターナショナル 2014
2. 中内啓光 編『幹細胞研究と再生医療』 南山堂 2013
3. 井出利憲、田原栄俊 著『細胞培養入門ノート (無敵のバイオテクニカルシリーズ)』 羊土社 2010
4. 黒木登志夫 監、許 南浩、中村幸夫 編『改訂培養細胞実験ハンドブック (実験医学別冊 実験ハンドブックシリーズ)』 羊土社 2008
5. 山本 雅、仙波憲太郎 編『癌のシグナル伝達がわかる 癌研究の基礎から分子標的治療まで (わかる実験医学シリーズ)』 羊土社 2005
6. 名倉 宏、長村 義之、堤 寛 編『渡辺・中根 酵素抗体法 改訂4版』 学際企画 2002

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点 40%、レポート 60%、レポートの評価の基準は、テーマについて受講し、適切な説明および討議ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担 当 者	ユニット 番号・項目 名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
61 ~ 90	後期 11~1月: 月、木  13:00 ~ 17:30	橋本 岡村 吉本	ユニット 3	(癌)幹細胞の特性 について理解する。	1. (癌)幹細胞の定 義・意義について理 解する。 2. 実験に使用する病 理組織標本、細胞株 等の収集を行う。 3. (癌)幹細胞の特 性について分子病理 学的解析を行う。 4. 学習結果のまとめ を行う。	癌細胞につい て、研究 論文を検索して 概要を学習して おく。	自己完遂型 学習の修 得。 学習のまと めとしてレ ポートを提 出する。	病態構造学 分野 研究室3 実験室2

## 細胞生理学講義①

前期 15コマ (ユニット1～3 : 2単位)

評価責任者：岡部幸司

**【担当教員】**

岡部幸司、岡本富士雄、鍛冶屋 浩、進 正史

**【一般目標】**

骨や歯の硬組織の形成や維持の機構を理解すると共に、これらに重要なタンパク分子の機能調節について基本的な知識を習得する。

**【授業到達目標】**

- ① 硬組織の形成と形態について説明できる。
- ② 硬組織のタンパク質と機能について説明できる。
- ③ 骨代謝や歯の形成に関する最新の英語論文読み、新しい情報や考え方について説明できる。

**【教科書・参考書】**

1. 松本歯科大学大学院硬組織研究グループ 編『硬組織研究ハンドブック』 MDU出版会 2005
2. 日本骨代謝学会 編集『骨ペディア：骨疾患・骨代謝キーワード事典』 羊土社 2015

**【成績評価の方法・基準】**

出席点40%、ユニット毎に提出するレポート30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 5	【前期】 4月～5月 水・金曜日 10:35～ 11:55	岡部 岡本 鍛冶屋 進	ユニット1	硬組織の形成と形態について理解する。	1. 骨の発生や形態的特徴について説明できる。 2. 骨芽細胞、骨細胞、軟骨細胞の形態や分化について説明できる。 3. 破骨細胞の形態や分化誘導について説明できる。 4. 骨リモデリングやメカニカルストレスについて説明できる。 5. 歯の発生や歯牙構成細胞の分化誘導について説明できる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配付プリント	細胞生理学研究室
6 ～ 10	【前期】 6月～7月 水・金曜日 10:35～ 11:55	岡部 岡本 鍛冶屋 進	ユニット2	硬組織のタンパク質と機能について理解する。	6. 骨の基質の分子群について説明できる。 7. 象牙質やエナメル質のタンパクについて説明できる。 8. 膜輸送や細胞内輸送系について説明できる。 9. 細胞周期について説明できる。 10. アポトーシスについて説明できる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配付プリント	細胞生理学研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11 ～ 15	【前期】 4月～ 9月 火曜日 9:00～ 10:20	岡部 岡本 鍛冶屋 進	ユニット3	骨代謝や歯の形成に関する最新の英語論文読み、新しい情報や考え方を理解する。	11. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる。 12. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる。 13. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる 14. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる 15. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる	指定論文の事前学習とプレゼン資料の準備	配付プリント	細胞生理学 研究室

## 細胞生理学講義②

後期15コマ（ユニット1～3：2単位）

評価責任者：岡部幸司

**〔担当教員〕**

岡部幸司、岡本富士雄、鍛冶屋 浩、進 正史

**〔一般目標〕**

骨や歯の硬組織の形成や維持に関わるホルモンやサイトカインのシグナル伝達について理解すると共に、硬組織研究法および硬組織疾患の病因や治療法に関する基本的な知識を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 骨代謝や歯の形成に関するホルモン・サイトカインや細胞内シグナル伝達について説明できる。
- ② 硬組織研究法および疾患について説明できる。
- ③ 骨代謝や歯の形成に関する最新の英語論文読み、新しい情報や考え方について説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

1. 松本歯科大学大学院硬組織研究グループ 編『硬組織研究ハンドブック』 MDU出版会 2005
2. 日本骨代謝学会 編集『骨ペディア：骨疾患・骨代謝キーワード事典』 羊土社 2015

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点40%、ユニット毎に提出するレポート30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション30%

回	授業日時 限	授業者 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 5	【後期】 10月 ～11月 水・金曜日 10:35～ 11:55	岡部 岡本 鍛冶屋 進	ユニット1	骨代謝や歯の形成に関するホルモン・サイトカインや細胞内シグナル伝達について理解する。	1. カルシウム代謝調節ホルモンについて説明できる。 2. ステロイドホルモンと情報伝達について説明できる。 3. サイトカインと細胞内シグナル伝達について説明できる。 4. 骨や歯の分化増殖に関わる転写調節因子について説明できる。 5. 骨代謝や歯の形成に重要な機能分子について説明できる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配布プリント	細胞生理学研究室
6 ～ 10	【後期】 12月 ～1月 水・金曜日 10:35～ 11:55	岡部 岡本 鍛冶屋 進	ユニット2	硬組織研究法および疾患について理解する。	6. 硬組織の形態学的解析や染色法について説明できる。 7. 硬組織の培養法について説明できる。 8. 硬組織を用いた分子生物学的手法について説明できる。 9. 骨や歯の硬組織疾患とその病因について説明できる。 10. 硬組織疾患の予防と治療法について説明できる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配付プリント	細胞生理学研究室

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
11 ～ 15	【後期】 10月 ～2月 火曜日 9:00～ 10:20	岡部 岡本 鍛冶屋 進	ユニット3	骨代謝や歯の形成に関する最新の英語論文読み、新しい情報や考え方を理解する。	11. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる。 12. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる。 13. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる。 14. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる。 15. 骨代謝に関する英語論文のプレゼンテーションを行い、質疑に回答できる。	指定論文の事前学習とプレゼン資料の準備	配付プリント	細胞生理学 研究室

## 細胞生理学実習①

前期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：岡部幸司

### 〔担当教員〕

岡部幸司、岡本富士雄、鍛冶屋 浩、進 正史

### 〔一般目標〕

骨や歯の硬組織の発生や形態的特徴について理解すると共に、硬組織研究法に関する基本的な知識や実験手技を修得する。

### 〔授業到達目標〕

- ① 骨や歯の硬組織の細胞培養法について理解し修得する。
- ② 骨や歯の硬組織の形態的解析法について理解し修得する。

### 〔教科書・参考書〕

1. 松本歯科大学大学院硬組織研究グループ 編『硬組織研究ハンドブック』 MDU出版会 2005
2. 日本骨代謝学会 編集『骨ペディア：骨疾患・骨代謝キーワード事典』 羊土社 2015
3. 田村隆明編「分子生物学イラストレイテッド」羊土社 2003

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点40%、ユニット毎に提出するレポート30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション30%

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場 所
1 ～ 10	【前期】 4月 水・金曜日 13:00～ 19:15	岡部 岡本 鍛冶屋 進	ユニット1	骨や歯の硬組織の細胞培養法について理解し修得する。	1. 硬組織細胞の発生や形態的特徴を理解し識別できる。 2. 硬組織細胞の分離と細胞培養ができる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配布プリント	細胞生理学研究室  口腔医学研究センター
11 ～ 30	【前期】 5月～ 6月 水・金曜日 13:00～ 19:15	岡部 岡本 鍛冶屋 進	ユニット2	骨や歯の硬組織の形態的解析法について理解し修得する。	3. 硬組織細胞の識別染色ができる。 4. 硬組織の組織染色ができる。 5. 硬組織細胞の免疫組織染色ができる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配布プリント	細胞生理学研究室  口腔医学研究センター

## 細胞生理学実習②

前期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：岡部幸司

**〔担当教員〕**

岡部幸司、岡本富士雄、鍛冶屋 浩、進 正史

**〔一般目標〕**

骨や歯の硬組織の形成や維持に重要なタンパク質やシグナル伝達分子の機能調節について理解すると共に、その分子生物学的解析法や骨代謝機能解析法に関する基本的な知識や実験手技を修得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 骨や歯の硬組織細胞を用いた分子生物学的解析法について理解し修得する。
- ② 骨や歯の硬組織細胞を用いた骨代謝機能解析法を理解し修得する。

**〔教科書・参考書〕**

1. 松本歯科大学大学院硬組織研究グループ 編『硬組織研究ハンドブック』 MDU出版会 2005
2. 日本骨代謝学会 編集『骨ペディア：骨疾患・骨代謝キーワード事典』 羊土社 2015
3. 田村隆明編「分子生物学イラストレイテッド」 羊土社 2003

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点 40%、実習点 60%。実習評価の基準は適切な説明、操作、解析ができるかを判断基準とする。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 15	【前期】 7月～ 8月 水・金曜日 13:00～ 19:15	岡部 岡本 鍛冶屋 進	ユニット1	骨や歯の硬組織細胞を用いた分子生物学的解析法について理解し修得する。	1. 硬組織細胞からRNAやタンパク質が抽出できる。 2. RT-PCR法を用いて遺伝子発現を測定できる。 3. ウェスタンブロッティング法でタンパク発現が測定できる。 4. 転写因子のプロモーター活性を理解し測定できる。 5. 硬組織細胞への特定遺伝子の導入ができる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配布プリント	細胞生理学研究室  口腔医学研究センター
16 ～ 30	【前期】 8月～ 9月 水・金曜日 13:00～ 19:15	岡部 岡本 鍛冶屋 進	ユニット2	骨や歯の硬組織細胞を用いた骨代謝機能解析法を理解し修得する。	6. 破骨細胞の骨吸収活性機能を測定し評価できる。 7. 骨芽細胞の骨形成機能活性を測定し評価できる。 8. 各種の骨代謝マーカーを測定し解析できる。 9. 骨代謝や歯の疾患モデル動物を用いて代謝異常を解析できる。 10. 遺伝子欠損マウスを用いて骨代謝異常を解析できる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配布プリント	細胞生理学研究室  口腔医学研究センター



## 細胞生理学実習③

後期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：岡部幸司

**〔担当教員〕**

岡部幸司、岡本富士雄、鍛冶屋 浩、進 正史

**〔一般目標〕**

骨や歯の硬組織の形成や維持に重要な膜イオン輸送体やそのシグナル伝達について理解すると共に、そのイオン輸送の研究法に関する基本的な知識や実験手技を修得する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 膜イオン輸送研究のため電気生理学的手法を理解し修得する。
- ② 細胞内イオン動態研究のためイオンイメージング法を理解し修得する。

**〔教科書・参考書〕**

1. 松本歯科大学大学院硬組織研究グループ 編『硬組織研究ハンドブック』 MDU出版会 2005
2. 日本骨代謝学会 編集『骨ペディア：骨疾患・骨代謝キーワード事典』 羊土社 2015
3. 田村隆明編「分子生物学イラストレイテッド」 羊土社 2003
4. 岡田泰伸編「パッチクランプ実験技術法」 吉岡書店 1996

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点 40%、実習点 60%。実習評価の基準は適切な説明、操作、解析ができるかを判断基準とする。

回	授業日 時 限	授 業 担当者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 20	【後期】 10月 ～11月 水・金曜日 13:00～ 19:15	岡部 岡本 鍛冶屋 進	ユニット1	膜イオン輸送研究のため電気生理学的手法を理解し修得する。	1. 電気生理学的手法の原理と理解し操作できる。 2. 組織より実験用の細胞の単離と培養ができる。 3. パッチクランプ法を理解し操作できる。 4. 細胞からイオン電流が記録できる。 5. 記録したイオン電流データを解析し評価できる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配布プリント	細胞生理学研究室  口腔医学研究センター
21 ～ 30	【後期】 12月 ～1月 水・金曜日 13:00～ 15:55	岡部 岡本 鍛冶屋 進	ユニット2	細胞内イオン動態研究のためイオンイメージング法を理解し修得する。	6. イオン選択的蛍光色素の性質と測定原理を説明できる。 7. イオンイメージング法を理解し計測装置の操作ができる。 8. 組織より実験用の細胞の単離と色素導入ができる。 9. 細胞からイオンイメージングが記録できる。 10. 記録したイメージングデータを解析し評価できる。	配付資料、及び参考書中の当該項目の事前学習	配布プリント	細胞生理学研究室  口腔医学研究センター

## 分子機能制御学講義①

前期 15コマ(ユニット1～2:2単位)  
評価責任者: 八田光世

**〔担当教員〕**

日高真純、八田光世、藤兼亮輔、長岡良礼、武石幸容

**〔一般目標〕**

生体機能を制御・調節する物質(薬物など)の分子・細胞レベルでの機能調節メカニズムを理解する。

**〔授業到達目標〕**

- ① 細胞のストレス応答の仕組みとその機能メカニズムを説明できる。
- ② 生体機能制御調節物質の細胞に対する作用機序を説明できる。
- ③ 生体機能制御調節物質及び受容体についてその構造と活性の関係を説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

B.G. Katzung & A.J. Trevor. Basic and Clinical Pharmacology, 14th ed., McGraw-Hill Medical, 2017  
B. Alberts et al. Molecular Biology of the Cell 5th ed., Garland Sci., New York, 2008

**〔成績評価の方法・基準〕**

授業テーマに関するプレゼンテーションと質疑応答 (100%)

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 7	前期 4月～ 5月 水曜日 9:00～ 10:20	日高真純 藤兼亮輔	ユニット1 細胞機能	細胞機能について説明できる。	1. さまざまなストレスに対する細胞応答とその機能を説明できる。 2. 細胞応答で機能する分子の作用機序を理解する。 3. このユニットに関する英語論文のプレゼンテーション、質疑応答ができる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書、配布プリント	分子機能制御学研究室
8 15	前期 6月～ 7月 水曜日 9:00～ 10:20	八田光世 長岡良礼 武石幸容	ユニット2 受容体の構造と活性	受容体の構造と活性の関係を説明できる。	1. 受容体の構造を説明できる。 2. 活性化物質が結合した時の構造変化を説明できる。 3. 活性化物質が結合した時の受容体の機能を説明できる。 4. このユニットに関する英語論文のプレゼンテーション、質疑応答ができる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書、配布プリント	分子機能制御学研究室

## 分子機能制御学講義②

後期 15コマ (ユニット1～2: 2単位)

評価責任者: 日高 真純

**〔担当教員〕**

日高真純、八田光世、藤兼亮輔、長岡良礼、武石幸容

**〔一般目標〕**

生体機能を制御・調節する物質の分子・細胞レベルでの機能調節メカニズムを理解し、外的要因によって生じた疾病の治療におけるこれらの物質の重要性を知る。

**〔授業到達目標〕**

- ① 転写制御因子について説明できる。
- ② 生体機能制御調節物質の細胞に対する作用機序を説明できる。
- ③ 外的要因に対する細胞応答と遺伝子応答を説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

B.G. Katzung & A.J.Trevor. Basic and Clinical Pharmacology, 14th ed., McGraw-Hill Medical, 2017  
 B. Alberts et al. Molecular Biology of the Cell 5th ed., Garland Sci., New York, 2008

**〔成績評価の方法・基準〕**

授業テーマに関するプレゼンテーションと質疑応答 (100%)

回	授業日時 限	授 業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 8	後期 9月～ 10月 水曜日 9:00～ 10:20	八田光世 長岡良礼 武石幸容	ユニット1 転写制御因子	転写制御因子について説明できる。	1. 転写制御因子の構造を説明できる。 2. 転写制御因子の機能及び役割を説明できる。 3. このユニットに関する英語論文のプレゼンテーション、質疑応答ができる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書、配布プリント	分子機能制御学研究室
9 ～ 15	後期 11月～ 12月 水曜日 9:00～ 10:20	日高真純 藤兼亮輔	ユニット2 細胞応答と 遺伝子応答	外的要因に対する細胞応答と遺伝子応答を説明できる。	1. 遺伝子の構造と機能を説明できる。 2. 外的要因による遺伝子発現の変化について説明できる。 3. このユニットに関する英語論文のプレゼンテーション、質疑応答ができる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書、配布プリント	分子機能制御学研究室

## 分子機能制御学実習①

前期30コマ（ユニット1～2：2単位）  
評価責任者：日高真純

### 〔担当教員〕

日高真純、八田光世、藤兼亮輔、長岡良礼、武石幸容

### 〔一般目標〕

分子機能制御学研究に必要な基本的実験技法と基礎的な考え方を習得し、実施できる。

### 〔授業到達目標〕

- ① 細胞への遺伝子導入技法や電気生理学的手法を習得する。
- ② 結果を分析し、得られた結論を述べることができる。

### 〔教科書・参考書〕

B.G. Katzung & A.J. Trevor. Basic and Clinical Pharmacology, 14th ed., McGraw-Hill Medical, 2017  
B. Alberts et al. Molecular Biology of the Cell 5th ed., Garland Sci., New York, 2008

### 〔成績評価の方法・基準〕

基本手技の習得状況と研究成果の発表（100%）

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 15	前期 4月～ 5月 水曜日 13:00 ～ 15:55	日高真純 八田光世 藤兼亮輔 長岡良礼 武石幸容	ユニット1 培養技術と 生命科学技 法	哺乳類細胞の培養 技術と基本的な生 命科学技法を習得 する。	1. 継代哺乳動物細胞 の培養技術を習得 する。 2. 培養細胞を用いた 細胞染色法や生理 学的実験技法を修 得する。 3. 目的のタンパクの 発現や機能を確認 できる。 4. 1～3 で得られた結 果を分析し、まとめ ることができる。	教科書、参考書 の該当箇所を読 む。	教科書・参 考書、 配布プリン ト	分子機能制 御学 研究 室、 研究センタ ー
16 ～ 30	前期 6月～ 7月 水曜日 13:00 ～ 15:55	日高真純 八田光世 藤兼亮輔 長岡良礼 武石幸容	ユニット2 遺伝子組換 え技術と遺 伝子導入技 法	遺伝子組換え技術 と哺乳類細胞への 遺伝子導入技法を 習得する。	1. 大腸菌を用いた遺 伝子組換え技術を 習得する。 2. 哺乳類細胞への遺 伝子導入法を実施 できる。 3. 遺伝子導入した細 胞を用いて、目的に 合った生命科学技 法によって標的タ ンパクの発現や機 能を確認できる。 4. 1～3 で得られた結 果を分析し、まとめ ることができる。 5. 4で得られた結果を 発表できる。	教科書、参考書 の該当箇所を読 む。	教科書・参 考書、 配布プリン ト	P2 実験室、 分子機能制 御学 研究 室、 研究センタ ー

## 分子機能制御学実習②

後期30コマ(ユニット1~2:2単位)  
評価責任者:日高 真純

### 〔担当教員〕

日高真純、藤兼亮輔

### 〔一般目標〕

分子機能制御学研究に必要な分子生物学的・細胞生物学的実験技法と基礎的な考え方を習得し、実施できる。

### 〔授業到達目標〕

- ① 細胞培養法ならびに遺伝子発現解析法を習得する。
- ② 結果を分析し、得られた結論を述べることができる。

### 〔教科書・参考書〕

B. Alberts et al. Molecular Biology of the Cell 5th ed., Garland Sci., New York, 2008

### 〔成績評価の方法・基準〕

基本手技の習得状況と研究成果の発表(100%)

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ~ 15	後期 9月~ 10月 水曜日 13:00 ~ 15:55	日高真純 藤兼亮輔	ユニット1 高解像度細胞染色技術	哺乳類由来細胞を用いた高解像度細胞染色技術を習得する。	1. 細胞培養技術について説明できる。 2. 初代培養細胞ならびに細胞株の培養技術を習得する。 3. 共焦点レーザー顕微鏡を用いた細胞染色法(蛍光抗体法)について説明でき、目的とするタンパク分子の発現を調べる手段として応用できる。 4. 1~3で得られた結果を分析し、まとめることができる。 5. 4で得られた結果を発表できる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書、配布プリント	研究センター、分子機能制御学研究室
16 ~ 30	後期 11月~ 12月 水曜日 13:00 ~ 15:55	日高真純 藤兼亮輔	ユニット2 定量的RT-PCR法とイムノブロット法	定量的RT-PCR法やイムノブロット法を習得する。	1. 定量的RT-PCR法やイムノブロット法について説明できる。 2. 定量的RT-PCR法やイムノブロット法を習得する。 3. 哺乳動物細胞において、目的とするmRNAやタンパクの発現を調べる手段として応用できる。 4. 1~3で得られた結果を分析し、まとめることができる。 5. 4で得られた結果を発表できる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書、配布プリント	研究センター、分子機能制御学研究室

## 分子機能制御学実習③

後期 30コマ (ユニット1～2: 2単位)

評価責任者: 八田光世

**〔担当教員〕**

八田光世、長岡良礼、武石幸容

**〔一般目標〕**

細胞フェノタイプと遺伝子発現制御に関する分子機能制御学研究に必要な技法と基礎的な考え方を習得し、実施できる。

**〔授業到達目標〕**

- ① 細胞フェノタイプ転換モデルの培養法および遺伝子発現制御の解析法を習得する。
- ② 実験結果を分析し、得られた結論を述べるができる。

**〔教科書・参考書〕**

B.G. Katzung & A.J.Trevor. Basic and Clinical Pharmacology, 14th ed., McGraw-Hill Medical, 2017

**〔成績評価の方法・基準〕**

基本手技の習得状況と研究成果の発表 (100%)

回	授業日時 限	授 業 担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 15	後期 12月 ～1月 水曜日 13:00 ～ 15:55	八田光世 長岡良礼 武石幸容	ユニット1 上皮-間葉 転換モデル 系の解析	<i>In vitro</i> 上皮-間葉転換モデル系の培養法と mRNA・タンパク質解析法を習得する。	1. 上皮細胞の特徴を説明できる。 2. 株化上皮細胞による上皮-間葉転換モデル系の培養技術を習得する。 3. qRT-PCR法やウエスタンブロット法により、マーカー遺伝子の mRNA やタンパクの発現変化を示すことができる。 4. 1～3 で得られた結果を分析し、まとめることができる。 5. 4で得られた結果を発表できる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書、配布プリント	分子機能制御学研究室、研究センター
16 ～ 30	後期 2月～ 3月 水曜日 13:00 ～ 15:55	八田光世 長岡良礼 武石幸容	ユニット2 遺伝子発現 制御の解析 法	特定ゲノム領域のヒストン修飾や核内因子結合を検出するクロマチン免疫沈降法を習得する。	1. 遺伝子発現とクロマチン修飾との関係を説明できる。 2. クロマチン免疫沈降法により発現変動遺伝子ゲノム領域のヒストン修飾変化を示すことができる。 3. 1～2 で得られた結果を分析し、まとめることができる。 4. 3で得られた結果を発表できる。	教科書、参考書の該当箇所を読む。	教科書・参考書、配布プリント	分子機能制御学研究室、研究センター

## 生体再生材料学講義①

前期 15コマ (ユニット1～3 : 2単位)

評価責任者 : 大野 純

**〔担当教員〕**

大野 純、城戸寛史、泉 利雄

**〔一般目標〕**

口腔・顎顔面組織再生に使用する代替材料についてその特徴、性質について理解する。これらを用いた再生医学に関する最近の研究論文を読み、論文の書き方ならびに研究方法に関する基本的な知識を習得する。

**〔授業到達目標〕**

- ①生体材料の種類と再生医学への応用について説明できる。
- ②口腔・顎顔面組織再生に使用する代替材料について説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

プリントを配布

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点40%、各ユニットで提出するレポート30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション30%

回	授業日 時 限	授業担当者	ユニット 番号・項 目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 5	4～5 月 水曜 日 10 : 35 ～ 11 : 55	大野 純	ユニット 1 再生医学 への応用	生体材料の再生医 学への応用につ いて理解する。	1. 生体材料の種類 について説明できる。 2. 再生医学への応 用について説明できる。 3. 生体材料に関 する論文を検索し、最近 の研究動向を理解する。 4. 精読した論文につ いてその概要を発表 する。	事前配布の資料 を読んでおく。	プリント配 布 発表用資料 の配布	口腔医学研 究センター 他
6 ～ 10	6～7 月 水曜 日 10 : 35 ～ 11 : 55	城戸寛史	ユニット 2 金属系生 体材料	金属系生体材料(口 腔インプラント)の 種類、応用につ いて理解する。	1. 金属系生体材料の 種類・応用について説 明できる。 2. 金属系生体材料に 関する論文を読み最 近の研究動向を理解 する。 3. 精読した論文につ いてその概要を発表 する。	金属系生体材料 の特徴について 調べておく。	プリント配 布 発表用資料 の配布	口腔医学研 究センター 他
11 ～ 15	8～9 月 水曜 日 10 : 35 ～ 11 : 55	泉 利雄	ユニット 3 無機系骨 補填材	無機系骨補填材の 種類、応用につ いて理解する。	1. 無機系骨補填材の 種類・応用について説 明できる。 2. 無機系骨補填材に 関する論文を検索 し、最近の研究動向を 理解する。 3. 精読した論文につ いてその概要を発表 する。	無機系骨補填材 の特徴について 調べておく。	プリント配 布 発表用資料 の配布	口腔医学研 究センター 他

## 生体再生材料学講義②

後期 15コマ (ユニット4～6 : 2単位)

評価責任者 : 大野 純

### 〔担当教員〕

大野 純

### 〔一般目標〕

高分子系骨再生材料、幹細胞を応用した細胞再生療法および細胞再生療法における組織変化の特徴について理解する。これらのトピックスに関する最近の研究論文を読み、論文の書き方ならびに研究方法に関する基本的な知識を習得する。

### 〔授業到達目標〕

- ①高分子系骨再生材料の種類、特徴について説明できる。
- ②幹細胞再生療法の特徴について説明できる。
- ③再生療法における組織変化について説明できる。

### 〔教科書・参考書〕

プリントを配布

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点40%、各ユニットで提出するレポート30%、指定した科学英語論文のプレゼンテーション30%

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 5	10～11月 水曜日 10:35～11:55	大野 純	ユニット4 高分子系骨再生材料	高分子系骨再生材料の種類、特徴について理解する。	1. 高分子系骨再生材料の種類・特長・性質について説明できる。 2. 骨再生材料に関する論文を読み最近の研究動向を理解する。 3. 精読した論文についてその概要を発表する。	高分子系生体材料の特徴を歯科理工学の教科書で調べておく。	プリント配布 発表用資料の配布	口腔医学研究センター 他
6 ～ 10	12～1月 水曜日 10:35～11:55	大野 純	ユニット5 幹細胞再生医療	幹細胞再生医療の特徴ならびに現状について理解する。	1. 幹細胞の性状および特性について説明できる。 2. 間葉系幹細胞およびiPS細胞を用いた再生医療に関する論文を検索し、最近の研究動向を理解する。 3. 精読した論文についてその概要を発表する。	ES細胞、iPS細胞および間葉系幹細胞の特徴を調べておく。	プリント配布 発表用資料の配布	口腔医学研究センター 他
11 ～ 15	1～2月 水曜日 10:35～11:55	大野 純	ユニット6 再生医療における組織変化	再生医療における組織変化の特徴について理解する。	1. 細胞再生療法での組織反応について説明できる。 2. 再生療法での組織変化に関する論文を検索し、最近の研究動向を理解する。 3. 精読した論文についてその概要を発表する。	異物処理反応および創傷治癒過程について、病理学の教科書で調べておく。	プリント配布 発表用資料の配布	口腔医学研究センター 他



## 生体再生材料学実習①

前期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：大野 純

**〔担当教員〕**

大野 純

**〔一般目標〕**

再生医療に用いる細胞培養法およびX線マイクロCT法の原理を理解する。細胞培養法については、平面培養法およびスフェロイド培養法の手技を習得する。マイクロCT法については、その原理とCT像の解釈法について理解する。

**〔授業到達目標〕**

- ①平面培養法およびスフェロイド培養法の原理を理解し、その操作法を修得する。
- ②X線マイクロCT法の原理を理解し、その測定法およびCT像の解釈法を理解する。

**〔教科書・参考書〕**

配布プリント

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点50%、実習レポート50%。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 15	【前期】 4月、 5月 金曜日 13:00 ～ 17:30	大野 純	ユニット 1 細胞培養 法の原理	細胞培養法の原理を理解し、細胞スフェロイドを形成する。	1. 細胞培養法の原理を説明できる。 2. 平面培養法を行い、継代法を修得する。 3. スフェロイド培養法の原理が説明できる。 4. 細胞スフェロイドを形成する。 5. 細胞スフェロイドと平面培養細胞の違いが説明できる。	一般的な細胞培養法について、調べておく。	プリント配布	口腔医学研究センター 他
16 ～ 30	【前期】 6月、 7月 金曜日 13:00 ～ 17:30	大野 純	ユニット 2 X線マイ クロCT 法	X線マイクロCT法の原理を理解し、CT像の解釈法を理解する。	1. X線マイクロCTの原理と応用例を説明する。 2. X線マイクロCT装置の基本的な操作法および保守方法を説明する。 3. X線マイクロCT装置により試料のCT像を観察する。 4. 画像処理法ならびに解析法を説明する。 5. 試料から得た測定データをまとめて発表できる。	CTの原理と特徴について調べておく。	プリント配布	口腔医学研究センター 他、アニマルセンター

## 生体再生材料学実習②

後期30コマ（ユニット1～2：2単位）

評価責任者：大野 純

### 〔担当教員〕

大野 純、鍛冶屋浩

### 〔一般目標〕

細胞の骨分化誘導法およびアッセイ法について、その原理および操作法を修得する。

### 〔授業到達目標〕

- ①骨分化誘導法の原理を理解し、その誘導法を修得する。
- ②細胞からの mRNA とタンパク抽出法の原理を理解し、その操作法を修得する。
- ③定量的 PCR 法と Western blotting 法の原理を理解し、その操作法を習得する。

### 〔教科書・参考書〕

配布プリント

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点 50%、実習レポート 50%。

回	授業日時	授業者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 15	【後期】 10月、11月 金曜日 13:00 ～ 17:30	大野 純	ユニット 1 骨分化誘導法	<i>In vitro</i> における骨分化誘導法を理解し、細胞への骨分化誘導を行う。	1. 骨分化誘導法の原理および誘導法を説明できる。 2. 誘導細胞の調節法を説明できる。 3. 誘導法を修得する。 4. 誘導細胞と非誘導細胞の違いを説明できる。 5. データをまとめて、発表することができる。	骨分化誘導に用いている試薬について調べておく。	プリント配布	口腔医学研究センター 他
16 ～ 30	【後期】 12月、1月 金曜日 13:00 ～ 17:30	鍛冶屋浩	ユニット 2 骨分化誘導細胞アッセイ法	骨分化誘導細胞のアッセイ法を理解し、アッセイを行う。	1. 誘導細胞からの mRNA とタンパク抽出法の原理を説明できる。 2. 定量的 RT-PCR の原理を説明でき、その方法を修得する。 3 Western blotting 法の原理を説明でき、その方法を修得する。 4. 結果を解析して、発表することができる。	RT-PCR 法および Western blotting 法を調べておくこと。	プリント配布	口腔医学研究センター 他

## 生体再生材料学実習③

前期30コマ（ユニット1～3：2単位）

評価責任者：大野 純

〔担当教員〕

大野 純

〔一般目標〕

各種生体材料の組成や構造についてセンター設置機器を用いた実習を通じて修得する。

〔授業到達目標〕

- ① クリオスタットを用いて、骨組織からの非固定非脱灰凍結切片作製法を習得し、組織学的染色等を行う。
- ② 蛍光顕微鏡の原理および観察法を習得し、生体材料、細胞および組織試料について観察を行う。
- ③ 蛍光X線分析装置、X線回折装置の原理および測定法を修得し、各種生体材料に含まれる成分元素の分析を行う。

〔教科書・参考書〕

配布プリント

〔成績評価の方法・基準〕

出席点50%、実習レポート50%。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 10	【前期】 4月、 5月 木曜日 13:00 ～ 15:55	大野 純	ユニット 1 クリオスタットの 利用	センター設置のクリオスタットを用いた骨組織切片作製技術を修得する。	1. 骨組織からの顕微鏡試料の作製法を説明する。 2. 非脱灰凍結切片標本の作製法を説明する。 3. クリオスタットの取扱い方を説明し、実際に試料を作成する。 4. 組織学的染色後、顕微鏡にて形態観察をして、結果を発表することができる。	インターネットなどで非脱灰凍結切片標本作成法を調べておく。	プリント配布	口腔医学研究センター 他
11 ～ 20	【前期】 5月、 6月 木曜日 13:00 ～ 15:55	大野 純	ユニット 2 蛍光顕微鏡の 利用	センター設置の蛍光顕微鏡を用いた蛍光観察技術を修得する。	1. 蛍光顕微鏡の原理と測定法を説明する。 2. 蛍光標識した抗体を用いて蛍光免疫染色試料を作成する。 3. 蛍光顕微鏡の取扱い方を説明し実際に観察を行う。 4. 蛍光染色結果をまとめて、発表することができる。	インターネットなどで蛍光細胞染色の写真などを調べておく。	プリント配布	口腔医学研究センター 他

回	授業日 時 限	授業担当者	ユニット 番号・項 目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
21 ～ 30	【前期】 6月、 7月 木曜日 13:00 ～ 15:55	大野 純	ユニット 3 蛍光 X 線 分析装置 と X 線回 折装置の 利用	センター設置の蛍 光 X 線分析装置と X 線回折装置を用い た測定技術を修得 する。	1. 蛍光 X 線分析装 置と X 線回折装置の 原理と測定法を説明 する。 2. 試料作成法を説 明する。各種生体材 料から試料を作成す る。 3. 蛍光 X 線分析装 置と X 線回折装置の 取扱い方を説明し、 生体材料に含まれる 成分元素の分析を行 う。 4. 測定データをま とめて、発表するこ とができる。	蛍光 X 線分析、X 線回折について 調べておく。	プリント配 布	口腔医学研 究センター 他

## 口腔医療学講義①

前期15コマ（ユニット1：2単位）  
評価責任者：泉 利雄

**〔担当教員〕**

泉 利雄、古賀千尋、金子高士

**〔一般目標〕**

総合的歯科診療計画立案時に必要な基本的検査を実施できる。

**〔授業到達目標〕**

医療面接、診療情報提供書等からの医療情報収集法と、基本的な検査を説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

1. 竹原直道 他監修「臨床研修歯科医ハンドブック」医歯薬出版
2. 赤川安正、松浦正朗、矢谷博文、渡邊文彦（編）：よくわかる口腔インプラント学，医歯薬出版，第二版.
3. 古谷野潔、松浦正朗，編著：エッセンシャル・口腔インプラント学．医歯薬出版，第一版.

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点 60%。レポート点 40%。

回	授業日 時 限	授 業 担 当 者	ユニット番 号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の項目	媒体・ 参考資料	場所
1 ～ 15	4月～ 6月 月曜日 10:35- 11:55	泉 利雄 古賀千尋 金子高士	ユニット1 基本的な検査を実施、 判断する。	医療面接、診療情報提供書等から医療情報を収集し、基本的な検査を実施、判断する。	1) 医療情報の種類、内容について述べる。 2) 医療情報の収集法について述べる。 3) 患者の症状を把握するための検査法を列挙する。 4) エックス線写真の撮影法、読影について述べる。 5) 口腔内写真の撮影法について述べる。 6) スタディモデルの意義、作成法について述べる。 7) 歯牙硬組織疾患・歯周組織疾患の診査法を列挙する。 8) 口腔外の検査法について述べる。 9) 診療情報提供書、対診書、返事等の記載法を述べる。	口腔の診査、診断に必要な検査法を学習しておく。	臨床研修歯科医ハンドブック等。	口腔医療センター セミナー室

## 口腔医療学講義②

後期15コマ（ユニット1：2単位）  
評価責任者：泉 利雄

**〔担当教員〕**

泉 利雄、古賀千尋、金子高士

**〔一般目標〕**

総合的歯科診療の診断および治療法が実践できる。

**〔授業到達目標〕**

歯牙硬組織・歯周組織疾患の診断法および治療法が説明できる。

**〔教科書・参考書〕**

1. 竹原直道 他監修「臨床研修歯科医ハンドブック」医歯薬出版
2. 赤川安正、松浦正朗、矢谷博文、渡邊文彦（編）：よくわかる口腔インプラント学，医歯薬出版，第二版。
3. 古谷野潔、松浦正朗，編著：エッセンシャル・口腔インプラント学．医歯薬出版，第一版。

**〔成績評価の方法・基準〕**

出席点 60%。レポート点 40%。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 15	10月 ～1月 木曜日  10:35- 11:55	泉 利雄  古賀千尋  金子高士	ユニット1 得られた情報から診断し総合的歯科診療を実践する。	歯牙硬組織疾患・歯周組織疾患を診断する。	1) 歯牙硬組織疾患・歯周組織疾患の診断について述べる。 2) 歯牙硬組織疾患・歯周組織疾患に対して治療法を述べる。 3) 治療法の提示の仕方について述べる。 4) 患者の自己決定について述べる。 5) 1口腔単位の治療計画を作成する基準について述べる。	大学院で研究をする動機と自らが関心を持つ項目を臨床と関連づけて考えておく。	臨床研修歯科医ハンドブック等。	口腔医療センター セミナー室

## 口腔医療学実習①

前期30コマ（ユニット1：2単位）  
評価責任者：泉 利雄

### 〔担当教員〕

泉 利雄、古賀千尋、金子高士

### 〔一般目標〕

1 口腔1単位の考えに基づき、総合的歯科診療の計画立案ができる。

### 〔授業到達目標〕

医療面接、診療情報提供書等から医療情報を収集し、基本的な検査を実施、判断することができる。

### 〔教科書・参考書〕

1. 竹原直道 他監修「臨床研修歯科医ハンドブック」医歯薬出版株式会社
2. 古谷野潔、松浦正朗，編著：エッセンシャル・口腔インプラント学．医歯薬出版，第一版．
3. 赤川安正、松浦正朗、矢谷博文，渡邊文彦（編）：よくわかる口腔インプラント学，医歯薬出版，第二版．

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点 60%。レポート点 40%。

回	授業日時 限	授 業 担 当 者	ユニット 番号・項 目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	予習の 項目	媒体・ 参考資 料	場 所
1 ～ 30	【前期】 4～6月 ・木曜 日の指定 日  10:00 -12:00	泉 利雄  古賀千尋  金子高士	ユニット 1 医 療 面 接、診療 情報提供 書等から 医療情報 を 収 集 し、基本 的 な 診 療 ・ 検 査 を 実 施、判 断する	1) 必要な 医療情報 を列挙す る。  2) 医療情 報を十分 に収集す る。	1) 患者の症状を把握する ための視診、触診、打 診、聴診をする。 2) エックス線写真を正し く撮影・分析する。 3) 口腔内写真を正しく撮 影・分析する。 4) スタディモデルを作 製・分析する。 5) 歯牙硬組織疾患・歯周 組織疾患を診断するた めの検査をする。 6) 口腔内、口腔外の視 診、触診、打診、聴診か ら疾患の状態を判断す る。 7) 必要な臨床検査を考 えオーダーを出し、検査 結果を読む。 8) 診療情報提供書、対診 書、返事等を記載する。	口 腔 の 診 査、診 断 に 必 要 な 検 査 法 を 学 習 し て お く。	臨床研 修 歯 科 医 ハ ン ド ブ ッ ク 等。	口腔医療 センター セミナー 室

## 口腔医療学実習②

前期30コマ（ユニット1：2単位）  
評価責任者：泉 利雄

### 〔担当教員(オムニバス科目等)〕

泉 利雄、古賀千尋、金子高士

### 〔一般目標〕

広域の病診連携を行うために、総合的歯科診療を実践できる。

### 〔授業到達目標〕

医療面接、診療情報提供書等から得られた医療情報と基本的な検査結果から診断し、基本的な治療ができる。

### 〔教科書・参考書〕

1. 竹原直道 他監修「臨床研修歯科医ハンドブック」医歯薬出版株式会社
2. 古谷野潔、松浦正朗，編著：エッセンシャル・口腔インプラント学. 医歯薬出版，第一版.
3. 赤川安正、松浦正朗、矢谷博文，渡邊文彦（編）：よくわかる口腔インプラント学，医歯薬出版，第二版.

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点 60%。レポート点 40%。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 30	【前期】 7～9月・木曜日の指定日  10:00-12:00	泉 利雄 古賀千尋 金子高士	ユニット1 得られた情報から診断し総合的歯科診療を実践する。	1) 歯牙硬組織疾患・歯周組織疾患を診断する。	1) 歯牙硬組織疾患・歯周組織疾患に対して治療法を立案する。 2) 妥当な治療法をすべて患者に提示する。 3) 患者の自己決定を尊重・確認する。 4) 1口腔単位の治療計画を作成する。 5) 補綴治療を行う上での問題点を挙げプロブレムリストを作成する。 6) 補綴治療計画を立て、補綴物製作を体験する。 7) 口腔の治療における合併症を考えその予防法と対応法のリストを作成する。患者に合併症を説明する。 8) 口腔衛生指導とメンテナンスを経験する。 9) 治療後の経過観察法を考え、実施する。	大学院で研究をする動機と自らが興味を持つ項目を臨床と関連づけて考えておく。	臨床研修歯科医ハンドブック等。	口腔医療センターセミナー室



## 口腔医療学実習③

後期30コマ（ユニット1：2単位）  
評価責任者：泉 利雄

### 〔担当教員〕

泉 利雄、古賀千尋、金子高士

### 〔一般目標〕

総合診療計画立案能力を身につけ、高度な歯科的外科治療が実践できる。

### 〔授業到達目標〕

1. 口腔粘膜、軟組織疾患、顎の炎症性疾患の治療法の立案ができる。
2. 基本的なインプラント治療の立案および実施ができる。

### 〔教科書・参考書〕

1. 竹原直道 他監修「臨床研修歯科医ハンドブック」医歯薬出版株式会社
2. 古谷野潔、松浦正朗，編著：エッセンシャル・口腔インプラント学. 医歯薬出版，第一版.
3. 赤川安正、松浦正朗、矢谷博文，渡邊文彦（編）：よくわかる口腔インプラント学，医歯薬出版，第二版.

### 〔成績評価の方法・基準〕

出席点 60%。レポート点 40%。

回	授業日時	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習の項目	媒体・参考資料	場所
1 ～ 30	【後期】 10～12月 月・木曜日 の指定日  10:00- 12:00	泉 利雄 古賀千尋 金子高士	ユニット1 口腔内科 的治療お よび無床 診療所で の高度な 歯科的外 科治療を 実践する。	口腔粘膜、 軟組織疾患 を診断する。  顎の炎症性 疾患を診断 する。	1) 口腔粘膜、軟組織疾患に 対して治療法を立案する。 2) 顎の炎症性疾患に対して 治療法を立案する。 3) インプラントの画像診断 を説明する。 4) インプラントの治療計画 を作成する。 5) インプラントの埋入につ いて説明する 6) インプラント手術シミュ レーションを説明する。 7) インプラントの埋入を体 験する。 8) 硬組織と軟組織のマネー ジメントを説明する。	大学院で 研究をす る項目を 臨床と関 連づけて 考え、具 体的な計 画を立案 する。	臨床研修 歯科医ハ ンドブッ ク等及び 臨床に関 連する文 献	口腔医 療セン ターセ ミナー 室

# 授 業 要 綱

編集  
発行

福岡歯科大学大学院

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号  
電話 092 (801) 0447番 (直通)  
Fax 092 (801) 0427番